ISSN 0912-8182

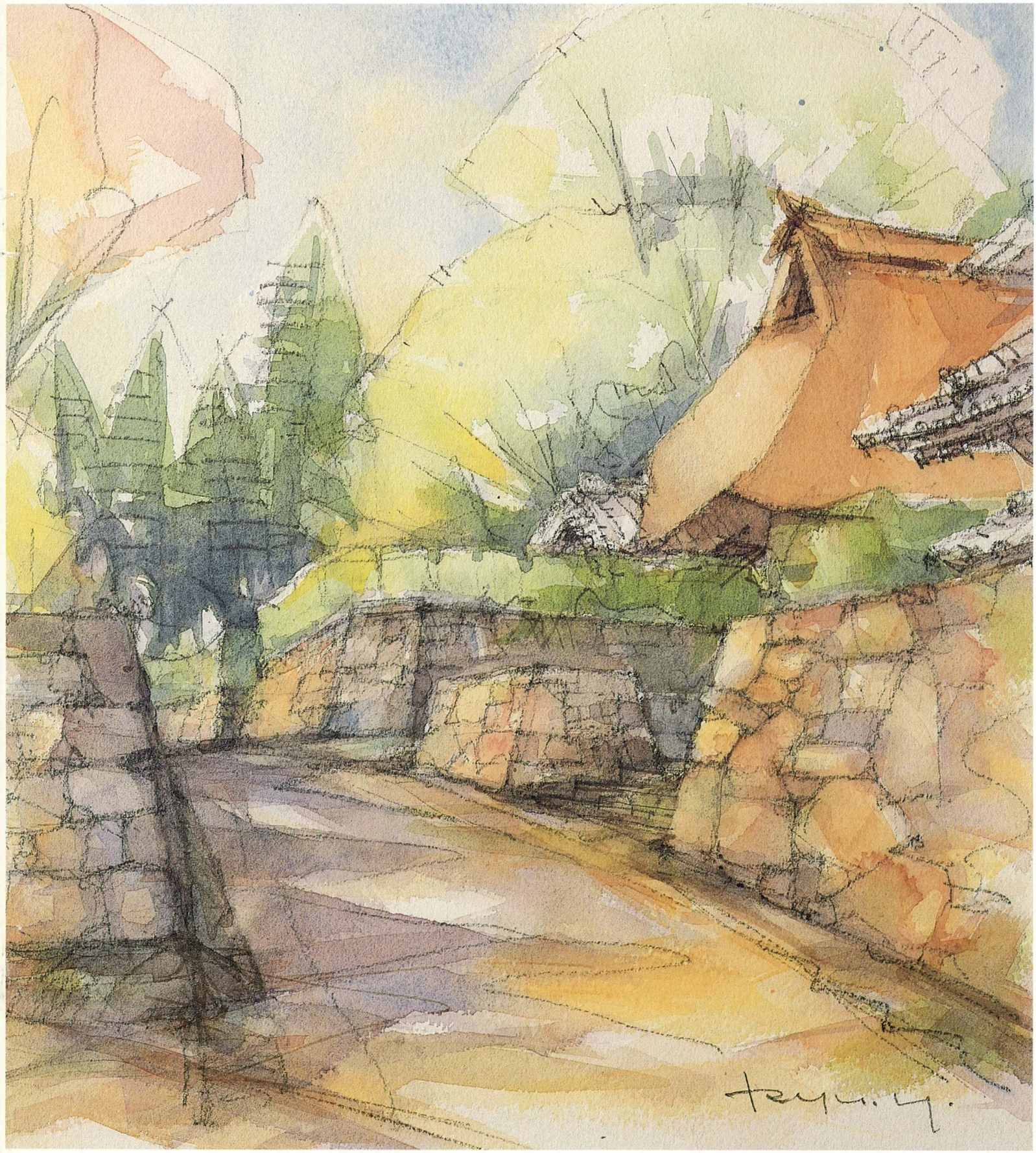
Vol. 68 通巻784号
昭和62年7月25日発行
毎月1回25日発行
昭和24年3月19日第3種郵便物認可

建築と社会

ARCHITECTURE AND SOCIETY

1987 7

特集●駅



日本建築協会

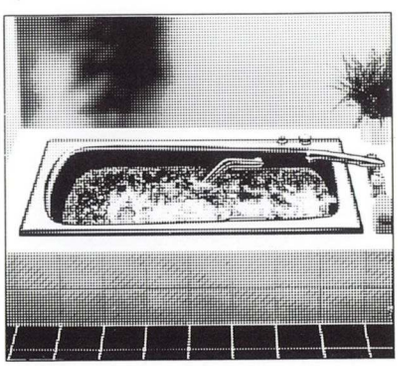


空気を吸わせると、お湯も生き返ってくれました。

お湯に吹き込む気泡が、気持ち良い、〈気泡浴槽〉

TOTO

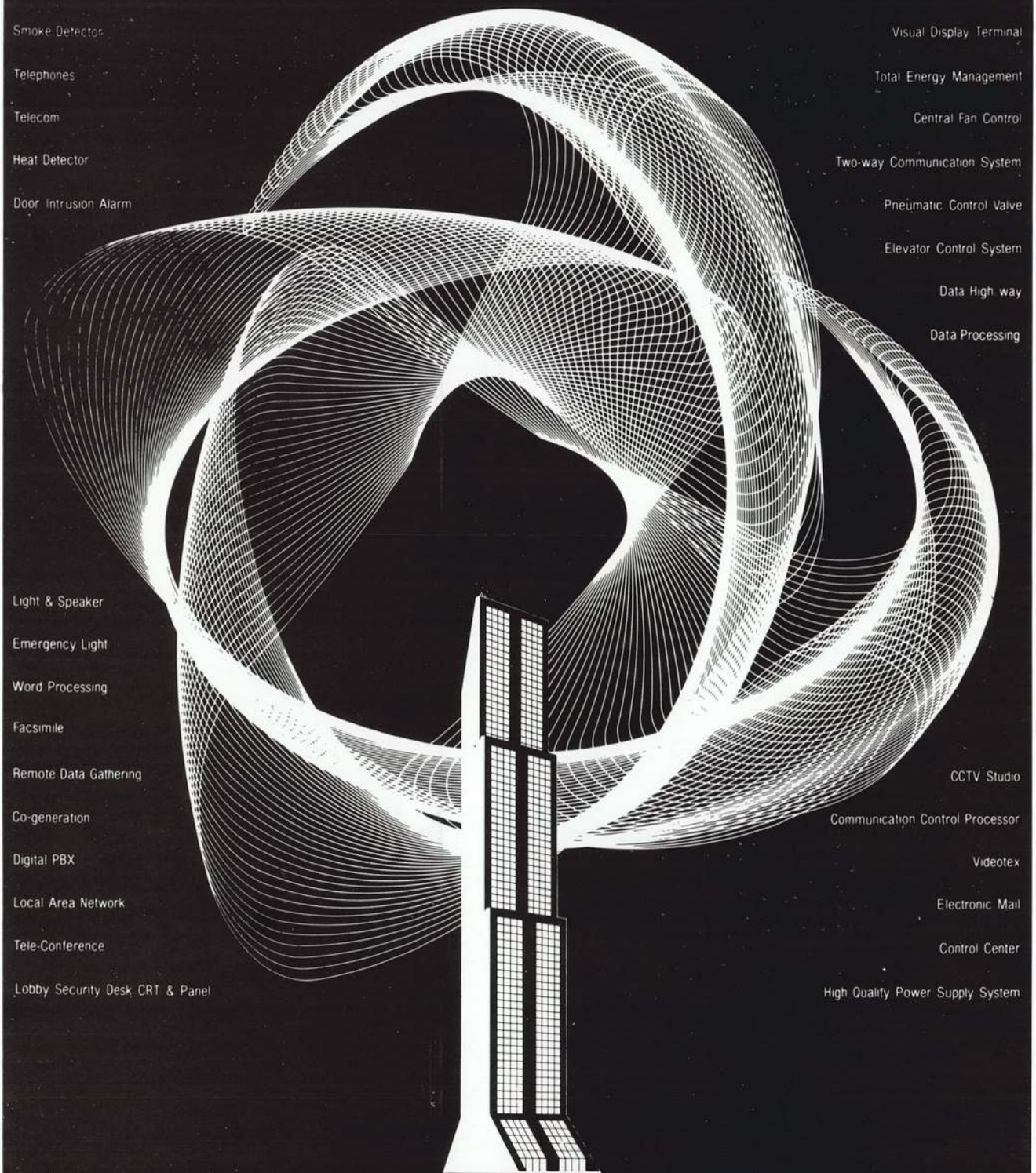
TOTOの気泡浴槽とはいったいなんだッ。それは空気を含んだお湯が心地よい、泡の出るお風呂のことだッ。この泡の働きはたいしたもので、洗っただけでは流せないような汚れや疲れを落としてしまえる。お湯も汚れてしまうけれど、TOTO独自のろ過機付きタイプなら大丈夫。お湯をきれいに保ちます。また、この泡は、背側と足側に噴出口があって、気泡の量も強さも角度も、簡単な操作で自由にコントロール。だから好き勝手に気泡浴が楽しめます。あまりの気持よさに、みんなの入浴時間が長くなってしまいそうだけれど、そこはTOTOに免じて、大目に見てください。



※カタログご希望の方は、〒530 大阪市北区曽根崎2-3-7 梅新第一生命ビル東館 東陶機器株までご請求ください。

知能と感性のオフィス・情報世紀への離陸!!

ビルをインテリジェント化する近電エトータル ファシリティ システム



エネルギー・情報・環境　設備総合エンジニアリング

近電工

近畿電氣工事株式會社

大阪市大淀区本庄東2丁目3番41号 〒531 ☎06-375-6000

TOTO おかげさまで70周年

クルマのつぎは、キッチンにして。　と、お願いされました。



（夫のベンツ）


（妻のザ・キッチン）

細かいところに、ドイツのさすが。TOTOのシステム・キッチン。ザ・キッチン。
西独ブルトハウプ社と技術提携。**TOTO** THE KITCHEN

東陶機器株式会社 大阪支社／〒530 大阪市北区曽根崎2-3-7 梅新第一生命ビル東館……☎06(364)1181

人間空間たいせつに。

INAX

タイル、住宅設備機器

株式会社INAX大阪支店

INAX大阪ショールーム
INAXギャラリー大阪

〒550 大阪市西区新町1丁目7-1　TEL(06)532-6081

地下鉄「四つ橋」駅下車、北出口より北へ徒歩3分

2001年のインテリアを考えます。



写真の製品は大型電動よこ型ブラインド「オートコン」梅田センタービル

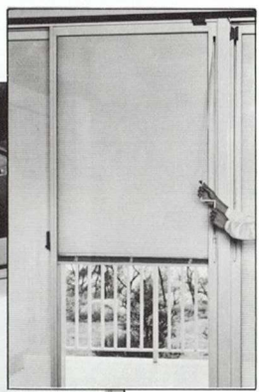
これからの５年は、今までの10年より短いかもしれません。オフィスにせよ住宅にせよ、今よりもっと急速に多様化し個性化していくはずです。だから、窓装飾と間仕切りの専門メーカー・ニチベイは、インテリアと人間の関係を、より先進的により創造的にとらえます。製品の素材、色彩、機能、そして快適性の未来。2001年を迎えた時ニチベイはきっと、さらに未来のインテリアを考えているはずです。

営業品目
よこ型・たて型ブラインド、ロールスクリーン
プリーツスクリーン、ローマンシェード、アコーディオンドア、フォールディングドア、スライディングウォール、パーティション　その他

Creation of Human Space
株式会社ニチベイ
本社 〒103 東京都中央区日本橋3-15-4 TEL.(03)272-2011(代)
大阪(営)〒550 大阪市西区靱本町1-6-10 TEL.(06)448-5441

タチカワブラインド





上げる・下げる・開ける・閉じるを、1本で。

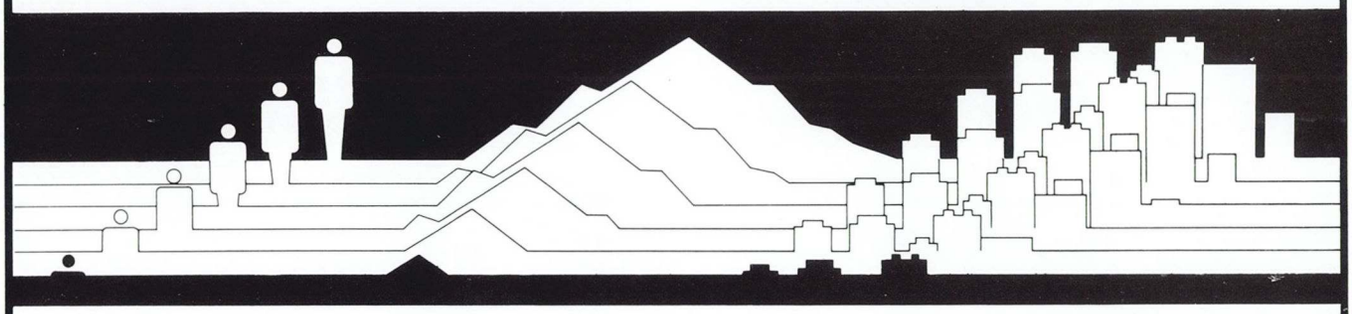
ご好評のブラインドサッシの昇降・角度操作が、
クランクハンドル1本でできる〈ブラインド昇降タイプ〉新登場。

ブラインド内蔵の引違い二重サッシ「ブラインドサッシ」に、昇降・角度の操作がクランクハンドル1本でできる「ブラインド昇降タイプ」が加わりました。従来のタイプはブラインドの昇降の際、室内側の障子をはずす必要がありましたが、このタイプはその手間を解消。また、ブラインドを操作しない時は、クランクハンドルをサッシの縦枠に収納できます。機能面では、遮光・採光・断音・断熱・気密・水密性と、ブラインドサッシ同様の高性能です。一般住宅からオフィス、店舗まで幅広くご活用いただけます。

ブラインド昇降タイプ
タチカワ
ブラインドサッシ
立川ブラインド工業株式会社
〒151 東京都渋谷区代々木4-30-7 ☎03(375)1111
タチカワ銀座ショールーム
〒104 東京都中央区銀座8-8-15 ☎03(571)1373

三機

人を育む。自然を守る。産業を支える。
三機のエンジニアリング技術は多彩。



人間活動のすべてを支える社会環境を一体化させ、そして調和させようとする三機の総合エンジニアリング技術。快適で機能的な都市生活、合理的で先進的な産業活動、そして、それをとりまく自然。——三機は、これらを単独ではなく、総合技術を通して見つめ、有機的なひとつの流れを実現しようとしています。多彩な技術を結び、新たなシステムを展開している三機。

建築設備
空調 衛生 電気

三機工業株式会社

本　店　東京・日比谷・三信ビル　TEL(502)6111
大阪支店　大阪・北浜・三井信託ビル　TEL(202)3071
支　店　名古屋・九州・北海道・中国・東北・北陸・四国

いま私たち人類が問われていること

それは澄んだ水
きれいな空気
そして美しい自然を創り守ること

衛生・空調・防災設備・設計施工

株式会社 西原衛生工業所大阪店

本　社　〒531 大阪市大淀区中津6丁目8番4号
☎ 大阪（06）458－3628

支店営業所　福岡・京都・天理・川西・神戸



●梅田センタービル

未来空間をヴィジュアライズする先進の光ガラス・サンルックス

SUNLUX

旭硝子株式会社

電気設備 ㊅ 設計施工

大正８年創業以来６０余年に
わたり豊かな経験とすぐれた
技術で社会に奉仕しています

豊かな生活環境の建設をめざす

朝陽電気株式会社

取締役会長　山本博三
取締役社長　山本貴士

本　　社　大阪市北区中之島３－２－４(朝日ビル)　電話　大阪 06(385)1361㈹
大阪営業所　電話　大阪06(385)1361　京都営業所　電話　京都075(311)1185㈹
東京営業所　電話　東京03(574)0665　福岡出張所　電話　福岡092(771)6168

インテリジェント時代に応える。



高層化、巨大化する都市。そしてインテリジェント機能を備えたビル群。
これらビルの中枢を担うエレベータにも、多様化、効率化に応える
高度な機能が求められています。
フジテックのエレベータには、このようなインテリジェント時代に相応しい
最新の技術が生かされています。

フジテック株式会社

本　　社　〒567 大阪府茨木市庄１－28－10 (0726)22－8151
東京支店　〒108 東京都港区高輪２－21－42 (03) 443－5231
大阪支店　〒550 大阪市西区靱本町1－7－4 (06) 441－8521
●札幌●仙台●名古屋●金沢●京都●神戸●広島●高松●福岡

シャッターゲート

浸水から地下の設備、そしてオフィスを守る。

シャッターと同様に、……
平常時は天井内に収納、安全装置付。
非常時に降下させ、浸水を防ぎます。
一人で、簡単に、短時間で設置ＯＫ。
深夜でも、突然の出水にも対処ＯＫ。
回転クサビで圧着、水密性を高める。

シャッターゲートの詳細および専用カタログは、弊社最寄りの営業所までお問い合わせください。





ビル開口部の防災総合メーカー

東洋シヤッター株式会社

大阪本社　大阪市東区両替町１－12　日本生命谷町ビル　☎06-943-6571
東京・横浜・仙台・静岡・名古屋・富山・京都・神戸・岡山・広島・高松・福岡・他主要都市

NS耐酸被覆鋼板



●京都府総合見本市会館(パルスプラザ)

製造元

松下電工株式会社

本社　〒571 大阪府門真市門真1048　☎(06)908－1131大代表

責任・施工

三晃金属工業株式会社

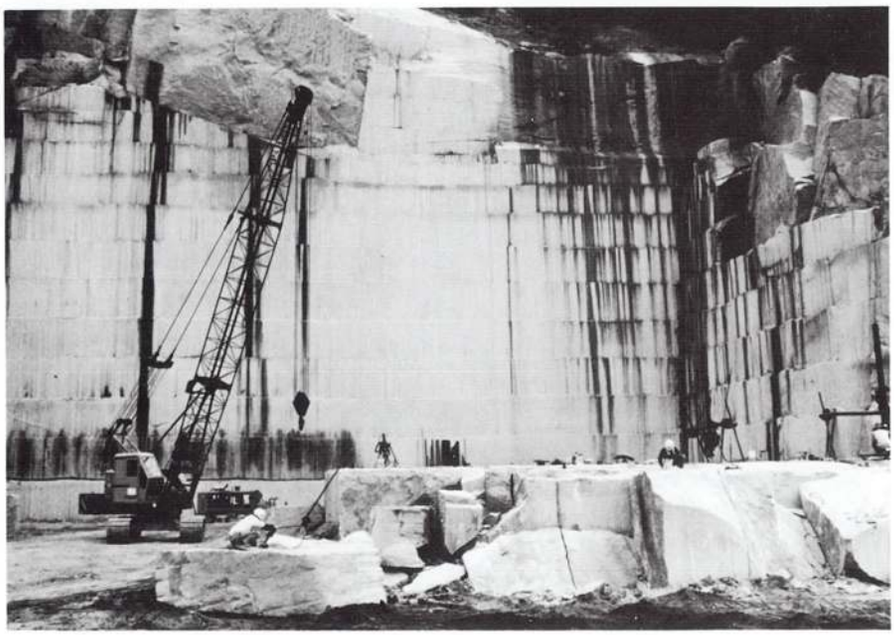
本社　〒104 東京都中央区京橋2－9－2 第1ぬり彦ビル　☎(03)567－3551大代表
大阪支店　〒541 大阪市東区大川町27 住生淀屋橋ビル　☎(06)231－8571大代表
長尺営業部/Mルーフ営業部/RT営業部/建材営業部/海外営業部

防水工事

フタバ工業株式会社

大阪府吹田市南金田1－10－18

☎06－385－2781



関ヶ原石材株式会社

本　　社　503-15　岐阜県不破郡関ヶ原町２６８２番地　TEL(05844)2-1234
営 業 所　１０４　東京都中央区明石町５番２７－２０１　TEL(03) 545-3921
　　５３４　大阪市都島区都島本通４丁目２０番２６号　TEL(06) 922-7661
　　４６４　名古屋市千種区高見２丁目１３番４号・TEL(052)761-5286

21世紀への文化を創造する

★舞台吊物機構設備
★舞台床客席床昇降設備
★音響設備etc

舞台機構設備

三精工事サービス株式会社

大阪支店　大阪市淀川区三津屋南３の７の３　電話(06)308-3571(代)
本　　社　東京都港区西新橋１の２の９　電話(03)806-7661(代)
札幌出張所　青森出張所　仙台出張所　東京支店　日暮里倉庫　矢向工場
茅ケ崎工組　名古屋出張所　大阪工場　広島出張所　九州出張所　沖縄駐在所

表紙デザイン●吉田隆一
（東畑建築事務所）

穴太衆積み石垣の町、坂本

叡山の豊かな緑を背景に、道に沿って連なる苔むした素朴な野面積み石垣の趣が、この町の町家と里坊の領域をうまくとけ合わせて、落ち着きのある景観を見せている。
絵は、広い参道を避けて、横小路を曲がった緩やかな狭い坂道の、里坊のある風景を描いた。

1917創刊
1987
68集

建築と社会 © ARCHITECTURE AND SOCIETY
CONTENTS
JOURNAL OF THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN

7 通巻784

特集●駅

SPECIAL FEATURES ON THE STATION

作品作風

梅田センタービル——設計施工：竹中工務店——10
佐賀県総合体育館——設計：日建設計、石橋建築事務所設計共同企業体——16
施工：松尾建設・中野建設・上龍建設共同企業体（大競技場・武道場）、豊栄建設・宮田建設共同企業体（小競技場）
京都府総合見本市会館—パルスプラザ——20
設計：京都府土木建築部営繕課、地域・計画建築研究所、東畑建築事務所共同企業体
施工：竹中・増田・橋詰・木津共同企業体（ホール棟）、豊国・藤井・後宮共同企業体（展示棟）
モードオリオン新本社ビル——総合監理：丸紅　設計：東畑建築事務所　施工：大成建設——24
信栄商会ビル——設計：昭和設計　施工：清水建設——26
ユニオン東京ビル——設計：日建設計　施工：竹中工務店——28
ミノルタカメラ厚木開発センター——設計：安井建築設計事務所　施工：大成建設——30
春田歯科——設計監理：徳岡昌克建築設計事務所　施工：徳岡工務店——32
Whityうめだ——設計：大建設計　施工：大林組——34

Gallery
COELACANTH HOUSE（設計監理：シーラカンス）／高瀬由康——38
スケッチブック
最近竣工した新建築9点(No.2044～2052)——40
作品作風探訪
家賃だけもろてもアカン、文化にキヨせんとあかん—梅田センタービル／加藤力——41
会員グループの頁
兵庫県——42
Being
百姓昭明協和万邦庵／吉田保夫——43
大先輩に聞く
坂静雄(京都大学名誉教授)／松井克俊——44
東海ルネサンス
名古屋の人・物・文化を考える／今光廣一 vs 中島一——46
東海の建築マップ
景観としての建築—豊橋市美術博物館．浜松市立中央図書館——49
書評
コンペ啓蒙の書—「建築設計競技」(近江榮)／太田隆信——50
新建材紹介コーナー
ラムコシート／岡山信——54
GBRCニュース
風洞実験用小型風向計の試作——57
建築の眼
おしゃべり椅子／加藤力．引っ越しの理由／高木登．——60
夢(その1)／谷山隆．水辺のネットフェンス／田中弘成．

会告
通常総会、定時評議員会決議報告．会員増強についてお願い．会員の受賞．大正11年、本会主催の箕面・桜ヶ丘住宅博をご存知ですか？第34回青年技術者特集号の応募規定．記念出版『昭和生まれ関西の建築家50』発行．関西建築家50展開催．寄附金の受領．記念事業・ヨーロッパ研修旅行参加者募集・ふたつの世紀末の建築を訪ねて．大阪府国際交派センター新築工事の見学．大阪府立病院新病院の見学．「建築紛争の実際—身を守るための12ヵ条」「構造コストと経済設計」発刊．昭和61年度決算報告．昭和61年度事業報告書．——61

特集
駅

総論
1．駅—その空間の意味——紙野　桂人——78

エッセイ
2．コミュニティ駅へ—鉄道側の論理を反省して——岩本　樹雄——82
1．麻生　芳伸〔旅情〕のポイントとピリオド——83
2．野村　董　駅　えき　エキ…エトセトラ——84
3．野口　英雄　オルセ—駅から歴史の旅へ——86
4．河野　浩行　降り立った13630駅＋αの中から——88

各論
駅舎の新しい展開
1．JR駅の新しい展開——宮本　剛克——90
2．JR駅とまちづくり—二条駅の「再開発」計画——清水　肇——92
3．大阪の地下鉄駅舎—機能とデザインの変遷——鳥井　豊秋——94
4．まちのシンボルとしての神戸地下鉄駅舎——森田　茂——96
5．移動空間としての京福電鉄駅舎——松浦行雄／小伊藤直哉——98
6．海外に新しい駅の展開を求めて—ヨーロッパの駅のデザイン——渋谷　康雄——99

アンケート
わが駅●自慢の駅——103
道後温泉駅・浜寺公園駅・西宮名塩駅・庭瀬駅・朝倉駅・西宮北口駅・武庫川駅・宇治山田駅・北鈴蘭台駅・本荘駅・四条大宮駅・北条町駅・新三田駅・門司港駅・萱島駅・水間駅

コラム
各駅停車・駅あれこれ——108

構造の頁149
施工材料の頁151
設備の頁151
月報
Information

スペースフレームのエコノミー分析／今井克彦・渡邊誠司——109
新ガラス繊維補強コンクリート(新GRC)—その2／秋浜繁幸・小川邦寛——111
透湿膜式加湿器／人見不二夫——112
日本建築協会月間の動き(昭和62年5月分)——113
町のおしゃれはサインから—尼崎市で景観ガイドライン〈サインデザイン編〉作成．「第5回京都美観風致賞」の作品募集—今年は世界歴史都市会議特別賞を新設—．第19回中部建築賞募集．その他——114

■特集予告
8月号／行政建築家の可能性
9月号／シティホテルの設備
10月号／建物と街並みの接点
11月号／第34回青年技術者ホテル物語(予定)

会　長　佐野正一
副会長　足立　孝・市川　宏
　　松村雄二・薬袋公明
編集委員会（昭和62年度）
編集理事
井上　滉　金井　弘次　金多　潔　小島　雄　高木　登　竹中　練一　若山　繁　長谷部朔郎　松村　慶三　渡辺　忠
編集委員長
長谷部朔郎
代上田　信也
編集委員
（特集小委員会）
■計画分科会
角島　健二　川前　勉　河端　秀直　小浦　久子　☆佐野　潤一　清水　肇　鈴木　克彦　田附　尚　★田中　直人　高田　佳子　☆平岡　博　北條　誠　吉村　英祐
■構造分科会
和泉　一義　高垣　利夫　谷　明勲　出口　節夫　外園　隆　★向井　久夫　安田　光世
■設備分科会
安倍　浩一　石河　信治　石野　幸義　遠藤　進　梶井　宏修　河津　隆之　★田中　脩　別所　清
■施工材料分科会
大木　利文　内山　修之　水口　譲　山下　仁志　★山田　敏捷　横井　征夫
■法令分科会
笠井　精二　中島富三郎　松田　洋三　南出　和延
（作品作風小委員会）
荒川　朱美　遠藤　公介　◇加藤　力　北澤　修一　小林　正純　○高瀬　由康　塘　伸夫　中山　隆　林　浩二　水川　尚彦　宮崎ひろ志
（投稿欄小委員会）
浅野　貴志　伊藤　郁郎　北村　恭一　柴田　厚　◇高田　光雄　塚口　明洋　堀畑　裕一　○増渕　昌利　宗行　昌弘　吉本　安邦
（広告企画小委員会）
池渕　俊男　筧　秀明　北村　潤　鳴田　聖二　下村　甫　中井　進　中川源治朗　原田　常介　広田　和正　○藤田　孝吉　山下　修司　○渡辺　忠

○ 副委員長　◇ 副委員長代行
★ 幹事　☆ 幹事代行

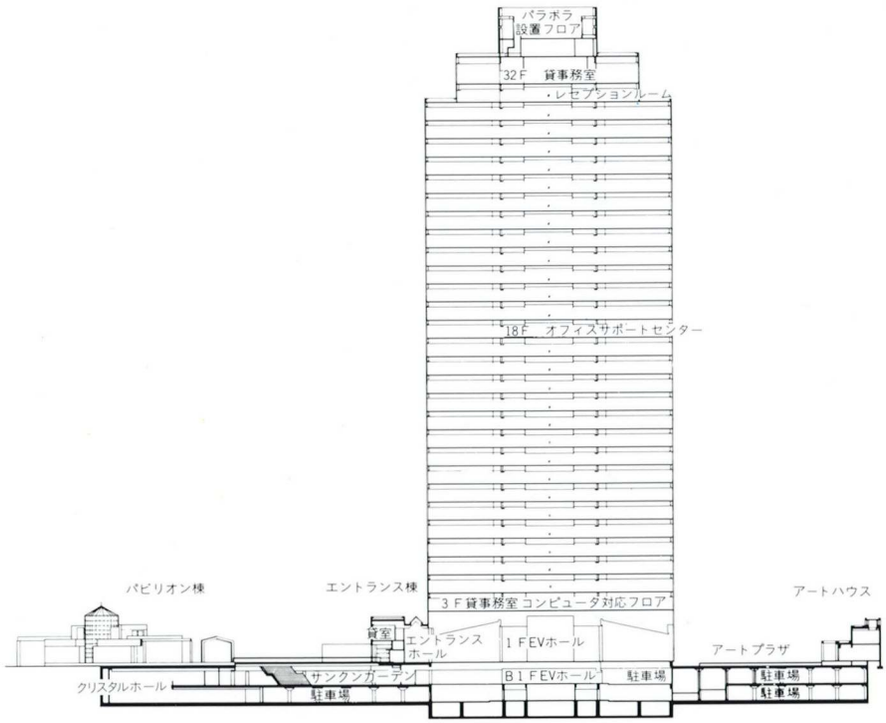
編集人　松井昭光
印刷　昭和62年7月20日
発行　昭和62年7月25日
発行人　吉田悦二
発行所　（社）日本建築協会
大阪市北区梅田1-1-3-2100
電　06—348—0635
振替口座 大阪1-39975
印刷所　日本写植印刷株式会社
電　06—606—1111(代)
大信印刷株式会社
電　06—451—7631
青葉印刷株式会社
電　06—351—5428(代)
定　価　950円（送料共）

梅田センタービル

設計施工　竹中工務店

所 在 地　大阪市北区中崎西２－４－12
敷地面積　11,606.72㎡
建築面積　3,766.46㎡（基準階2,109.87㎡）
延床面積　80,088.46㎡
構造規模　RC、S、B2、32F、PI
工　　期　昭和60年３月～昭和62年３月
最 寄 駅　ＪＲ大阪駅

撮　　影　納崎雄二、高橋裕嗣



断面図　1：1,500



サンクンガーデン


NEC
NEC
パソコン



アートハウス

計画地は、大阪駅の東約500m、いわゆる北梅田といわれる地区で、都市的には大阪の北の玄関口にあたるところです。敷地の南西面で、千里・新大阪方面から南下する大動脈ー新御堂筋と接しています。このため、道路の東側は、この敷地を含めて都市開発の遅れた地域でもあります。従って当プロジェクトは、優れたインテリジェントビルである前に、大阪の北のゲートとして新しい都市景観をかたちづくりながら、この地区の活性化に寄与し併せて緑豊かな景観と憩いの場を創出することが第一義のテーマとなりました。

敷地面積は11,607㎡ありますが、その約68%をオープンスペースとして都市に解放しています。私達はこのオープンスペースを建物とそれ以外の部分という把え方ではなく、むしろ外部空間に都市のアクティビティとアメニティを求めて建物の配置計画を進めました。そこで建物は、敷地いっぱいを利用して分散配置とし、意図されたいくつかの外部空間に領域とヒューマンスケールを与える役割を果たしています。また、施設構成も必ずしもオフィスに附属しなければならないものばかりではなく、「イベントホール」や「アートハウス」など、都市との積極的な関わりが深められるよう配慮しています。

敷地のほぼ中央部に「タワー棟」と「エントランス棟」を配置していますが、その南側に接して「サンクンガーデン」があります。地下1階に位置するこの空間は、この建築の中で最もアクティビティの高い外部のロビー空間です。広場としての自律性を高めるために、周囲は列柱のある回廊とし、パラソルのあるガーデンテラスや、ケヤキ、ハナミズキなどの木々を配置して居住性をも高めています。また、この広場に至る階段は、新御堂筋に接する「エントランスコート」から導かれて、広場の中央部に踊り出るように設置され、「エントランス棟」に架け渡されたブリッジとあいまって、広場に変化と動きを与えています。そしてさらに、この「サンクンガーデン」は、エンターテイメントハウスとしての「パビリオン棟」、地下のクリスタルホール、レストラン、駐車場と地上とを結ぶ「エレベータ棟」に囲われることによって、周囲の土木的スケールからも解放されることになります。

一方、「タワー棟」をはさんで、敷地の北側には「アートプラザ」と名づけられた広場があります。「タワー棟」、「アートハウス棟」、東海道線側の雑木林によって、ここでもやはり領域が形成されていて、屋外のエキジィビジョンスペースとして活用されます。モニュメントや彫刻などの設置が企画展示され、乾いた都会に文化の香りがほとばしることが期待されます。

さて、タワー棟ですが、この建築群の中で最もシンボリックな部分です。形態は分節化された5つの塔によって構成され、それは頂部でより一層強調されることになります。このことはフラットルーフの多い大阪の都市景観に多様性を喚起するものですが、幅48m高さ135mというプロポーションをシンボリックでスレンダーに見せるための配慮でもあります。そしてこの建築をガラスという最も現代を象徴するにふさわしい材料の一つでおおいつくすことになるわけですが、幸い私達はスパッタリング工法によって製造された熱線反射吸収ガラスを使用する機会に恵まれました。このガラスの特徴は、私達設計者が、その光学的三要素である反射率、吸収率、透過率の制御や、金属元素の選択によって色あいについてもコントロールすることができることにありますので、ガラス面の平滑度は高く総ガラス張りの建築材料としては最適なものと言うことができます。そしてこのガラスが、この建築のために特別に開発された精密機器のような映像調整機能を持つカーテンウォールに嵌め込まれますと、11,000枚にものぼるガラスは、あたかも1枚の皮膜になります。このようにして5つの塔は、精巧な技術に支えられて日本的とも思える詩情を湛えながら現代という表象を映しはじめます。

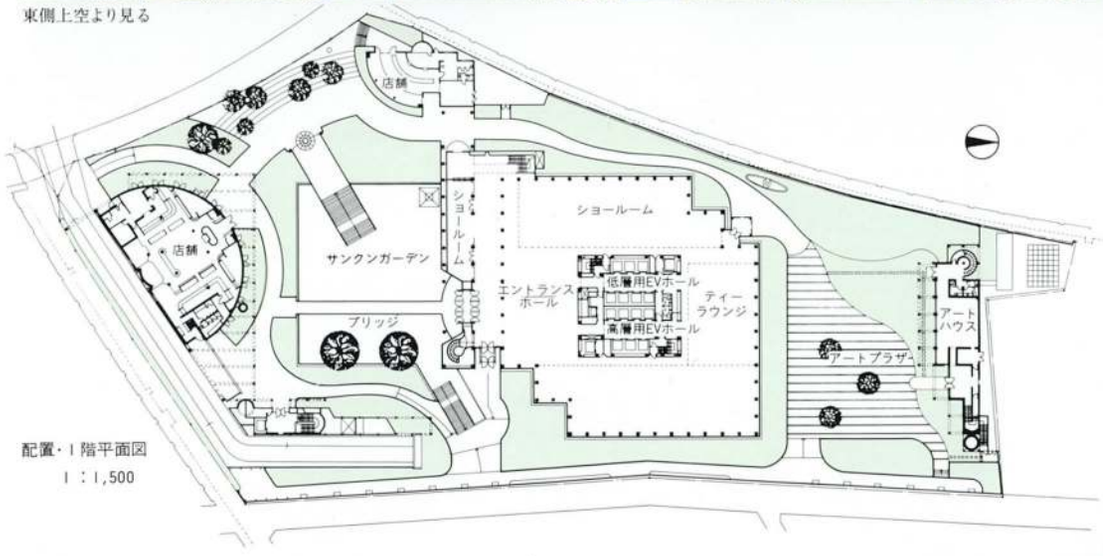
（苫名　正／竹中工務店）



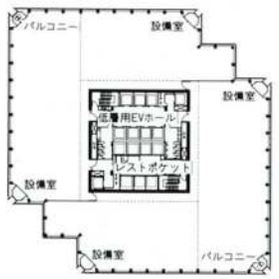
淀川堤防より遠望



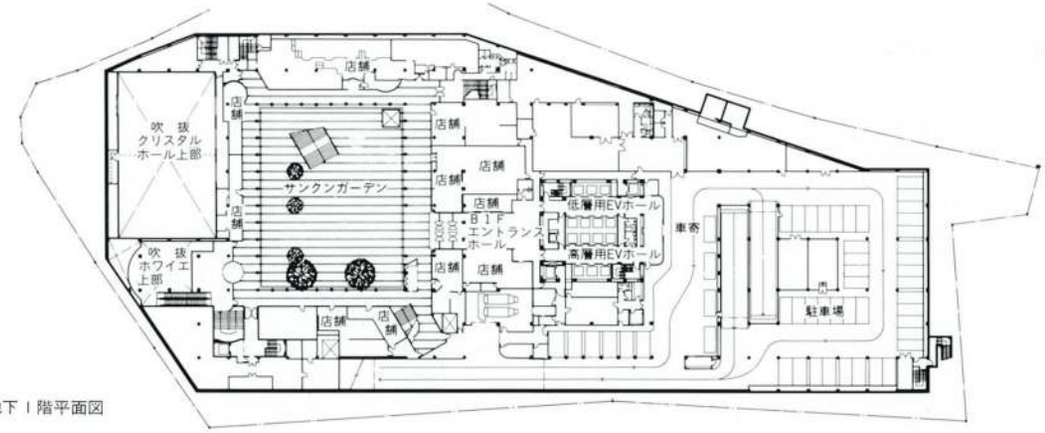
東側上空より見る



配置・1階平面図
1：1,500



基準階平面図

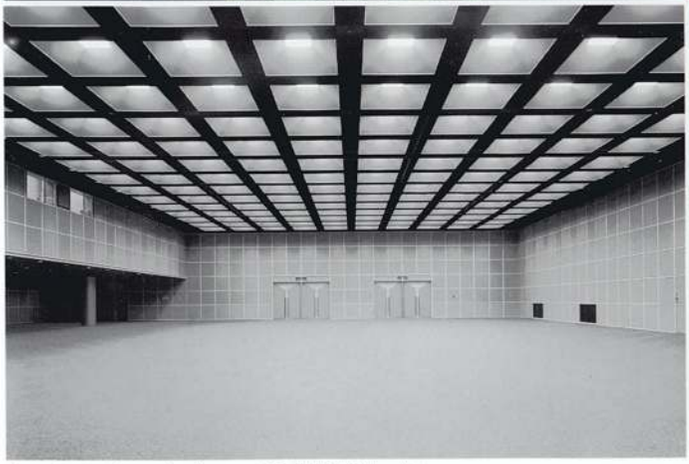


地下1階平面図



エントランスホール





上　クリスタルホールホワイエ　　下　クリスタルホール



エレベーターホール

佐賀県総合体育館

設　計　日建設計・石橋建築事務所設計共同企業体
施　工　松尾建設・中野建設・上龍建設共同企業体(大競技場・武道場)
　　豊栄建設・宮田建設共同企業体(小競技場)

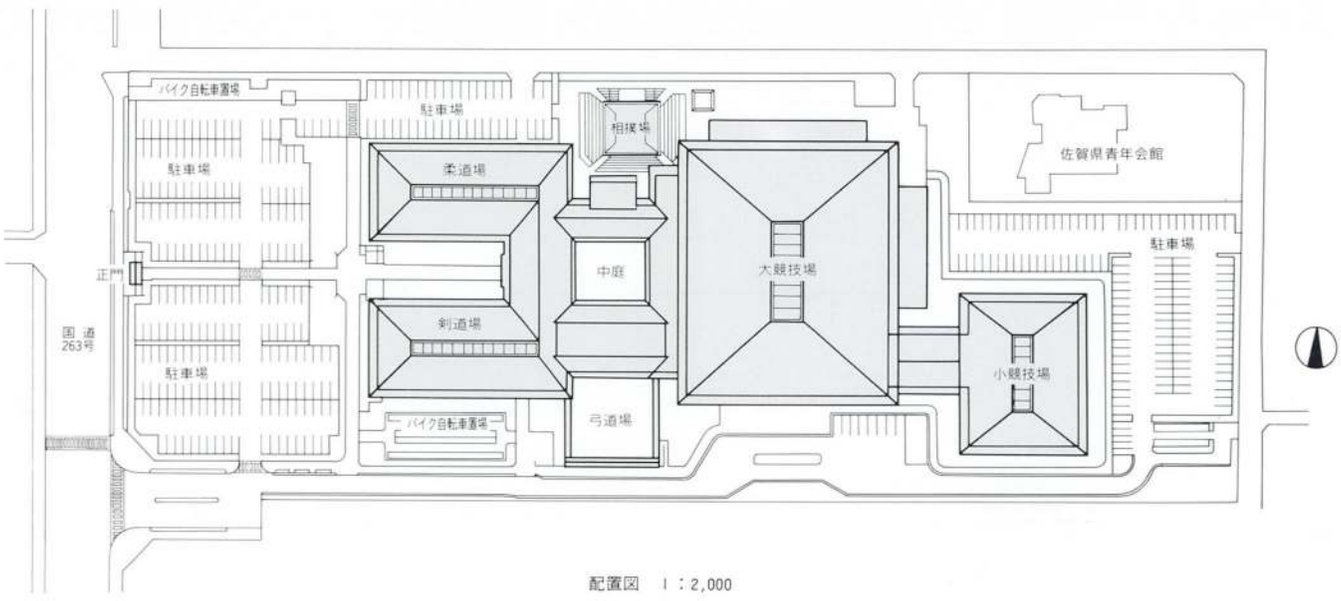
企　画　佐賀県
所在地　佐賀市日の出1－21－15
敷地面積　34,427.11㎡
建築面積　11,186.71㎡
延床面積　11,499.70㎡
構造規模　RC(一部S)、2F
工　期　昭和60年3月～昭和61年7月
最寄駅　JR長崎本線 佐賀駅

撮　影　河野博之、SS東京



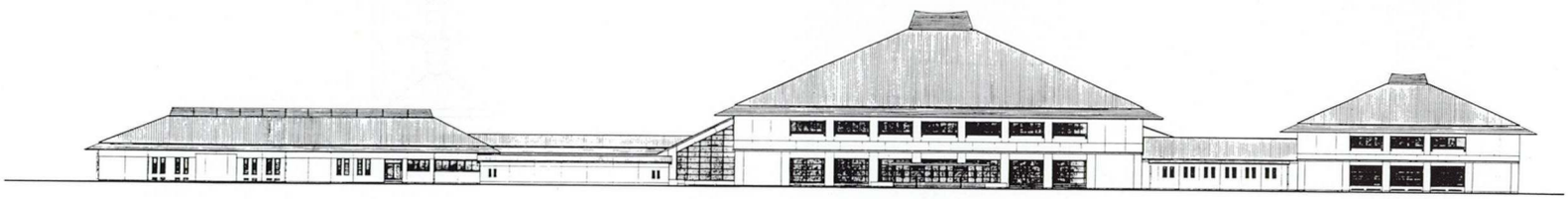
西側上空より見る

屋根：大型陶器瓦葺、軒先：銅板葺、外壁：45二丁磁器タイル貼



配置図　1：2,000

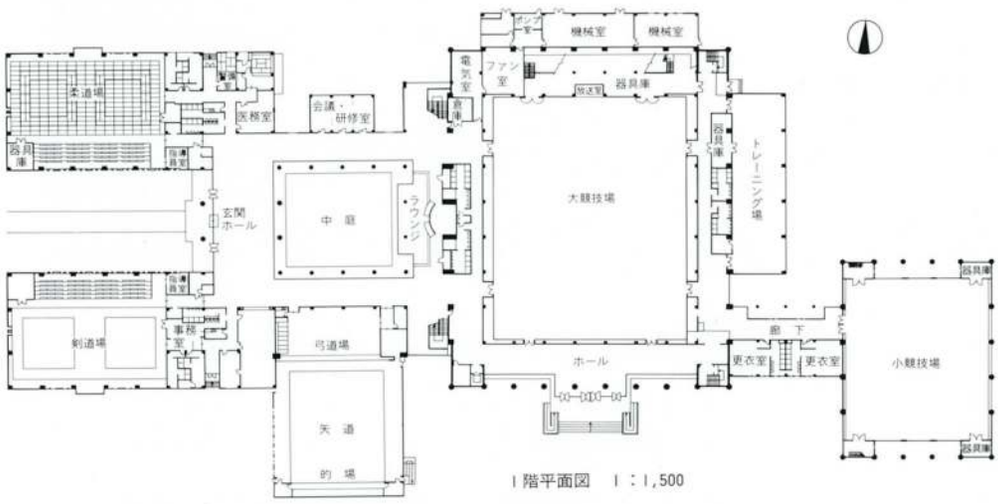
正門より正面(西面)外観を見る



南立面図　1：1,000



東側より遠望



1階平面図　1：1,500



大競技場

やきものの里として広く海外までその名を知られる佐賀県は、古くから大陸交通の拠点として栄え、独特の歴史と風土をかたちづくってきました。そして、その歴史を今に伝える史跡や文化財の豊富な地であることは、広く知られるところです。敷地は国鉄佐賀駅からほど遠くない北部に位置し、隣接する県総合運動場や予定されている市総合文化会館などとともに、体育・文化ゾーンの中心を形成するものと考えられ、佐賀県における体育スポーツの殿堂として、親しみやすさとともに風格ある建物となるよう心がけました。当施設は、本格的武道場とともに、大・小体育館を合わせもつ総合体育館です。

日本古来から伝承されている武道は、スポーツとしての技と体力のみでなく、精神性をも重要な基本理念とする日本特有のスポーツです。私達は、この施設を、重要な部分をしめる武道館としてとらえ、それにふさわしい建築物にすべきと考え、日本古来の低層の瓦屋根の構成により、各種機能の建物を相互連結し、全体として統一・調和のとれたものとなるよう心がけました。そして、それは敷地周辺の住居地域に対し、日照や通風についての配慮や、威圧感をできるだけ少なく、親しみのある外観となることも考えられたからです。

佐賀県には全国的にも珍しい『くど造り』、『じょうご谷』とよばれる家並が佐賀平野を中心に今なお美しい集落景観をつくっています。この屋根構成を本計画の形態的イメージの出発点としました。また、敷地内には樹齢１００年以上と思われる樟の大木が１０数本も現存しており、佐賀県の県木でもあるこの樟の大木をぜひ残したいと考え、建物の配置計画上での重要なポイントとして考えました。この瓦屋根の構成と、樟の大木の保存が、この総合体育館の計画の上での大きなテーマでありました。

（野田泰弘／日建設計）



南西側より朝陽に輝く瓦屋根を見る



回廊より中庭を見る

京都府総合見本市会館—パルスプラザ—

設　計　京都府土木建築部営繕課
　　地域計画建築研究所・東畑建築事務所共同企業体
施　工　竹中・増田・橋詰・木津共同企業体(ホール棟)
　　豊国・藤井・後宮共同企業体(展示棟)

所 在 地　京都市伏見区中島堀端町21
敷地面積　19,937㎡
建築面積　9,475㎡
延床面積　21,409㎡
構造規模　SRC、S、B1、5F
工　　期　昭和60年11月～昭和62年2月
撮　　影　神谷　潔、SS大阪

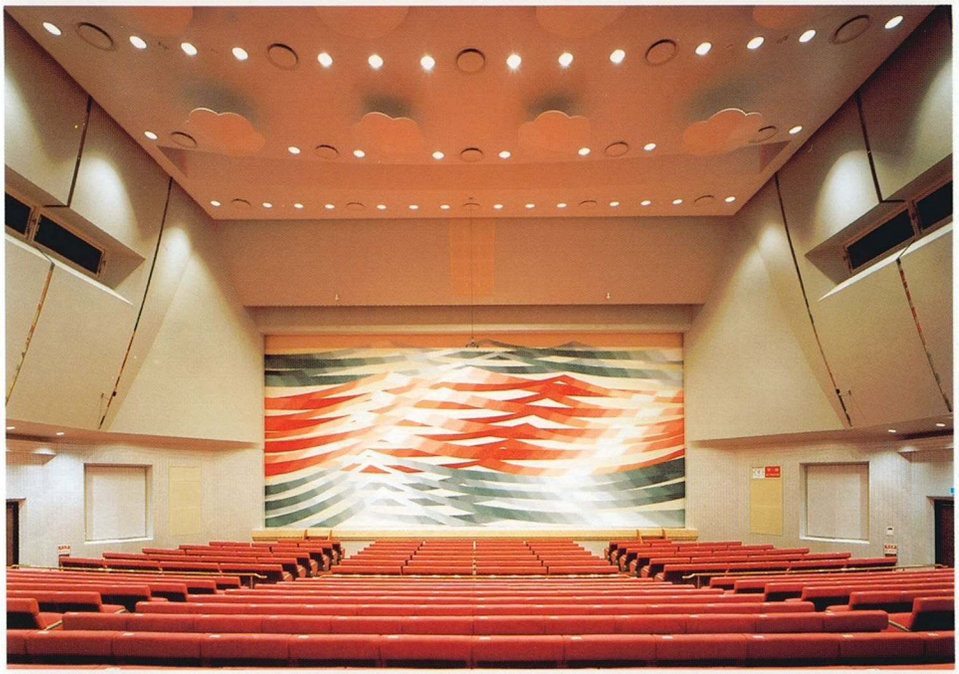



東面外観


北東上空より見る









上　ラウンジ　　中　ホール　　下　2Fレストラン

京都府総合見本市会館－パルスプラザーは、京都都心部と府南部の学術研究都市等の新都市をつなぐ、中核拠点のひとつとして、名神高速道路『京都南インター』近くに建設された。

私達がこの事業に関わりだした当時、『京都の新世紀を拓く産業・文化の新拠点』に相応しい見本市会館とはどうあるべきか、『総合見本市会館（仮称）建設協議会』で検討されているところであった。

私達もこの協議会に参画し、南ヨーロッパや国内の先進事例調査に取り組み『京都府の産業活性化に資する展示・技術・情報交流機能をもち国際化に対応できる、総合的な産業振興機能の中核的拠点づくり』を基本理念とする『総合見本市会館（仮称）建設基本構想』を取りまとめることとなった。

それから4年目の今春、京都府総合見本市会館－パルスプラザーは開館を迎え、当初の予想を越える利用者の申し込みもあり、快調なスタートを切ったところである。

最近、私達の業務は、この『京都府総合見本市会館』のケースに見られるように、官庁諸施設においても、施設整備の基本条件づくりから関わる例も多く、そこで求められる私達の役割もデザイナー、エンジニアとして以上にプランナー、コーディネーターとしての能力を問われるこの頃である。

益々、高度化、多様化する社会情勢の中にあって、私達が担うべき役割もまた幅広いものとなるであろう。この『京都府総合見本市会館』が地域社会や府民に今後どのように受け入れられ、評価されるか、冷静に見つめながら、今後の課題としたい。

（北條　誠／地域計画・建築研究所）

近年、見本市会場は、単に物品展示、商談の場のみではなく、物、人、情報、文化の多面的な交流の拠点としての役割を担う、コミュニティー施設としての性格が強まってきた。要となる展示スペースも、展示物のハイテク化に伴い、展示用各種エネルギーの供給処理システムのきめ細かな組み立てと、物品の展示以外に、多人数の集会、イベント等、多目的に使用出来る質の高い空間構成が必要になっている。

これらの要求に応える新施設の設計時点に参画して、国内外事例の実地調査と、同時期に先行・進行中であった大阪国際見本市新会場「インテックス大阪」での設計監理の経験を基に、計画ソフト面からの様々な要求に応え、ハード面で齟齬無きよう万全を期したものである。

施設は、建物と屋外展示、各種イベント用空間の広場による構成。京都南部の軸線、幅50mの新油小路通りに連続する広場、広場に面するプロムナード、外壁に沿ったエスカレーター等により、内外空間の連続性と動線の明快な区分を計り、多人数多目的利用者へのスムーズな対応が行えるものとした。

内部は、無柱空間による延7,700㎡、全館冷暖房付の大中小3展示場、商談室、国際会議用設備を持つ600席の多目的ホール、ラウンジ、会議・研修室、産業情報センター、レストラン等から成り、多様な見本市の形態と機能要求に対応している。

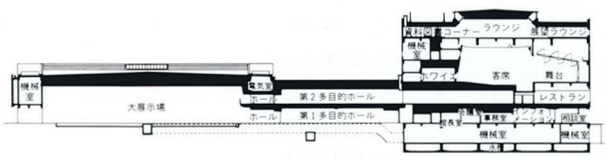
（岡田聿之／東畑建築事務所）



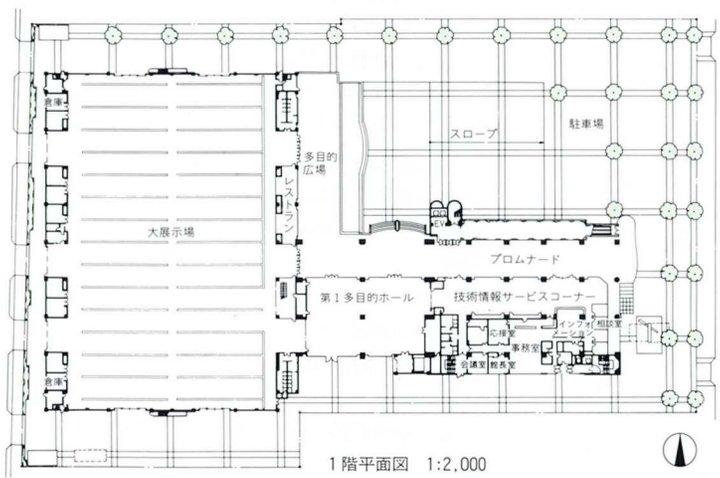
大展示場

給排水衛生ガス　烏丸・西岡・マツダ共同企業体
空　調　三晃・日本管工業共同企業体
昇降機　フジテック

舞台機構　三精工事サービス
舞台照明　松村電機
舞台音響　日本無線



展示棟　　断面図　　ホール棟



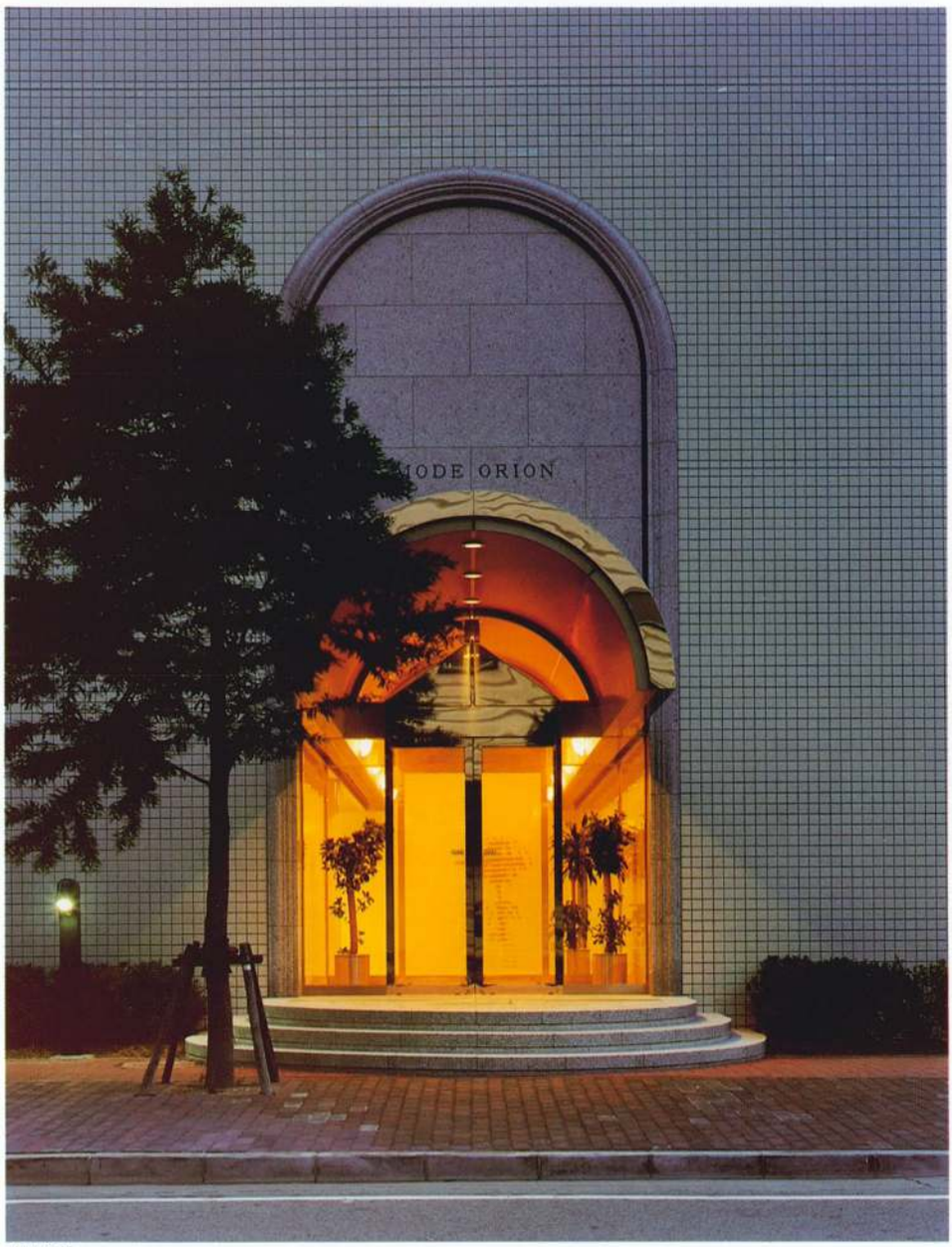
１階平面図　1:2,000



技術情報サービスコーナー

モードオリオン新本社ビル

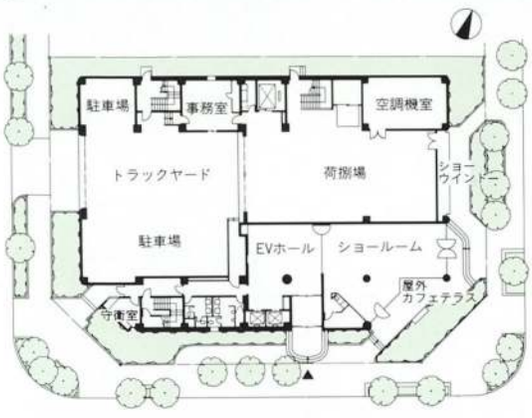
総合監理　丸紅
設　　計　東畑建築事務所
施　　工　大成建設



玄関夕景

慶応三年以来〝神戸は今開港120年〟。開港以来、日本の代表的な国際貿易港として、重要な役割を果たして来ました。
ポートアイランドは、21世紀の海上文化都市、国際都市として「人間都市神戸」のまちづくりの根幹をなし、ポートアイランド・インターナショナルスクエア計画に基づいた、経済、情報、文化の拠点として、新鮮で独創的な都市環境を形成しつつあります。
モードオリオン新本社ビルはファッションタウンと、エキゾチックタウンの接する所に位置し、神戸のファッション文化の発展に参画し、熱く燃えています。
敷地の東側は、ファッションタウンの中心街区（ファッションアベニュー）があり、道幅14mの歩行者優先の緑美しく、豊かな街並です。この都市景観に調和し、シルキーでアダルトな感覚を表現し、全体的に抱擁力のある環境作りを意図しました。
建物構成は、高層部と低層部の二つからなり、高層部を西側に後退させ、他の建物にスカイラインを統一し、アベニューに対する圧迫感及び街区の景観バランスを考え、〝なじみ〟の良い街並になればと考えました。低層部の屋上は庭園を設け、緑化により〝見おろし〟の景観に対し配慮し、1階はアベニュー側にテラスを囲みショールーム、ショーウインドーを配し、また流通、駐車機能は西側（22m道路）より処理し、人と車を分離すると共に駐車施設を建物内で処理することにより、安全で楽しく憩い、かたらい、ショッピングする人々の姿を想像しつつ設計しました。
外壁は磁器タイル（100角）を磨きシルキーなボディを表現し、高層部のカーテンウォールは、ミラー硝子にファッションタウンの緑豊かな街並と青い空を映し出し、光と影の中に〝やさしさ〟〝さわやかさ〟を表現し、ポートアイランドのファッションタウンにふさわしい施設となることを目指しました。
総合監理丸紅株式会社の御指導とセンスフルな大成建設の仲間とともに、完成出来た事を心より感謝します。

（松本博俊／東畑建築事務所）



配置・1階平面図　1：800



基準階平面図

所在地　神戸市中央区港島中町6－4－2
敷地面積　1,442.71㎡
建築面積　1,005.61㎡
延床面積　4,726.89㎡
構造規模　SRC、8F、PI
工　　期　昭和61年3月～昭和62年3月
最寄駅　ポートライナー線南公園駅

撮　　影　高橋裕嗣、SS大阪



南東全景



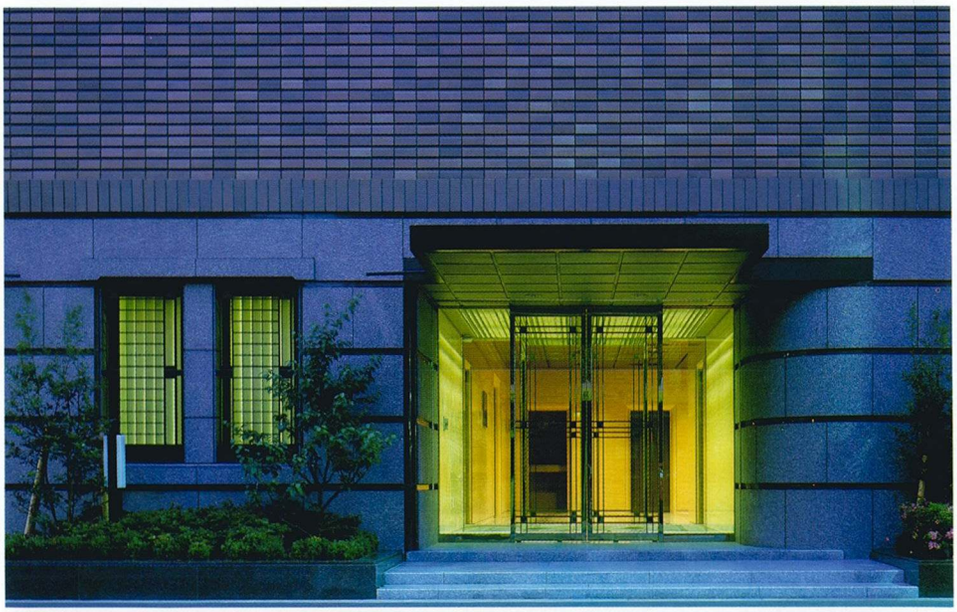
外観夕景



ショールーム

信栄商会ビル

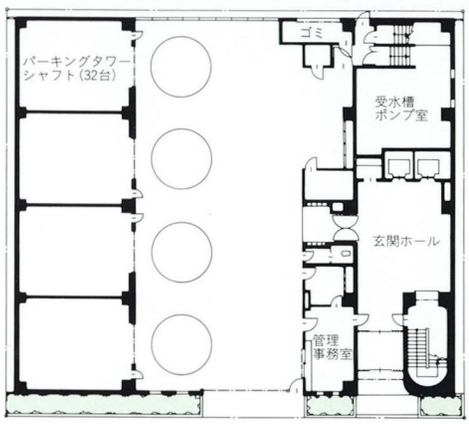
設　計　昭和設計
施　工　清水建設



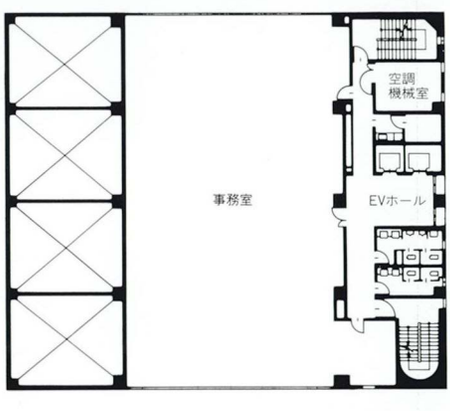
玄関外観



南側外観



1階平面図　1：500



基準階平面図

当ビルは、鋼材等金属類輸入商社である「信栄商会」の本社ビルとして計画・建設された。いわゆる〈鉄屋さん〉のイメージを脱却し、公園（新町北公園）に面した緑多い立地条件を生かしたデザイン、周辺地域で不足がちな駐車施設を補う最大限の駐車場設備の設置等、企業イメージを向上させ、地域に定着した建築をめざした。建築主の信頼、清水建設をはじめとした施工関係者の熱意・努力にはぐくまれ、新緑の中、竣工の日をむかえることができた。

●1階は玄関ホール・駐車場、2～7階はテナント用事務室、8階は本社事務室とし、平面的には、東・西両サイドを各々立体駐車場用シャフト(128台)・コアゾーン、中央部を約15メートルの無柱事務室空間としている。

●テナント事務室は間仕切基本モデュールとして長辺方向を4、短辺方向を2又は3に分割可能な照明・空調機器配置とすると共に、オフィスレイアウトにフレキシブルな対応が可能な床下配線システムを採用している。

●外壁面はその大部分が土色の磁器質タイルによって構成されているが、一部赤花崗石、耐候性銅材パネルを用い、公園の緑と調和した、シンプルななかにも単調に落ちいらない外観デザインをめざしている。

工事の進行につれて、春の桜を始め、公園の四季折々を実感することができた。ハーフミラーガラスに、末長く四季が写り続けることを願っている。

（中山　隆／昭和設計）

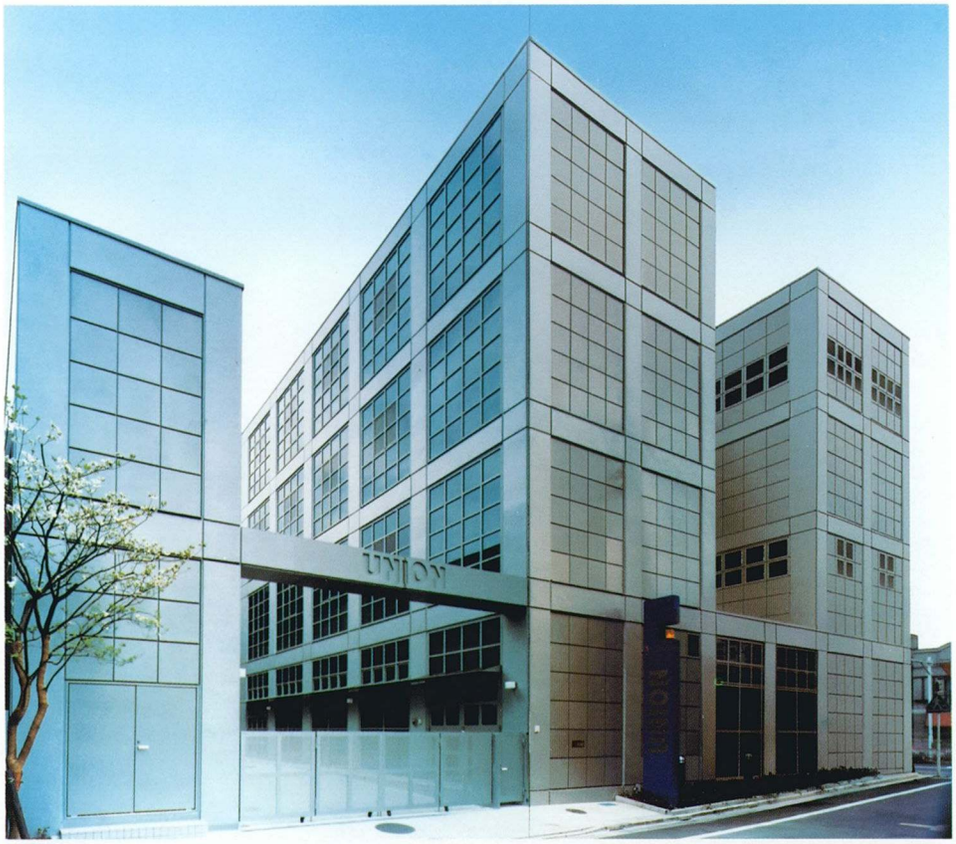
所 在 地　大阪市西区新町1－2
敷地面積　832.11㎡
建築面積　762.75㎡
延床面積　6,211.33㎡
構造規模　SRC(一部S)、8F
工　　期　昭和61年2月～昭和62年4月
最 寄 駅　地下鉄四ッ橋線四ッ橋駅

撮　　影　三宅信吾


信栄商会

ユニオン東京ビル

設　計　日建設計・大阪
施　工　竹中工務店



南東側外観

この建物は、ドアーハンドルなど建築金物で圧倒的なシェアをもつユニオンが、東京の拠点として建設した。当敷地はまだ下町の情緒が残る江東区の清洲橋通りに面しているが、非常に交通量の多い喧騒な場所でもある。

このビルは小規模ではあるが、事務所、ショールーム、倉庫、寮などの複合機能を持った建物であるため、外観は、それぞれの機能を隠したできるだけ抽象的なものにした。即ち、柱、梁の格子状のフレームに加え、熱線反射ガラス及びアルミパネルが主たる構成要素となっている。尚、建物の一部を切り取ったかたちでセットバックさせることにより、全体に変化をもたせると共に、屋上庭園として緑と光が全ての部屋に行き渡るよう配慮した。

（水嶋勇郎／日建設計・大阪）

所　在　地　東京都江東区白河２－９－５
敷地面積　804.70㎡
建築面積　558.65㎡
延床面積　1,929.14㎡
構造規模　RC、B１、４F
工　　期　昭和61年３月～昭和62年３月
最　寄　駅　地下鉄東西線門前仲町駅

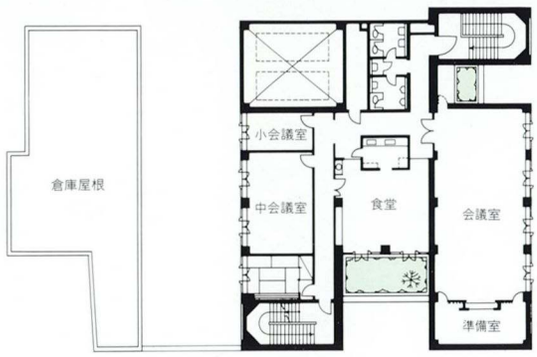

玄関ホール　ディスプレイ及び家具　中村隆一／京都市立芸術大学


ショールーム


会議室



配置・1階平面図　1:500



3階平面図



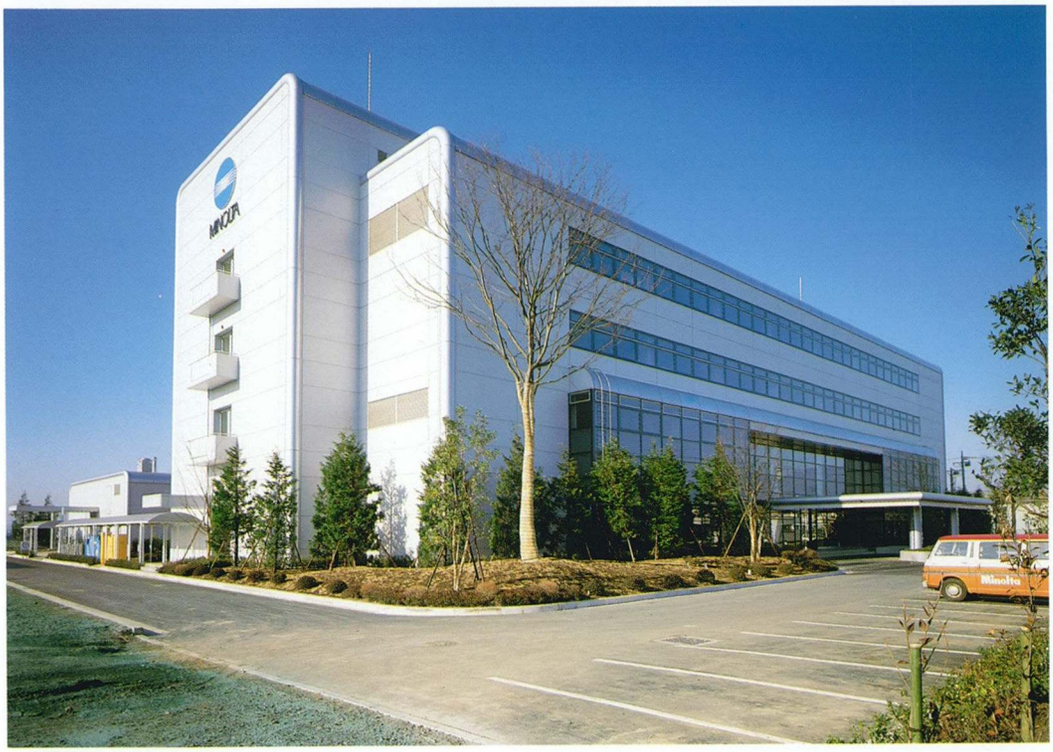
北側外観

ミノルタカメラ厚木開発センター

設　計　安井建築設計事務所
施　工　大成建設



空撮



北東側外観

厚木開発センターは、ミノルタカメラの大きな柱であるカメラとＯＡ関連機器のうち、後者の研究開発を目的に各地に分散している機能を集約し統合をはかり、市場および情報、研究の中心である関東地区に建設されたものである。

敷地の位置する厚木市は、東京から１時間程度という交通の利便さと自然環境に恵まれた立地条件を求めて、近年大学や研究施設などの知識集約型産業の進出が著しく、情報交換・共同研究に適した頭脳集積都市として成熟しつつある。

建物の計画にあたっては、オプト・エレクトロニクス企業の開発センターにふさわしく、光をテーマにした特徴あるデザインとし、内部空間は高度情報化社会に向かって研究内容が将来変化していくことに十分対応できるようなフレキシビリティをもった平面計画を基本とした。

土地利用のうえでは、周囲に植樹帯をめぐらし、周辺地区の環境向上に役立つとともに将来の増設が自由に計画できるよう配慮した。

外観については、刻々と変化する光の表情をとらえることを意図し、流れる曲線とフラットな壁面とが光の中で美しく調和することをめざした。コーナーには半円形のアルミチューブをめぐらし、カーテンウォールとパラペットの上端にはカーブしたアルミパネルを取りつけている。色彩についてもメタリックシルバーとグレー色を基調としてハイテックでメカニカルなイメージを表現した。

各階の構成は、一階に接客部分と管理諸室、二階に共同研究室、三・四階には北側に居室、南側に実験室を配し、層別の明確なゾーニングを行った。各々の階は、大部屋形式により視覚的コミュニケーションをはかるとともに、研究開発テーマにフレキシブルに対応できる平面計画とした。また玄関ホールは二層吹抜けとなっており、ホールから続く中庭、テラスに面した打ち合わせコーナーとともに閉鎖的になりがちな空間を明るく親しみやすいものとしている。

（松下兼昭／安井建築設計事務所）

所 在 地　神奈川県厚木市上落合字柳添231－1
敷地面積　34,222.44㎡
建築面積　4,078.02㎡
延床面積　10,597.39㎡
構造規模　SRC、S、4F
工　　期　昭和61年3月～昭和62年3月
最 寄 駅　小田急線愛甲石田駅

撮　　影　三輪晃久



南側外観



中庭より見る



エントランスホール

春田歯科医院

設計監理　徳岡昌克建築設計事務所
施　　工　徳岡工務店

所 在 地　大阪市東淀川区豊新4－26－5
敷地面積　215.25㎡
建築面積　129.10㎡
延床面積　481.14㎡
構造規模　RC、5F
工　　期　昭和60年10月～昭和61年7月
最 寄 駅　阪急電鉄京都線 上新庄駅

撮　　影　島　修一

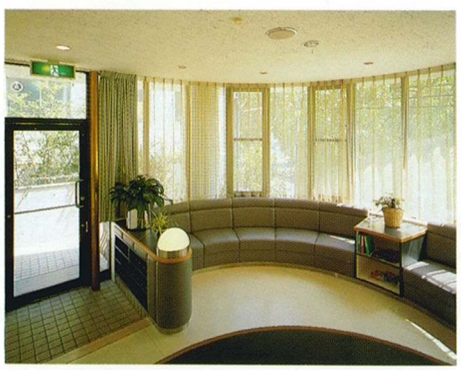


正面外観

春田歯科医院は、これまで市内の歯科医院に勤務していた建築主が自ら歯科医院を開業するに当って近くで眼科医を営む親御さんと共に住まうことができるようにと、住み慣れた住宅を建て替えたものである。

敷地は阪急京都線上新庄駅の南西東海道新幹線の高架をくぐり区画整理の終った美しいナンキンハゼの並木道に沿った一角である。このあたりは近年マンションや店舗の建設が盛んで、若々しい息吹きを感じる街である。

計画に当っては、歯科医院につきまとう「痛み」や「不安」といった嫌なイメージをできるだけ取り払い開放的で入りやすい建物とすることを心掛けた。また街路空間の質的向上を図るため街並み形成に寄与する建築を目指した。



待合室▶

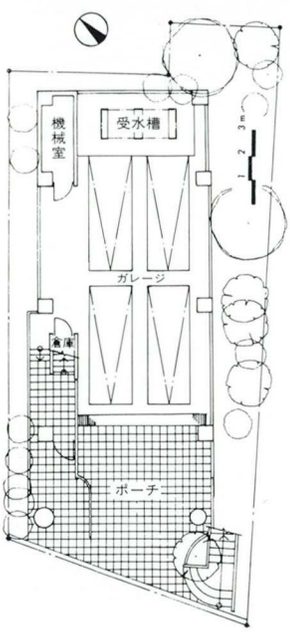
具体的には、1階ガレージ、2階医院、3～5階住宅というフロア別機能区分を骨格とし、医院へのアプローチを容易にするため、1階の床レベルを下げて1、2階と前面道路の関係をスキップフロア的に扱っている。

結果外部からは中2階のように突き出した待合室内部の雰囲気が感じとれ、一方待合室内部からは大きく開かれた開口部を通して街路風景が広がり、待時間の不安や退屈さをやわらげるのに役立っている。また診察室も前面をガラス面で開放しブラインドを通して庭に植えられたシラカシやヤマモミジ等の樹々が顔を覗かせるよう配慮している。

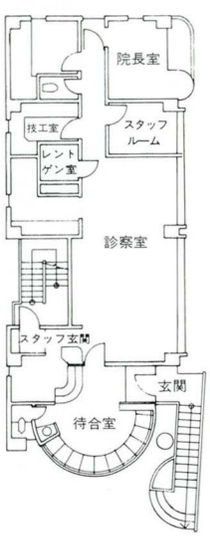
意匠面では敷地が前面道路に対し角度をもって接しているためファサードを円弧状の曲面で構成することによって広い視野からの正面性を得るとともに、前面のナンキンハゼに呼応する優しい雰囲気の建物とすることが意図されている。

このように街並みを考慮して生まれた形態が周辺の風景に溶け込み道往く人々に親しまれるものとなることを期待している。

（佐々木郁夫／徳岡昌克建築設計事務所）



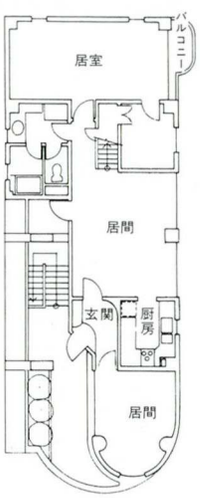
配置・1階平面図　1：300



2階平面図



3階平面図



4階平面図


春田歯科医院
歯科医師 春田錦司
診療時間
平日 9:00～13:00 15:00～19:00
土曜 9:00～13:00
日曜・祝祭日 休診
各種保健取扱い

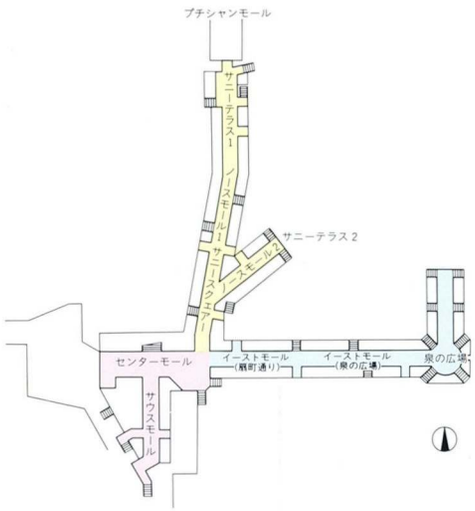
Whityうめだ

設　計　大建設計
施　工　大林組

電　　気　栗原工業
空　　調　高砂熱学工業
給排水衛生　西原衛生工業所

所 在 地　大阪市北区小松原町梅田地下街
延床面積　18,945㎡
工　　期　昭和60年9月～昭和62年4月

撮　　影　藤田修一（一部を除く）




センターモール出口天井





サニースクェアー



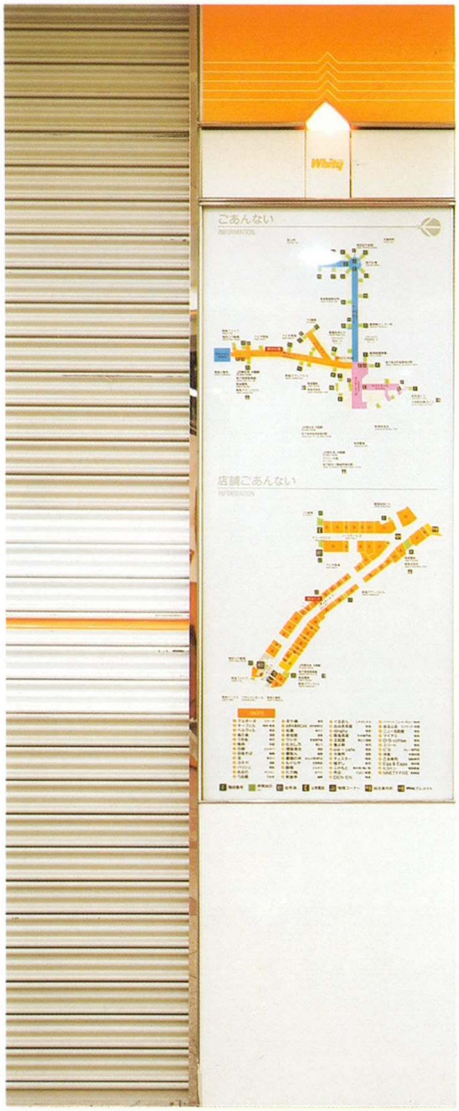
イーストモール

右はセンターモール（天井メタルレリーフ制作者　小田信夫）





入口



案内サイン

敷地は、西日本最大のターミナルである〝ウメダ〟の商業施設群の中心に位置し、昭和38年11月開業以来〝ウメダ地下センター〟として親しまれて来た地下都市である。しかし開業後20余年の間に周辺の商業施設は見事に様替わりし、当〝ウメダ地下センター〟も新しい時代に対応出来る商業施設としてリフレッシュしようというものである。

〝都市性に満ちた魅惑的な地下空間〟を目ざした改装イメージは、〝シャープでシンプルなライト感覚〟とした。〝快適でわかり易く、話題性のある街づくり〟をコンセプトとしたＣＩ計画とサイン計画では、ネーミングをファッショナブルで若々しく新鮮なイメージの〝Whity うめだ〟（WHITE・CITYの略）と改め、各ストリートの名称も、街全体をより認知しやすくするために東西南北を英語で表し、カタカナも併記した。また各ストリートの業種をイメージさせるストリートカラーを設け、カラーライン照明などにより、認知の向上と共に白い街の中のファッショナブルなアクセントとしている。サインシステムも環境との一体感をはかり、イラスト図による表現など視認性のよい〝形態・配置・色彩・表示計画〟を行っている。

施工計画においては、原則として、工事中も地下道を開放し、地上交通への影響を最少限とするため、地下道全体を３ブロックに分割する施工方法を採用し、工期の短縮・店舗休業期間の短縮等の方針と共に、通行人に対する安全性を最重視する計画により施工された。

白い空間に店舗の表情が映え、街ゆく人々もより華やいで見える地下都市として生まれ変わった〝Whity うめだ〟が、今後来街者によってどの様な色に変化してゆくか、楽しみである。

最後に、大阪地下街株式会社・ウメダ地下センター商店街振興組合の関係者各位における御指導・御協力に対し厚く御礼申し上げます。

（宮下幹雄／大建設計）


サニーテラス１



右はサウスモール

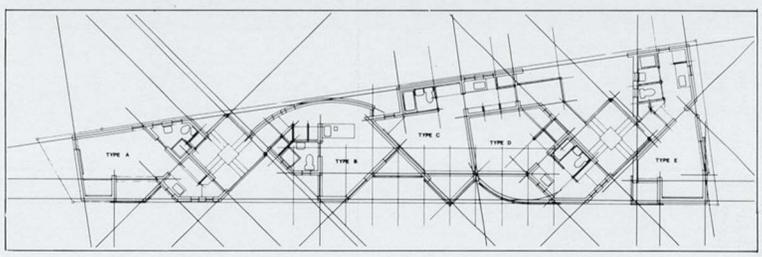


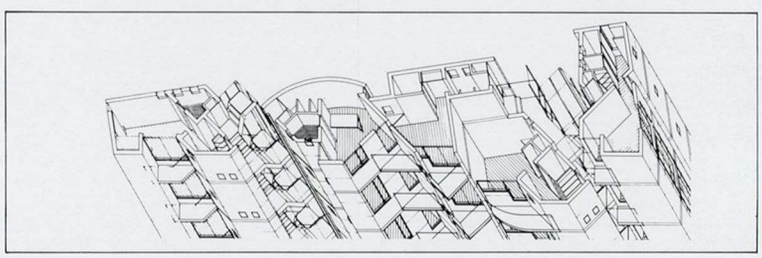


Gallery

まち·建築·ひと

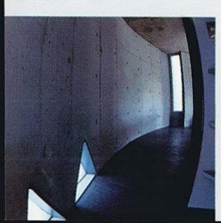






設計監理	シーラカンスつ小嶋一浩
構造設計	T.I.S. & PARTNERS
設備設計	創設備設計事務所
施　　工	井上組
所 在 地	大阪府枚方市尊延寺

用　　途	単身者用賃貸マンション
敷地面積	189.64㎡
建築面積	122.40㎡
延床面積	395.80㎡
構造規模	RC壁式構造４階建





COELACANTH HOUSE
シーラカンスハウス

1987

〈シーラカンス・ハウス〉
＝氷室アパートメント
ローカルからグローバルへ（局所性から全体像へ）

110坪の小さな建築である。それをどの様に解釈し、外側からではなく内側に発生するであろう局所性の重ね合わせから世界と交感しうる建築を創り出すかということが出発点であった。

敷地形態・方位・法規・各住戸のプライバシー・相互に必要な距離・外部からの侵入者への防御・階段を上って行く時のシークエンスやドアを開けた時の風景といったことまで、それが本質的であろうとなかろうとおかまいなしに、あらゆる条件が、この小さな建物全体に影響の網を張る。部分的なつじつま合わせを行わずに、それらを徹底的に尊重する姿勢をとる。

諸条件を形象化するルールを決め、形態のぶつかり合いのなかに局所的な場面を数多く仕掛けてゆく。そこに、全体像の完結しない、生活（＝ドラマ）の舞台の初期状態としてのスペースがたちあらわれる。

（小嶋一浩）





〈小嶋一浩〉
1958年大阪生まれ
京都大学卒業
東京大学原研究室D.C.
原研究室ではPark De La Villette（コンペティション）Graz, Minneapolis での展覧会のためのプロジェクトなどに参加。
氷室アパートメントで第２回朝倉賞受賞。

〈シーラカンス〉アーキテクツ

〈シーラカンス〉は1986年に発足したばかりのイーブンパートナーのチームである。メンバーは全員が1958－1964年生まれの若いチームであり、東大原研究室の一連のプロジェクトに参加してきたメンバーに小嶋の京大時代の友人が加わって構成されている。この建築はチーム形成の過渡期に小嶋一浩が基本設計を進めたもので、チーム創設の第１作にあたる。

（高瀬由康）

〈シーラカンス〉創設メンバー
小嶋 一浩　伊藤　恭行　堀場　弘
坂田 佳之　工藤　和美　日色 真帆
小泉 雅生　多羅尾直子　河瀬 行生

企画編集　作品作風小委員会 高瀬由康
撮　影　納崎雄二

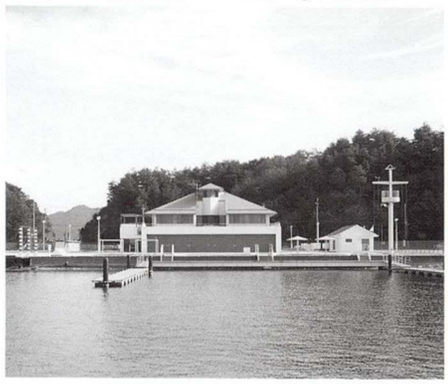


■写真と概要をどしどしお送り下さい。
凡例：a．所在地　b．敷地面積　c．建築面積　d．延床面積　e．構造規模　f．工期　g．最寄駅



2044 愛知コクヨ本社ビル

設　計：MOA設計室
施　工：竹中工務店
a．名古屋市西区笹塚町29-2
b．478.46m²
c．285.24m²
d．839.83m²
e．RC、3F
f．昭和61年1月～昭和61年7月
g．地下鉄庄内通り駅



2045 府立宮津ヨットハーバー

設　計：富家建築事務所
施　工：金下建設
a．宮津市字田井
b．9,873.0m²
c．637.5m²
d．830.4m²
e．SRC、S、2F
f．昭和60年10月～昭和61年10月
g．JR宮津線宮津駅



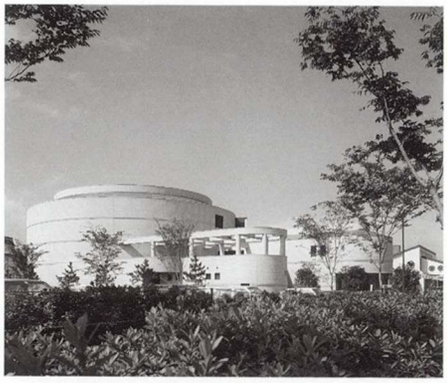
2046 創価学会関西戸田記念講堂

設　計：日建設計
施　工：大林組
a．豊中市桜ノ町7-253-1
b．6,973.06m²
c．3,488.05m²
d．10,808.70m²
e．RC(一部SRC・S)、B2、2F、P2
f．昭和60年9月～昭和61年11月
g．地下鉄御堂筋線千里中央駅



2047 亀岡市民体育館

設　計：山本西原建築設計事務所
施　工：竹中工務店・西武建設JV
a．京都府亀岡市曽我部町穴太土渕
b．36,044.02m²
c．5,355.54m²
d．7,619.55m²
e．RC(一部S)、2F
f．昭和60年3月～昭和61年10月
g．JR山陰線亀岡駅



2048 館林市三の丸芸術ホール

設　計：岡設計
施　工：大成・渡辺・小曽根JV
a．群馬県館林市城町3-1
b．2,715.34m²
c．1,464.50m²
d．2,323.11m²
e．RC(一部S)、3F、P1
f．昭和60年10月～昭和61年9月
g．東部伊勢崎線館林駅



2049 枇杷島スポーツセンター・市営住宅枇杷島荘

設　計：名古屋市・浦野設計
施　工：竹中・名工・村武JV、熊谷・長瀬・水野JV
a．名古屋市西区上更通3-1
b．14,213.43m²
c．6,212.63m²
d．19,750.37m²
e．SRC、3F、12F
f．昭和59年12月～昭和61年11月
g．名鉄栄生駅・東枇杷島駅



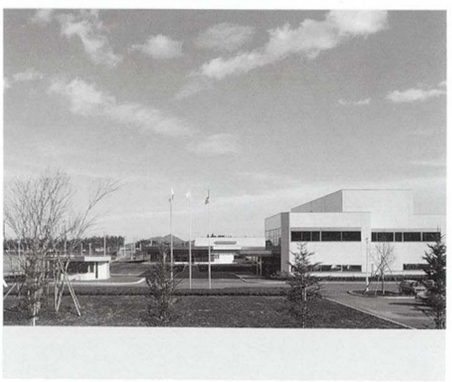
2050 博多管絃ビル

設　計：日建設計
施　工：鹿島建設・鴻池組・大林組・住友建設JV
a．福岡市博多区博多駅前3-404
b．1,246m²
c．953m²
d．7,181m²
e．SRC、8F
f．昭和60年11月～昭和61年10月
g．JR博多駅



2051 守山市市民文化会館・守山市立中央公民館

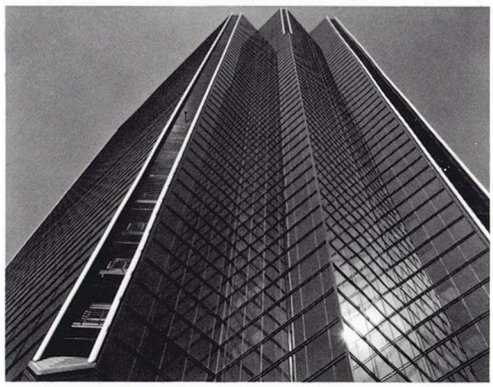
設　計：日建設計・大阪
施　工：竹中工務店・北川建設JV
a．滋賀県守山市三宅町字中島121-1
b．12,827.00m²
c．6,000.67m²
d．8,970.25m²
e．RC(一部SRC)、B1、2F、P1
f．昭和60年8月～昭和61年10月
g．JR東海道線守山駅



2052 日本ルセル白河工場

設　計：久米建築事務所
施　工：竹中工務店
a．福島県白河市白坂字牛清水103-1 白坂工業団地
b．62,412.22m²
c．8,725.07m²
d．14,484.57m²
e．SRC、RC、S、4F
f．昭和60年10月～昭和61年11月
g．東北新幹線新白河駅

家賃だけもろてもアカン 文化にキヨせんとあかん



加藤　力

鉄骨が建ちあがる頃から、このビル現場には幾度か足を踏み入れていた。工事中だというのに資材置場も見あたらず、作業員の姿もまばら。これでほんとうに工事が進められているかどうかと訝るほど、整然としてチリひとつない。閑散とした工事場の風景であった。とはいえ、工事が進められていないかというとそうではない。日々、確実に巨大な鉄骨は積みあげられて、またたく間にスカイブルーの美しいカーテンウォールの装いが、日射しの中で大きくなっていくのが電車の窓からながめられた。不思議な光景であった。まるで人知れぬ夜半、小びとの靴屋がワナワナと出てきては、こっそりと靴を造りあげていく童話にも似た思いで、このビルの出来具合をみていた。

なるほど、これが世に冠たる竹中工務店のＴＱＣの成果かと、実のところ驚きもし、目を見張った。むしろ仮囲い一枚を隔てた新御道や国電沿いのほうが、いかほどか急場をいくような喧噪、煩雑の中にあった。

＊　　＊　　＊

昨今、インテリジェントビルがあちこちで造られてはいるが、梅田センタービルは竹中工務店が設計・施工の技術と知恵の粋を集約してつくりあげたものである。この種のものとしては最先端を行くビルと言ってもよいだろう。したがって、早くも建設途中から注目を集め、現場の中に設けられたモデルオフィスへの見学者は、引きもきならぬ状態であった。

関心を呼んだのはこのビルに投入された新技術に対してである。これらの特色をいちいち挙げつらっていてはキリがない。例えば、手元の電話で空調コントロールや照明点滅ができる！　エレベーターホールの人溜りをセンサー感知し、運転制御できる！　フラットケーブルやアンダーカーペットの採用で配線の取り出しが容易！　セキュリティー完備のためのキー管理システムがある！……いずれも日本では目新しい技術の採用であり、技術的レベルでみれば興味はつきない。

だが、このビルの妙味、面白味は、また別のところにもある。それは、北梅田周辺を少し歩き廻ってこのビルに立ち寄れば、たちどころに理解されよう。あたりには鉄道・車道の高架がはりめぐらされ、街を無残にも引き裂いて、土木のスケールの暴力が身に深くしなだれかかる。いかなる論理ができた街かは知らぬが、人の住む街にはほど遠い。どこも行き場のない痛みの疼く街である。気恥ずかしさ覚悟の上で高架下の若者相手のショッピングストリートに飛び込むか、混雑承知で地下街に逃げ込んだほうが、いっそのことまだしもの安堵が残る。

が、一歩このビルのエントランスコートに身を入れれば、不安は解消。たちどころに失われた人間の尺度がたち戻り、なるほど巧みな外部空間の構成である。

そこには、〝賑わいの階段〟があり、〝語らいのブリッヂ〟がある。〝日留りのベンチ〟が置かれ、〝緑の小径〟があり、やがて〝静かな奥〟へと続く。動があり静があり、明暗の領域が形成されて、装飾の凹凸がある。ディテールの陰影がある。

広場にはどこそこにも人の居場所がつくられて、小さな物語がちりばめられている。オフィスビルの内に入ってもその感触は少しも失われてはいない。表面は情をおさえた知的な表層をまとってはいても、オフィスの日常では陽も当てられなかった場所に目を向けて、見事、人の居場所をそこ、ここでつくり出している。例えば、それはレストポケット（憩いの場）であったり、女性のトイレ空間などである。

そこには大阪的なサービス精神の設計がある。こまやかな人の生活の機微に触れた設計である。たとえオフィスであっても、人の生活の場でもある。人生一率でないように、生活には起伏、振幅、明暗がある。そうであれば、生活を支える空間に襞や、抑揚、深みや変化があってちっともおかしくはない。オフィス空間はけっして均質であろうはずもない。

＊　　＊　　＊

ビルの設計を実質的に押し進めたのは竹中の設計部の若手の設計者達である。竹中の社運を左右するようなこのビルの設計が、設計部の中でもおそらくは最も若い設計課長の手にゆだねられることになった。静かな現場の中でも設計室は常に熱をおびていた。先駆的なものを造りあげようとの意欲に燃えていた。いいものを造りあげようとの気迫に満ちていた。しかし何よりも、技術に凌駕されようとする空間の中に、人間の息づかいを植え込もうとする設計者としての誇りの姿勢があった。日常の生活を営む人間達に向けられた熱い眼差しがあった。

「若いから、いろいろなことをやりたかったが、はやる気持ちを極力おさえた」。主客は建物ではない、人間であるから、と設計者は言う。オフィスの主客は情報でない、建物でも、まして技術であろうはずがない。居場所を求める人間達である。

技術は変わる。オフィスも変わる。ビルの造り方も、設計のあり方も変化していく。〝家賃だけもらっただけではいけない、人の生活や文化に寄与したビルでなければ〟これがビル建設の根底を流れる考え方であると言う。むろん文化はタダで維持できる筋合のものではない。確実なコストパフォーマンスにのっとって長続きする。

このようにして大阪の街は変わる。建物も変わる。このようにして大阪の街はつくり変えていかなければならない。多くの変わり目の中で、このビルは新しき時代の予兆を発していた。

（かとう　つとむ／京都工芸繊維大学住環境学科）

7

兵庫県





兵庫県職の建築協会の会員グループは現在11名です。最近特にグループでの活動はなく、会員が少なくなったせいか一同に会する機会も皆無に等しい現況です。

今回、幹事の企画〝グループ会員のつどい〟により一同に会する機会を得ましたので、日ごろ「建築と社会」について感じていることをフリーに話し合うことにしました。幹事の案内で、仕事を終えてからパラパラと宴席に集まって来ました。ここは県の福利厚生施設の職員会館地下にある〝兵播亭〟。この会館は会議室はもちろんスポーツ、娯楽、サウナまで備えた職員自慢の施設で、県庁のすぐ近くにあるため毎日盛況です。顔見知りも多く、ヤァヤァと声をかけながら集まったメンバー8名(3名欠席)。「えらい少ないじゃないか」が第一声。最近、交流がないため、お互い現在の会員数を認識しておらず、「昔はもっと多かったのに」に始まり、昔の活動に意見が集中し、高齢化の波がグループにも感じられます。雑談に近い意見交換の中で比較的まともな意見を列記し紹介したいと思います。

■グループ会員の意見

1.「建築と社会」について

- タイムリーな話題がもっと特集できる様にして欲しい。
- 作品（単体）にのみたよることなく、地域社会に密着したより幅の広い分野の作品を掲載してもらいたい。
- 最近の傾向として、住宅に関する話題が少ないが、社会とのかかわりが一番大きいのは住宅問題であり、地域環境問題である。公的住宅も昔に比べるとかなり質の向上も計られており、街づくりとして基本となる住宅の特集をもっと多く取り組んで欲しい。
- 誰でも（特に女性）気軽に読める雑誌を目標にしてはどうか。
- ディーテールその他資料として保存できるページを増やして欲しい。

2. 建築協会さんへ

- 会費が高すぎる。月刊誌の紙質を落としてでも安くする努力をしてほしい。
- 支部の結成を計り、組織の強化をめざすとともに、協会の特色をもっと打ち出すべきではないか。
- 大阪中心の活動から、もっと地方への浸透を計る活動が必要と思われる。
- 研修・見学会等の数多くの企画を実施してほしい。
- 日本建築協会が創設された意義を再認識し、協会の役割を明確にしてほしい。

3. 私たちグループの今後

- グループ会員の拡大を計る。A君B君声かけてみよう。
- 年に何回か集まり、自己研鑽を深めていく。
- 協会に、良い作品はどしどし売り込みするよう力を合わせて努力すること。

〝まとめて〟

いろいろと取り止めのない意見が出されましたが、一致した意見は、忘れかけている創刊当時の頃の初心にかえって、地域社会に密着した「建築と社会」を盛り上げていくよう、会員も努力し、協会さんもがんばって欲しいということでした。

〝おわりに〟

私たちグループ会員は現在、営繕、住宅、都市、指導、と幅広い分野で、それぞれ仕事をしている技術メンバー構成になっており、これを生かした活動をしていきたいと考えていますので、他のグループの会員のみなさん、協会さん、よろしくお願いします。また今回のきっかけを提供して下さった建築協会さん有難うございました。

（文責：溝口寿孝／兵庫県）



百姓昭明協和万邦庵——吉田保夫

being 1

人はよく何かに例えて語られたり誰かと比較されて評されつつ紹介される事がある。けれど彼の場合、その術が見あたらない——。「百姓昭明協和万邦」というのは、昭和の年号の由来になっている日本書紀からの言葉だが、それがこの4月から彼が始めた昭和のゴミを売る店に付けられた名である。毎週土曜日しか開店せず月ごとに売る物も一種類に限られているその店を覗くと、人の記憶の奥に記号に近い形で想い出される様なゴミが並んでいる。指を置くと確実に押したという金属の重みを感じるタイプライター。幼い頃食べたかき氷の器は確かこれと同じではなかったかと思わせる、表面が傷ついて擦りガラスになっている朝顔型のプレスガラス。過ぎた時間とそれが生まれた時代とを背負ったゴミ。そのゴミに息を与えた建築家——吉田保夫。

開店への経緯はこうである。今年の6月に、着工後2年の工期を経て〝吉田邸〟が竣工した。それは建設省の施工標準仕様の是非を問い、事務所の共通仕様作りの為に始まった実験建築であった。配筋・型枠をも自らが組み立て、本当に枠をコンクリートから外すのに必要な養生期間は3週間で良いのか？　それとも4週間は必要なのではないか？　と確かめ、又、コンクリートの砂の配合比を変えたテストピースを作り検討を加え、耐震強度を確認する為に地震が来るまで工事をストップさえした。その2年間は、自分の眼で探り確認を求める作業の連続だったと言う。その思わぬ長い期間に、部品を家具の把手に使うつもりでタイプライターを、テーブルの足に利用する思いでストーブを、と拾い集めたゴミが彼の家を埋め尽くし、開店への運びとなった。

時代がかった古いゴミには力があるという。それのみで人を魅了する時の集積と極みを持っている。しかし昭和のゴミは人が手を差しのべねば離れてゆくただのゴミとなる。彼はそれを引っ張り上げ建築の中で形を変えて光りを与えてゆきたいと語る。けれど彼が拾い集めたゴミばかりではない。近所より自然に彼の周囲に持ち込まれて来たゴミもあるそうだ。もう彼の存在は、周囲の人々も自然に関わりを持つ〝街〟そのものになっているのかもしれない。

「建築の姿勢は己を甘やかさぬ事」と彼は言う。処女作「多木邸」より彼の造形の中で貫かれている、人やその家族を慈む形態が、その建築への姿勢の反映ならば、店に並ぶゴミの一つひとつも又、同じ姿勢が反映した確かな足跡なのかもしれない。これからも自分の世界の尺度に合った昭和のゴミを拾い続けて物を創ってゆきたいと彼は話す。正統から二歩外れた、純粋なヒューマニティを持つ異端児の世界は、大阪の古き街、空堀町にひっそりと佇んでいる。

田中初芳(志野陶石)記

坂　静雄

1．先生と京都

先生は明治二十九年（1896年）に東京にてお生まれになり、東京大学を御卒業後、大正十一年（1922年）京都大学へ助教授として赴任して来られた。それから昭和三十九年（1964年）に日本建築総合試験所へ移られるまで約四十年間京都を中心にして生活して来られた。先生が東京から京都へ来られる折には、何がしかのお考え――或るいは、一種の意気込み――を持って来られたのではないかとも考えていたが、先生は実に自然体に京都に溶け込まれた御様子で、すっかり京都人になられた。現在の千里での年月も既に二十年以上となってはいるが、京都での先生の生活が一番長かったことになる。

京都のお住まいは、東山の懐に抱かれた風光明媚の地で、先生ご自慢の園芸歴のスタートの地でもある。先生の言葉を借りれば、「住友さん」といわれる住友家の屋敷の隣接地にお宅があり、大正十五年から住まわれていた。湿気には悩まされたご様子で、縁の下が乾いた事がなかったそうである。地下水が東山から豊富に供給されていたのだろうか。しかしその為に健康を害されたご様子も無いそうで、清流の所為なのかも知れない。

2．PCとリミットデザイン

プレストレストコンクリート（PC）は、荷重が作用しなくなると生じたひびわれも塞がり元のようになる（復元力）性質が大きい。このようなPCの安全性の確保が如何にあるべきかは非常に大きな工学的テーマである。先生のご卓見によってリミットデザインを採用すべきであるという事になった。昭和三十六年（1961年）に作られた、日本材料試験協会（現日本材料学会）の「鋼棒使用PC設計施工指針および解説」（JSTM規格　S－1）および、日本建築学会「プレストレストコンクリート設計施工規準・同解説」にはこの思想が採用された。

昭和五十六年から所謂新耐震設計法に移行したが、この中の保有水平耐力の規定の精神を先取りしていた事になる。保有水平耐力係数として少なくとも 0.3以上の数値を確保し、多くの場合、設計された建物は、0.35～0.4程度の大きさを持っている。

このPCに採用されたリミットデザインの考え方は、PCが弾性的挙動をする範囲が広く、かつ復元力の大きいものであるので、馴染み易いものであったという理由があるにせよ、大きな卓見と言わざるを得ない。

このような基礎的な研究がなされたのは、京都と関係があるように思える。「東京だと学会の規定を作るのが勉強になるのだが」といみじくもおっしゃった言葉が印象に残った。

PCの建築への採用が活発になってきたが、益々その普及を拡大する事が、先生のご卓見を生かす事になろう。

3．言葉の厳密さ

先生は言葉を非常に大切にされる。既にご承知のように、SRCという言葉を用いる事について厳しく批判される。錚錚たる研究者までが、科学の記述に最も避けなければならない原則を無視して用いていると言われる。我が国独特のものならともかく、外国にもある構造を和製の英語で表すのは、正しく外国の人達に理解されない事にもつながり、良く無いとの事である。

耐震壁も Shear wall というと誤解を受け易く、我が国の耐震壁の正しい理解を得るには、Frame with shear panel とすべきだとのご意見である。

最近出版されたACI（米国コンクリート学会）誌に先生の討論が掲載されているが、ある外国の方の論文で Deep Beam を取り上げられていたが、あまりDeepでないものを Deep と云うのは如何がといった討論をされているのである。科学技術の国際交流が活発になり、建設業の海外進出も盛んになるにつれ、技術用語も厳密さを要求される度合いが大きくなってきているので、注意すべき事ではないかと思う。

4．総合とGeneral

日本建築総合試験所の創設の頃、「総合」か「綜合」か色々と検討されていたが、今の総合に決まった。これは英文名General Building Research Corporation の Generalに対応する。しかしこのGeneralはGeneral Head Quaterといった言葉の響きもあり、Generalizedといった案もあったようだが、英語学的には不適切という事になりGeneralとなったとの事である。

試験所も歴代の所長以下皆さんの御尽力で、事業も拡大し、設備、



ばん　しずお

1896　東京に生まれる
1921　東京大学建築学科卒業
1922　東京大学大学院
　　京都大学助教授
1928　工学博士
1930　建築構造学研究のためドイツ留学
1933　京都大学教授
1949　第１期日本学術会員（第３期まで）
1959　京都大学定年退職（京都大学名誉教授）
1964　㈶日本建築総合試験所副理事長、所長
1968　叙勲二等瑞宝章
1971　日本学士院会員
1974　㈶日本建築総合試験所理事長
1983　　同　　顧問
1986　日本建築学会大賞

施設も年々充実しつつある。力学的な試験器械についても、当初の静的なものに動的なものが増加しつつある。更にこの傾向が強まるのは社会の要請からみると十分考えられる。

耐火試験炉の中でも、柱用のもの、壁用のものは他にみない秀れた点がある。技術的内容は勿論であるが、経営的にも基礎を築かれた御苦労は創設期に特に大変だったようだが、先生は愉快に過ごされたご様子であった。

5．大学での教育

大学では出欠を採られる事は無かったが、試験の点は辛かったようである。坂先生は怖い先生だとの印象が強いのは、この点の辛さのようである。

先生の講義は、学生に適当頁自習しておくように指示され、質問がなければさっさと研究室へ帰られる場合が多かった。ご自分の研究の時間を作る為にそうしておられたので、私達のクラスでは何か質問をして、先生を教室に引き留めるように工夫したものである。

またコンクリートの実習に際して、ミキサーを用いず、学生にスコップの持ち方までご指導になり、コンクリートを手練りして教育された。このスコップ教育が、鉄筋コンクリートのような、材料・施工・力学を融合して教育する必要のある分野での教育であろう。今の建築では、コンクリートの一元管理が不充分で、今後このスコップ教育の必要性が高まるであろう。

6．ワープロとタイプライター

先生が今、ワープロを勉強されている。毎週金曜日に試験所の若い人のコーチを受けておられるのだ。「昔タイプライター、今ワープロ」と言われるくらい普及しているワープロではある。飽くなき探究心と言わねばならない。英文タイプライターとkeyの並びが違う事や、複雑な数式の表現などの苦労を楽しそうに語られる。九十一歳の手習いには頭が下がる想いがする。

タイプライターも古くからのものを大切に使っておられ、物を大切にされる事でも有名である。

ワープロで作成された書類が皆様を驚かす日も近い事でしょう。大いに期待したいものである。

7．先生の長寿法

実はこのテーマは、既に先生が何度か語られているので、皆さんご承知の事と思う。要するに「歩く」事である。今も先生は、毎週、月、水、金曜日の三日、日本建築総合試験所へ出かけられるが、昼食もお宅で摂られる為、一日二往復歩いて通われていることになる。また、お宅から北千里駅へ行くときも普通歩かれる。

京都大学の頃も、お宅から吉田山を越えて通われていたので、先生の歩く健康法は年期が入っている。

但し先生の煙草好きも夙に有名であった。手の指も黄ばむ程にたくさん吸われていたが、今は健康に良くないとの知人の奨めでお止めになっている。まずは安心である。

「歩く」事と共に、先生の奥様の食事面での御心使いが大いに先生のご長寿に役立っているようである。先生は栄養など全て奥様に任されているようで、ある時、長寿について、家内の作ってくれる料理を何でも啄んでおりますとも云われた。「啄む」とは如何にも坂先生らしい表現で苦笑してお聞きしたものである。

この「歩く」と「啄む」が先生の長寿法と言える。その奥様も明治三十四年（1901年）のお生まれと伺った。お二人合わせて百七十六歳とまことにお目出度い限りである。奥様のお話上手は有名で、色々と楽しいお話をして頂ける。卒業生の名前もよく憶えておられるのには感心する。今は奥様のお心尽くしのご馳走を頂くのもご遠慮しなければならないが、お料理の方もお話同様にお上手である。

ご長寿の御蔭という事だと思うが、先生が属しておられる海外の学協会の会費が少なくて済んでいるそうである。例えば1930年頃からの会員であるＡＣＩ（米国コンクリート学会）の会費は半額だそうだ。ＡＣＩでは所要の期間会員であり、申請すれば、特に特権が無いと会費は半額となるそうだ。またＩＡＢＳＥ(国際構造工学会)の方は、申請しなくても会の方から、会費を安くしてくれているそうだ。

今後共、先生ご夫妻お揃いで、益々お元気で、更にご長寿の記録を伸ばして頂くようにお祈り申し上げたい。

松井克俊（明石工業高等専門学校助教授）記

今光 廣一 愛知学院大学教授
VS
中島 一 東海支部長・愛知工大教授

名古屋の人・物・文化を考える



中島 一

中島 商業・流通の問題を中心に、中部、名古屋の現状がどうなのか、またこれからはどうあるべきなのか、といったことを伺いたいと思います。

物と人と文化の流通を考える

今光 私は、昭和44年に、中部地方の流通がどうあるべきかを示した流通近代化ビジョンを作り、そこで、第２環状線の早期整備と第３環状線(国道155号)の高速道路化を訴えました。それが、今だに完成していないのが現状です。流通の根幹はやはり道路ですから、その道路が遅れているというのは、物が流れる原因だけは膨れ上がってきているのに、それを通す部分、つまりパイプが詰まっている、ということになります。ですから、道路整備という都市計画上の欠陥が日本の文化の発展を妨げている、というのが私の実感なのです。

中島 たしかに物が流通するということは、文化が流通することであり、さらに人が交流することでもありますからね。

今光 華やかなものが集まってくれば、人も集まってくるし、そこに新しい文化も生まれてくるはずです。実際に、人々が都会に集まってくるのはより豊かになりたいからであり、特に日本人は物質的豊かさに対する欲求も強く持っていますから、物が豊かであれば人はどんどん集まって来るわけです。

中島 ちょっと古い調査になりますが、昭和35年には、東京・大阪・名古屋に35万人の人々が集まって来ているんです。一口に35万人と言いましたが、これは実はすごい数でして、例えばゲルマン民族の大移動が32万人といいますから、35万人というのはそれ以上の人口の大移動ということになるわけです。ところが10年後の昭和45年になると、今度は東京・大阪・名古屋への集中は12万人に減ってしまい、その周辺の人口が増えるようになりました。つまり昭和35年に都市に集まって来たのは農村の若い人たちであり、都会へ行けば物も豊かにあり、仕事もたくさんあるから職業の選択の自由度も高いだろう、といったことでどんどん集まって来た。そして10年経て昭和45年になるとそろそろ結婚して家がほしくなるが、大都会では住宅難なので郊外へ移動することになる。そしてさらに10年後の昭和55年になると、東京・大阪・名古屋の人口は、今度は逆に－８万人と減ってしまい、大都会の周辺よりも更に周辺へと移動していっています。そのように狭い日本の中で、人が大移動しているわけですが、物の流れはどうなっているのでしょうか。

今光 物の流れも当然、都市化と非常に関係があります。都市化を促進するには、やはり鉄道や道路の整備が必要条件であるわけです。だから人が都会に集まれるようなシステムが発達すればするほど、郊外も住みやすくなる。そして今後は、人が郊外に住みやすくなると、物を郊外に運搬するシステムも発達してくる。そうなってくると、今までからあった郊外の商店や卸売商が、都市部からの攻撃を受けることになって来る。私が実際に行った調査では、例えば、名古屋市の卸売商が岐阜県や三重県の中都市にどんどん進出して、そこにいる卸売商の方々が、将来大きな影響を受けることが予想されました。さらにまた、名古屋市の卸売商も安閑とはしていられない。日本全国の都市化が進めば、名古屋市民の文明度が上がるというか、物質的欲求が強くなって、より良い物を求めたり、一人ひとりが自分のセンスに合ったものを選ぶようになってくるので、今度は大阪・東京のメーカーの支店が名古屋に進出して来たり、あるいは名古屋の卸売商が東京・大阪のメーカーの中継基地としての役割しか果たせなくなって来てしまう。つまり、より上位都市の方から商品が来ると同時に、より上位都市の流通機能が進出して来ることになる。これは、一つの地域でまとまって営まれていた経済の破壊につながってくるわけです。そこでは中小商業の問題もからんだりしますから、いろいろと複雑なことになります。

ただ日本の現状では、地方都市へ行けば、まだまだ衣料品や雑貨関係など私たちの生活を潤してくれるような商品の流動は少ないわけです。また、例えば高級品を商う店も都会にしかない。そういった商品が地方にも流動する時代が来た時こそ、私達の生活は、豊かになったと言えるんじゃないかと思うんです。その点、ヨーロッパへ行けば、例えばドイツやスイスにしても、小さな地方都市においても商品のレベルは大都市とあまり変わりませんからね。

名古屋の市民性を問う

中島 ところで名古屋は、地理的に日本のほぼ中心に位置していますし、東京と大阪から見てもその中間にあり、物流の面から見ても非常にいい場所にあるわけですが、現実に名古屋の町を歩いていると、これで本当に物流が豊かなんだろうか、豊かな文化が入って来ているんだろうか、と疑問に思うことがあるんです。それは、外からどんどん新しい物が、文化が入って来るのを受け入れる側としての市民性の問題なのでしょうか。私は、名古屋は、大都市としての



今光 廣一

いまみつ　ひろかず
1928年京都市生まれ
名古屋経済専門学校（現名古屋大学経済学部）卒業後、フルブライト交換留学生としてオハイオ州立大学経営大学院に学ぶ
南山大学文学部講師を経て、現在愛知学院大学教授、名古屋市立大学経済学部講師
1972～1973年コロンビア大学経営大学院フルブライト交換教授、1981～1982年ハワイ大学太平洋アジア経営研究所客員講師
主な公職
日本商業学会運営理事、日本物流学会理事、日本中小企業学会理事、日本広告学会理事、運輸省地方交通審議会委員、愛知県卸売市場審議会会長など

華やかさが少し欠けているような気がするんですが。

今光　私は、まだ子供の頃に京都から一宮を経て名古屋へ越して来たんですが、京都ですと映画やお芝居の帰りに必ずどこかに寄ってものを食べる習慣があるんです。ところが名古屋の方では、観終わったらまっすぐに家に帰って来るんです。つまり、寄り道をするような習慣がなくて、映画を観るんなら映画を観るだけで満足して帰って来るわけです。これは、名古屋の人達が、食べ物に対して非常に質素であり、また質素な生活そのものに高い価値観を置いていることと密接につながっていることだと思います。そして、それはやはり武家社会の特徴から来ているものだと思います。

中島　京都は着倒れ、大阪は食い倒れ、名古屋は履き倒れ、とよく言われますが。

今光　京都は、御公家さんがいて、お金は無いけれども何か華やかさがあり、そして着ることによって自分のステータスを保っていました。でもおなかは空いていたかもしれない。私も京都の人間なんで、いろいろと思い出があるんですが、〝京のぶぶ漬け〟といって、よその家へ行ってお茶漬けでもどうぞと言われても、決して食べてはいけないと注意されたものです。

大阪へ行くと、町民文化ですから、お金を儲けて食べることに価値を置くんだと思います。

それにくらべて名古屋は履き倒れといいますが、これは履きものの華美を競っての結果でなく、労働や生産のまち名古屋では、働き過ぎ、歩き過ぎての結果、下駄や草履を履きつぶすことを意味していると思います。

中島　名古屋の町は、たしかにある意味での武家社会だったわけですが、武士というのは、今でいえばサラリーマンなわけですね。だからサラリーマンの風習なり習慣というものが名古屋に定着して、名古屋の市民性が出来上がって来たんじゃないだろうかと思うんですが。

今光　たしかに名古屋は、行政に頼りがちというか、請願するというか、そういった傾向が関西に比べると非常に強いように思いますね。県か市が何かやってくれるんではないか、といつも期待しているわけです。商店街でもそういう意識が強いようですね。

これからのショッピング空間のあり方

中島　ところで、これからの商店のあり方、あるいは郊外型の大きなショッピングセンターのあり方というのは、ただ物を買うだけではなくて、買い物を通して文化をクリエイトしていく喜びを感じるためにお客さんが行くんじゃないかと思うんですが。

今光　そこで物を買うんじゃなくて、満足を求めにいくわけですね。ショッピングセンターというのは、これからは楽しみに行くところであり、食べに行くところでもある、といった位置づけになっていくでしょう。そのついでに物も買って行くということになる。ですから、今までは物を買うのがショッピングセンターの一番大きな目的だったわけですが、これは二次的、三次的目的になって来て、これからは楽しみに行く場所としてショッピングセンターをつくらないといけないと思います。

中島　それと、例えば名古屋の栄や名古屋駅前を考えてみますと、たしかにショッピング街がかなり整備されて来ていますし、そこで単に買い物をするだけでなく、むしろ買うということを手段にしていろいろな喜びや満足感を得たり、またそのプロセスの中で食事をしたりといった具合に、なかなか楽しい空間になって来ているようですが、それらの空間の多くが地上にあるんではなく、地下に存在しています。だから、地上を歩いている人よりも、地下に潜っている人の方が多いのが現状です。

今光　それもこれからは、だんだん変わっていくはずです。栄の場合でも、例えば松坂屋の南側に、2、3年後には延床面積6万㎡のパルコが来ます。これは最近の栄地区の最大規模の商業施設です。それを地域の商業者たちが建設を許したわけです。このことは非常に大きな意味を持っていることでして、今の地下に潜った商業を何とかして地上に上げたいという気持ちを商業者たちが強く持っているわけです。栄地区は、この他にも大型商業ビルの建設計画や、開業直前の名古屋東急ホテル、建築中の28階建の名古屋ヒルトンホテルなどで、地上は近く様変わりをするでしょう。

中島　自然に背を向けて地下に潜っているのが、今の名古屋の都心の姿であって、これは本当はおかしいと思うんですね。これからは、やはり地上で、自然の移ろいの中に人間の喜びを感じるようにしていかなければいけないと思います。

今日はいろいろ楽しいお話しを伺えてありがとうございました。

基礎杭の製造・販売





ONAパイル（高強度PCパイル）
NCS-PCパイル
SCパイル（鋼管コンクリート合成パイル）
各種工法によるくい打工事の施工・管理
載荷試験・地質調査の施工・管理
その他コンクリート製品

久保田コンクリート工業株式会社

本　　社　大阪市浪速区敷津東1丁目2-47（久保田鉄工第二別館）〒556 ☎(06)648-1351㈹
名古屋支店　名古屋市中区錦3丁目5番31号（協栄生命ビル）〒460 ☎(052)971-7651㈹
野洲川工場　滋賀県甲賀郡甲西町大字柑子袋中之町270 〒520-32 ☎(07487)2-1281㈹

総合基礎業

TAIYO CONCRETE

基礎地業に関する事はすべて一貫してご要望にこたえるべく、あらゆる基礎工法を手掛ける幅広い施工体制を整えてまいりました。

●各種既製コンクリート杭
（PC、PHC、TAP、TEX、ACCS、ST、NT-MAX）
●既製コンクリート杭による工法
・ネオパイル工法　・T・Sロータリー工法
・ローデックス工法　・大径CMJ工法
●場所打ちコンクリート杭
・ACE工法(アースドリル工法による拡底杭工法)
・M&C工法(リバース工法による拡底杭工法)
・NKTB杭(場所打鋼管コンクリート杭)

株式会社大洋コンクリート本社

本　　社　名古屋市東区葵3丁目24番2号
〒461　電話代表〈052〉936-0211
東京営業所　東京都港区芝浦3-20-10　岩本ビル5階
〒108　電話代表〈03〉453-1176
大阪支店　大阪市大淀区大淀中1-7-19
〒531　電話代表〈06〉458-5761
岡山営業所　岡山市野田屋町1-9-12
〒700　電話代表〈0862〉25-5451

豊橋市美術博物館

所 在 地　豊橋市今橋町豊橋公園内
設　　計　河合松永建築事務所
施　　工　鴻池組
建築面積　2,870㎡
延床面積　3,670㎡
規　　模　地上２階
構　　造　鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
竣　　工　1979年６月



旧吉田城跡は、豊橋市の豊橋公園として、広く市民の集まり憩う場として親しまれている。これも、この公園の佇まいが、市民にゆとりと愉しさを与える環境だけでなく、むしろ、城跡から醸し出す雰囲気から、そこにストーリーを生み出してくれるからではなかろうか。この園内の一画に豊橋市美術博物館がある。この周辺には城郭の遺構、古木が保存されており、緑ゆたかな景観を保っている。

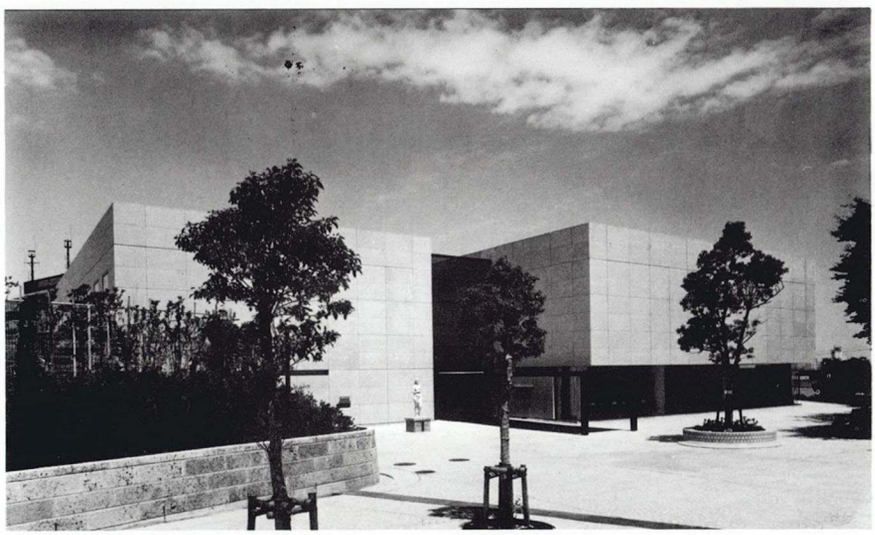
したがって、公園そのものをこの建物へ導くアプローチとし、そこを散策する市民に開かれた施設とした計画は生きている。

建物の高さは、周囲の緑に最大の配慮がはらわれ、スカイラインは、またその樹形をも考慮に入れたシンプルなものとし、ピロティーの柱は、あたかも樹幹を思わせるものである。いうなれば、ファッサードは、城跡の古木に、面をなす外壁は城壁を見まがうようにすら想わせる。



浜松市立中央図書館

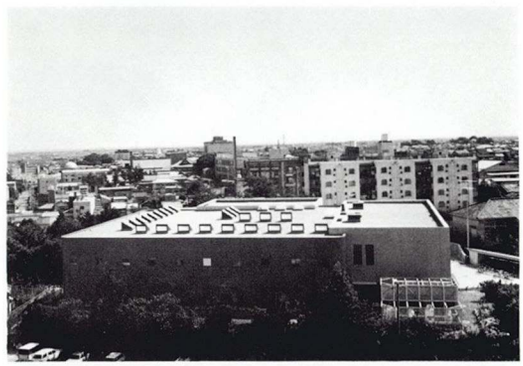
所 在 地　浜松市松城町16
設　　計　石本建築事務所
施　　工　鈴木組・土屋建設共同企業体
敷地面積　6,194㎡
建築面積　2,145㎡
延床面積　5,162㎡
規　　模　地下１階　地上２階
構　　造　鉄筋コンクリート造
　　鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
竣　　工　1981年３月



50万都市として急速に発展しつつある浜松市は、市長が建築家でもあるためか、各種の文化施設が着々と整備されつつある。この図書館も、この一連の文化施設なのである。

浜松城の出丸跡に設けられた、この浜松市立中央図書館は、現代の「ふみくら（文庫）」のあるべき姿で、伝統的な様式を誇る復元城廓と対照の妙を描いて、市民に愛されている。

スカイラインの明確化と外壁の面としての大担な広がりは、何のてらいも、さりとて誇張さもなく、ごく自然であり、１階の透明ガラスの壁は内部空間と外部空間の結節としての手法よりも、もっと自然をとりこもうとする考え方から来ているもので、開かれた施設と意図が余すところなく展開されている。これらは、情報化時代における「ふみくら」の活気ある機能が市民自身の手で築かれたといえよう。



書　評

コンペ啓蒙の書

太田隆信

設計競技（以下コンペと略記）のことなら、一字一句たりとものがすまじの執念が行間にあふるる近江さんの力作である。十分に時間をかけて、丹念にデータを集めて、著者自ら、主著とすべきことを考えた……と言われるにふさわしい充実の内容である。なにしろコンペに関しては初めての本だから、「個々のコンペの事象に対する個人的な思い入れは抑制し、つとめて冷静に客観的な記述にまとめることを心がけたつもりであったが……」。熱血漢近江さんの述作だから、そこに筆がとどまるわけがない。「テーマに対する思い入れが、時にはいささかジャーナリスティックな語りくち……」と自ら言われるように、興味深いエピソード、思わず力がこもった議論が随所に展開され、この本をいっそう興味深いものにしている。

コンペも、又、西欧輸入の手法であるから、コンペの歴史を語ることは、この国の近代史を語ることでもある。総括的ないわゆる歴史書では味わえない、どきっとさせられる、私達の近代化とはいったい何だったのだろうかとあらためて考えさせられる事例が、コンペに的を絞ったからこそ具体的に、身近かな問題として提示されていて、このあたり、コンペの歴史を越えた近代の証言となっている。こういった密度の濃い各項目の近代史が、数多く出揃ってきてこそ、この国の近代が本音で論じられるのではなかろうか。少しく本論から逸脱してしまったかも知れないが、そんなことをもあらためて考えさせられる奥行きの深い内容である。

＊　　＊　　＊

30年代初期に建築を学んだ私達にとって、コンペという言葉には、甘酸っぱい胸にじーんとくる響きがある。コンペが質の高い建物をつくり、コンペが明るい街をつくる。それは信念であり、悲願であった。少なくとも公共の仕事はコンペで……、そんな熱い思いがあった。それは、又、この本のバックグラウンドでもある。冒頭の「すぐれた才能を民主的な方法によって発掘し登用するコンペティション……」の文章が、そういった著者の心情を十分に表現している。

本書は、コンペ啓蒙の書である。私達はまだまだコンペ発展途上人である。とはいうものの、ここ数年来コンペの環境が大きく変わってきたことも、又、事実である。これ迄は、ひとつでもコンペの数を多くと願望の時代であったが、ここに至ってどうやら数から質へ、シンポジウム「何のために、誰のためにコンペをするか」が、あすのコンペに向けて、とのサブタイトルで建築学会で開催される実践の時代に突入したのである。コンペがふえた結果、以前、願望の時代にかくあるべきと考えていたコンペとはほど遠い状態が、とまどいが、所々見うけられる昨今である。例えば、問題の設計入札と、コンペとが同じ土俵のうえに立っている。こんなことは、思いもよらなかった。入札の現場説明を聞いて、コンペの説明会に出席して、なるほど、発注者側の言う公平の原則、機会均等の観点からすれば、入札とコンペは同じ発想かと、思わず、苦笑いを噛みしめることがままある。然し、そのことが、とにもかくにも、これだけコンペがふえてきた原因なのだから、困ったコンペが多い現状もいたしかたないことである。然し、そういった状況から、なんとかきちんと筋の通ったコンペをめざす動きが、少しずつではあるが定着しつつある。さらに、ほんの少数ではあるが、あらまほしいと思われてきた理想のコンペが実施されつつある。そして実施の結果、うまくないんだよなと、あらためて理想のコンペのむつかしさを痛感するケースもないことはない。

＊　　＊　　＊

そう、願望の時代から、ようやく条件つきではあっても実践の時代へ、コンペは、混沌としている。この混乱に拍車をかけるように、民活の波に乗って、企業コンペ・ディベロッパーコンペが新たに登場してきて、急速に定着しつつある。その勢いたるや、これ迄の建築設計の在り方を変えてしまいかねないほどである。このあたりもう少し活発な議論がほしいところだが、ちょっと流れに呑まれているような感なきにしもあらず……。今の時点で、こういった状況を総括的に云々することは無謀である。コンペのある一面のみを強調して、コンペを楽観するのも悲観するのもいけない。具体的な体験の中から、おかしいなと思うことどもを、一つひとつ是正してゆく努力をこつこつと積み重ねてゆくことが、コンペを育ててゆくことでもある。今はそんな時である。

そんな今だからこそ、歴史編であるこの本の続きとして、ぜひとも、コンペの現況、将来への展望等をまとめてほしいと思う。

なお最後になってしまったが、巻末の資料――明治22年から昭和61年迄の主要な「建築設計競技」の年表――は、大変な労作、貴重なものであることを特に記しておきたい。



建築設計競技
コンペティションの系譜と展望
近江　榮 著
鹿島出版会刊
3200円

新刊寸評

オフィスルネサンス
インテリジェントビルを超えて
林　昌二編著

「社員食堂といってもさすがに地下階に設けられる例は、少なくなった」。「役所はきたない」。本書に出てきたこの二点、「痛いところを突かれたな」という感じであった。

もちろん役所で働く人達が、この現況に満足しているはずもないし、これを改善するのは当然〝役所の建築屋〟の責任である。しかしアパレルメーカーのように社屋にプールを設けたり、外国企業のように竹やぶをオフィスに取り込むことは、役所の体質から非常に困難である。

インテリジェントと称されるビルの出現によって、民間のオフィス環境が急速に良化していく中で、「官」だけがとり残されてしまうようで非常に不安である。

中島和也／神戸市（彰国社刊 2,000円）

ホールの計画と運営
伝統芸能劇場から新多目的ホールまで
山崎泰孝著

兵庫県内で、1000人規模の文化ホールを計画しておられる町長さんに本書をおすゝめしました。芦屋ルナホールの設計者でもある著者の、音楽・演劇と建築の接点をめぐる今後のあり方論に感じ入ったからである。

増渕昌利／神戸市（鹿島出版会刊 2,900円）

書評委員（敬称略）
伊藤郁郎（日建設計）
伊從　勉（京都大学教養部助教授）
太田隆信（板倉建築研究所大阪事務所長）
加藤邦男（京都大学建築学科助教授）
橋本敏子（生活環境文化研究所所長）
増渕昌利（神戸市営繕課）

企画：日本建築協会

プロのノウハウ　2色刷

建設税務研究会 著

建設業，土木業，不動産業の貴社にも役立つ税金対策の決定版!!

工務店の税金対策100ポイント

四六・224頁・定価1800円



土地区画のための交換は課税されない

目　次

- 請負工事の収益計上の時期
- 設計，監理料の収益計上の時期
- 延払条件付の請負契約
- 土地の交換分合と道路の付け替え
- 砂利採取地の埋め戻し費用
- 日照権等の補償金の支払い
- 有姿除却
- 展示用住宅の耐用年数
- 土地重課の対象となる仲介報酬
- 相当の地代

●トップレベルの税理士グループが豊富な経験を結集

税金対策は個人，法人ともに企業経営上，避けて通れない問題である．ところが，税法の解釈は難しく，処理上の間違いが生じて更正を受けたり，追徴されたりしているのが現実である．本書では，こうした失敗を繰り返さないために，Q＆A形式による具体例を簡潔に解説し，税法上の解釈を述べ的確なアドバイスを展開.経理処理のポイントを活かし，複雑な申告もこの一冊で全て解決.

プロのノウハウ　好評発売中

TQCから見た建設業　問題解決の決め手
荒木睦彦著 / 四六・192頁・定価1600円

軀体工事監理のチェックポイント100
須賀好富著 / 四六・224頁・定価1800円

パソコン会計術　設計事務所編
西部明郎著 / 四六・224頁・定価1800円

鉄骨工事の現場学
石田満裔著 / 四六・224頁・定価1800円

空調設備のトラブル50　建築に携わる人へのヒント
建築設備トラブル研究会著 / 四六・224頁・定価1800円

衛生設備のトラブル50　建築に携わる人へのヒント
建築設備トラブル研究会著 / 四六・224頁・定価1800円

〈目録進呈〉

学芸出版社

〒600 京都市下京区木津屋橋通西洞院東入
TEL 075(343)0811

企画：日本建築協会

プロのノウハウ　2色刷

松村秀一　監修

工業化住宅・考

四六・224頁・定価1800円

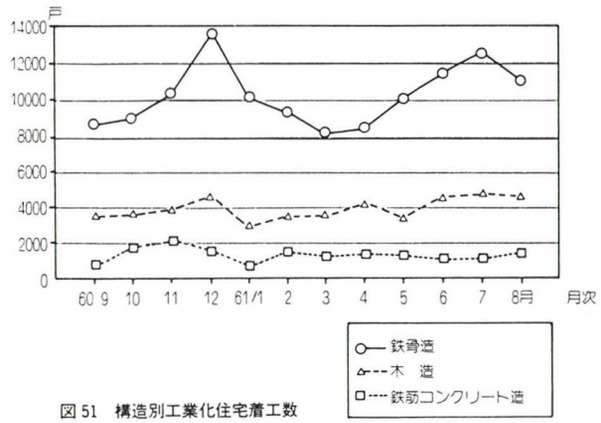


図51　構造別工業化住宅着工数

これからのプレハブ住宅

工業化住宅とは何か？

●異なるメーカー間の情報交換を経て
今ここにその全貌を!!

今や新設される戸建住宅の約2割を占めている，プレハブ住宅の歴史や住まいづくりの仕組み等について，我々は正確な認識を持っているだろうか？本書では，業界内に閉ざされがちであったプレハブ住宅の問題について考え，情報を提供すると共に，工業化住宅は住宅生産全体の中でどのような位置づけにあり，今後どのような役割を担っていくべきなのかを探る．グローバルな視野に立ち，わが国の将来の住まいづくりの方向を考察し，又そのきっかけを与え再考を促す書である.

プロのノウハウ　好評発売中

TQCから見た建設業　問題解決の決め手
荒木睦彦著 / 四六・192頁・定価1600円

建築基準法の実際　基本問題40講
矢吹茂郎著 / 四六・224頁・定価1800円

建物の値打ちの高め方　ビル・マンションの新しい評価法
小林清周著 / 四六・208頁・定価1700円

衛生設備のトラブル50　建築に携わる人へのヒント
建築設備トラブル研究会著 / 四六・224頁・定価1800円

〈目録進呈〉

学芸出版社

〒600 京都市下京区木津屋橋通西洞院東入
TEL 075(343)0811

50 ARCHITECTS IN KANSAI

昭和生まれ
関西の建築家50

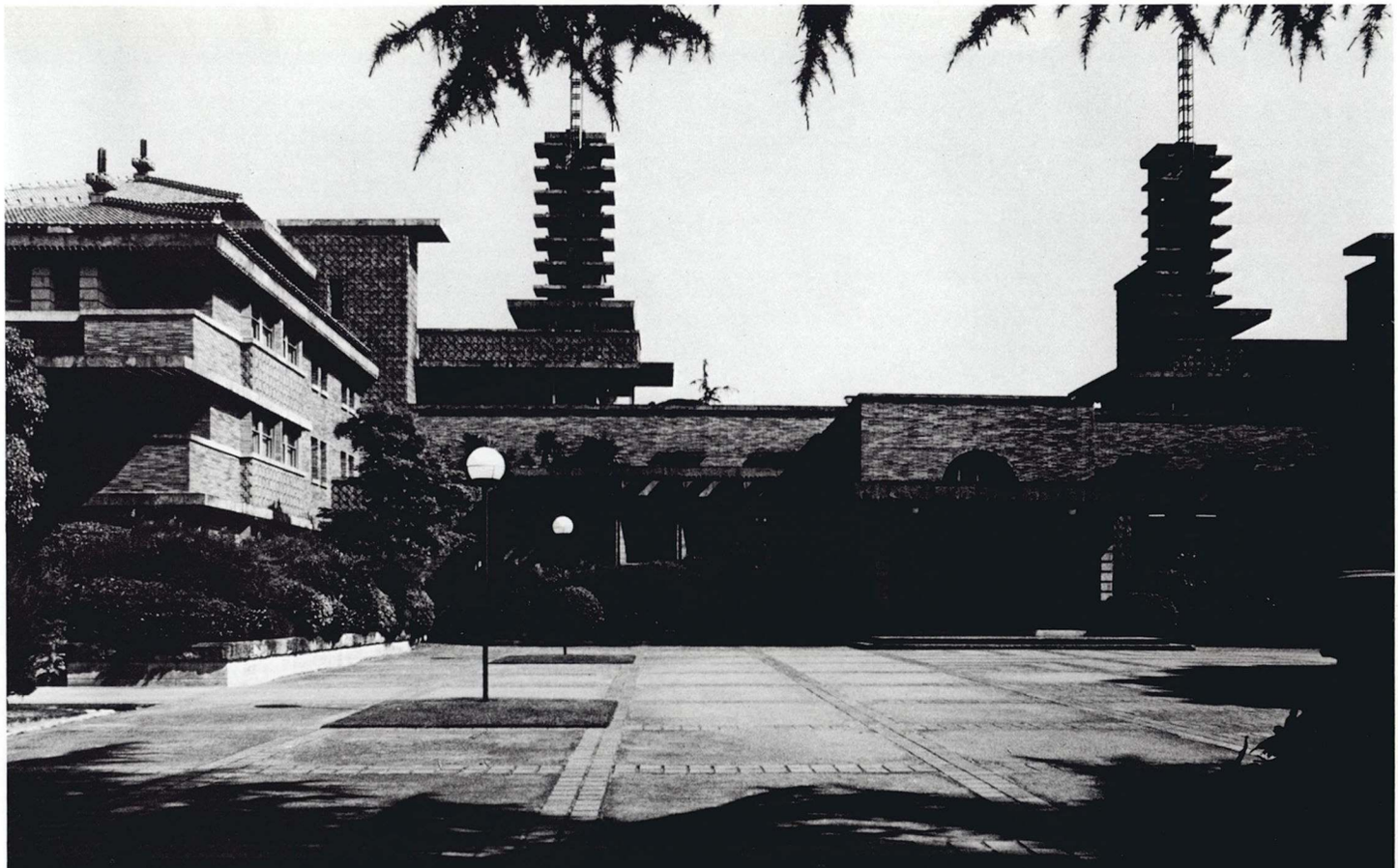
ARCHITECTURE AND SOCIETY
建築と社会
臨時増刊号

1987.7

好評発売中

「関西の建築家50」に寄せて……9
社団法人日本建築協会会長佐野正一
座談会関西の建築家群像と建築……12
神戸大学名誉教授向井正也、大阪芸術大学教授高橋靗一、建築写真家村井　修
山崎泰孝　福井工業大学・ＡＺ環境計画研究所……20／グランディア芳泉……21／太田隆信　坂倉建築研究所……22／浪速短期大学伊丹学舎……23／水谷頴介　計画同人ＴＵＲ・水谷研究室……24／塚ロの家　他……25／出江　寛　出江寛建築事務所……26／逆瀬台の家……27／狩野忠正　竹中工務店……28／日本キリスト教団　池田五月山教会礼拝堂……29／渡辺豊和　京都芸術短期大学・渡辺豊和建築工房……30／旅籠「飛籠館」……31／三輪泰司　地域計画・建築研究所……32／関西文化学術研究都市……33／中川洋一　安井建築設計事務所……34／広島市庁舎　他……35／遠藤剛生　遠藤剛生建築設計事務所……36／KEYENCE……37／小角　亨　日建設計……38／大阪市庁舎……39／田中弘成大林組……40／シティバンクＮＡ大阪支店……41／高松　伸　高松　伸建築設計事務所……42／織陣第Ⅲ期……43／土肥耕一　東畑建築事務所……44／医療法人みずき会芸西病院……45／川崎　清　京都大学……46／大谷大学本部・研究室棟……47／高口恭行　奈良女子大学・造家研究室……48／一心寺信徒会館　日想殿……49／辻野純徳　浦辺設計……50／倉敷中央病院……51／蓮佛　亨　京都建築事務所……52／立命館大学　国際関係学部……53／指宿真智雄　建築デザイン一級建築士事務所……54／ホテル「嵐亭」……55／寺本敏則　日建設計……56／ツイン21……57／門内秀裕　兵庫県都市住宅部営繕課……58／兵庫県公館……59／美濃吉昭　大成建設……60／ザ・シンフォニーホール……61／山本達哉　山本・西原建築設計事務所……62／亀岡市民体育館……63／北村陸夫　ズーム計画工房……64／Ｔ邸（輝ける廃墟）……65／浅井　謙　浅井　謙建築研究所……66／グルメタワー・アクロス……67／菅家克子　菅家建築設計室……68／田口さんの家（または、コンクリートの家）……69／吉村篤一　建築環境研究所……70／大龍堂書店……71／藤縄正俊　大林組……72／大阪大林ビルディング　他……73／横山誠一　安井建築設計事務所……74／Ｍ邸……75／瀧　光夫　瀧　光夫建築・都市設計事務所……76／愛知県緑化センター……77／上田　篤　上田　篤アトリエ・京都精華大学……78／お祭り広場の「花」　他……79／本城邦彦　竹中工務店……80／同志社女子大学田辺キャンパス頌啓館（音楽棟）……81／宮田照久　昭和設計……82／鹿児島厚生年金健康福祉センター〝サンピアあいら〟……83／徳岡昌克　徳岡昌克建築設計事務所……84／稲沢市保健センター……85／中嶋龍彦　中島龍彦建築事務所……86／学校法人・四天王寺学園「和光館」「体育館」　他……87／深谷浩一　深谷浩一建築事務所……88／臨南寺本堂……89／嶋田勝次　神戸大学……90／甲南こもん　兵庫県立健康センター＋灘神戸生協生活文化センター……91／石原左内　神戸市住宅局……92／神戸市外国語大学……93／谷　淳之介　東畑建築事務所……94／佐賀市総合文化会館（仮称）……95／吉羽逸郎　大阪府建築部営繕室……96／サンパレスひらかた……97／上田信也　日建設計……大阪城ホール……99／谷山　隆　コンコード建築設計事務所……100／HABITAT　D'HARMONIE……101／寺嶋繁久　Sim建築事務所……102／松岡邸……103／三宗司郎　昭和設計……104／神戸ポートアイランドスポーツセンター（プール・スケートリンク棟＋ワールド記念ホール）……105／東　孝光　大阪大学……106／橋本バプティスト教会……107／平山明義　平山明義一級建築士事務所……108／松本邸……109／重村　力　神戸大学・Team Zooいるか設計集団……110／脇町立図書館……111／北島道生　北島道生アトリエ一級建築士事務所……112／Ｋ邸……113／横井孝史　建設省近畿地方建設局営繕部……114／国立室戸少年自然の家……115／川村眞次　住宅・都市整備公団関西支社……116／リバーサイドさぎす……117／加藤邦男　京都大学……118／舞鶴市総合文化会館……119
昭和生まれの建築家に贈る言葉
安住を求めるな……120
東畑建築事務所取締役会長東畑謙三
不易流行……122
浦辺設計相談役浦辺鎮太郎
技術集積としての建築……124
日建設計取締役社長薬袋公明
関西戦後建築四十年史―村野藤吾から安藤忠雄まで……126
京都大学助手石田潤一郎
ストリート建築論―中之島から御堂筋を巡って……132
大阪芸術大学講師山形政昭
年表・関西建築界と昭和生まれ関西の建築家50（カラー折り込み）……138
昭和設計調査研究部西川純一
関西建築マップ（カラー折り込み）……143
東畑建築事務所北村　潤
アンケート　昭和生まれ―関西の建築家50人のプロフィール……147
日建設計中井　進、駒田哲男
関西の設計組織―官公庁・公団営繕、組織設計事務所、建設会社設計部……151
委員（インタビュアー）プロフィール……164

総頁数214頁
社団法人 日本建築協会　〒530大阪市北区梅田1-1-3-2100大阪駅前第3ビル21階 TEL06(348)0635までお申し込み下さい。
定価一部￥1,500(送料は本会会員はサービス、会員外は送料200円) 振替口座　大阪1-39975



社団法人　日本建築協会創立70周年記念事業

「昭和生まれ―関西の建築家50」出版記念

関西建築家50展

開催

1987年 8 月25日㈫～ 9 月 2 日㈬午前10時➡午後 6 時

本会創立70周年記念事業の一環として、このたび発行しました「昭和生まれ―関西の建築家50」誌の出版を記念し、同誌に紹介した建築家50人の方々の作品展を開催いたします。
会場は、学校法人武庫川学院のご厚意により、昭和初期の名建築である同学院第三学舎「甲子園会館」(旧甲子園ホテル／設計・遠藤　新）を拝借いたします。
多数の方のご来場をお待ちいたします。

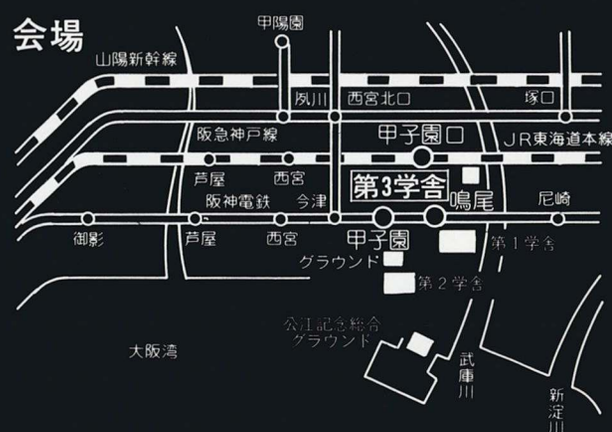
*

入 場 料　無料

展示内容　●建築家50人から任意に出品された作品〔建築写真・図面・スケッチ・ドローイング・模型など〕
●特別コーナーとして、村野藤吾・西澤文隆コーナーも設置

主　　催　社団法人 日本建築協会

会場



学校法人 武庫川学院第三学舎「甲子園会館」・2 階

（最寄り駅：ＪＲ東海道本線「甲子園口駅」下車、南へ徒歩約10分
所 在 地：西宮市戸崎町１－13　電話0798-67-0079）

ゴムアスファルト防水ルーフィング材

ラムコシート

株式会社 大高商会
大阪市住吉区長居東4－2－10(〒558) ☎06－696－1155
東京支店
東京都大田区中馬込2－3－10(〒143) ☎03－777－7028

はじめに

欧州ではゴムアスファルト・トーチ工法のルーフィング材が、今日では、全防水工事の50%以上を占めるほど、非常な勢いで需要が伸びている。ビチュメン（アスファルト）と混合する合成ゴムには、ＡＰＰ（アタクチック・ポリプロピレン）と、ＳＢＳ（スチレン・ブタジエン・スチレン）の2種類があり、一般的にはＡＰＰが多く使用されている。「ラムコシート」は、ベルギーのＬＵＭＣＯ社で開発・製造されたもので、ビチュメン（アスファルト）とＡＰＰ樹脂、ＳＢＳ樹脂を基材とし、強度を増すために不蝕性のポリエステル不織布を内包した高性能防水ルーフィング材である。

ラムコシート・トーチ工法の特色

(1)耐久力に極めて優れ、構造体の動きや頻繁な通行に十分耐え得る。
(2)優れた柔軟性を持ち、下地に確実に密着する。
(3)弾力性に富み、140℃の高温、－20℃の低温に耐え得る。
(4)作業が簡単で、時間と労働力の節減になる。
(5)熔かしたピッチ・アスファルトを使わないので、安全で悪臭がなく、清潔である。
(6)新設、補修のどちらにも適用でき、下地の種類は問わない。
(7)メーカーと施工業者の10年保証がある。

ラムコシートの特長

表(1)の様に、ＡＰＰタイプの低温曲げ抵抗が、－10℃に対して、ＳＢＳタイプのものは－20℃と格段に優れた性能であるが、ＳＢＳとビチュメンとの混合には高度の技術が要求され、限られたメーカーにしか製造出来ない。しかも、ＳＢＳタイプでトーチ工法が可能なのは、「ラムコシート」の(ELUSTOLUM)など極く限定されている。「ラムコシート」は特に、精撰された合成ゴムとビチュメン（アスファルト）が、理想的（ゴム・スポンジ状）に混合されており、均一な品質が高い性能を生み出している。また補強材として内包するポリエステル不織布は、加熱圧縮した薄くてコンパクトなもので、劣等な酸化アスファルトは含まず、シート全体の殆んどがゴムとビチュメンの共重合体であることも高性能の要因としてあげられる。又、品質を悪くするフィラー（増量材）が混入していないことも高く評価できる。強靱で弾性に富み、－20℃の低温下でも弾性を維持し、同時に優れた高温抵抗力をもつ「ラムコシート」は、理想的なルーフィング材と言える。

〈種類〉

成分的には、ＡＰＰとＳＢＳの両タイプのものがあり、表面仕上げには砂雲母仕上げとカラーのスレート仕上げのものがある。

表(1)　ラムコシートの物性試験(ＳＢＳタイプ)

試験項目		数値	試験方法
引裂強度	たて方向	750 N/5cm	
	よこ方向	640 N/5cm	
伸展率	たて方向	65%	
	よこ方向	65%	
穴あけ抵抗	コンクリート上	L 4	UEA tc試験
	毛織布上	〃	〃
	パーライト上	〃	〃
収縮率	たて方向	0.1%	80℃で6時間後
	よこ方向	0.1%	
低温曲げ抵抗		－20℃	直径20㎜丸棒
高温溶融抵抗		120℃	垂直面2時間
拡散抵抗		±25,000	ミクロン
定着抵抗		合格	DIN 4062
飛火抵抗		〃	DIN 4102 Part 7

〈形状〉

幅1ｍ×長さ10ｍ、　1巻の重量約40kg

〈膜厚〉

標準4㎜厚で、5㎜厚、3㎜厚、1.5㎜厚もある。ベンチングシートは、1.5㎜厚。

施工方法

(1)素地調整

出来るだけ平滑な面を得るよう下地補修をする。

(2)プライマー塗布

ビチュメンプライマーを塗布して、約1～2時間乾燥させる。

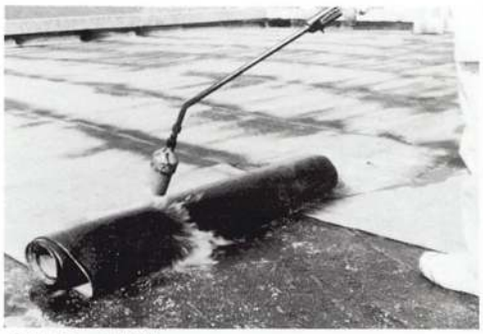
(3)下地補強

「ベンチングシート」を、ラムコシートの下地に敷くことにより、防水性能はさらに増強される。エキスパンション・ジョイントや動きの予想される目地の上には、ポリエステル不織布や「スリップ・テープ」、「ルーフ・テープ」を置くのが望ましい。

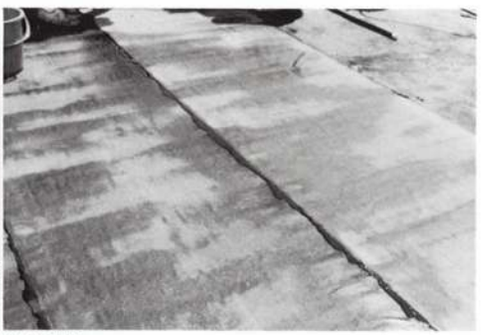
(4)ラムコシート貼り

ロールを施工面に拡げて、カッターナイフでサイズを取り、再び巻き戻す。バーナーでシートの裏面を平均に焙り、ビチュメンが少し熔け流れる程度に熔かして、ロールを貼り拡げる。押圧の必要はない。オーバーラップは10cm程度。

岡山　信／建材委員


ラムコシート貼り


コーナー部仕上げ


仕上がり

『屋上防水』は
もはや
ゴムシートや砂付ルーフィングの
時代ではありません。



ラムコ
ゴムアスファルト防水ルーフィング
シート
トーチ工法の世界最高品

ベルギー直輸入・LUMMERZHEIM社日本総代理店

株式会社 大高商会
ダイコー

本社 ／ 大阪市住吉区長居東４－２－10
TEL(06)696-1155　FAX(06)696-1175
支店 ／ 東京都大田区中馬込２－３－10
TEL(03)777-7028　FAX(03)777-4128

NEW VISION

新しい設計思想が おりなす快適空間

ベルックス ルーフウインドウ



【構　　造】

外側：アルミ外装板

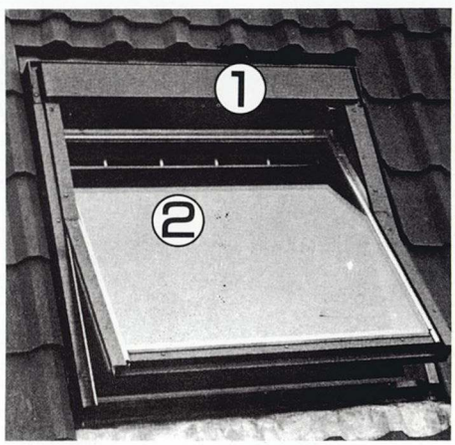
①.固定部　②.回転部

内枠：スウェーデン松

【各種性能試験結果】

断熱	JISA4710	2.7Kcal/m²・h・℃
水密	JISA4706	35kgf/m²
気密	JISA4706	1.61m³/h・m²
風圧	JISA4706	268kgf/m²
遮音	DIN52210	29dB

(財)日本建築総合試験所実験値 「断熱型サッシII型性能」



木製回転サッシ

ルーフウインドウの特長

- 中軸回転　**180度反転**するガラス面は、外面掃除も室内から容易におこなえます。
- **閉め切り換気**　上部のレバーを1段下げることによって、窓を閉めたままでエアーフィルターを通して換気ができます。
- 有効使用角度　**20〜85度**までの屋根や傾斜壁にご使用頂けます。
- **ペアガラス標準装備**　断熱・遮音効果に優れています。
- お求めやすい価格です。

¥48,000 〜 ¥101,000(雨押え含む)

VELUX® お問い合わせは

日本ベルックス株式会社

本社／〒151 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-8-14 ホアリーナビル3F TEL.03(478)8141㈹

大阪／〒532 大阪市淀川区西中島3-10-13 物産ビル2F TEL.06(300)5036㈹

風洞実験用小型風向計の試作

財団法人 日本建築総合試験所
所 在 地…吹田市藤白台5－8－1 〒565
電　　話…(06)872－0391　FAX…(06)872－0784
業務時間…平日：9：00～17：00
　　土曜：9：00～12：00

1．はじめに

ビル風を対象とした高層建築物周辺の気流測定においては、当然ながら、各部の風速測定に主眼が置かれている。当試験所では風速センサーを自動的に移動して順次風速を測定していくシステムを開発した(本誌61年9月号参照)。しかし、風速のデータだけでは気流の把握は困難であり、そのため場合によっては、適切な測定位置で測定がなされているのか判断できないこともある。また、強風の発生に対して有効な対策を講じるためには、風向のデータは必要であると思われる。従来、風洞内での模型周辺の局部的な風向の測定方法には**表－1**のようなものがあるが、いずれも測定効率が悪く、精度も良くない。そこで、これらに代わる風向計を試作したのでご紹介する。この風向計の主な特徴は、小型であり局部の風向が測定できること、軽量の吹流しを用いるために応答性が良いこと、乱れの大きい箇所での測定精度が良いこと、測定値をコンピュータに入力できるために自動測定が可能となること等が挙げられよう。

2．試作風向計の概要

試作した風向計は小型のファイバー式光電スイッチを8点円周上に並べ、その中心にアルミ板製の吹流しをセットしたものである。使用した光電スイッチは反射型で、検出距離は13㎜、φ0.03㎜の銅素線が検出できる程の高感度のものである。光源は赤色発光ダイオードを用いており、外乱光による誤動作は通常起こらない。風速測定と同様に、この風向計を4軸トラバース装置に乗せ、コンピュータによる移動制御によって自動的に測定が行なえるようにした（図－1参照)。データの取り込みはフォトカプラで絶縁したパルス信号をＴＴＬレベルでパラレル入力する方法を用いた。

3．試作風向計の精度

8本の光電スイッチは互いに45°のピッチで並んでいるので、このままだと誤差が大きい。そこで、風向センサー自体を15°および30°と回転し、計24点の光電スイッチを用いた測定と同等であるとした。この場合には±7.5°の誤差で風向検出が期待できる。風洞内で検定した風向計の出力特性を**図－2**に示す。風向計による値は各光電スイッチの感知した度数（全度数は600）をベクトル和して求めたものである。目視で風向を観察する場合には気流が乱れていると測定が困難になるが、試作した風向計は乱れた気流中の方が精度が良いことがわかる。

4．周辺気流測定への応用

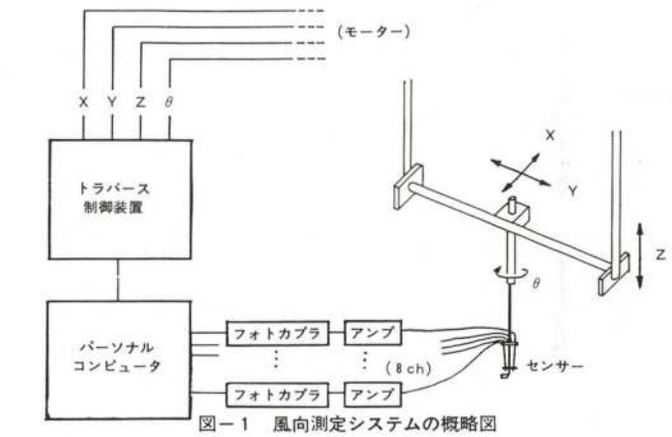
高層建築物周辺の歩行者高さにおける気流性状の測定に試作した風向計を使用した。**図－3**では、当風向計により求めた風向と、別途無指向性風速計を用いて測定した風速値とをベクトル合成して表示している。風速値のみの分布が表示されている図を想像していただければ、気流の把握が当図ほどに可能かどうかおわかりいただけるものと思われる。

以上、当試験所で製作した小型の風向計の概略を述べたが、本装置の使用により、ビル風模型実験は非常に精密に、そして高速に行なえるようになった。広くご利用していただければ幸いである。

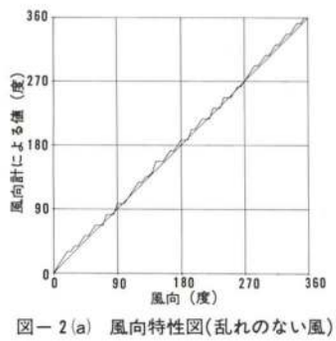
研究員　西村宏昭

	素　　材	データ処理
吹流しによるもの	タンポポの種子、毛糸・紙の小旗、吊り下げられた小球	目視判断
流線によるもの	煙 パラフィン蒸気	目視判断 写真撮影
指向性風速センサーによるもの	タンデム型センサー 熱式パルスセンサー	コンピュータによるデジタル化
飛散によるもの	砂	写真撮影

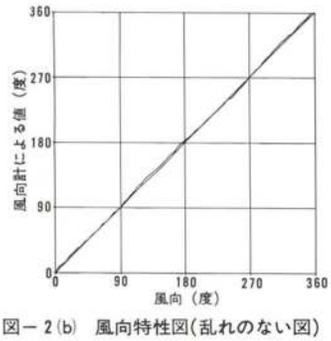
表－1　風洞内風向測定方法



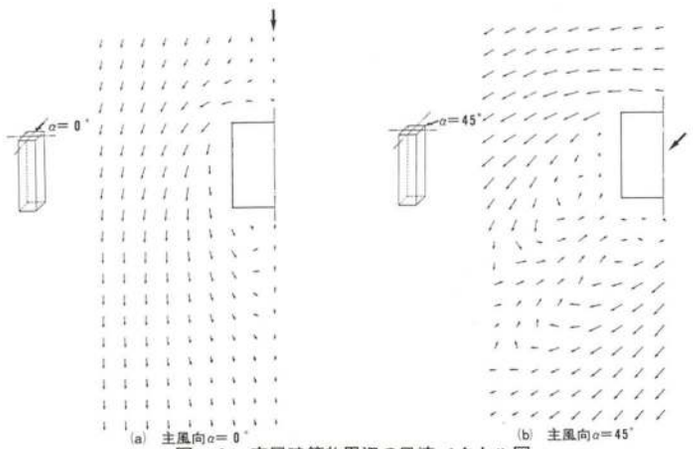
図－1　風向測定システムの概略図



図－2(a)　風向特性図(乱れのない風)



図－2(b)　風向特性図(乱れのない図)



図－3　高層建築物周辺の風速ベクトル図

瓦の新時代を拓く。

三州丸栄



TERRA-COTTA ROMANE

テラ＝コッタとはイタリア語で「土」「焼く」の意。
建築装飾や彫像に用いられ、顔料を練り込んだ素焼きの技術。
切断面も表面の色が見える美しい葺き上り。
この高級硬質陶器の伝統を生かして、テラコッタローマンは
無釉瓦の深い味わいと落ちつきが漂います。

北欧の屋根に原型を求めた ファンタジックな平瓦。

テラコッタローマン FF40



かたちフラット。施工はナイスフィット。

●雨漏り対策に工夫をこらした水返し。●地割りの簡便さ、最低数の役瓦。縦利足寸法のスライド調整機能による施工のスピードアップ。●耐震・耐暴風性を高める瓦相互の密着の良さ。●耐寒性にもすぐれた3%の低吸水率は高温焼成による炻器質のたまもの。

桟瓦の規格

全長＝390㎜(1尺2寸9分)　全幅＝300㎜(9寸9分)
利足＝333㎜(1尺1寸)　利幅＝250㎜(8寸3分)
使用枚数＝1㎡当り12枚(坪40枚)
重量＝4.0㎏　1㎡当り＝48㎏(坪160㎏)

フランス・リモージュ地方の瓦を 日本の風土にリデザイン。

テラコッタローマン SS40



かたちセミS型。施工はシンプル。

●上下にかみ合う水返しが、吹き込みや毛細管現象をシャットアウト。●平面部分の横利幅のスライド調整機能によるイージー施工。●耐震・対暴風性を求めた瓦相互の高い密着性。●耐寒性にもすぐれた3%の低吸水率を誇る、高温焼成による炻器質瓦。

桟瓦の規格

全長＝390㎜(1尺2寸9分)　全幅＝300㎜(9寸9分)
利足＝333㎜(1尺1寸)　利幅＝250㎜(8寸3分)
使用枚数＝1㎡当り12枚(坪40枚)
重量＝4.0㎏　1㎡当り＝48㎏(坪160㎏)

丸栄陶業株式会社 〒447 愛知県碧南市白沢町1-38 TEL(0566)48-1511(代) FAX(0566)48-1694

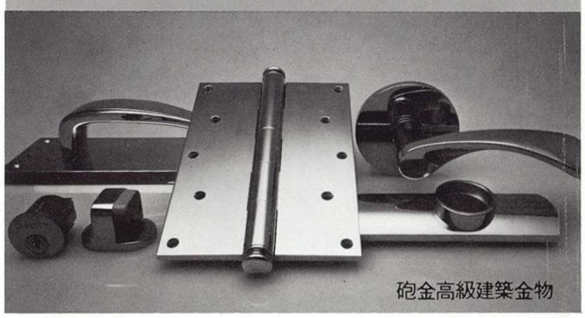
しなやかに個をアシストします

建築はいつも私たちに多くのものを語りかけてきます。とりわけ、その時代につちかわれた文化や、そこに生きる人びとの息づかいなどを雄弁に物語る建築には、つくり手の既存の価値感に拘束されない自由でフレクシブルな思考と、建築的想像力への〝個〟としてのダイナミズムを感じとることができます。

豊饒な時代の創出のために、建築家の柔軟な姿勢が不可欠であるように、それらをアシストする私たちにとっては、マスプロダクトとしての普及率の高さや伝統といった表層に驕ることのない〝しなやかな思考〟が身についていなくてはなりません。

必要にして充分な製品を送り出すだけが企業の役割りではなく、夢や情熱にあふれた建築に彩りを添えるには、自らの想像力が大切であることも、建築との長い関わりのなかで学びました。

ユニオンはこれからも、そんな〝個〟に対してのしなやかな精神を忘れることなく、意欲的な製品をお届けしていきたいと考えています。



砲金高級建築金物

- 建物のドアハンドル
- パニックハンドル
- クロセットドア
- サインシステム
- 身障者用補助手摺り
- キャストパネル
- 車止ポール
- フロアガイドシステム

建築のこころ伝わる確かな製品を

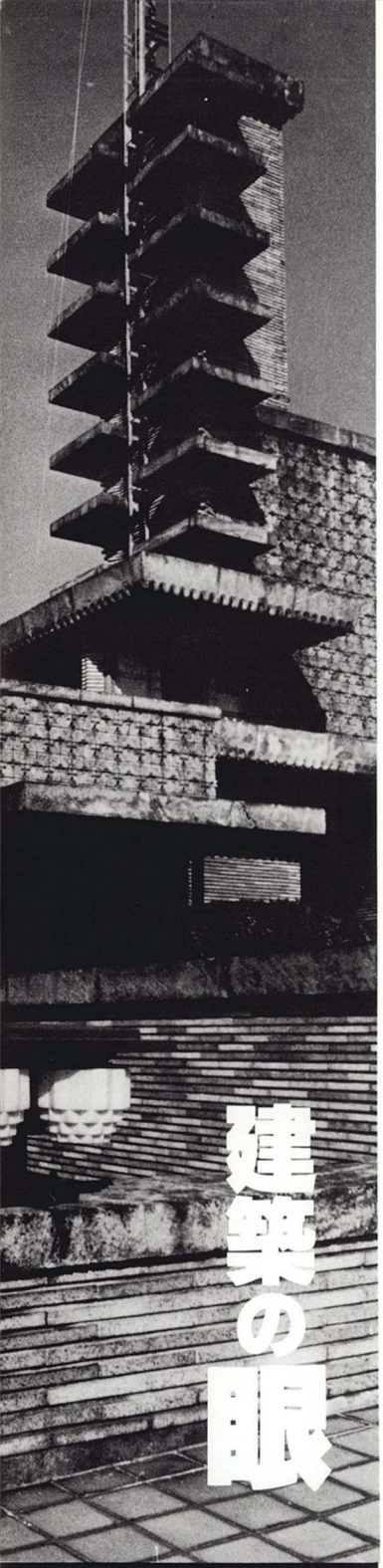
UNION

建築工事金物製品の

株式会社ユニオン

●本社――大阪市西区南堀江2-13-22
〒550 ☎06(532)3731㈹ FAX(533)3747
●東京営業所――東京都江東区白河2-6-2
〒135 ☎03(630)2811㈹ FAX(630)2816
●名古屋営業所――名古屋市東区筒井町1-14-9
〒461 ☎052(935)6021㈹ FAX(935)6023
●東京ショールーム――東京都江東区白河2-9-5
〒135 ☎03(630)2811㈹ FAX(630)2816
●大阪ショールーム――大阪市西区京町堀1-17-16
〒550 ☎06(443)6620㈹ FAX(443)6640

株式会社ユニオン装飾金物
大阪市浪速区日本橋5-7-23
〒556 ☎06(631)4771㈹ FAX(643)7538



建築の眼

加藤　力（かとう つとむ）
京都工芸繊維大学住環境学科助教授

高木　登（たかぎ のぼる）
住宅・都市整備公団関西支社
住宅事業第2部長

谷山　隆（たにやま たかし）
コンコード建築設計事務所代表

田中弘成（たなか ひろなり）
大林組建築設計第三部部長

7月号から12月号まで上記の4氏が担当

おしゃべり椅子

いつの時代も女性にとって、おしゃべりは無類の愉しみの一つである。

ルネッサンス期に流行した貴婦人用の椅子がある。おしゃべり椅子といった。気ぐらいの高い女性のように、ややとりすまして、ツンと立った背高の背もたれが特色である。当時、ご婦人方のあいだでは裾巾の大きく拡がったスカートが愛用されていた。これを着用しての立居振舞に合わせて座面は扇状にひろがって、なるほど優雅な椅子である。大きくスカートをひろげ、ここでおしゃべりに打ち興じたご婦人達の会話の内容が、いかなるものであったかは計り知れない。ルネッサンス時代のことであったから、おおかた無邪気な世間話だけで終るはずもなかった。椅子は人間に最も身近かな環境体である。椅子のように、人間のごく身近かな生活に密着した環境の道具は、その時代の文化や風俗のあり様がこめられている。〝ゆとり〟ができたとやらで、昨今、喫茶店などで長々とおしゃべりにあかす主婦達の姿がみられるようになった。それはそれで良い。が、後世の人が今風おしゃべり椅子を見れば、いかなるイメージを現在に思い浮べることであろうか。

（T・K）

引っ越しの理由

最近、故あって転居したら、会う人毎に引っ越しの理由を聞かれるのには参った。それ以来、聞かれる度にそれなりに言い訳をしてきたが、その幾つかをまとめてみると、同居していた両親が亡くなり、子供達もそれぞれ下宿住いを始めたので、元は6人家族が住んでいた家が夫婦2人にはいささか手広になったことと、あちこち修理する箇所が増えてきたので、このまま住み続けるかどうか迷っていたことは事実である。丁度その頃、家内が前から住んで見たいといっていた手頃な住宅の募集に応募し、まさかと思っていた抽選にも当ったので「何事も神の思し召し」と思い切って引っ越した。

引っ越した当座は、いろいろ面倒な手続きが重なり、もう2度と引っ越すものかと思っていたが、落ち着いてみると新しい住いはそれなりに新鮮かつ快適であり、やはり引っ越してよかったと思っている。今では、いずれ年を取り、脚が弱くなってきたら、もっと小さくても便利な都心のマンションに引っ越すのも悪くないなと考え始めている。ただ、その頃に丁度、手頃な場所に手頃な値段で注文通りの住宅が見つかるかどうかは分らない。

（N・T）

夢——その1

最近ある地方都市の中心商店街活性化のためのシンポジュームに出席し、建築家として意見をのべた。もともとこの商店街も全国的傾向と同じく落込みの激しいところで、活性化が叫ばれて久しいが一向に改善されていない。夢も希望も消えうせてどん底の状態である。私に与えられたテーマは、〝都市デザインからみた活性化へのアプローチ〟ということであったので、「もし建築家として夢を語らせていただければ」との前堤で、あるべき商店街の姿をのべた際、商店街のリーダーからきついお叱りを受けた。すなわち「商店街が苦しみあえいでいる時、夢とは何事か」との主旨である。夢とはずばり睡眠中にもつ錯覚や幻象をいうが、その多くは理屈の合わない支離滅裂なものである。その意味で空想的で馬鹿げたこと、はかないことというふうに理解されがちだが、一方、将来実現したい願い・理想像という創造的積極面を持っている。ものごとに行きづまった場合夢を持つことが大切である。夢は何の制約もなく自由奔放に大きな視野でみることができる。あまり現実のみ見つづけるとますます消極的にならざるを得ない。夢と現実のほどよい結果を生みだすことにつながるのだが…。先のリーダーは夢の持つ意味が理解できないらしい。リーダーとして失格というべきであろう。しかしこのような人間は今日あらゆる分野で増えつづけている。何となく恐ろしい状況だ。

（T・T）

水辺のネットフェンス

休みの日の朝早く、ときたま、近くの公園へ散歩に出かけることにしている。公園には、犬を運動させている人や、子供を連れた老人など、中には、お互いに散歩の常連らしい人達が朝のあいさつを交わしあったりして、早朝のひと時を楽しんでいる。とりわけ、初夏の朝は、実にさわやかで気持のいいものである。

公園の植栽は、年と共に成長し、このごろの季節になると、一段と緑も豊かになり、木陰も大きくなって、しっとりと落着きを増してくる。しかし、いつ行っても不快に思っていることがある。公園にある大きな池のまわりに、いつのころからか、ネットフェンスが張りめぐらされていることで、そのフェンスには「あぶない」と書かれた看板が数多く取付けられている。フェンスの脇の草がのびて、池の水面が見えないところもある。これでは、せっかくの水辺が台無しである。どうやら、これは、公園の管理者が、水の事故に対する責任に敏感になってのことのようであるが、もうすこし、何とか工夫できないものであろうか。‥‥このぶんでいくと、海辺もネットフェンスで囲うことになるのだろうか。

（H・T）

◀通常総会、定時評議員会決議報告

昭和62年６月24日開催の通常総会①並びに定時評議員会②において、下記議案がそれぞれ原案どおり承認されましたので、ここに会告いたします。

記

①② 昭和61年度　事業報告並びに決算報告（本号掲載）
① 昭和62年度　事業計画並びに収支予算（４月号会告）
① 創立70周年記念事業並びに収支予算　（２月号会告）
② 理事３名の補選　（下記）
① 評議員１名の補選　〃
① 名誉正会員の推挙　〃
② 会員増強に関する件　〃

理事１名欠員と、米田元一、武田恭一理事の辞任により、清水義一郎氏（清水工業所）・原田明治氏（大阪府建築部）・若山繁氏（近畿電気工事）を理事に選任し、若山繁氏の評議員退任に伴う後任評議員として荒巻恭士氏を選任いたしました。

定款第11条による名誉正会員として、下記の方々を推挙いたしました。

浦辺　鎭太郎氏・岡橋　作太郎氏・川勝　源兵衛氏
汲川　圭司氏・小林　清氏・四方　靖郎氏
高橋　慶夫氏・塚本　猛次氏・野々村五四男氏
久田　良吉氏・前野　慶太郎氏・水野　長三郎氏
森　忠一氏・山田　芳雄氏・吉原　九州男氏

◀会員増強についてお願い

本会創立70周年を迎えた本年を契機として、21世紀に向けて建築界のますますの発展に寄与すべく、各種事業の活性化とその浸透に取り組むことになりました。

このためには、会員の増加が必要不可欠となりますので、新規会員の加入促進にご協力下さいますようお願い致します。

追って、本件に関するご連絡は、本会事務局（348－0635）へお願いします。

◀会員の受賞

このたび、下記会員の諸氏は、建設界における多年の功績によって、建設大臣より表彰を受けられました。

ここに誌して、その栄誉をお慶び申し上げます。

記

加藤　忠三郎氏（㈱平田タイル会長）
鈴木　友夫氏（マルコマ㈱常務取締役）
竹林　昭二氏（竹林塗装工業㈱社長）
平田　定男氏（㈱平田建築構造研究所代表取締役）
寄神　美好氏（寄神建設㈱社長）

大正11年、本会主催の箕面・桜ヶ丘住宅博をご存知ですか?

本会創立70周年記念事業の一つとして、現在、「大正ロマンの住宅地再見（仮称）」展の企画を進めております。

この中で扱う主なテーマは、本会が大正11年に主催しました「箕面・桜ヶ丘住宅博覧会」の住宅で、当時の資料の収集をすすめ、この機に現存住宅の再調査も実施したく考えております。

つきましては、会員の皆様の中で桜ヶ丘住宅博の実施当時の資料をお持ちの方、あるいは当地に居住されご協力いただけます方、ご紹介いただけましたら有難く存じます。

お心当たりの方、本会事務局事業課までご一報お寄せ下さい。

日本建築協会事業課：〒530 大阪市北区梅田1-1-3-2100
大阪駅前第３ビル・21F.　TEL.06-348-0633

◀第34回青年技術者特集号の応募規定

本誌11月号予定の青年技術者特集号の応募規定は「青年技術者のみなさまへ」と題して76頁に掲載していますので、ご参照の上、ふるってご応募下さいますよう、お知らせいたします。なお、すいせん用紙は日本建築協会事務局にありますので、ご請求下さい。

日本建築協会創立70周年記念出版

◀『昭和生まれ関西の建築家50』発行

本会創立70周年を記念して、「建築と社会」昭和62年７月臨時増刊号『昭和生まれ――関西の建築家50』をこのほど発行いたしました。

本誌は「建築と社会」誌昭和57年８月号より61年９月号までの50回―計50人分、好評連載された「関西の昭和生まれ――設計者のプロフィール」を全収録し、新たに補足構成しましたものを中心に、関西の建築家とその作品に焦点をあてた座談会、評論、年表、建築作品マップ、インタビュー、アンケートなどを集録、あわせて最新情報として関西の設計組織の概要紹介を掲載しております。（内容については、別掲52頁参照）

1.雑誌体裁　Ａ４判変形（タテ297㎜×ヨコ222㎜）　214頁
1.定　　価　１部1,500円（会員のみ送料無料）
1.申 込 み　日本建築協会総務課（郵便振替口座大阪1-39975）

◀関西建築家50展開催

● 1987年 8 月25日(火)～ 9 月 2 日(水) 午前10時～午後６時
● 会場：学校法人武庫川学院第三学舎「甲子園会館」・２階
※詳細は本誌53頁をご覧下さい。

寄附金の受領

このたび、本会会長　佐野正一氏より、一金壹佰萬圓のご寄附を頂戴いたしました。ここに誌して厚く御礼申し上げます。

日本建築協会会告

日本建築協会創立70周年記念事業・ヨーロッパ研修旅行参加者募集

ふたつの世紀末の建築を訪ねて

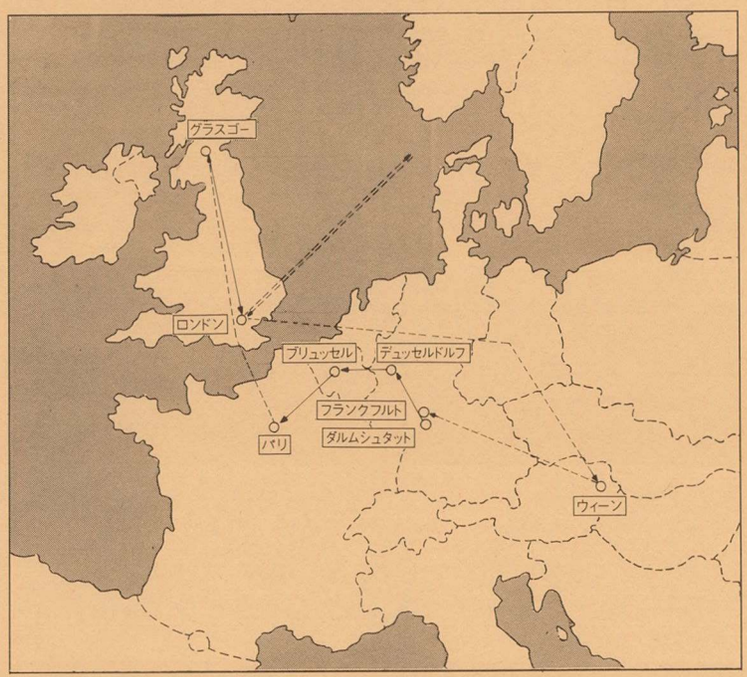
19世紀から20世紀にかけてのヨーロッパでは「世紀末」という時代の雰囲気の中で、ネオクラシシズムからアーツアンドクラフト、アールヌーボー、ユーゲントスティル、アールデコへと移行しつつ、モダニズム建築が全世界を席捲する直前に、建築の多様なこころみと豊かな作品が作られました。

そして、モダニズムデザイン後、近年ではポストモダニズムとして、諸々の様相の建築がつくられ、いまヨーロッパではパリ、ロンドンを中心に活況を呈しています。

このようなヨーロッパの建築状況のなかで、本会では今秋に「ふたつの世紀末の建築を訪ねて」と銘打って19、20両世紀末の建築を対照しながら見学する研修旅行を企画しました。

ウィーン、ダルムシュタット、ブリュッセル、パリ、グラスゴーでO．ワーグナー、V．オルタ、H．ギマール、C．R．マッキントッシュなどによる19世紀末から20世紀初頭の建築を、またロンドン、パリ、フランクフルト、デュッセルドルフなどでは、ロイズ本社ビル、オルセー美術館、フランクフルト工芸美術館、メンヘングラトバッハ美術館をはじめとして20世紀末の最新の建築を訪ねます。

この研修旅行を通じて、21世紀の建築状況の兆しを少しでも読み取ることができれば、たいへん意義深いものになると確信しております。皆様方の多数の御参加をお待ちしております。



〈募集要項〉

1．訪問都市
ウィーン、フランクフルト、ダルムシュタット、デュッセルドルフ、ブリュッセル、パリ、グラスゴー、ロンドン

2．旅行期間
1987年11月21日(土)～12月５日(土)〔15日間〕

3．講　師
山形政昭氏(大阪芸術大学建築学科講師)

4．募集人員
25名(最少催行人員25名)　※募集人員に達し次第締切前でもお断りする場合があります。

5．参加資格
本会会員および建築関係者(学生含む)など

6．旅行費用
会　員　425,000円
会員外　445,000円
(定員に満たない時は変更する場合があります)

7．申込締切日
昭和62年９月30日(水)

8．申込方法
下記「参加申込用紙請求書」を㈳日本建築協会事業課へお送り下さい。折り返し正式申込書、手続案内書をお送りいたします。(本会事業課まで電話でご連絡いただいても結構です)

9．申 込 金
★50,000円(旅行費用に繰り入れます)
★正式参加申込時に下記銀行へお振り込み下さい。

10．旅行費用振込先および振込期日
★北海道銀行大阪支店
㈱日本交通公社大阪本町支店
普通預金口座002219
★昭和62年11月６日(金)までに残金をお振り込み下さい。
※ローンのご利用も可能ですので下記旅行社にお問い合わせ下さい。

11．問い合わせ先
★社団法人日本建築協会事業課
〒530　大阪市北区梅田1-1-3-2100（大阪駅前第３ビル21階）　TEL．06－348－0633
★株式会社日本交通公社大阪本町支店
〒541　大阪市東区安土町４丁目19番地
TEL．06－261－2513
旅行業務取扱主任者/松井昂、担当者/萬代・岩田

〈旅行条件〉

この旅行は、㈱日本交通公社が取り扱うものです。

■次の費用は旅行費に含まれています。
1．旅行日程に明示された航空運賃（ただしエコノミークラス）、鉄道運賃およびバス料金
2．各地におけるファーストクラスホテルの宿泊料金および税・サービス料金（２人部屋に２人宿泊を基準とします）
3．全朝食、昼食11回、夕食６回の食事料金および税・サービス料
4．手荷物の運搬料金（お一人様20kg以内のスーツケース１個）
5．添乗員費用

■上記費用のほかは旅行費に含まれません。その一部を例示します。
超過手荷物料金、クリーニング代・電報電話料・ホテルのボーイ・メイド等に対するチップその他追加飲食等個人的性質の諸費用およびそれに伴う税・サービス料、渡航手続関係諸費用、お客様のご希望による１人部屋追加料金、オプショナルツアー代金、日本国内の空港施設使用料、日本国内におけるご自宅から発着空港までの交通費・宿泊費、旅行日程中の空港税等。

■取消料
申込者のご都合で参加をお取り消しになる場合、１人当たり下記の取消料を申し受けます。
昭和62年９月21日以降……　￥20,000円
昭和62年10月21日以降……　￥50,000円
昭和62年11月６日以降……￥100,000円
昭和62年11月19日以降……￥150,000円
旅行開始後……お客様が未だ旅行サービス提供を受けていない部分に係わる旅行代金の金額

■この旅行条件は、昭和62年６月12日を基準としておりますので、航空運賃および各種交通機関などの運賃改訂並びに為替相場その他の事由により変更される場合があります。

■特に記載のない事項については、株式会社日本交通公社旅行業約款に準拠するものとします。

切 取 線

創立70周年記念事業 ヨーロッパ研修旅行 参加申込用紙請求書

現　住　所

氏　　名　　年齢(　　歳)

勤 務 先 名

電 話(自 宅)

電話(勤務先)

日本建築協会ヨーロッパ研修旅行日程表

ふたつの世紀末の建築を訪ねて——1987年11月21日~12月5日

日時	月日(曜)	都市	時刻	交通機関	摘要	宿泊地	主な見学施設
1	11月21日(土)	大阪発	19:10	BA 006		機中泊	
2	11月22日(日)	ロンドン着 〃 〃 発 ウィーン着	6:00 9:55 13:05	BA 600 貸切バス	**ウィーン建築視察**	ウィーン	
3	11月23日(月)			貸切バス	**ウィーン建築視察**	ウィーン	
4	11月24日(火)	ウィーン発 フランクフルト着	16:55 18:15	OS 405	**ウィーン自由視察**	フランクフルト	
5	11月25日(水)			貸切バス	**フランクフルト建築視察** ※視察終了後、貸切バスでダルムシュタットへ	ダルムシュタット	●フランクフルト工芸美術館 ●ドイツ建築美術館 ●フランクフルト見本市会場ビル ●シティーアートギャラリーなど
6	11月26日(木)	フランクフルト発 デュッセルドルフ着	15:46 18:27	貸切バス 列車	ダルムシュタット建築視察	デュッセルドルフ	●ヘッセン大公結婚記念塔 ●ルードヴィッヒ館 ●ベーレンス自邸(芸術家村) ●州立劇場
7	11月27日(金)	ケルン発 ブリュッセル着	17:08 19:53	貸切バス 列車	**デュッセルドルフ建築視察** ※視察終了後、貸切バスでケルンへ	ブリュッセル	●メンヘングラトバッハ美術館 ●ヴァルラーフリヒャルツ美術館
8	11月28日(土)	ブリュッセル発 パリ着	18:38 21:13	貸切バス 列車	**ブリュッセル建築視察**	パリ	●オルタ美術館 ●タッセル邸 ●ストックレー邸 ●ブリュッセル中央駅など
9	11月29日(日)			貸切バス	**パリ建築視察**	パリ	
10	11月30日(月)				**パリ自由視察**	パリ	●オルセー美術館 ●科学技術博物館 ●アラブ研究所 ●ピカソアリーナ ●マルヌラヴァレの集合住宅 ●ラ・ビレット公園 ●地下鉄入口 ●アンリ・ハイネ通りのアパート ●ギマール自邸 ●カステルベランジェなど
11	12月1日(火)	パリ発 ロンドン着 〃 〃 発 グラスゴー着	15:13 15:30 17:15 18:25	貸切バス BA 309 BA 4952	**パリ建築視察**	グラスゴー	
12	12月2日(水)	グラスゴー発	23:10	貸切バス 列車	**グラスゴー建築視察**	車中泊	●ウィローティールーム ●グラスゴー美術学校 ●ヒルハウスなど
13	12月3日(木)	ロンドン着	6:02	貸切バス	**ロンドン建築視察**	ロンドン	●ロイズ本社ビル ●ソーン美術館 ●フィンズベリ通りのオフィスビルなど
14	12月4日(金)	ロンドン発	13:10	BA 005		機中泊	
15	12月5日(土)	大阪着	17:00				


◀ウィーン郵便貯金局(ウィーン)


◀ゼツェッション館(ウィーン)

- カールスプラッツ駅
- マジョリカハウス
- ウィーン郵便貯金局
- ロースハウス
- ゼツェッション館
- シュタインホッフ礼拝堂
- レッティローソク店
- シュライン宝石店NO1、NO2
- 旅行代理店　●フンデルトワッサーの集合住宅など


▲フンデルトワッサーの集合住宅(ウィーン)


メンヘングラトバッハ美術館▶(デュッセルドルフ)


◀科学技術博物館(パリ)


▼カステルベランジェ(パリ)


▼ヒルハウス(グラスゴー)


◀ロイズ本社ビル(ロンドン)

※上記日程は交通機関の都合により変更になることがありますので、予めご了承下さい。

◀大阪国際交流センター新築工事の見学



大阪市制100周年記念事業の一環として、天王寺区上本町８丁目に建設が進められていた大阪国際交流センターが今秋９月21日にオープンします。

同センターは「国際交流会館」と「国際学友会館」の２つの施設からなり、国際交流活動の新しい拠点として期待されます。

多数の方のご参加をお待ちいたします。

日　　時　昭和62年 9 月 2 日(水)　集合13：30→解散15：30
集合場所　大阪国際交流センター・正面玄関前付近、目標会旗
定　　員　40名
参加会費　会員 500円・会員外 800円（当日、受付にて頂きます）
申　　込　ハガキまたは電話にて本会事業課へ。締切８月26日(水)

建築概要

所 在 地　大阪市天王寺区上本町８丁目
発 注 者　大阪市
設　　計　大阪市都市整備局営繕部、㈱日建設計
施　　工　（建築）㈱竹中工務店・㈱淺沼組・モリタ建設㈱　共同企業体
敷地面積　15,790㎡
建築面積　7,335㎡（国際交流会館　5,973㎡、国際学友会館 1,362㎡）
延床面積　17,908㎡（　同　上　13,860㎡、　同　上　4,048㎡）
構造・規模　国際交流会館 RC造 一部S造 地下1階 地上3階 一部6階
　　国際学友会館 RC造 地上4階
工　　期　昭和60年11月～昭和62年７月

◀大阪府立病院新病院の見学



21世紀を展望した基幹総合病院をめざして、新しく生まれかわろうとしている大阪府立病院。

現病院の運営が続けられる中で推進された近代化整備事業の第一期工事として、このほど、新病棟と診療棟１が完成。病院側の特別のご厚意により見学できることになりました。

多数の方のご参加をお待ちいたします。

日　　時　昭和62年 9 月 7 日(月)　集合 14：00→解散 16：00
集合場所　大阪府立病院・正面玄関前付近、目標会旗
定　　員　40名
参加会費　会員 500円・会員外 800円（当日、受付にて頂きます）
申　　込　ハガキまたは電話にて本会事業課へ、締切８月31日(月)

建築概要

所 在 地　大阪市住吉区万代東３丁目１－56
発 注 者　大阪府
設　　計　大阪府建築部営繕室、㈱建築計画・山下設計共同企業体
　　新日本設備・三輪設備・中村設備設計共同体
監　　理　大阪府建築部営繕室、㈱大阪府建設監理協会、㈱新日本設備計画
施　　工　（建築）㈱竹中工務店・大成建設㈱・㈱松村組・㈱奥村組　共同企業体
敷地面積　50,827.00㎡
建築面積　3,726.72㎡
延床面積　37,096.30㎡
構造・規模　（病棟）SRC 地下1階 地上12階 塔屋1階
　　（診療棟1）RC 地下1階 地上3階 塔屋1階
高　　さ　軒高：（病棟）52.15m　（診療棟1）13.70m
延 床 数　778床
工　　期　昭和59年11月～昭和62年５月（改築第１期工事）

〈プロのノウハウ〉

◀「建築紛争の実際身を守るための12カ条」（岡本辰義 著）発刊

この７月30日に、〈プロのノウハウ〉シリーズの一環として、標記図書が発刊されました。

実際問題として、建築紛争が数多くある現状のもとで、こういう本が発刊されたことは、当事者だけでなく、これから家を建てようとする建築主、設計者、施工者にとっても有益だと考えます。紛争に至る“因”はどこに潜むのか、実際の紛争の収支はどうなるのかなど、生の実例にもとづいて、「身を守るための12カ条」として、下記のとおりまとめられています。

工務店は訴える――
1 見積書を請負契約とみなし、今まで事故ひとつなかったのに
2 手打ちしてご馳走になったのに一夜明ければ支払ってくれない
3 自信をもって完成したのに残代金を支払ってくれない
4 インテリア業者は下地材が細いからと残代金を支払ってくれない
5 実績以上の工事規模を受注して悪戦苦闘、頑張ったが
建築主は訴える――
6 4階建ビルが傾いたのは、設計者と工務店共謀の欠陥工事だ
7 夢と希望を籠めた建物なのに「人間だから間違いもある」とは何事か
8「雨の日が怖い!!」雨が防げない建物なんて信じられない
9 基礎工事段階で技術不安、契約を解除し工務店は積算せよ
設計者も訴える――
10 数々の無謀な苦情をもとに、３％の設計料を支払ってくれない
11 法外な追加費用請求に、気鋭の設計者が正面きって大反論
12 設計以外に建設兼業を試みたが、初仕事から三つどもえの紛争に

著者の岡本辰義氏は、岡本建築設計事務所所長、岡建工事株式会社会長のかたわら、東京建築士会建築相談委員などでも活躍され、紛争事例に数多く関与されてきた方です。「建築士と実務」誌での「建築相談・紛争相談」欄を執筆連載されてきた方で、このたびは、それを中心にして、ぜひ知っていただきたい実例を選んで、まとめられたものです。

定価は￥1800です。日本建築協会事務局(06－348－0635）へお買い求めにこられた方には100円割引で頒布しております。ご購読をおすすめいたします。

建築技術選書特装版

◀「構造コストと経済設計」（須賀好富 著）発刊

日本建築協会創立60周年を契機として刊行した「建築技術選書」の判型を大きくして、今般、70周年を迎えるに当たり、より充実した技術書として「特装版」を刊行することにいたしました。本号はその第一号で、７月30日発刊です。

構造計画に際し、構造コストは重要なファクターです。本書は、「Ｓ造」「ＲＣ造」「ＳＲＣ造」「ＰＣ・ＰＲＣ造」「基礎構造」における構造コストを計算し、設計諸因子との関連を明らかにしつつ、経済設計の最適値を探究したものです。内容は16章に分けて論じられていますが、読者は本書から、①構造コストを小さくする構造計画ができること、②構造コストの概算が精度よくできて、それによって建設企画に貢献できること、③構造コストを小さくする柱・はりの断面寸法が求められること、などを知ることができます。

著者の須賀好富氏は、現在、近畿大学助教授ですが、すでに、「建築技術選書」では「構造計画とやさしい力学」を、〈プロのノウハウ〉では「躯体工事監理のチェックポイント100」を著しておられ、構造の第一人者です。

定価は￥3500。日本建築協会にお求めにこられた方には、200円割引きで頒布いたしております。ご購読をおすすめいたします。

貸借対照表

昭和62年3月31日現在

(単位：円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	**49,449,835**	**流動負債**	**49,797,874**
現金	29,627	未払金	9,361,400
普通預金	12,444,722	前受金	17,291,600
定期預金	6,000,000	その他	23,144,874
郵便振替	6,727,670	**固定負債**	**46,294,499**
未収金	12,575,140	長期借入金	24,400,000
仮払金	11,316,321	退職給与引当金	21,894,499
前払費用	356,355	**基本金**	**266,017,016**
固定資産	**251,697,180**	基本金	9,247,176
土地	59,800,000	基金	5,849,840
建物	191,120,000	会館基金	250,920,000
什器	777,180	**剰余金**	
投資	**66,547,147**	前期繰越剰余金	**6,029,447**
金銭信託	6,980,103		
中期国債ファンド	31,567,044		
退職給与積立預金	3,000,000		
貸付信託	25,000,000		
収支勘定	**444,674**		
合計	**368,138,836**	**合計**	**368,138,836**

有形固定資産の償却費累計額 423,780

財産目録

昭和62年3月31日現在

(資産の部)		
流動資産		**49,449,835**
1．現金、預金		
(1)現金 (手許有高)	**29,627**	
(2)普通預金	**12,444,722**	
三和銀行 瓦町支店	4,335,034	
大和銀行 北浜支店	1,072,621	
住友銀行 高麗橋支店	6,077,106	
中央信託銀行 梅田支店	959,961	
(3)定期預金(大和銀行 北浜支店)	**6,000,000**	
(4)郵便振替(大阪1－39975)	**6,727,670**	
2．未収金	**12,575,140**	
会誌収入	6,989,290	
個人正会員会費収入	2,917,000	
地方会員会費収入	51,850	
団体正会員会費収入	767,000	
仮受金	1,850,000	
3．前払費用	**356,355**	
会誌発行費		
4．仮払金	**11,316,321**	
郵券代	227,620	
70周年記念式典関係	11,088,701	
固定資産		**252,120,960**
(1)土地 大阪市北区梅田	59,800,000	
(2)建物 1－1－3－2100	191,120,000	
(3)什器 大阪駅前第3ビル21階	1,200,960	
投資		**66,547,147**
(1)金銭信託(中央信託銀行 梅田支店)	6,980,103	
(2)中期国債ファンド(ユニバーサル証券)	31,567,044	
(3)退職給与積立預金(定期) 住友銀行 高麗橋支店	3,000,000	
(4)貸付信託 中央信託銀行 梅田支店	25,000,000	
資産合計		**368,117,942**

(負債の部)		
流動負債		**49,797,874**
1．未払金	**9,361,400**	
(1)会誌発行費	3,327,450	
(2)建築技術選書諸費	20,720	
(3)集金費	66,350	
(4)仮払金	5,471,570	
(5)助成金支出	475,310	
2．前受金	**17,291,600**	
(1)個人正会員会費収入	4,658,300	
(2)地方会員会費収入	624,100	
(3)団体正会員会費収入	9,300,000	
(4)会誌収入	2,498,000	
(5)寄付金収入	200,000	
(6)准会費	7,200	
(7)会員名簿収入	4,000	
3．仮受金	**23,144,874**	
3月分給与税金	146,560	
〃 204条該当分	146,064	
70周年寄付金外	22,420,000	
本代	60,350	
新幹線切符代	335,900	
建築クラブ会費	36,000	
固定負債		**46,294,499**
1．借入金	24,400,000	
2．退職給与引当金	21,894,499	
負債合計		**96,092,373**
純財産		**272,025,569**
負債及び純財産合計		**368,117,942**

収　支　内　訳　表

収入の部　　昭和62年3月31日現在　　(単位：円)

大科目	中科目	予算額	決算額	増△減	備考
事業収入		**71,100,000**	**71,148,956**	**48,956**	
	会誌収入	58,000,000	58,801,065	801,065	
	契約約款売上収入	2,500,000	2,023,670	△ 476,330	
	建築技術選書収入	2,600,000	4,222,361	1,622,361	
	集会収入	1,000,000	569,800	△ 430,200	
	講演講習会収入	2,000,000	1,078,430	△ 921,570	
	雑入	5,000,000	4,453,630	△ 546,370	
会費収入		**63,308,000**	**62,670,550**	**△ 637,450**	
	個人正会員(本・支部)	29,640,000	29,532,500	△ 107,500	
	個人正会員(地方)	1,632,000	1,837,850	205,850	
	団体正会員	32,000,000	31,251,600	△ 748,400	
	準会員	36,000	48,600	12,600	
寄付金収入	寄付金収入	**700,000**	**700,000**	**0**	
積立預金取崩収入	借入金返済積立預金取崩収入	**4,400,000**	**4,400,000**	**0**	
雑収入	雑収入	**5,000,000**	**4,118,080**	**△ 881,920**	
収入合計		**144,508,000**	**143,037,586**	**△ 1,470,414**	

支出の部

大科目	費目	予算額	決算額	増△減	備考
管理費		**68,000,000**	**64,340,127**	**△ 3,659,873**	
	給与・手当	43,000,000	42,160,580	△ 839,420	
	退職金	1,000,000	0	△ 1,000,000	
	退職給与引当金繰入額	3,000,000	3,816,901	816,901	
	福利・厚生費	5,000,000	4,589,108	△ 410,892	
	会議費	2,000,000	1,392,340	△ 607,660	
	旅費交通費	1,800,000	1,642,860	△ 157,140	
	通信運搬費	1,200,000	1,043,808	△ 156,192	
	集金費	1,600,000	1,242,190	△ 357,810	
	消耗品費	300,000	218,349	△ 81,651	
	修繕費	100,000	99,550	△ 450	
	印刷製本費	360,000	271,100	△ 88,900	
	光熱水料費	440,000	316,677	△ 123,323	
	火災保険料	50,000	18,700	△ 31,300	
	租税公課	1,900,000	1,803,430	△ 96,570	
	清掃費	200,000	115,000	△ 85,000	
	借入金利息	1,150,000	1,152,000	2,000	
	雑費	900,000	625,430	△ 274,570	
	管理費	4,000,000	3,832,104	△ 167,896	
事業費		**71,000,000**	**73,930,753**	**2,930,753**	
	会誌発行費	56,000,000	58,776,894	2,776,894	
	契約約款費	1,500,000	1,191,630	△ 308,370	
	建築技術選書諸費	2,200,000	3,196,698	996,698	
	集会費	1,800,000	1,575,015	△ 224,985	
	講演講習会費	1,500,000	1,171,987	△ 328,013	
	教育振興費	1,200,000	1,199,617	△ 383	
	助成金支出	1,800,000	1,389,909	△ 410,091	
	雑費	5,000,000	5,429,003	429,003	
基金繰入額	基金繰入額	**700,000**	**700,000**	**0**	
借入金返済支出	借入金返済支出	**4,400,000**	**4,400,000**	**0**	
減価償却費	減価償却費	**100,000**	**94,500**	**△ 5,500**	
有価証券売却額	有価証券売却額		**16,880**	**16,880**	
予備費	予備費	**308,000**	**0**	**△ 308,000**	
支出合計		**144,508,000**	**143,482,260**	**△ 1,025,740**	

差引不足金　444,674
前期繰越剰余金　6,029,447
5,584,773……次期繰越剰余金

▶昭和61年度事業報告書　自 昭和61年4月1日　至 昭和62年3月31日

1．総　　会

（イ）通常総会

6月25日　5時30分～6時　於本会会議室

出席者　佐野会長ほか21名

議事(1)昭和60年度事業報告承認の件

(2)昭和60年度決算報告承認の件

(3)昭和61年度事業計画承認の件

(4)昭和61年度収支予算承認の件

（ロ）通常総会

2月24日　5時～5時30分　於本会会議室

出席者　佐野会長ほか14名

議事(1)監事1名選任の件

(2)本部所属評議員18名選挙の件

(3)役員重任承認の件

2．評　議　員　会

（イ）定時評議員会

6月25日　5時～5時30分　於本会会議室

出席者　高橋議長ほか41名（委任状共）

議事(1)昭和60年度事業報告承認の件

(2)昭和60年度決算報告承認の件

（ロ）評議員会にかえて書面表決

11月20日付をもって「昭和61年度評議員選出数決定」についてお諮りした。

（ハ）定時評議員会

3月26日　4時～5時　於本会会議室

出席者　高橋議長ほか38名（委任状共）

議事(1)評議員会議長、副議長互選の件

(2)副会長2名、理事21名選任の件

(3)役員重任承認の件

(4)専務理事1名、常務理事1名選任の件

(5)昭和62年度事業計画並びに収支予算承認の件

(6)創立70周年記念事業並びに収支予算承認の件

3．理　　事　　会

(1)定例理事会　6回

(2)常任理事会　5回

4．委　　員　　会

	委員会	幹事会・小委員会 分科会・打合会等
(1)編集委員会	12回	116回
(2)事業委員会	7回	49回
(3)建材委員会	12回	
(4)教育委員会	2回	10回
(5)出版委員会	10回	

5．特　別　委　員　会

法制問題懇談会　4回

創立70周年特別委員会　35回

6．講　　習　　会

建築工事実務講習会（大阪）

10月21日　9時～17時　於建設交流館

科目・講師

●施工計画

㈱大林組本店建築工務部次長　金田　宏氏

●仮設見積

㈱大林組本店建築工務部工務課長　安立　俊夫氏

●積算業務

㈱竹中工務店神戸支店見積課長　黒川征一郎氏

聴講者　87名

7．見　　学　　会

京都全日空ホテル新築工事の見学

5月9日　2時～4時

参加者　53名

●建築概要

所在地　京都市中京区堀川通二条下ル土橋町10番地

建築主　裕進観光株式会社

設計・監理　株式会社富家建築事務所

インテリア設計　株式会社観光企画設計社

施工　鹿島建設株式会社

富士通関西システムラボラトリを見る

5月27日　2時～5時

参加者　78名

●建築概要

所在地　大阪市東区城見2丁目2－6

建築主　富士通株式会社

設計　㈱日建設計・㈱熊谷組設計共同企業体

監理　株式会社日建設計

施工　株式会社熊谷組

大阪ガス岩崎コンピューターセンターの見学

6月10日　2時～5時

参加者　21名（本会のみ）建築4団体共催

●建築概要

名称　岩崎コンピュータセンター

所在地　大阪市西区千代崎3丁目2－95

発注者　大阪ガス株式会社

設計・監理　株式会社安井建築設計事務所

施工　(建築)株式会社大林組

敷地面積　84,859.46㎡

建築面積　2,347.48㎡

延床面積　13,850.61㎡

構造・規模　鉄骨鉄筋コンクリート造、地上6階、塔屋2階

用途　コンピュータセンター

工期　昭和60年4月→61年10月

兵庫県立尼崎病院新築工事の見学

9月16日　2時～4時半

参加者　55名

●工事概要

工事名称　尼崎病院（移転）建築工事

所在地　尼崎市東大物町1－1

建築主　兵庫県知事　坂井時忠

設計・監理　兵庫県都市住宅部営繕課・設備課

施工　(建築)竹中・大林・柄谷建設共同企業体

構造・規模　SRC　B1(1部B2)、F8、塔屋付き

敷地面積　18,000㎡

建築面積　7,592㎡

延面積　32,980㎡

高さ　軒高　30.7m　最高高さ　41.2m

病床数　500床

工期　昭和59年8月1日～61年6月30日

大阪、阿倍野再開発事業を見る

10月22日　2時～4時

参加者　47名

●建物概要

所在地　大阪市阿倍野区阿倍野筋3丁目60番

設計・監理　大阪市都市整備局、㈱大建設計、㈱小西設計、㈱昭和設計

工事監理　同上

施工　(建築)竹中・フジタ・鴻池　建設工事共同企業体

敷地面積　約　10,600㎡

建築面積　約　9,700㎡

延床面積　約 101,200㎡

主要用途　住宅　約25,700㎡(337戸)／店舗 約17,000㎡／事務所　約 4,400㎡／体育館　約 5,900㎡／駐車場等その他約11,400㎡／共用　約36,800㎡

最高高さ　約70m

構造・規模　SRC、B4、17F、P3

工期　昭和57年3月～61年1月

奈良の茶室八窓庵を訪ねる

11月29日　1時半～4時

講師　岡田孝男氏（帝塚山学院大学教授・工学博士）

見学先　奈良国立博物館の茶室「八窓庵」と同博物館

参加者　35名

大阪府立体育会館改築工事の見学

1月29日　1時半～4時半

参加者　30名(本会のみ)建築4団体共催

●建築・施工概要

所在地　大阪市浪速区難波中3－4－36

発注者　大阪府

設計　大阪府建築部営繕室、㈱日建設計

監理　大阪府建築部営繕室、(財)大阪府建設監理協会、㈱日建設計

施工　(建築)㈱大林組・戸田建設㈱・㈱鴻池組・村本建設㈱・共同企業体

敷地面積　8,356.88㎡

建築面積　7,171.38㎡

延床面積　28,318.27㎡

構造・規模　SRC造、屋根S造

地上4階、地下2階、塔屋1階

高さ　軒高　20.221m

最高部高さ　34.415m

第1競技場　固定席　3,131席（大相撲開催時　約8,300人）、最大収容人員約10,000人

工期　昭和60年3月22日～62年1月31日

ベル・パークシティの見学

2月19日　2時～4時

参加者　43名

●建築概要

所在地　大阪市都島区友渕町1－8－1ほか

事業主体　三井不動産株式会社、カネボウ不動産株式会社、株式会社デベロッパー三信、進和不動産株式会社、三鐘都市開発株式会社

設計監修　株式会社IDE建築事務所

建築施工　三井建設株式会社、鹿島建設株式会社、株式会社竹中工務店

敷地面積　152,590㎡

建築面積　43,000㎡(予定)

延床面積　378,000㎡(予定)

構造・規模　SRC一部RC造、地下0～2階、地上7～36階、塔屋0～2階

住戸規模　1LDK～5LDK

工期　昭和56年10月～65年10月(予定)

●G棟・住棟概要

設計・施工　三井建設株式会社

階数　36階、塔屋2階(住宅階2階～36階)

形状　Y型住棟

総住戸数　329戸

梅田センタービル新築工事の見学
3月12日　1時半～4時
参加者　50名
●建築概要
所在地　大阪市北区中崎西2丁目44番1
建築主　株式会社竹中不動産
設計・施工　株式会社竹中工務店
面積　11,606.72㎡(敷地)　3,766.46㎡(建築)
80,088.46㎡(延床)　2,109.87㎡
階数　地下2階・地上32階・塔屋1階（高さ最高部 134.7m）
構造　地下2階～地下1階／鉄筋コンクリート造及び鉄骨造
地上1階～塔屋1階／鉄骨造
用途　事務所・ショールーム・店舗・イベントホール・アートハウス
工期　昭和60年3月～62年3月

8．若い会員の集い

浪速短期大学の伊丹キャンパスを見る
7月26日　2時～5時
参加者　43名
講師　大久保久能氏(株式会社坂倉建築研究所)
梅原　良矢氏(　同　上　)
建築概要
所在地　兵庫県伊丹市荒牧字上ノ池2－1
建築主　学校法人　塚本学院
設計・監理　株式会社坂倉建築研究所大阪事務所
施工　大成建設株式会社大阪支店
みどり学習会(第12回)　－日本の森林を学ぶ－
紅葉黄葉の私市植物園にて
11月8日　1時～5時
講師　安藤萬喜男氏(大阪市立大学講師)
参加者　39名
展覧会「解剖台上の私性群」　－建築家池上俊郎の5年間の仕事－
開催期間　1986年12月6日(土)→12月12日(金)
午前10時～午後7時
会場　日本建築協会・ラウンジ
観覧者　400名
講演会「解剖台上の私性群」－スライド併用－
日時　1986年12月6日(土)　開会18：30→閉会20：30
会場　日本建築協会・ラウンジ
講師　池上俊郎氏(㈱アーバンガウス研究所・池上俊郎建築事務所　代表)
参加者　54名
“ポリフォニーへの軌跡”
－建築家　東　孝光・都市住居の空間論を語る－
2月18日　6時半～9時20分
参加者　121名
講師　東　孝光氏(大阪大学工学部教授)
会場　扇町ミュージアムスクエア

9．スライド・映画会

香港上海銀行本社ビル　16㎜とスライド映写会
4月18日　6時～8時半
会場　日本建築協会・ラウンジ
参加者　51名
桂離宮－昭和の大修理－　講演と映画会(16㎜)
7月31日　6時～9時
会場　日本建築協会・ラウンジ
講師　水本豊弘氏(株式会社大林組、元桂離宮工事事務所長)
参加者　45名

レーザービジョンで見る建築映写会
①ポストモダン建築 in USA
11月28日　6時～7時15分
参加者　10名(於本会・ラウンジ)
②アントニオ・ガウディ
12月3日(火)　6時～7時半
参加者　12名（於本会・ラウンジ）

10．コンクール

第32回工高生デザインコンクール
設計課題　「テニスクラブハウス」
応募数　34校　158点
審査会　10月25日　表彰式　11月22日
審査委員長　徳岡昌克氏(徳岡昌克建築設計事務所長)
入選作　10点（内最優秀作1点）

11．会誌「建築と社会」(特集号)

4月号　インテリジェントビルの建築・設備計画
5月号　自治体営繕と公共建築
6月号　建築防災と法／大阪市庁舎(第2期)
7月号　21世紀の住居と設備
8月号　開発－その創造的仕掛けの鍵をもとめて－／ツィン21
9月号　CAD－その応用と展開－
10月号　新しいオフィス空間の構造－求められる機能と構成要素－
11月号　第33回青年技術者
12月号　インテリア・イクステンションとリニューアル
1月号　入浴物語
2月号　腐食
3月号　創立70周年記念号

12．出　版

創立60周年記念事業「建築技術選書」姉妹篇
〈プロのノウハウ〉シリーズ
企画　日本建築協会
編集発行　学芸出版社
体裁　四六判2色刷イラスト入
定価　1,800円
●現場マンのアイデア発想
●建築基準法の実際

13．午餐会・懇親会

建築関係団体合同忘年懇親会
12月12日　於太閤園ダイヤモンドルーム
出席者　285名
建築9団体合同新年交礼会
1月4日　於大阪コクサイホテル
出席者　662名

14．会計監査

5月6、7日の2日間
太田昭和監査法人公認会計士松下五夫氏によって、昭和60年度の会計監査実施。

15．創立70周年記念事業

●第1回日本建築協会賞
建築総合試験所の設立と運営／財団法人　日本建築総合試験所
技能訓練校の設立と運営／近畿電気工事株式会社
「季刊大林」の刊行と『復元と構想』の出版／株式会社　大林組
建設業界へのＴＱＣの導入／株式会社　竹中工務店
Ｈ形鋼の開発／新日本製鐵株式会社
●第1回日本建築協会賞特別賞
大阪駅前市街地改造事業の完成／大阪市
ポートアイランドの建設／神戸市

3月30日　2時半～6時40分
会場　太閤園
①式典・表彰式
式辞　会長　佐野　正一
祝辞　建設大臣　天野　光晴氏
大阪府知事　岸　昌氏
大阪市長　大島　靖氏
日本建築学会会長　谷　資信氏
表彰式　(1)日本建築協会賞表彰
(2)協会創立70周年記念表彰　大阪府知事表彰　大阪市長表彰　協会表彰
②講演会
演題　都市と現代
講師　大阪大学文学部教授　山崎　正和氏
③祝賀会
参会者　式典・講演会　250名　祝賀会　350名

16．他団体との共同活動

建築業務基準委員会
建築防災関係法令研究連絡会
四会連合工事請負契約約款委員会

17．本会が入会している団体

大阪商工会議所
大阪市街地再開発促進協議会
関西経済連合会
建築行政協会大阪市支部
建設関係公益法人協議会(建設省所管の社団財団)
建築国際連絡協議会　5団体　事務局学会
建築関係団体連絡会　80団体　〃　建築センター
建築業務基準委員会　16団体　〃　士会
建築防災関係法令研究連絡会　〃　家協会
四会連合工事請負契約約款委員会
大阪府社会保険協会
大阪市北区納税協会
大阪市防火管理協会

18．本会より役員、委員を送っている団体

大阪商工会議所	2号議員
大阪市街地再開発促進協議会	理事
日本建築総合試験所	理事
日本建築センター	評議員
大阪建築防災センター	理事
大阪住宅センター	理事
建築業務基準委員会	委員
建築防災関係法令研究連絡会	委員

19．建築クラブ

会員有志の組織する建築クラブでは毎月大阪グランドホテルにおいて講師を招き朝食会を行うほか、1月には新年宴会(晩餐)を開催して相互の親睦をはかっている。

20．ゴルフ同好会

会員のゴルフ同好者をもって組織し、年間5回の定例競技会を開催して、ゴルフを通じて会員相互の親睦、研鑽を図っている。

暑中お見舞申し上げます

昭和62年盛夏　(50音順)

青山幸夫

株式会社 青山建築積算事務所 代表取締役
〒550 大阪市西区京町堀1-10-19江南ビル 電話06(443)0430
〒610-11 自宅・京都市西京区大原野上里勝山町14-6
電話075(331)8082

生島道春

社団法人 日本建築積算協会関西支部 支部長
〒542 大阪市南区鰻谷中之町62番地 市川ビル2F
電話06(245)6645

指宿真智雄

株式会社 **建築デザイン**1級建築士事務所 代表者
〒564 吹田市江坂町1丁目23番101号 大同生命ビル12F
電話06(386)1311代
〒606 京都市左京区下鴨北野々神町8—5 電話075(781)6573

浅井泰

株式会社 笠谷工務店 専務取締役
〒659 芦屋市業平町4—1 電話0797(22)0703
〒659 自宅・芦屋市翠ヶ丘町13—5 電話0797(22)5291

泉沢哲史

株式会社 泉沢建築設計事務所 代表取締役
〒530 大阪市北区神山町14番3号 木津信ビル
電話06(364)9071代

今井忠臣

イマヰ建設工業株式会社 代表取締役
〒547 大阪市平野区加美北5丁目11番12号 電話06(792)4425
FAX06(792)5837
〒547 大阪市平野区平野北2—9—15 電話06(792)4404

浅野昭夫

株式会社 浅野建築設計事務所 代表取締役
〒543 大阪市天王寺区城南寺町5—35 電話06(768)0201代
〒631 自宅・奈良市西登美ヶ丘6丁目4番5号
電話0742(46)4346

磯岩武

大機建材工業株式会社 代表取締役
〒666 兵庫県川西市久代6丁目1番16号 電話0727(70)8563
〒665 自宅・宝塚市中山台2丁目18番9号
電話0797(88)3698

今西茂雄

株式会社 今西建築デザインルーム 代表取締役
〒550 仮事務所・大阪市西区北堀江1丁目12番10号
山田ビル1F
電話06(541)3051～3

淺沼茂夫

株式会社 淺沼組 取締役社長
〒543 大阪市天王寺区東高津町12番6号 電話06(768)5222
〒168 自宅・東京都杉並区下高井戸3丁目17番1号
電話03(302)1922



今西祥郎

財団法人 大阪住宅センター 理事長
〒542 大阪市南区南船場4丁目4番3号
御堂筋アーバンライフビル4F
電話06(253)0071～3
〒591 堺市新金岡町3丁1—23—102 電話0722(51)1902

会長 **浅海正雄**
社長 **浅海伸之**
浅海電気株式会社
〒530 大阪市北区西天満3丁目7番4号 電話06(362)8701
〒665 自宅・宝塚市御殿山2丁目31番50—109号
電話0797(85)0745
〒665 自宅・宝塚市栄町2丁目10番26—712号
電話0797(81)1174

取締役会長 **今村騰**
取締役社長 **糸岡義太郎**
中央電気工業株式会社
〒530 大阪市北区太融寺町3番24号 電話06(312)8881代表

井上隆

井上窯業株式会社 代表取締役
〒543 大阪市天王寺区生玉町11番28号 電話06(771)2851代
〒659 自宅・芦屋市川西町4番23号 電話0797(22)5930

市川繁雄

日本管工業株式会社 取締役社長
〒601 京都市南区西九条豊田町20 電話075(681)5101～6
〒606 自宅・京都市左京区下鴨芝本町37 電話075(781)0289

今村祐三郎

社団法人 大阪建設業協会 専務理事
事務局長
〒540 大阪市東区京橋3丁目70 電話06(941)4821

飯田精次郎

共同設計株式会社 代表取締役
〒530 大阪市北区西天満5丁目10番4号 電話06(364)5836
〒560 自宅・豊中市本町2丁目2番24号 電話06(852)5775

市川宏

株式会社 東畑建築事務所 取締役社長
〒541 大阪市東区伏見町5—19 電話06(202)0391
〒658 自宅・神戸市東灘区住吉山手4丁目4—32
電話078(811)0216

専務取締役 **岩崎弘**
常務取締役西日本本部長 **吉竹寛**
株式会社 教育施設研究所 大阪事務所
〒550 大阪市西区立売堀1丁目13番1号 電話 06(531)0916
大信ビル 電話 06(541)7301
〒630 自宅・奈良市法蓮立花町1046-2 電話0742(22)2217
〒560 自宅・豊中市東寺内10—36 電話 06(339)3550
グリンパークハイツ304

暑中お見舞申し上げます

昭和62年盛夏　(50音順)

上西圭治

株式会社 大気社 代表取締役会長
〒530 大阪市北区中之島３－２－18 住友中之島ビル７階
電話06(448)3603
〒659 自宅・兵庫県芦屋市浜町12－14 電話0797(22)5949

植野寿雄

株式会社 寿建築積算事務所 所長
〒542 大阪市南区東清水町48つるのすビル電話06(244)1561
〒588 自宅・堺市大美野５－９ 電話0722(37)1162

尾亀清四郎

株式会社 三晃空調 取締役会長
〒540 大阪市東区城見ツイン21MIDタワー 電話06(949)1371
〒573 自宅・枚方市岡山手町15－４ 電話0720(41)3427

尾原重信

株式会社 和光建築設計事務所 代表取締役
〒550 大阪市西区北堀江２丁目９番15号 電話06(531)4488
〒532 自宅・大阪市淀川区十三東3-14-13 電話06(302)1051

多井幸男（オオイ）

多井建築研究所 所長
〒541 大阪市東区今橋１丁目１番地 １番館ビル
電話06(226)0008
〒657 自宅・神戸市灘区曽和町３丁目１－11
電話078(821)6133

大井弘治郎

株式会社 大井建築設計事務所 代表取締役
〒550 大阪市西区京町堀１丁目10－８ 福岡ビル
電話06(444)4521～2
〒562 自宅・箕面市百楽荘４丁目４－11 電話0727(21)4113

大槻國秋

日本電設工業株式会社 大阪支店 常務取締役支店長
〒531 大阪市大淀区豊崎３丁目17－15 電話06(372)3531
〒658 神戸市東灘区西岡本６－５－23 電話078(411)1673

大西孝夫

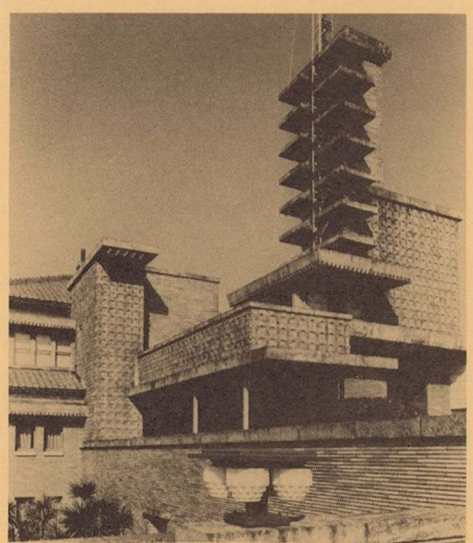
株式会社 日建設計 常務取締役 大阪統括
〒541 大阪市東区高麗橋５丁目21番地１ 電話06(203)2361

岡澤勇

岡澤建築設計事務所 所長
〒530 大阪事務所・大阪市北区西天満4丁目4番12号
近藤ビル６Ｆ 電話06(362)6082代表
〒567 茨木市藤の里２丁目16番６号
電話0726(43)5230・8953

岡本行善

株式会社 昭和設計 代表取締役社長
〒550 大阪市西区新町１丁目５番７号 四ツ橋ビル
電話06(532)3421代
〒659 自宅・芦屋市岩園町35－７ 電話0797(31)3201



奥村紘行

奥村重兵衛株式会社 取締役社長
〒530 大阪市北区西天満5丁目3番7号 電話06(312)4131代
〒662 自宅・西宮市南郷町14番34号 電話0798 (71) 0011

加藤忠三郎

株式会社 平田タイル 代表取締役会長
〒550 大阪市西区阿波座１丁目１番10号
電話06(532)1231代
〒601 自宅・京都市南区東九条北鳥丸町24電話075(691)1334

数井利美

株式会社 西村建築事務所 取締役社長
〒652 神戸市兵庫区荒田町2丁目1-8 楠六パレスビル
電話078(521)0205～0207
〒654 自宅・神戸市須磨区白川台２丁目39－13
電話078(792)5862

亀井晃治

一級建築士事務所 株式会社 A.R.I.（あり）建築事務所 代表取締役
〒542 本社事務所・大阪市南区谷町７丁目3番4－203
新谷町第３ビル２Ｆ
電話06(768)1771代 FAX06(768)1406
〒577 アトリエ・東大阪市上石切町2－14－35
電話0743(73)6137
〒631 自宅・奈良市中町1番地の４７９ 電話0742(43)1226

亀田六夫

株式会社 増島製作所 大阪営業所 取締役所長
〒530 大阪市北区西天満３丁目13番18号 島根ビル
電話06(364)1951
〒560 自宅・豊中市刀根山元町８－12 電話06(855)5356

鎌谷秀男

修成建設専門学校 理事長
〒555 大阪市西淀川区大和田5丁目19-30 電話06 (474)1644
〒665 自宅・宝塚市千種３丁目８番23号 電話0797(72)1380

川岸繁夫

株式会社 川岸窯業商店 代表取締役会長
〒550 大阪市西区西本町１丁目13－33 電話06(532)0461代
FAX06(535)5181
〒563 自宅・池田市天神１丁目10－10 電話 0727(61)8598

川瀬甲子雄

扶桑管工業株式会社 代表取締役
〒616 京都市右京区太秦和泉式部町12番地 電話075(861)1157
大阪支店 電話06(304)0777 東京支店 電話03(263)0501
〒565 自宅・吹田市津雲台６－７－２ 電話06(834)1734

河井覚弘

河井建築事務所 所長
〒631 奈良市中山町３丁目210－25 電話0742(44)8100
(45)4378

暑中お見舞申し上げます

昭和62年盛夏　(50音順)

河裾和夫

螢光産業株式会社　代表取締役
〒531 大阪市大淀区本庄西3丁目9番20号
電話06(371)5146代
〒560 自宅・豊中市中桜塚4丁目6-4　電話06(852)4148

木原正雄

近畿工業株式会社　専務取締役
〒540 大阪市東区谷町2—1　近鉄大手前ビル
電話06(943)5500
〒663 自宅・西宮市浜甲子園1—10—16　電話0798(41)6580

木下國男

内外パーキング施設株式会社　取締役社長
〒550 大阪市西区江戸堀2丁目6—25—508
電話06(441)0477代
〒665 自宅・宝塚市逆瀬台6丁目15番11号 電話0797(73)3228

小北博一

株式会社ジャス　代表取締役
〒565 大阪府吹田市古江台6丁目3番1号 健康の森
電話06(833)6611代
〒565 自宅・豊中市新千里北町1—1　C5—209
電話06(872)6461

小阪永一

大信印刷株式会社　代表取締役
〒531 大阪市大淀区大淀中4丁目13—11　電話06(451)7631
〒553 大阪市福島区福島6丁目20—10　電話06(451)5346

小島勝巳

有限会社 小島勝巳建築事務所 代表取締役
〒541 大阪事務所・大阪市東区南本町4丁目41番地
イヨビル8階　電話06(252)8088代 FAX06(243)0640
〒103 東京事務所・東京都中央区日本橋本町4—15—10
山本ビル7階　電話03(661)0768代 FAX03(661)0769
〒166 自宅・東京都杉並区成田西1丁目16—17
電話03(315)5435

取締役会長 **小西岬**
取締役社長 **橋本正章**

株式会社 小西設計
〒550 大阪市西区立売堀1丁目12—16　電話06(532)4051

小林清

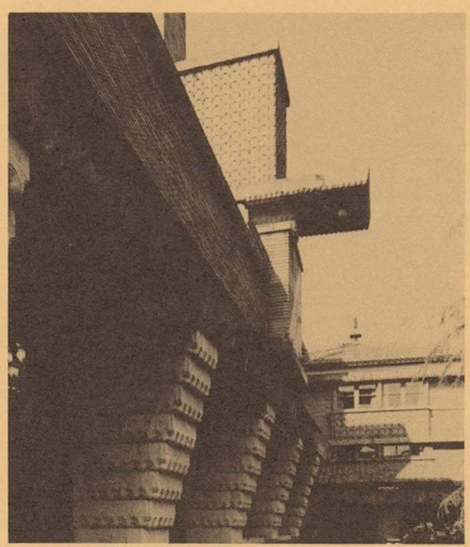
株式会社 新住宅社　代表取締役
〒530 大阪市北区中之島4丁目3番25号　電話06(443)6641代
FAX06(443)6642
〒545 自宅・大阪市阿倍野区北畠3丁目1番7号
電話06(654)0584

取締役会長 **河内義就**
代表取締役 **河内國利**

有限会社 河内義就設計事務所
〒730 広島市中区八丁堀6番7号 チュリス八丁堀503
電話082(228)2271

鴻池藤一

株式会社 鴻池組　代表取締役会長
〒541 大阪市東区北久宝寺町4丁目27番地
ダイヤルイン電話06(244)3500(受付台)
〒603 自宅・京都市北区平野鳥居前町86 電話075(461)1526



佐々木森一

株式会社 佐々木建築事務所　代表取締役
〒550 大阪市西区京町堀1—3—22　電話06(443)0675
〒617 京都府向日市上植野浄徳11—19　電話075(921)0728

会長
佐野正一

株式会社 安井建築設計事務所 代表取締役社長
〒540 大阪市東区島町2丁目7番地　電話06(943)1371代
〒662 自宅・西宮市雲井町4の9　電話0798(72)1569

斉藤國義

株式会社 斉藤工業所　代表取締役
〒557 大阪市西成区岸里2丁目6番5号　電話06(661)3325代
〒557 自宅・大阪市西成区岸里東1丁目21番3号
電話06(652)0208

雑賀幸夫

株式会社 大阪雑賀建築事務所 代表取締役
〒543 大阪市天王寺区上本町8丁目3番23号
電話06(772)4426・4436
〒573 自宅・枚方市香里ヶ丘7丁目11-16 電話0720(54)0004

堺徳吾

西日本建設業保証株式会社　取締役社長
〒550 大阪市西区立売堀2丁目1番2号　電話06(543)2553

笹野敦

高砂熱学工業株式会社大阪支店　取締役 大阪支店長
〒530 大阪市北区芝田1丁目4番8号北阪急ビル
電話06(372)8411

四方靖郎

四方設計工務株式会社
一級建築士事務所　代表取締役社長
〒612 京都市伏見区深草関屋敷町32—2　電話075(642)9516
〒612 自宅・京都市伏見区深草関屋敷町32—2

名誉正会員
白石登喜男

株式会社 藤木工務店　常務理事
〒540 大阪市東区両替町1丁目13番地　電話06(944)1468
〒558 自宅・大阪市住吉区墨江1—7—39　電話06(671)3792

城口庸平

株式会社 大阪城口研究所　取締役社長
〒530 大阪市北区角田町2番15号　電話06(372)7151代

暑中お見舞申し上げます

昭和62年盛夏　(50音順)

須賀好富

近畿大学理工学部建築学科　助教授

〒577 東大阪市小若江3－4－1　電話06(721)2332 内線4519

〒577 自宅・東大阪市小阪3－4－B911　電話06(789)8114

立野一郎

株式会社　ユニオン　代表取締役

〒550 大阪市西区南堀江2丁目13番22号　電話06(532)3731代

寺嶋繁久

株式会社　Sim建築事務所　代表取締役

〒604 京都市中京区東洞院通蛸薬師下ル　電話075(256)3993

〒616 自宅・京都市右京区嵯峨鳥居本化野町12-45　電話075(871)3921

菅谷節

ダイダン株式会社　代表取締役社長

〒550 大阪市西区江戸堀1丁目9番25号　電話06(441)8231

〒158 自宅・東京都世田谷区等々力6丁目3番18号　電話03(703)1027

知見義夫

春日設備工業株式会社　相談役

〒601 京都市南区西九条春日町48番地　電話075(671)5377代

〒601 自宅・京都市南区西九条春日町48　電話075(691)3860

傳馬正明

ムツミ産業株式会社　代表取締役

〒550 大阪市西区鞍本町1丁目17番15号　電話06(441)0378大代

〒558 自宅・大阪市住吉区長居東3丁目14番22－515　電話06(699)5326

鈴木隆二

株式会社 鈴木隆二設計事務所 代表取締役

〒460 名古屋市中区松原1丁目17－6　電話052(321)1763・6720

〒463 自宅・名古屋市守山区小幡池下73　電話052(792)3505

名誉会長

塚本猛次

株式会社　日建設計　最高顧問

〒541 大阪市東区高麗橋5丁目21番地1　電話06(203)2361

〒665 自宅・宝塚市清荒神2－6－27　電話0797(87)1940

名誉会長・名誉正会員

東畑謙三

株式会社　東畑建築事務所　取締役会長

〒541 大阪市東区伏見町5－19　電話06(202)0391

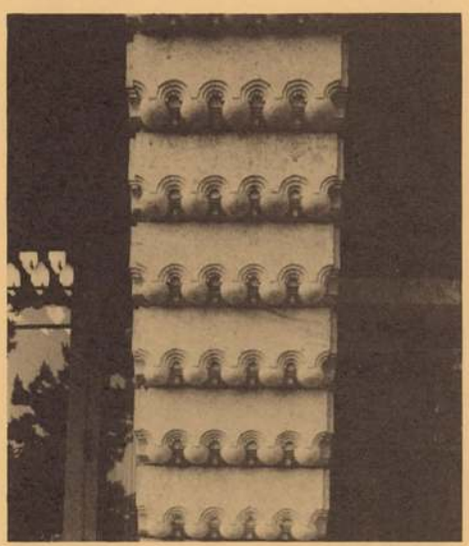
〒658 自宅・神戸市東灘区住吉山手4-4-35　電話078(851)5043

田中優

株式会社 ユソニアン一級建築設計事務所　代表取締役

〒530 大阪市北区天神橋2-5-25 若杉グランドビル10F　電話06(354)2781～4

〒536 大阪市城東区成育4丁目20番2号　電話06(931)8857



徳岡昌克

徳岡昌克建築設計事務所　所長

〒530 大阪市北区西天満6丁目3番11-205号　電話06(314)1688

〒661 尼崎市次屋3丁目6番60号　電話06(499)0701

〒532 自宅・大阪市淀川区新高6丁目6番18号　電話06(391)1438

田村真二

株式会社　竹中工務店　常務取締役

〒541 大阪市東区本町4－27　電話06(252)1201

〒663 西宮市浜甲子園2丁目5－19　電話0798(41)4300

内藤正克

株式会社 内藤建築設計事務所 代表取締役会長

〒675-13 兵庫県小野市上本町240 小野ビル　電話07946(2)4757代

〒675-13 自宅・兵庫県小野市久保木町1063　電話07946(2)4668

取締役会長　高橋慶夫

取締役社長　上田宏二

株式会社　高橋上田設計事務所

〒550 本社・大阪市西区新町1－4－21 大幸ビル　電話06(533)0971～3

〒113 東京事務所・東京都文京区本郷3-5-4 朝日中山ビル5F　電話03(818)5173

辻本豊

株式会社 ツジモトユタカ設計事務所 代表取締役

〒640 和歌山市東長町中の丁12－3 電話0734(26)2030代

〒640 自宅・和歌山市東長町中の丁12-3電話0734(26)2030代

中原英雄

株式会社　創美設計　代表取締役

〒530 大阪市北区末広町3番21号 星和地所扇町ビル　電話06(312)3587代

〒565 吹田市桃山台4丁目3番1－808

橘泰治

東邦パーライト株式会社　取締役社長

〒540 大阪市東区森ノ宮中央2丁目7番15号　電話06(941)9445～9

〒590-01 自宅・堺市若松台3丁26番3号　電話0722(91)2267

津村芳仁

オリエンタルメタル製造株式会社　代表取締役社長

〒660 尼崎市昭和南通3丁目26番地　電話06(412)5131代

〒330 自宅・埼玉県大宮市高鼻町3丁目58番地　電話0486(41)0204

長澤孝行

日本住宅パネル工業協同組合大阪支所　支所長

〒530 大阪市北区西天満5丁目6番10号 富田町パークビル　電話06(313)3321

〒598 自宅・大阪府泉佐野市佐野台20-52 電話0724(63)1260

暑中お見舞申し上げます

昭和62年盛夏　　(50音順)

西村昭三

大鉄工業株式会社　取締役社長

〒532 大阪市淀川区宮原4丁目4番44号
電話06(394)1281

〒663 自宅・西宮市上甲子園1丁目6-27-202
電話0798(41)3082

平城勧

株式会社 朝日工業社 大阪支社　取締役副社長 大阪支社長

〒532 大阪市淀川区加島1丁目58番59号　電話06(302)2270

〒665 自宅・宝塚市中山桜台4—15—4　電話0797(89)3884

前田敏男

財団法人　日本建築総合試験所　理事長

〒565 本所・吹田市藤白台5—8—1
電話06(872) 0391

〒531 大淀分室・大阪市大淀区長柄西2—1—18
電話06(351)7217

〒592 堺分室・堺市浜寺石津町西2—1—34
電話0722(44)3912

〒612 京都分室・京都市伏見区中島前山町24—2
電話075(622)0713

〒675-01 加古川分室・加古川市別府町新野辺字畑下1311-3
電話0794(35)5811

蜷川守男

大阪装飾株式会社　代表取締役社長

〒550 大阪市西区京町堀1丁目13番24号　電話 06(444)1410

〒665 自宅・兵庫県宝塚市社町3番10号　電話0797(72)6045

福永薫

株式会社　建設技術センター　代表取締役

〒532 大阪市淀川区西中島5丁目7番17—602号
電話06(304)1148代

〒542 自宅・大阪市南区南船場4丁目7—3
電話06(252)8626

前田平一郎

ゼネラル事務機株式会社　社長

〒550 大阪市西区鞍本町3丁目2番7号 第1横井ビル
電話06(441)1462代

〒560 自宅・豊中市上野東1丁目16—21　電話06(849)5764

野村文英

野村建設工業株式会社　取締役社長

〒541 大阪市東区高麗橋2丁目9番地　電話06(202)4791代

藤木鐵三

株式会社　藤木工務店　取締役社長

〒540 大阪市東区両替町1丁目13番地　電話06(944)1468代

松田恒彦

株式会社 ART建築設計事務所　代表取締役所長

〒530 大阪市北区東天満2丁目3—10 田中ビル
電話06(357)5351代

〒546 大阪市東住吉区西今川2丁8—7　電話06(702)6738

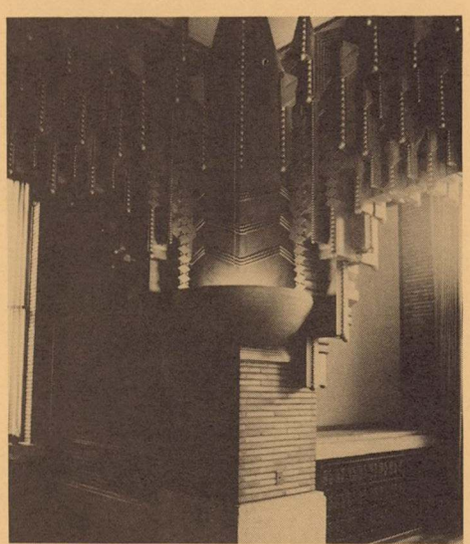
名誉正会員

浜口幹三郎

株式会社　淺沼組　社友

〒543 大阪市天王寺区東高津町12番6号　電話06(768)5222

〒631 自宅・奈良市二名町南登美ヶ丘3336—7
電話0742(43)1091



松原満佐子

有限会社　柳々堂　代表取締役

〒550 大阪市西区京町堀1—12—3　電話06(443)0167～8

営業所：鴻池ビル1階　電話06(251)8233

林唯夫

株式会社　昭和設計　代表取締役副社長

〒550 大阪市西区新町1丁目5番7号　四ッ橋ビル
電話06(532)3421

〒565 自宅・吹田市青山台3丁目41—11　電話06(872)3608

松村雄二

株式会社　松村組　取締役会長

〒530 大阪市北区天満2丁目1番3号電話06(353)1131

原精一

コーナン建設株式会社　代表取締役

〒532 大阪市淀川区十三本町2丁目4番28号
電話06(308)1551大代

〒662 自宅・西宮市名次町12番9号　電話0798(72)1504

堀亀久治

三機工業株式会社大阪支店　取締役支店長

〒541 大阪市東区北浜2丁目22番地　電話06(202)3071

〒664 伊丹市北本町1-110-1 伊丹パークホームズ
電話0727(75)3095

松本重太郎

松本金物株式会社　取締役社長
大阪建築金物卸商協同組合　前理事長

〒543 大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号
電話06 (774)2200
受付案内台

伴一郎

株式会社　西原衛生工業所大阪店 代表取締役社長

〒531 大阪市大淀区中津六丁目8番4号 電話 06(458)3628

〒563 自宅・池田市石橋3—11—14　電話0727(61)8652

堀内史郎

第一工業株式会社大阪支店　常務取締役支店長

〒530 大阪市北区西天満3丁目6番14号　電話06(364)6661代

〒573 自宅・大阪府枚方市朝日丘町12-18 電話0720(41)5396

名誉正会員

松本与作

建築家 第一生命保険相互会社 顧問技師

〒145 自宅・東京都大田区田園調布3-17-3 電話03(721)4723

暑中お見舞申し上げます

昭和62年盛夏　(50音順)

三品哲夫

財団法人　大阪市建築技術協会　理事長

〒541 大阪市東区大川町27番地 住友生命淀屋橋ビル4階
電話06(208)8144
〒560 自宅・豊中市上野東1-10-45-205　電話06(848)9067

三谷忠義

株式会社　三谷設計　代表取締役

〒694 島根県大田市久手町波根西777の1
電話08548(2)8121代
〒694 自宅・島根県大田市久手町波根西225の2
電話08548(5)8320

三輪泰司

株式会社 地域計画・建築研究所 代表取締役所長

〒600 京都市下京区四条通高倉西入ル立売西町82番地
大和銀行京都ビル　電話075(221)5132代
〒540 大阪市東区石町1丁目1番地 天満橋千代田ビル2号館
電話06(942)5732
〒460 名古屋市中区丸の内3丁目18番30号 ツボウチビル
電話052(962)1224
〒612 自宅・京都市伏見区桃山南大島町95—45
電話075(601)3962

薬袋公明

株式会社　日建設計　取締役社長

〒541 大阪市東区高麗橋5丁目21番地1　電話06(203)2361

水間義雄

株式会社　水間組　代表取締役社長

〒534 大阪市都島区東野田町1丁目1番4号
電話06(352)3121代
〒538 自宅・大阪市鶴見区今津南4-10-15　電話06(961)0785

宮後浩

株式会社　コラムデザインセンター
株式会社　大阪パースアカデミー　代表取締役

〒542 大阪市南区南船場4—13—15　コラムビル
電話06(245)4631(コラム)
電話06(253)0285(大阪パース)

村石全

浪速合板株式会社　代表取締役社長

〒556 大阪市浪速区幸町2丁目5番3号　電話06(568)3671
〒659 自宅・芦屋市岩園町25番15号　電話0797(34)0835

室谷山水

室谷商事株式会社　取締役会長

〒650 神戸市中央区北長狭通4丁目2—4　ツインズ元町ビル
電話078(331)0881
〒650 自宅・神戸市中央区山本通4丁目17—17
電話078(221)5050

毛利哲三

松尾橋梁株式会社　取締役社長

〒551 大阪市大正区鶴町3丁目4番18号
電話06(552)1551代表

両角保

浦安工業株式会社　専務取締役 大阪支店長

〒130 本社・東京都墨田区錦糸2丁目8—7　電話03(624)2441
〒530 大阪支店・大阪市北区天満2丁目3—5
電話06(351)7502代



森淳

三和電気土木工事株式会社　取締役社長

〒530 大阪市北区南森町1丁目4番19号　電話06(361)6451代
〒596 自宅・大阪府岸和田市別所町2丁目3番5号
電話0724(22)7710

八木喜美蔵

八木惣株式会社　代表取締役社長

〒593 堺市津久野町3丁28番10号電話0722(62)3838代
〒593 自宅・堺市津久野町3丁28番10号　電話0722(62)0722

八十島健二

株式会社　竹中工務店　取締役副社長

〒541 大阪市東区本町4—27　電話06(252)1201
〒663 自宅・西宮市甲子園二番町5—30　電話0798(41)0598

取締役会長 簀本弦三
代表取締役社長 曽我部輝雄

株式会社　笹川組　取締役社長

〒520 大津市打出浜13—15　電話0775(23)2314
〒520-21 自宅・大津市一里山5—9—11　電話0775(45)3966

山内恒男

株式会社 石本建築事務所　大阪支所長

〒542 大阪支所・大阪市南区島之内1—20—19 イトビル
電話06(251)7507
〒102 本社・東京都千代田区九段南4-6-12 電話03(262)7161

山田保

株式会社 山田保建築設計事務所 代表取締役

〒733 広島市中区本川町2丁目6番11号第7ウエノヤビル2階
電話082(292)8211代
〒733 自宅・広島市西区己斐東2丁目12番27号
電話082(271)0690

山本貴士

朝陽電気株式会社　代表取締役

〒530 大阪市北区中之島3丁目2番4号　電話06(385)1361代
朝日ビルディング内
〒565 自宅・吹田市藤白台4丁目23番8号
電話06(871)0851

米倉豊夫

日本住宅パネル工業協同組合　理事長

〒113 東京都文京区本駒込6丁目15番7号
電話03(945)2311大代

和田眞一

株式会社　東和組　代表取締役

〒530 大阪市北区西天満4丁目5番14号　電話06(363)4051
〒659 自宅・芦屋市公光町3番8号　電話0797(22)3282

暑中お見舞申し上げます

昭和62年盛夏　（50音順）

和　中　勝

株式会社　和　中　商　店　取締役会長

〒531 大阪市大淀区豊崎5丁目8番11号 電話06(371)0731～5
〒150 東京都渋谷区桜丘町11－5 電話03(464)9723
〒453 名古屋市中村区黄金通3丁目34番地 電話052(481)7338
〒662 自宅・西宮市大畑町10－22 電話0798(67)7544

渡　辺　健　一

株式会社　曽　根　組　代表取締役

〒676 本社・兵庫県高砂市曽根町2257の1 電話0794(47)1551代
〒541 大阪支店・大阪市東区伏見町2丁目15 ホンダビル 電話06(203)4415代
〒650 神戸支店・神戸市中央区北長狭通4丁目 高橋ビル 電話078(321)3471代

渡　辺　忠

東洋シヤッター株式会社　取締役相談役

〒540 大阪市東区両替町1－12日生ビル 電話06(943)6571代
〒560 自宅・豊中市緑丘3丁目21番8号 電話06(856)0983

渡　部　慶　一

株式会社　松田平田坂本設計事務所　大阪事務所所長

〒530 大阪市北区堂島2－2－25 電話06(344)7821
〒530 自宅・大阪市北区中之島5－3－92 ルイシャトレ中之島622号 電話06(448)5645

事　務　局　一　同

社団法人　日　本　建　築　協　会



企画：日本建築協会　〈プロのノウハウ〉シリーズ

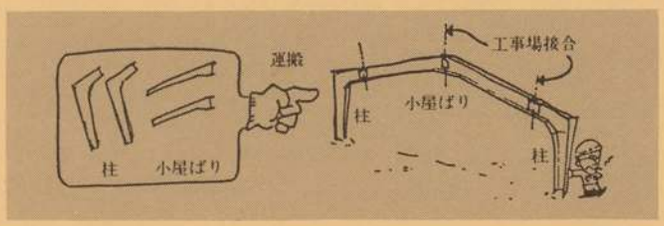
鉄骨工事の現場学

石田満裔 著

四六・224頁・本文2色刷・定価1800円

失敗のない工事を完成させるためのノウハウ50

鉄骨製作手順の細かな留意点から，実際の鉄骨工事の工程中でのチェックポイントまでを，全50項目にわたりていねいに解説．豊富な経験を込め，鋭い視点で失敗のない鉄骨工事を完成させるためのノウハウを述べる．詳細で親しみやすい図を盛りだくさんに入れ，さらにわかりやすく表現．またとない習熟のための必読書．



建築紛争の実際

●身を守るための12ヵ条

岡本辰義 著

四六・224頁・本文2色刷・定価1800円

トラブルの遠因や原因を鋭い視点で解き明かす

当事者が気づきにくい紛争の火種は何か？　著者の豊富な経験が指摘する，火種を大きくしないための12ヵ条　■1　着工の前にとにもかくにも契約書■3　技術オンリーではプロとは言えぬ■4　トラブルは業者の損勘定と心得て■5　飛躍のチャンスはキケンも大きい■6　建物の傾きも熱意と努力で元通り　ほか

〈第2条 常に欠いてはならない対話と報告〉



〈目録進呈〉

学芸出版社

〒600 京都市下京区木津屋橋通西洞院東入
TEL 075(343)0811

青年技術者のみなさまへ

「建築と社会」昭和62年11月号の「第34回青年技術者特集号」の応募について

日本建築協会誌「建築と社会」は毎年「青年建築家特集号」もしくは「青年技術者特集号」を企画し、すでに33回にわたって優秀な青年技術者を紹介してきました。

今回も、「青年技術者選衡委員会」を設けて、選衡の上掲載することにしております。

その選ぶ分野も、建築に携わる技術者層の多面化傾向を考慮して、設計だけに限らず、計画、構造、施工、設備およびその他広く建築に関連する分野から、優秀な青年技術者を選んでその不断の研究努力とすぐれた業績を「建築と社会」に掲載して顕彰することにしております。

ついては、下記応募規定を参照の上、ふるって応募されんことを希望します。

応募提出規定

1．応募される人は満35才までの青年技術者であって、本会会員に限ること。

2．原則として本会会員であるすいせん者を通じて応募のこと。すいせん者は被すいせん者（青年技術者）の勤務する組織の上司なり上長であること。すいせん者が学校教官である場合はこの限りでない。また本人が組織の代表者である場合は自せんとする。（すいせん用紙は事務局にありますので、ご請求ください）

3．応募者は、設計(住宅･インテリアを含む)、計画（都市計画など)、施工、構造、設備、その他の分野にあって、なしとげたすぐれた実績について、すいせんをうけ、下記の所要の資料を本会に期日までに提出すること。

4．提出された資料は「青年技術者選衡委員会」にかけて選衡する。

5．「青年技術者選衡委員会」において選衡されたものは「第34回青年技術者特集号」(昭和62年11月号）に記載するとともに、記念品を贈呈する。

6．提出資料

(1) 略歴

本人の氏名、生年月日、最終学歴、業歴、作品経歴など

(2) 選衡資料

A 資 料

(1) 建築設計の場合（住宅設計・インテリアを含む）
鮮明な写真、配置図および主要平面図、概要、設計要旨、その他設計内容を説明するに十分な資料

(ii) 計画の場合（都市・地域の計画など）
設計図、計画要旨、その他上に準じた資料

(iii) 施工、構造、設備の場合（それぞれの設計計画なども含む）
上に準じた資料

(iv) 上記以外の分野の場合（プロジェクト等の調査・企画・調整、コンサルティング、コーディネイト、プログラミング、部材・材料の開発、造園等、その他）
それぞれにふさわしい資料

B 資 料

上記A資料の各業績において、応募者本人が関与した程度、役割、立場等を明らかにし、A資料中、本人が特に貢献した部分、または力量が活かされたと思われる部分の詳細な説明、考え方および将来的展望などについて、400字詰原稿用紙8枚以内に平易簡明にまとめたもの（必要に応じ図・表を用いて差し支えない)。ただし応募者・本人の執筆に限る。

(3) すいせんのことば

原則として、すいせん者によるすいせんのことば(120字ていど)を添付のこと。自せんの場合は不要。

(注) 「青年技術者選衡委員会」において選衡し、採択されたものについては、後日、本人の写真、青年技術者としてのことば(青年技術者としての抱負、考え方、信念、建築観等々を､400字ていどで執筆）の提出をお願いすることにします。

7．提出期限 昭和62年9月1日(火) 厳守

8．提 出 先 日本建築協会「青年技術者選衡委員会」
大阪市北区梅田1-1-3-2100 大阪駅前第３ビル21階
〒530 電話 06－348－0635

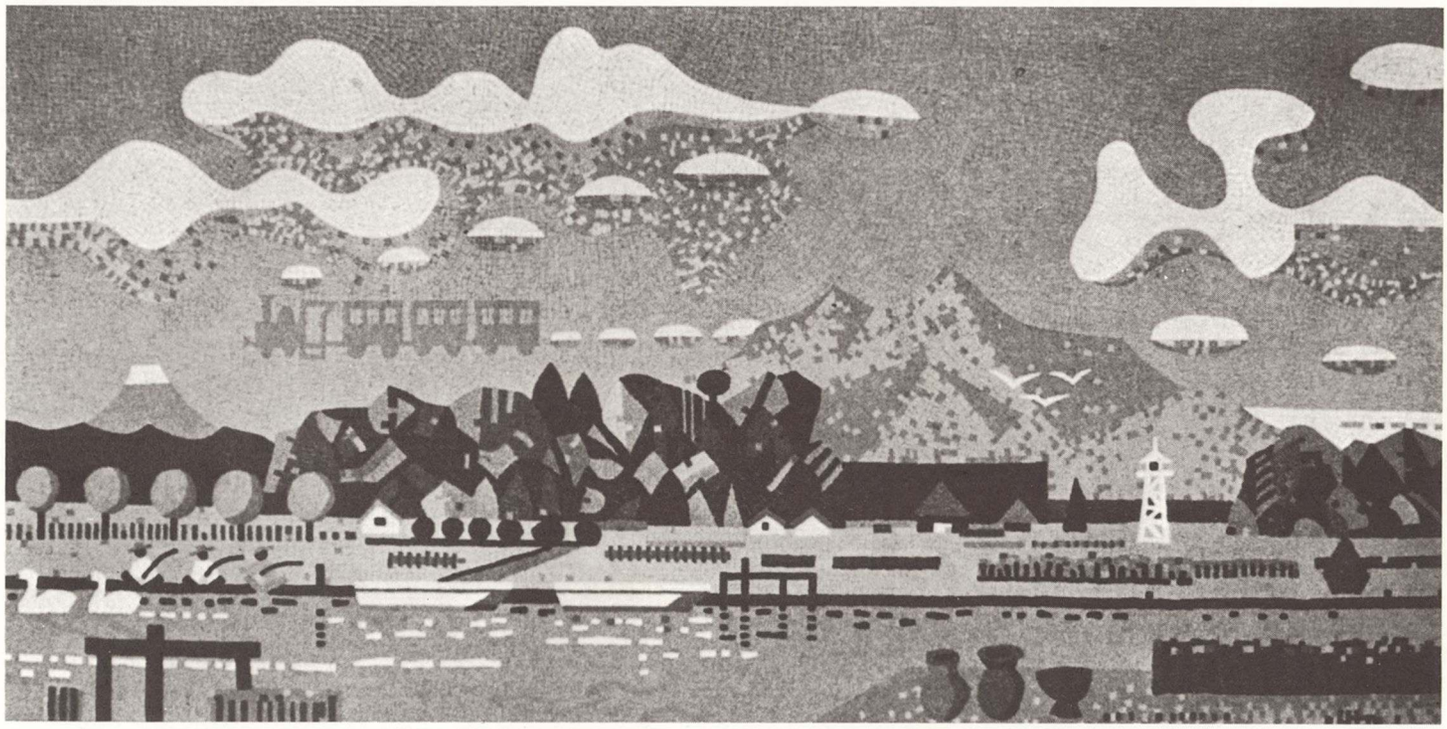
9．青年技術者選衡委員会（昭和62年度）

委員長 長谷部 朔 郎（日建設計大阪総務部長）
委 員 辻 野 純 徳（浦辺設計取締役）
上 田 信 也（日建設計大阪第二事務所設計部長）
大 海 一 雄（神戸市住宅供給公社調査役）
佐々木 宏 年（環境開発研究所代表取締役）
井 上 豊（大阪大学教授）
真 塚 達 夫（東畑建築事務所取締役構造部長）
生 島 薫（安井建築設計事務所設備部長）
南 部 武（大林組設備部次長）
荒 川 治 徳（清水建設建築技術部長）
尾 崎 充 宏（竹中工務店工務部長）

駅

旅は駅からはじまる
出会いと別れ
郷愁と傷心
駅は何時の時代も
人生というドラマの
交差点と待合室

常磐線・佐貫駅・壁画〈佐貫の春〉(5×2.5m)　森 惣介・作



森惣介著「さよなら国鉄—駅のスケッチI」(彰国社刊)より

風雪を刻む歴史の流れ、
見知らぬ遠くのまちへつながる空間のひろがり、
駅には、そんな時間と空間のベクトルの
クロスオーバーするロマンがある。
駅の機能は、鉄道のみならず、空に、海にと、
あらゆる人や乗りものの行きかうところにもあるといえる。
今、あらためて、これからのまちづくりのあり方を考えていく中で、
まちとの接点にある〝駅〟について
見つめ直してみることにした。
(編集幹事　田中直人)

本号特集編集幹事
鳥井豊秋／森田茂／佐野潤一／芝吹千昭／田中直人／高田佳子／平岡博／舟橋國男／清水肇／吉村英佑／鈴木克彦／田附尚／小浦久子／河端秀直／奥村礼子

総論 1

駅—その空間の意味—

紙野桂人

1 人間・都市・そして駅

岩石は他から力が加わらなければ動かない。無生物たる証しである。

生きとし生けるものは、自ら動くことによって生命を維持する。魚類も哺乳類も昆虫も、そして細菌ですら、食を求め、生殖の機会を求め、よりふさわしい生活空間を求め、あるいは生命の危険を避けようとして移動する。植物自体は動かないが、その花粉や種子は風に乗り鳥や動物の体内を通して運ばれて行く。そして蕊に出会い土に着床する。このように、植物もまた移動することによって種を保存しているのである。

移動し運動することは生命維持の活動の重要な部面を占めていると言えるであろう。生物にとって運動を禁じられることは生きることを禁じられることに等しいとも言えるであろう。人間にとってそれは大きな刑罰に価する。生物そして人間は移動することなくしては生きられない存在なのである。移動すること自体が生命の証しであると言っても良いであろう。

考えてみるに、生命あるものの移動は、何かとの出会いを求めているか、あるいは出会いを避けているかのいずれかである。受容か拒否か、そのいずれにせよ、移動には何かとの出会いがからんでいる。とりわけ人間は、地上における人と人の出会い、人と物の出会い、人と情報との出会いを求めて移動する。

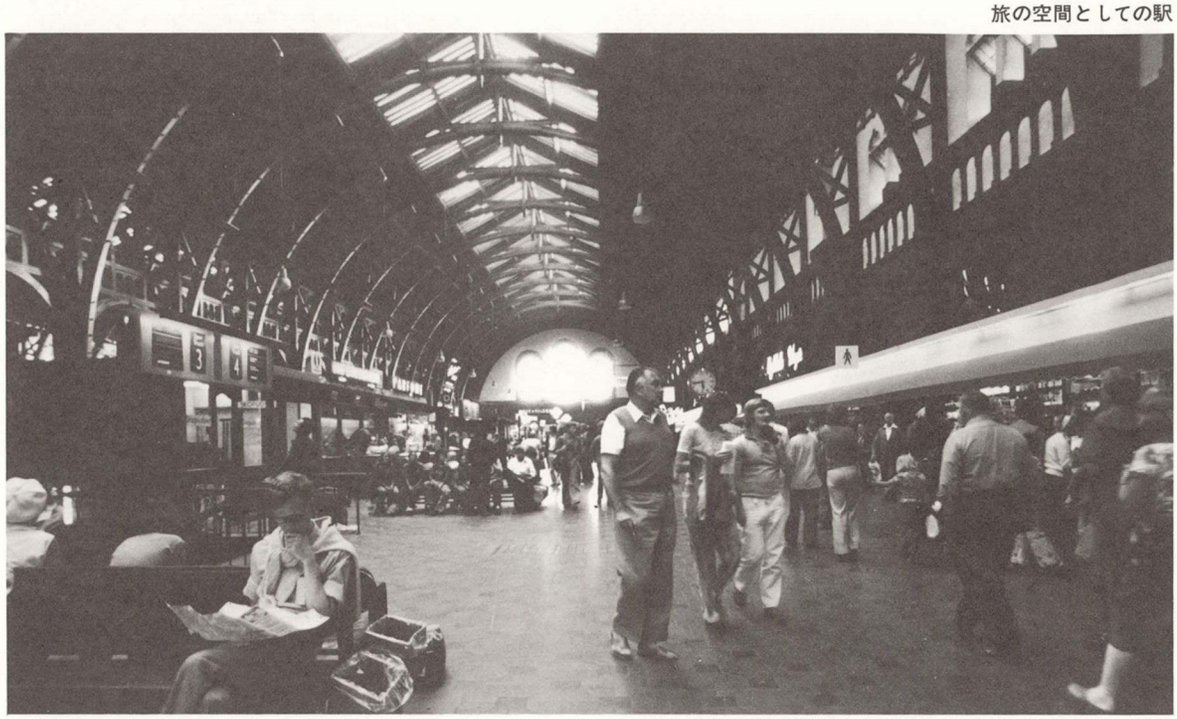
——それが交通である。

人は出会いの機会の少ない空間から出会いの機会のより多い空間へと、水が高きから低きへ向けて流れるように、動いて行く。この現象は人類文化始まって以来、一貫して続いてきた不可逆的とも言える事実である。それが都市を造ったと言って良いであろう。

定住の場を求める人間性が集落を造り、出会いの機会を求める人間性が都市を造った。したがって都市は必然的に、人と人、人と物、人と情報の出会いの場であり、それを求めて移動するさまざまな交通の起・終点となる。都市から都市へ、出会いの場を求めて流れる交通は、その途中にさまざまな結節を生じる。人間の一日の活動のスパンや、その途中の休息のリズム、異種交通の出会いなどがこの結節を造る動機となる。

——そして駅が生まれた。

旅の空間としての駅



都市から都市への旅、旅を続ける者の休息、旅と旅の出会い、そして新しい旅への出発。つまり駅は交通の結節であると同時に休息の場であり、同じ時にたまたまその駅にめぐり合った旅人の偶然の出会いの場として、思いがけない情報交流の可能性を含む小さな宇宙となる。紀元前6世紀にダリウス大王が仕組んだスーサへの道の駅も、中国大陸7世紀の唐の駅も、そして701年大宝令におけるわが国の駅も、そして産業革命によって19世紀後半に生まれた鉄道の駅においても、その本質は変わらないと言って良いであろう。

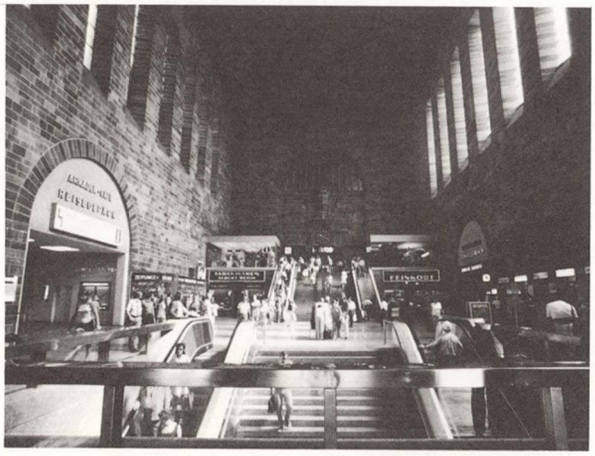
2 都市の近代化がもたらしたもの

駅はもともと旅する者のための空間であった。古代・中世・近世そして近代初頭に至るまでその機能は変わらなかった。現在においても駅と旅との縁が切れたわけではない。とくに幹線鉄道の駅のなかでも都市のターミナルには、旅する者がやって来る。しかし、今や本当に旅人が集まって来るのは、鉄道駅からエアターミナルへと移ろうとしているようにも見える。

産業革命に応じて生まれた鉄道は、都市と都市を結ぶことから出発した。その限りにおいては旅の匂いを身にまとっていたが、やがて都市の郊外化にともなって、郊外と都心、都市の内部での一日交通、さらに言えば技術革新に支えられて遠隔地にある都市と都市の一日交通、が都市間交通の主役を占める時代となった。

このような都市交通の世界に設けられた多種多様の無数の駅は、その大小にかかわらず日常の往来の節目として機能する。いろいろの駅から次第に旅の匂いが薄れていき、その代わりに町の、都市の往来の雑踏が、時間に応じ、曜日に応じて集散する空間へと意味を変えた。その中に、たまたまやってきた旅人が交わると、まるで浦島太郎のように途方に暮れることも起こる駅となったわけである。

都市の近代化は都市交通という新しい都市機能を生じ、駅はその一端を担う意味において、まさに都市施設になったと言えよう。



都市の空間としての駅

3 地域空間としての駅

駅が、広い意味における交通の結節であるということは変わらないが、その空間は、異邦人よりも地域社会・都市社会の人々主体のものとなった。実際、自分の町の公共空間の中で駅ほど地域の人々に親しまれ、使われ、意識される場所は無いのではなかろうか。しかも子供から老人に至るまで幅広いゼネレーションに関わっており、通勤・通学の人々はもちろん、職の無い人であっても、あるいは専業主婦であろうと家事手伝いの人々であろうと、皆等しく駅について関心を抱いているし、何かにつけてそれを利用するものである。

どこの町でも、朝早くから夜遅くまで、もっとも長い時間活動しているのは鉄道の駅である。世界にはニューヨーク地下鉄のように24時間開業の駅もあって、時間の上においても人間との関わりのもっとも幅広い可能性を持っているのが駅である。不時の用があって突然何かが必要な時に、駅前へ行けばなんとかなると思うのは町の人々の常であるが、それもまた駅の持つ空間と時間の可能性への期待から発していると言えよう。誰か人に会おうとして、一番間違いなく待ち合わせの話が成立するのもまた駅のコンコースであり駅前の喫茶店であったりするものである。

駅は人の思いの中において、ひとつの拠り所となっていると言えよう。

このように、駅は地域のすべての人々の生活と関わっているので、駅空間の発する情報は町の人々に最も広く、かつ確実に伝えられる可能性を持っている。したがって選挙の候補者が、これから売り出そうとする歌手や俳優が、あるいは遠い地域の観光宣伝や物産の広報がイベントを繰り広げたがるのも駅である。駅前に立って眺めれば、その町の主な企業、主な商店、主な観光地がわかるのも、地域の側にとって有意義な情報機能のひとつである。



地域の空間としての駅

4 時間の中の駅

地域空間としての駅は、24時間の間にさまざまにその表情を変える。

早朝の駅は始発電車を利用する人々が三々五々集まって来て一日が始まる。早朝ジョギングの人々が駅前でひと休みしたりするのもこの時間である。

朝のラッシュの主役は通勤通学の群集である。彼らは最も合理的で最も無駄のない動線と振る舞いをもってプラットフォームに向けて一直線に進む。駅広からコンコースにかけて、徒歩、自転車、バス、タクシーと改札のジャンクションがフルに活動し、乗降客がプラットフォームや跨線橋を秩序正しく動いて行く。実際、ラッシュ・アワーの駅ほど、施設と空間の機能性、合理性が、人々の求めに適うかどうか、厳しく試される時はないであろう。そこでは、人に使われる所と使われない所とがはっきりと分かれる。この時、駅の空間はひとつの機械になることを要求されるのである。

ラッシュの潮がひいて日が高くなり始めた頃の駅には、ある種のゆとりが生じる。駅にやって来る人々の歩速も心なしか遅くなり、列車の時間待ちの間にコンコースの座席で新聞を広げ、駅の喫茶店で朝のコーヒーを飲み、人待ち顔に立つ人も目立ってくる。そして到着した列車からはこの町への訪問者が、時には旅の匂いを持って改札口をくぐって来る。この時駅の空間は、人の心を休める場であることを改めて要求される。

正午前から午後へ、駅は出会いと出発と食事と休息と仕事と、さまざまな人間、さまざまな人の思いの交錯する巷となる。人々の行動は多様になり、ラッシュ時には見向きもされなかった空間が活き活きしてくる。

午後から夕刻へ、駅の空間は機械であるよりも、人のさまざまな思いに答える人間的空間であることを要求される。子供にも老人にも、身体の不自由な人にも友好的な空間となることが必要になる。実際、駅が巷として最も魅力的な空間になるのは、午後から夕刻にかけての数時間であろう。この時間には、学校から、職場から帰って来る人々が次第に増えて来る。陽の明るいうちは、解放された青少年の群れが、駅のラッチ内で、改札口で、コンコースで、あるいは駅前で、たむろし、声をあげる。この時、コンコースや駅前は人間の広場として活き活きとしてくる。広場空間のデザインをするものは、このような場面の観察によっていろいろの示唆を受けるものである。

夕刻から夜へ、職場から帰って来た人々の流れは、朝のラッシュと全く違った様子を示すものである。彼らは駅に着くことによって、すでに自分のテリトリーに帰ってきたことを感じている。それが彼らの振る舞いに鋭敏に現れる。そこで遊びが求められる。夕方の駅には、ある種の解放感と、休息を求め遊びを求める心とが交錯して流れている。駅の灯と町の灯がその情緒をますます強くかきたてる。駅の夜のにぎわいがいつまでもつきない町は魅力と活力のある町である。

夕辺のとばりが深く降りるにつれて、たちまち駅の人影が消え去って行く町は、活力の無い町に見える。夜、初めてその町に着いて宿に向かおうとする旅人には、そのことは痛いほど強く感じられるものである。

駅の空間は、その時間に応じて町のイメージを伝える役割を帯びていると言えるであろう。

5 旅する者と駅

鉄道の駅が旅人のための空間から、都市あるいは地域のための空間に、その意味を広げてきたとは言え、旅と駅の関わりが消滅したわけではない。駅はやはり都市を訪れる人々にとっての玄関口であり、町に初めてやって来た人々が地域に足を踏み入れる最初の空間であることに変わりはない。

プラットフォームから改札へ、そしてコンコースへと続く一連の空間体験の中で、ある駅は懐かしく地域らしさをほのぼのと感じさせるものであって欲しいし、ある駅は新進気鋭の町の雰囲気をピリピリと感じさせるフレッシュなものであって良いであろう。旅する者にとって駅は、交通のための機能を満たす以上の、何か客に話しかけてくるものを持っていて欲しいものである。駅が万人のものであり、良く使われるものであり、町への入口であるだけに、その話しかけ、つまりこの空間の持つ記号性は高く位置づけられるはずである。それは、駅とその駅広、そして駅を取り囲む町の顔へと連続していく。

プラットフォームから駅広へ、その空間構成は不慣れな旅行者にとって、より単純、より明快、より率直であることが望ましい。単純・明快であることと、空間が豊かで快適で情報に恵まれていることとは背反するものではない。それはとくに、コンコースの空間が見通し良く、かつ自由な形式を持ったものであることと関わっている。コンコースから駅広へ、そして駅頭へと、視覚が先へ先へと導かれていくような景観の開放性、貫流性を備えた空間デザインが理想であろう。最近整備される現代的なターミナル空間の中には、このような人間にとって意味深い原理を置き忘れているものがあるように思えるのは誤解であろうか。駅ビルの空間配分の中で、このことは忘れられるべきではない。都市空間、地域空間としての多様性、複合性、情報性は、その上に附け加えていくべき機能と言えるであろう。

古来、旅人は駅で休み、駅で宿をとった。乗り継ぎの待ち合いの時間を駅で過ごすことも多かったであろう。旅のタイム・ラグを過ごす空間としての駅の性格は、今もなお重要な意味を持っている。現在、この意味が最も活き活きとして感じられるのは、国際空港の空間である。それは今や、人々が数時間を最も効果的に過ごす街として、駅空間の最先端を歩んでいる。

鉄道の駅においても、このことは元に戻って十分認識される必要がある。旅行者は駅について、それまでの旅の疲れを一時癒し、生理的要求を安心して処理し、身づくろいも直し、次の移動への準備を無駄なくやりたいと思っている。駅の空間はこの要求に答えることが必要である。同じ要求は彼らが町を離れようとして駅にやって来た時にも発生する。

旅行者の多くは、このような要求に駅がうまく答えてくれないと思っている場合の方が多いように思う。とりわけ大都市の巨大ターミナルでは、このような旅行者個人の思いは、複雑多様な駅空間の中に飲み込まれてしまって、使いこなすまでにかなりの慣れが必要になる。適切な情報システムが求められるわけである。

6 駅は都市社会の第三のコアである

駅は交通の結節として、その地域、その町を他の都市、他の地方、そして国土へと結びつける機能を帯びているが、同時にそれは空間として旅人の仮のホームベースとしての意味を持ち、その都市に関わる人々の生活に結びついた足場となるオープンスペースであることによって、住居・職場と並ぶもうひとつの社会的コアの意味を帯びる。その結果、人間の側から見て互いに結び合った都市空間の三つの頂点、つまりアーバンライフ・トライアングルを形造ることになる。都市に住むものは、24時間のサイクルでこのトライアングルを回遊し、そのリズムが条件反射的に植えつけられているのである。

住居は近隣コミュニティの核である。そして職場は職場コミュニティの核であるが、駅は、そこにやって来る旅人を含めて、町とそのかいわいを超える開いた可能性の中で、その都市に関わるすべての人間の出会いの場を形造り、その意味において、第三の開放的な都市コミュニティの核となる。

老・若・男・女、そしてあらゆる社会的階層の人間がこの空間にひかれて集まり、交通結節としての機能的役割を超える活き活きとした巷を形造るのも、この空間的意味からおのずから生じてくる結果なのである。

未来の都市にとって、その意味はますます深く広くなっていくであろう。

（かみの　けいじん　大阪大学教授）

総論 2

コミュニティ駅へ
―鉄道側の論理を反省して―

岩本樹雄

明治５年９月12日、新橋・横浜間で鉄道が産声をあげて以来、都市の玄関としてふさわしい、雄大で、荘厳な威風堂々とした駅舎が、数多く建設された。とりわけ、大正３年建築の辰野金吾博士設計による東京駅は、その規模、様式からして日本を代表する駅舎である。

この東京駅も、第二次世界大戦において米軍の空襲の被害を受けたが、戦後復旧され、現在もなおその姿をわれわれは見ることができる。他の戦災を受けた駅舎については、その復旧は、遅々として進まなかったが、駅舎の一部を第三者が使用することを条件として、駅舎建設資金の一部または全部を第三者が負担して建設する方式で、次々と、鉄筋コンクリート造の駅舎として改築されていった。これが、民衆駅と呼ばれる方式である。

民衆駅は、昭和46年の国鉄法施行令の改正により、国鉄自身がターミナルビル等民間施設へ出資できるよう規制が緩和され、民衆駅から駅ビルへと呼び方も変わり、商業施設やホテル等が付加され、機能がより一層複合化してきている。

このように、駅舎は時代にマッチするべく次々と改築されているが、改築するかどうかを決めるのは、乗降客の増加に対応できなくなったことや、駅舎が老朽化したということが中心であり、交通施設としての機能を満足することが優先されている。次いで、その改築に合わせて、いかに交通施設としての「駅」から付帯収入をあげるかということである。

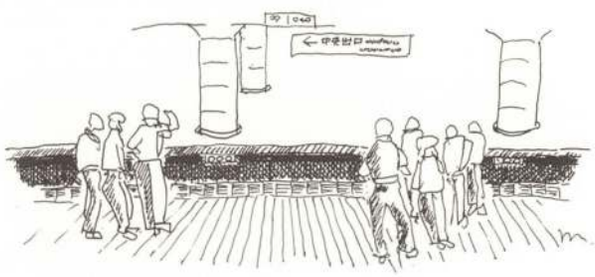
鉄道輸送業の将来性を考えたとき、このような考え方は当然ではあろうが、駅舎が、旅をする人にとっては単なる交通施設ではなく、そこから旅行が始まりそして終わるという点、出会いと別れの場であることや、地域の人々にとって、まちのシンボルとして、コミュニティの場としての役割が期待されていることを思うと、鉄道側の論理が優先されがちである現状について、反省しなければならない。

そこで、駅をもう少し人間的スケールで見直し、地域に密着した活気ある生活文化施設としての駅づくりを考えていくことが必要である。単なる通勤通学をはじめとする暮らしの中の移動だけにとどまらず、利用者の多様な生活様式のニーズに応えていくことが鉄道サービスの在り方を探っていくうえでの重要なテーマの一つである。

駅本来の基本的な機能（スムーズな乗り換え、らくな移動、利便施設）に加えて、鉄道利用とは直接関係のない形で、地域の人々のニーズに応えていくことが、これからの駅づくりの条件である。そのためには、地域と密着し、活気のある「コミュニティ駅」を目指し、鉄道以外の役立つ情報を提供し、楽しく人々に愛される魅力的空間＝場を構成していかなければならない。

駅は出会いの場、ふれあいの場、そしてそのまちの「顔」でもある。人の表情がさまざまであるように、駅もまたそれぞれちがった表情や個性をもっていなければならない。今や駅は、それらの個性を生かしつつ、さらに周辺社会と連携した新しい生活文化を加味することが求められており、単に移動のためのターミナルから脱皮した、市民の生活拠点とならなければならない。

（いわもと　しげお　南海電気鉄道株式会社取締役総合建設本部長）



〔旅情〕のポイントとピリオド

麻生芳伸

〔駅〕は美しい。

〔駅〕は、かつて町に文化を運んでくる玄関として、時代の最先端を象徴する建物だった。あらゆるものを人間が携えて（荷物とともに）集合する、文字どおりのステーション（本部、中継基地）だった。現代のように電話、電波、ファックスなどのない時代は、すべて〔駅〕を中心にして、町へさまざまなものが伝播されて行き、また逆に町のさまざまなものが集積される、〔駅〕がその流通の機関を果たした。

〔駅〕はそして、また人々に旅情をかきたてた。未知への出あいへのときめきとざわめきの、最初の、第一印象を与える建物だ。早朝、レインコートを羽織って、スーツケースを手に提げて、ドームの下の広い敷石にコツ、コツと足音をさせて、改札口を抜けて列車に駈け込むとき。夕暮れ時、到着したプラットホームに懐かしい人の姿を見つけたとき。——まるで自分が映画の主人公になったような気分になる。

そうした美しい、絵になる〔駅〕は現在、日本には東京駅と門司港駅、二条駅、出雲駅、日光駅くらいしか存在しない。ことに門司港駅は、日本最古のルネッサンス風の華麗な建築の〔駅〕としてなお美しい原形を保ち、人々の心を古きよき時代へ〝バック・トゥ・ザ・ヒューチャー〟させる貴重な文化財建築物だ。永久に記念、保存すべきだ。

〔駅〕が文化の象徴として機能し、旅情を漂わせていたのは、ＳＬが蒸気を吐きながら走っていた頃までで、今日の時代の加速がＳＬとともによき情緒をも喪失させてしまった。東京—大阪、３時間のスピード感覚が、〔駅〕をも分秒を争って走り抜ける、人間のただ蠢く雑踏と化し、殺風景なものにしてしまった。

〔駅〕は時代が移り、人間の感覚が変わっても、人間の出あいと別れの、ドラマの舞台のような場所であることには変わりはない。〔駅〕は日常の人々の暮らしの中に、その行動範囲を規定する一つの。（ポイント、分岐点）、。（ピリオド、区切り）として〈運命〉のように作用しているともいえる。

そうした〔駅〕は、映画のシチュエーション（状況設定）の重要な。（ポイント）としてしばしば使われている。「終着駅」「昼下りの情事」「男と女」。日本映画では「駅（Station）」「祭りの準備」etc.，最近では「愛と哀しみの果て」で、ファースト・シーンとラスト・シーンに印象的に使われている。

映画でだれもが思い出すのは、「旅情」のベネチア（ヴェニス）駅だろう。

キャスリン・ヘップバーンのオールド・ミスがながい間、秘書生活で貯金をし、休暇をとって、アメリカから一人旅でヨーロッパ旅行をし、そして、念願のベネチアに列車でやってくる。彼女もまた美しい〝水の都〟へ他の大多数の観光客と同じように〔駅〕——。（ポイント）に辿りつく。しかし、心の奥のどこかに孤独な、人恋しさを秘め、旅の中で素敵な恋に出あうことを希っている。そしてベネチアの風景の中をさまよう。とある骨董店のウインドに飾ってある赤いゴブレットに目が留まり、店へ入って行くと、前日、サンマルコ広場のカフェテラスで偶然隣り合わせた男と再会する。その男、ロッサノ・ブラッツィは骨董店の主人で、妻子あるイタリア男だった。

そして、恋におちる。月夜の下でロッシーニの野外コンサートを聴いたあと、レストランの花売りから彼女がひたすら夢見つづけてきた長年の想いが適ったしるしに一輪の白いランの花を買う。だが、その白いランの花を彼女は運河の中へ落としてしまう。その不吉な〈運命〉を振り払うように、二人は恋に激しく燃え、夢にうっとりと酔う、夏の夜空に花火が炸裂するように。バックに主題曲の「サマータイム・イン・ヴェニス」のセレナーデが流れる。だが、翌日、対岸のブラーノ島で恋を満喫した彼女は、突然、夢から醒め、所詮、自分が適わぬ旅人であることに気付き、この瞬間を美しいまま終わらすために、男に２時間後、再びベネチアの駅から去る、訣別を告げる。

当時（1955年製作）、アメリカ女性といえども、一人旅はやはりめずらしく、勇敢な行動であったであろう。そうしたキャリア・ウーマンを演じられるのはキャスリン・ヘップバーンしかいなかった。ハリウッドの美貌を売りものにするスターの中にあって、彼女だけは、〈運命〉に流されないはっきりした意志



映画「旅情」のラスト・シーン

を主張できる女優だった。事実、この「旅情」は彼女の代表作の一つとなった。

さて、ベネチアの〔駅〕が映画の、彼女の旅の。（ピリオド）となる。その想いは観る観客の一人一人ちがうにしろ、彼女はうしろ髪引かれるように列車へ乗り込み、ホームを幾度も振り返る。やがて発車のベル……。そこへ映画の常套手法で、ギリギリの瞬間に男が現れ、走り寄ってくる。しかし列車は動き出す。彼女は列車の窓から男と名を叫ぶが、列車はスピードを増し、男が差し出す小さな箱に手をさしのべたが、寸前で遠のいてしまう。箱の中には白いランの花が一輪入っていたのだ。彼女と男はひと言も言葉を交わすことはなく離れ離れになる。そして〔駅〕から走り去る列車、窓から身を乗り出して手を振る彼女と、ホームを必死に駈ける男の姿が、交互にインサートされる。しかし、やがて列車の疾走する風が、二人の男女の〈運命〉を吹き去ってしまう……。

〔駅〕には、みなだれにでもこうしたそれぞれの人生のドラマと思い出がある。と同時に〔駅〕はいつも人間の〈運命〉を持ち込み、運び去って行く……。一つの。（ポイント、ピリオド）ではないか？

（あそう　よしのぶ　エッセイスト）

駅 えき エキ……エトセトラ

野村 董



かつてはオリエント急行、今はＴＧＶ超特急の起点パリ・リヨン駅〈フランス〉



モネ時代の駅舎と超モダン２階建て列車が意外に調和するサン・ラザール駅〈フランス〉



市電と空港電車の接続するアムステルダムＲＡ１駅〈オランダ〉



スキポール空港駅ホーム〈オランダ〉



ホーム(右)から出発カウンタへのコンベア(左)―スキポール空港駅構内―〈オランダ〉



ホーム待合室のデザインがおもしろいメトロ・アムステルダム(地下鉄)〈オランダ〉

ふるさとの訛なつかし　停車場の人ごみの中に
そを聴きにゆく

（石川啄木）

「駅」といえば、この一首を私は思い出す。漂白の歌人が望郷の念にかられた時、乗・降客のあいだで東北弁の聴ける停車場（恐らく上野駅）は、〝救いの場〟？であった。新しい旅路の出発点―駅は、また、過ぎ去った過去との接点であることを、この歌は物語る。そして人こもごも、違いはあっても、駅を当世流に表現すれば、〝コミュニティの場〟の一つということになる。

幼時、曽根崎の祖父母の家で、ＳＬ（蒸気機関車）の汽笛の音を「子守唄」に育った私に、近くの大阪駅や阪急・梅田は、むしろ〝遊びの庭〟といえた。ＪＲ大阪の現在の駅舎は、開設以来４代目、私が物心ついてからで３代目。一方、阪急・梅田駅もいくたびかホームの位置が移転し、ＥＸＰＯ'70を機にターミナル・ビルの外装を衣ガエするなど、ずい分態がわりし、幼き日を偲ぶよすがも少なくなってきた。しかしここで私は〝門前の小僧、習わぬ経の読み〟のたとえよろしく、鉄道に関する知識を修得したばかりか、二葉あき子の「夜のプラットホーム」の歌詞にあるような別離シーン、はては、映画「終着駅」で今は亡き二大名優によって演じられたアバン・チュール？…etc.,実にいろんなことを教えられた。私にとって、遊びの庭の駅は、同時に〝学びの園〟でもあったのだ。

当時の超特急《燕》より、毎夜９時、大阪駅を出る東京行の寝台急行18列車に、魅せられていた。イネ（１等寝台）３両、ロネ（２等寝台）５両に食堂車などで編成、大衆車の３等（ハネ）がないハイ・ソサエティ・トレインで、この点、今のブル・トレ（寝台特急）はお粗末極まりない。列車がホームに入ると、各車両のドアごとに白い制服のスチウワードが立ち、乗客の荷物を預かったり、ベッドに案内したり、甲斐甲斐しく、ふるまう姿は粋！噂に聞く、海の向こうの《オリエント・エキス

プレス》とやらは、これを、もっともっと豪華にしたものだろう…と、幼い脳裡に想いをめぐらせた。

18列車の食堂は「上野精養軒」担当の正統派。キッチンから、バターなどの油脂類が石炭レンジにこぼれて、独特の臭いが流れ出すのも魅力の一つ？明治の漂泊歌人は、〝ふるさとの訛なつかし〟と停車場に赴いたが、昭和の食いしん坊小僧の私は、〝食堂の臭い恋し〟とバカリ、毎日、大阪駅へ夜遊び？に出掛けるのだった。

その大阪駅が高架に上がったのは昭和９年（1934）６月。構内東京方で立体交差する阪急と、一夜で地上↔高架の逆転劇を演じたのは、鉄道建設史上特筆すべきだが、幼な心に感心させられたのは、新駅に今日でいう〝カラー・コンディショニング〟が試みられたことだ。ホームごとに号線を色わけ表示し、たとえばブルーの東海道上り９、10番線にゆく時、改札口から青↙ン、いずれも、その建築美と広大な構内に驚かされる。

鉄道が活力を失い、ロンドンの各長距離ターミナルがヒッソリ閑なのは物悲しく、かつて大陸横断列車の発着したロサンゼルスのユニオン駅やバンクーバーのカナダ国鉄駅は、ハイウェイ・バスの出入りに賑わいを残す。

栄光のオリエント急行が停車したベオグラード（ユーゴスラビア）やソフィア（ブルガリア）の各駅は、相変わらず、多数の乗・降で活気を見せる。総じて、東欧圏は駅がコミュニティの場で賑わい、鉄道自体も活力がある。

いくらコミュニティの場…とはいえ、時速300キロ超特急ＴＧＶのパリ・リヨン駅や《メトロライナー》のニューヨーク・ペンシルバニア・ステーションのごとき、スリやカッ払いとの交流は、いささかご辞退したい。

最近は鉄道による空港輸送が盛んで、アムステルダムのス↙



真冬はスキー客で賑わうマッタホルンの展望台―ゴルネグラード駅―〈スイス〉



道路から直接列車に大きな荷物が乗せられるよう、路面にホームを設けたモントルーＭＯＢ駅〈スイス〉



新装なったソフィア中央駅〈ブルガリア〉



バクダッド特急も発着する東方の門イスタンブール（ウシュクダラ）・ハイダラパシャ駅夜景〈トルコ〉



カルガリの新交通システムC-TRAINの駅売店―インフォメーションを兼ねる〈カナダ〉



今はハイウェイ・バスが主体のロサンゼルスのユニオン駅〈アメリカ〉

いネオンの矢印に従えば、難なくホームに到達できる。また前年(昭和８年)、梅田↔心斎橋で開業した市営地下鉄（現・御堂筋線）も、駅ごとに天井のデザインや壁面のカラーを変え、壁の色で下車駅がわかった。また、今も、御堂筋のグリーン・ベルトに残る地下鉄乗降口は、駅中間の街への便を図ったバス・ストップを兼ね、RIDE & RIDE　のハシリ‼現在、都市学者やデザイナーの諸先生のコネまわす屁理屈は、1930年代の大阪の各駅において、すでに〝実施済ミ〟だった。

長じて、毎年海外にゆくが、航空機など、鉄道以外の交通手段で訪問した都市でも、必ずそこの駅に出掛けて見る。パリの６ターミナルは、かつての私鉄時代の本社ビルで、駅レストランも超一流、各駅でニュアンスも異なる。一方、封建時代末期から統一ドイツ帝国初期にかけ、為政者の手で鉄道が開通したドイツ主要都市の中央駅は城塞の構え。ムッソリーニの遺産だが、第二次大戦前に竣工のミラノ中央駅はアンティーク、戦後完成した「終着駅」の舞台ローマ・テルミニが未来派デザイ↗キポール空港駅は、電車を降り、手荷物運搬車を借りると、ベルト・コンベアが出発カウンタにいざない、スイス国鉄の都市間特急はチューリヒ、ジュネーブ両空港駅が起・終点、海外へ飛び立った時に、国内主要都市の駅でラゲッジのチェック・インが可能だ。関西新空港のアクセスをになう各鉄道は、大いに学ぶべきだろう。

自動改札口など、機能優先の大阪の駅から人間臭さは消えつつあるが、わが街の駅―チンチン電車の帝塚山４丁目は、昼間はチビッ子広場、時に買い物帰りの奥様が談笑し、夜は若い人々が集まって、ふれあいの場なのだ。

出入りする人々のふれあいで構内は人情にあふれ、歌声が流れて、銭湯やパフォーマンスのステージもあるコミュニティの場‼私の夢見る《21世紀の駅》である。

駅　えき　エキ…　それは　わが心のふるさと

（のむら　ただし　交通評論家）

オルセー駅から歴史の旅へ

野口英雄

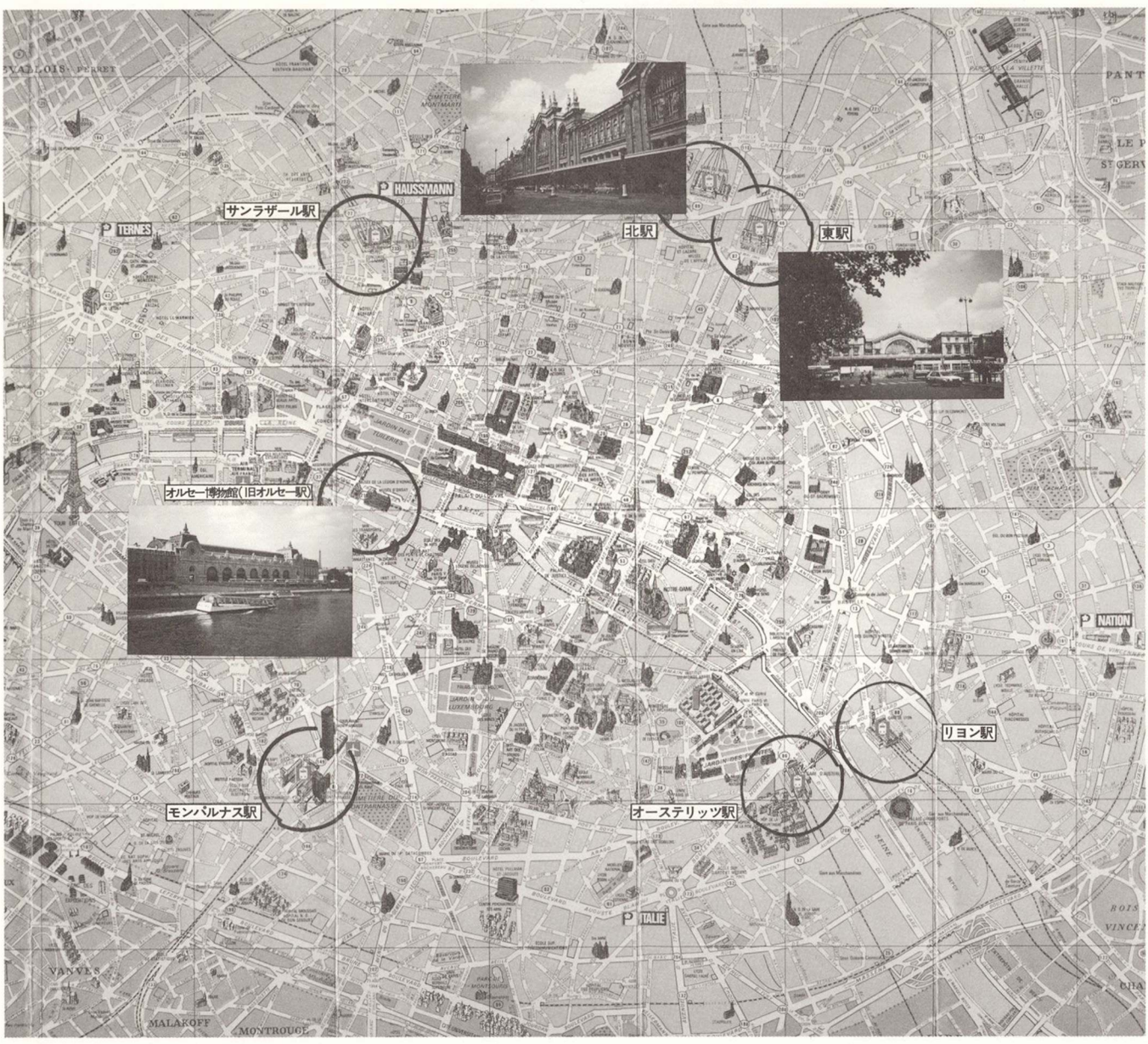
駅舎はまちの顔。遠い旅先ではじめに見上げるのも駅舎。まちの構造に強い影響を与えるのも。しかし、この顔もときに変わり、都市の発展につれて、50～100年を単位に変化していく。わたしは、駅舎の機能を失ったパリのオルセー駅の、国立博物館としての劇的な再生についてあとでふれたいと思います。

さて、日々利用するパリの鉄道は、国鉄ＳＮＣＦに、地下鉄メトロと首都高速ＲＥＲが有機的に結びついて、便利です。パリの国鉄をはじめ鉄道はとてもゆったりしています。その理由のひとつは、パリの20区内には８～９階のアパルトマンと、周辺部に高層ビルが高密に建っていて、通勤の解消に役立っているからです。さらに国際列車はたいてい２～３か国にまたがり、旅行者も世界中からやってくるため、カードも使える出札口や、両替所、多国語の案内板など手間のかかる面もあって、それがかえってゆっくりムードにつながります。そのうえ次のように、主要駅が分散して配列され、役割分担しているからです。

パリの国鉄主要駅には、六角形をなすフランスの、それぞれの方向に向かう６つの駅があります。東へ500㎞へだてたストラスブールと、ライン河を越えてドイツにのびる東駅。そのすぐ北にあって、ベルギー、オランダさらに北欧にのびる線の始発、またドーバ海峡をわたってイギリスに到る北駅。西方ノルマンジに向かうサンラザール駅。ブルターニュ方面へ向かうモンパルナス駅。南西方向へ、ボルドーを通り、スペインに向かうオーステリッツ駅。南東方向アルプスからスイス、イタリアに到る線、またリヨン、マルセーユに向かうリヨン駅。ここは超高速鉄道ＴＧＶの始発駅でもあります。

これらの駅舎は、1970年代に高層ビルに建てかえられたモンパルナス駅をのぞいて、すべて19世紀のネオクラシシズムのデザインになる石造の正面と、大空間を独創的なアーチとトラスでおおう、とても旅情をそそるものです。

最後に、オルセー駅は、1900年のパリ万国博に向けて、エッ



フェル塔と同時に建設され、開業したものです。地下鉄の発達に押され、半世紀ばかりの駅舎の役目を終え、1970年に下りたホテル改築計画をも一転して、ジョルジュ・ポンピドー、ジスカル・デスタン、フランソワ・ミッテランの三代の大統領の決定をへて、13億6千万フラン（340億円）を投入して、昨1986年、オルセー博物館としてデビューしました。18世紀までの芸術を展示するルーブル博物館と、20世紀を代表するポンピドーセンタとの二大国立博物館のかけはしとなる、19世紀の文化を展示する第三の博物館として。

この再生には、結果論ですが、政治、文化、工芸の三つの必然性があったようです。

第一に政治の必然性ですが、フランス革命（1789）後ナポレオン帝政（1804）、七月革命（1830）と二月革命（1840）、第三共和制（1870）と翌年のパリコミューンに到る現代フランス政治を方向づける時代の、1830～40年にオルセー駅の前身：オルセー宮は建設されました。この土地はマルゴー女王の財務官の購入したもので、その前18世紀には、パリ市商業監督官ブシェドルセー侯が、セーヌの対岸にたつルーブル宮とチュイルリ↙

第二の文化の必然性というのは、19世紀にルーブル宮ですでに経験した、宮殿から、国を代表する博物館へと再生していく伝統の再現、それが今回のオルセー博物館の再生につながっているということです。

そして第三の工芸の必然性とは、19世紀は工業と芸術の調和を求めた目ざましい時代。この時代の芸術を都市、建築、美術、工芸の多方面から捉え直し、展示していく強い意図があるということです。オルセー駅の設計者ビクトル・ラルーは、パリの名門芸術学校の教授で、ローマ大賞も受賞しました。彼の生きた時代は、1860年代のアールヌーボの建築家ビクトル・オルタや、メトロやアパルトマンを設計したエクタ・ギマールの時代です。このオルセー駅は、鉄、コンクリート、ガラスという19世紀を代表する建材を駆使しながら、伝統的な石造装飾を併存させた、ある意味で大変矛盾したデザインですが、この伝統芸術と、合理的デザインの相剋と共存のモチーフは、パリの建築史を理解する鍵のひとつです。

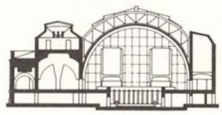
アーチの高さ32m、スパン75m、そして奥行き220m、3万5千㎡におよぶ元駅舎の大空間は、そのような政治、文化、↙





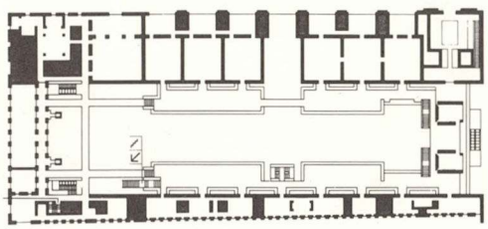


駅から



博物館へ







庭園に対面するという理由から、護岸工事。こうしてできたオルセー宮は焼失する1871年までの30年間、会計検査院でありました。そして駅の建設された1900年は、革命100年記念の1889年を経て世紀の変わりめを記念するものです。オルレアン鉄道会社は、1897年に周辺の土地を含めて購入し新駅とホテルを兼ねて建設し、1900年に開業しました。この鉄道はオルレアンとの間200kmを結び、さらにパリ市内に入っては地下鉄によってオーステリッツ駅と結ばれました。このようなオルセー宮からオルセー駅をへて、オルセー博物館へと再生していく過程には、この建物がみてきた革命100年と、1989年に迫る革命200年記念が、関係者の念頭にあったわけです。↗

工芸の大変革を展示していく博物館としても似つかわしく、かつ劇的です。今回の博物館再生には、建築家レノ・バルドンとインテリアを担当したイタリア女流建築家ガエ・アウレンチが携わりました。

こうして100年間という身近な歴史の旅をしめくくるにつけ、駅舎はやはり人間に似て、ある種の「面相」をまちに向け、それが関係者の夢をかきたて、建築の再生という創造の企てへと、駆りたてるものなんだなあと、わたしは、ふたたびパリの駅舎を見上げるのです。

（のぐち　ひでお　ユネスコ・パリ本部文化遺産部）

降り立った13630＋α駅の中から

河野浩行

日本全国で、ＪＲ線だけで昭和62年４月１日現在、駅の数は4843ヵ所、その他の私鉄の駅の数は8787ヵ所、あわせて13630ヵ所ある。また、営業キロ数は昭和62年４月１日現在で、ＪＲ線が全国で19829.3km、その他の私鉄が全国で27206.1km、合計で47035.4kmある。

私は、この13630ヵ所の各駅と廃止された駅も含めて全線全駅下車に挑戦してきたが、無事に昭和62年３月31日午後１時26分45秒、惜しくも国鉄最後の日に、国鉄ローカル線の茨城県の水戸と福島県の郡山を結ぶ、水郡線の袋田駅で、国鉄線とその他の私鉄線の全線乗車はもちろん、全駅下車の記録に幕を閉じた。実に19年９ヵ月14日13時間26分45秒の執念の記録である。

今、思い出してみるといろんな駅に下車してきた。冬の大雪の北海道の小さな駅もあったし、東北の景色のすばらしいリアス式海岸が望める駅、甲信越の人々の人情あふれる駅、関東地方の乗降客があふれる大きな駅、東海地方のひなびた温泉の駅、北陸地方の食べもののおいしい駅、近畿地方のホームで屋台のうどんが食べられる駅、中国地方のホームに沸き出る延命の水と、三段式スイッチバックの駅、四国地方の古くからの名湯のある駅、九州地方の南国情緒豊かな駅など、それぞれの駅にいろいろな思い出がある。特に、廃止された駅すべてに面影を感じるのは、どうしてだろうか……。

それではまず、現存する駅で私の印象深い駅を紹介しよう。〔順序は、訪れた年月日が古い順番です。〕

神戸肉のおいしい神戸駅(東海道本線・兵庫県)、関東地方にもこんな駅が……。奥多摩駅(青梅線・東京都)、風が強かった守山駅(東海道本線・滋賀県)、駅のそばがおいしかった東舞鶴駅(舞鶴線・京都府)、町が倉でいっぱいの喜多方駅(磐越西線・福島県)、忍者弁当のあった柘植駅(関西本線・三重県)、まわりを山で囲まれた備中神代駅(伯備線・岡山県)、気動車のエンジンがやかましい東津山駅(姫新線・岡山県)、まわりを雪で囲まれた越後川口駅(上越線・新潟県)、えらそうな口の聞き方の〝そうじゃ〟……総社駅(伯備線・岡山県)、温泉入口の花巻駅(東北本線・岩手県)、ひなびた小さな駅豊野駅(信越本線・長野県)、観光ギャルの多い町の歴史散歩倉敷駅(山陽本線・岡山県)、頭の毛の少ない人に喜ばれそうな増毛駅(留萌本線・北海道)、自然を満喫できる三段峡駅(可部線・広島県)、ひなびたローカル駅、前谷地駅(石巻線・宮城県)、魚のおいしかった留萌駅(留萌本線・北海道)、そばのおいしかった音威子府駅(宗谷本線・北海道)、日本最北端稚内駅、台風にあって不通になった思い出の国府津駅(東海道本線・神奈川県)、日本最北端か



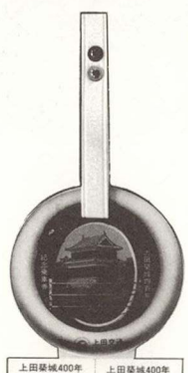
5歳、初めての一人旅



今は廃線となった、「愛国」駅のスタンプと、右の写真は「三股」と「熱塩」駅







上田駅発行の上田築城400年記念乗車券













ら二番目南稚内駅(天北線・北海道)、おでんとそばのおいしかった備後落合駅(芸備線・広島県)、北海道の夏というのにとても暑かった深川駅(函館本線・北海道)、カニをたらふく食べた米子駅(山陰本線・鳥取県)、リアス式海岸の宮古駅(山田線・岩手県)、歴史の散歩道の大垣駅(東海道本線・岐阜県)、夜行列車で到着して眠かった坂町駅(羽越本線・新潟県)、たこ焼きのおいしかった湊町駅(関西本線・大阪府)、日本一の東京駅(東海道本線・東京都)、駅名が気にいった静(しず)駅(水郡線・茨城県)、山手線一周まわると田端駅(山手線・東京都)、駅弁当が日本ではじめて売られた宇都宮駅(東北本線・栃木県)、びゃっこ隊と城下町の会津若松駅(磐越西線・福島県)、全駅下車のしめくくりはこの駅、袋田駅(水郡線・茨城県)、そして全駅下車達成後、最終国鉄水郡線利用で到着の郡山駅(東北本線・福島県)などである。

続いて今はなき駅で、私の印象深い駅を紹介しよう。

十勝三股(とかちみまた)駅(士幌線・北海道・昭和53年12月廃止)、仁宇布駅(美幸線・北海道・昭和60年9月廃止)、愛国駅・幸福駅(広尾線・北海道・昭和62年2月廃止)、北見枝幸駅(興浜北線・北海道・昭和60年6月廃止)、北進駅(白糠線・北海道・昭和58年10月廃止)、熱塩(あつしお)駅(日中線・東北・昭和59年3月廃止)、松葉駅(角館線・東北・現在、秋田内陸縦貫鉄道南線)、比立内駅(阿仁合線・東北・現在、秋田内陸縦貫鉄道北線)、丸森駅(丸森線・東北・現在、阿武隈急行)、三保駅(清水港線・中部・昭和59年3月廃止)、北条町駅(北条線・近畿・現在、北条鉄道)、三木駅(三木線・近畿・現在、三木鉄道)、小松島駅(小松島線・四国・昭和60年3月廃止)、妻駅(妻線・九州・昭和59年11月廃止)、大隅高山駅・鹿屋駅(大隅線・九州・昭和62年3月廃止)、筑前勝田駅(勝田線・九州・昭和60年3月廃止)、肥後小国駅・宝泉寺駅(宮原線・九州・昭和59年11月廃止)、そして真壁駅・雨引駅(筑波鉄道・関東・昭和62年3月廃止)などの駅である。他の私鉄よりJR線の駅名が多いのは、私が、小さい頃から国鉄に魅力を感じていたからだと思う。

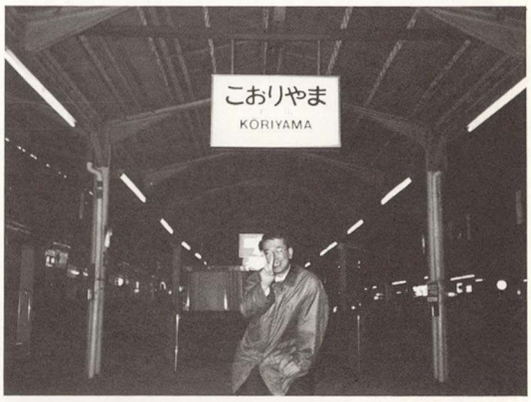
そして、ここにあげなかった駅の中にも、いろいろと思い出のある駅はたくさんある。これら、約13000の駅に降り立つ記録のうらには、本当にいろいろなことがあった。寒い冬の北海道の無人駅で、一夜を明かし、凍死しかかったことも……。また、東北のローカル線では、沿線で珍しい温泉をみつけて旅の疲れをとったことも……。今、思い出してみると、どれもとても印象深く私の頭の中に残っている。私は駅の中でも特にローカル線の駅が好きだ。なぜなら、どことなく旅情を満喫できるから……。

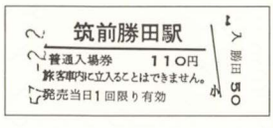
郷愁の鉄路ローカル線とローカル駅、みんなが納得していて、これといって基準のない言葉。だが、ローカル線の列車は今日も走り、ローカル駅は新しい夜明けをむかえる。鉄路がなくなるその日まで……。

(こうの　ひろゆき　神戸市立丸山中学校西野分校助教諭)



ローカル線に乗車したときの乗車券。経由線区に注目していただきたい。







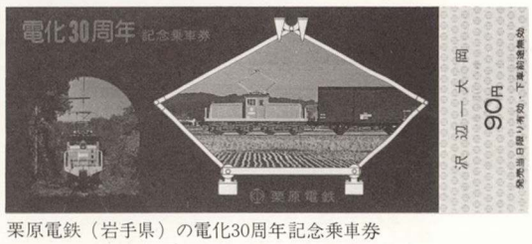


全線全駅に乗車・下車の記録を達成した袋田駅にて









栗原電鉄(岩手県)の電化30周年記念乗車券

ＪＲ駅の新しい展開

宮　本　剛　克

■ 新生鉄道の視点

これまで鉄道の駅は、網のように張り巡らした線路の結節点として、中央から新しい人や物、情報を運んできて、地域の「核」、街の「顔」、その地域の中心拠点として定着してきた。そして駅は、街と共に発展しながら歴史を創造し、人々の心にさまざまな想い出を残す舞台としての一面をもっていた。

しかし、時代の変化とともに人々のニーズは多様化し、本来の輸送機能のみの駅、とくに地方の中小駅は、人々を引きつける魅力を失い、地域の中でとり残されるものが出てきた。これには、社会構造の変革や輸送構造の多様化による影響が大きいと思う。

駅は、地域社会活動において立地上きわめて優れた位置にあり、優位性をもっている。新生ＪＲ西日本会社は、そこに着目して、新時代にふさわしい輸送機関として発展してゆくため、地域に密着し、人々に愛され、親しまれ、信頼される鉄道を目指して駅のイメージアップを図ることになった。

そのため、駅利用客にとって便利で、使いやすい、明るい空間を創出する必要がある。それには、町の中の生活の一部を駅の中に取り込んで、駅が町に手を伸ばして一体となるような形を考えるべきであり、この媒介をするのが駅前広場である。駅と町は切断されているとよく言われるが、駅を出た人がまっすぐに町の中へ入って行けるような形態が望ましいのであって、それが、利用者に町というイメージに連続性をもたせ、駅舎への心情的なつながりを保たせる方法であると思う。一方、高齢化社会に向かって駅を計画する立場として、少しでも駅利用者のバリアーを少なくし、駅に「行きやすく」「使いやすく」するための計画を十分に盛り込むべきである。

そういった考え方に立って、新しく生まれ変わったＪＲ西日本会社は、民営鉄道という立場から、さまざまな魅力ある施策を打ち出していきたいと考えている。最近完成した芦屋駅の総合フロントサービスは、その一つである。

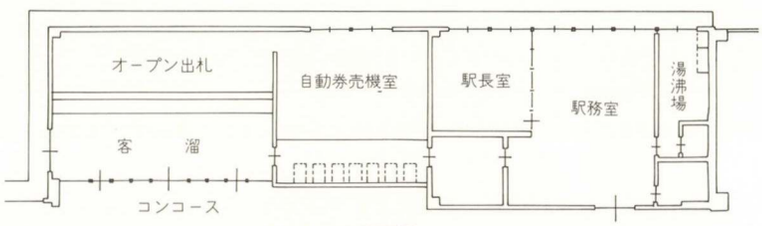
■ 多様化したニーズを受けとめる駅

芦屋駅は、昭和45年の万博を機に橋上駅、二代目駅舎として完成し、近畿圏の東海道本線各駅の中でも、当時はすばらしい建物として大変好評であった。その後、駅周辺の発展とともに芦屋市の方で国鉄芦屋駅周辺の再開発基本計画が策定され、その中に芦屋駅ビル構想もスタートした。

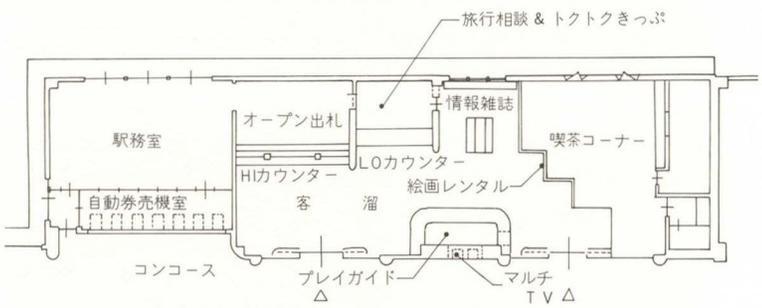
この地域は、国際文化住宅都市の玄関口としてふさわしいものという観点から、芦屋ムードのハイセンスなイメージをもたせるため、芦屋駅ビルは、外観は瀟洒なファサードでまとめ、色彩も落ち着きのある仕上げで、橋上駅舎のフェイスを一層高め、まさに街の再開発の起爆剤としての効果をあげた。内容空間としては、百貨店と専門店等の構成で、地元の人々のコミュニティー施設として多数の人が集まり交歓し、買い物をする、周辺の人々に生活空間の場を提供してきた。

そして情勢が急速なテンポでハイテク時代、高度情報社会、高齢化社会へと変化する中で、駅利用者の多様なニーズにより、駅には、単なる流動空間に止まらず、情報サービスや都市機能の拡充、旅客営業サービスの高度化が要求される。ＪＲ西日本会社は、これに対応した総合フロントサービスを大都市拠点駅、都市近郊駅に設置する方針を打ち出し、芦屋駅にもこれを設けることになった。また駅前には、これと軌を一にして昭和61年11月、駅前再開発事業による「ラ・ポルテ」が誕生した。このビルも客の多様化したニーズを取り込んだコミュニケーションフロア、市行政情報サービスコーナ、スポーツフロア等を備えた施設として営業を開始したが、鉄道利用者にとっては、出勤時に用件を頼み帰宅時に目的を果たすということでは、ビルまで行くことのバリアーはぬぐえないものと考えられる。そこで駅という利便性を生かした立地に、フロントサービス施設を設けることで、利用客にはより一層のサービスが図れると考えられる。

この施設は、橋上駅部分を大きく変えることなく改良面積224㎡の余剰スペースを生み出し、レイアウトに工夫をこらし、総工事費約5千万円で実施した。まず計画は、出札室、駅務室が柵外コンコースに面していることと改札口の正面にあたり、鉄道客が利用する



コンコース旧平面図



コンコース新平面図

芦屋駅サービスプラザ平面図



総合旅行相談のローカウターは、客と直接ふれ合うコーナである(芦屋駅)



旅行情報をはじめ生活情報も発信するＪＲのホットポット(芦屋駅)

上では最高の位置を占めていたので、鉄道側でも、一部駅務要員の減少に伴って駅務室を移転し、総合フロントを中心としたレイアウトの見直しを行った。市行政の窓口・プレイガイドを中央に、出札窓口は指定券売りのハイカウンター、航空券・宿泊も含めた旅行商品を扱うローカウンターを設け、サービスの高度化が図られている。そのほかに絵画レンタルコーナ、情報コーナのホットポット、情報雑誌の各コーナを設け、駅の付加価値を一層高めている。このほかに買い物代行、不動産プラザを取り込んではという話もあったが、今回は設置していない。

営業が始まって、市の窓口の利用もあり、プレイガイドの利用者も多数と聞いて、駅のお客様へのサービスは向上したものと思う。

■ ますます便利になるＪＲ西日本駅

ＪＲ鉄道の窓口である旅客駅は、まず鉄道に携わるわれわれが常に社会がどうなるかを見極め、人々が何を求めているか十分理解し、将来に向かってどうあるべきかを考えてその姿を見通す必要がある。そのためには多様化するニーズに対応した利用客の立場に立った便利で使いやすい、快適な旅客駅を原点に立ち還って考える必要がある。

それは、コンコースでは利用客が行きかい、切符を求め、列車を待ち乗降するという使命だけに止まらず、市民がつどう情報交換の場が提供され、都市と一体化した機能をもち自由な行動を許容する広範囲な空間構成をつくり出すことだと思う。そこにサービス空間としたサテライトスタジオ、ラウンジがあったり、広場を中心に商業施設、宿泊施設、映画館等を立地させるのも、駅から歩いて〝0分〟という有利性を生かした方策として利用者の利便が図られるものである。

ハイテク時代のフロント設備では、出札にはキャッシュレスによる電子切符システムが登場し、地図を見ながら機械を操作し、手もとのテレビ画面に映った案内を見てボタンを押せば切符が買えるとか、同時に旅行先の宿泊も希望すればリザーブでき旅行する手続きの不便さが解消されるときもすぐにやってくると思う。

情報サービスにとって駅は最も有利な拠点であり、旅行情報のみでなく、生活情報、文化的情報を駅利用者をはじめ地域の人々に提供できる。また、全国にネットワークを拡大することにより駅のワンルームで情報が享受でき、そこには多くの人と情報が集まることになり、鉄道と地域との一体感が育成される。たとえば旅行計画を立てる人には、全国の旅に関する観光情報―行程、費用、交通機関の接続、予約―をすべてこの情報センターで集めることが可能になる。多種多様なニューメディアが開発され、地域の生活・文化情報、ショッピングやレジャーの案内も提供でき、コミュニティーとしての駅が創造できる。

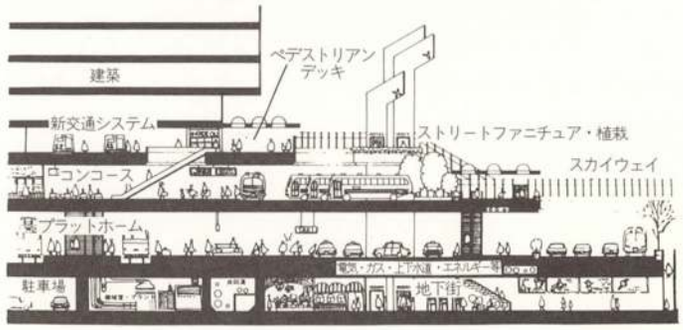
こういった機能を総合することにより、駅は交通の結節点として巨大化し、ターミナルとしての複合化、多層化が進み、おのずと都市の枢要なセンターとして人々のコミュニティーの場として活性化され、都市の中でシンボリックな位置づけがなされる。そして旅客駅は、鉄道と地域のつながりを一層緊密にして、人々の生活の一部となることが考えられる。

ＪＲ西日本会社は、可能なかぎり、地域のニーズに対応した新しい駅を念頭に、大きなものから小さいものまでいろいろな施策と知恵を出して旅客サービスに努力していきたいと考えている。

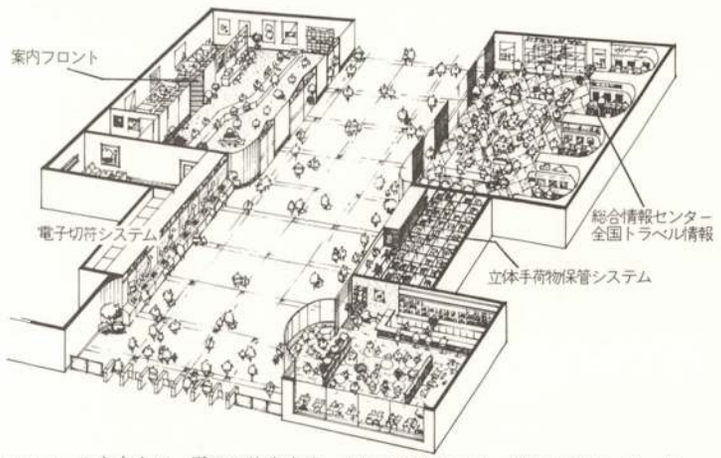
（みやもと　よしかつ　ＪＲ西日本会社大阪工事事務所建築主任技師）



多層利用により、総合交通が一点に集まり、利用しやすく都市機能を取り込んだ人の集まる駅。



駅の中をバス、タクシーの乗降場も一体にし、客の動線を短くした、便利で、使いやすい立体的な駅が望まれる。



コンコースを中心に、電子切符券売機、立体手荷物預かり、総合情報センターが設けられ、そこで客のニーズに対応する。



駅の情報センターは、旅行情報をはじめ、都市情報を提供する。

ＪＲ駅とまちづくり―二条駅の「再開発」計画―

清水　肇

■ 西ノ京と二条駅

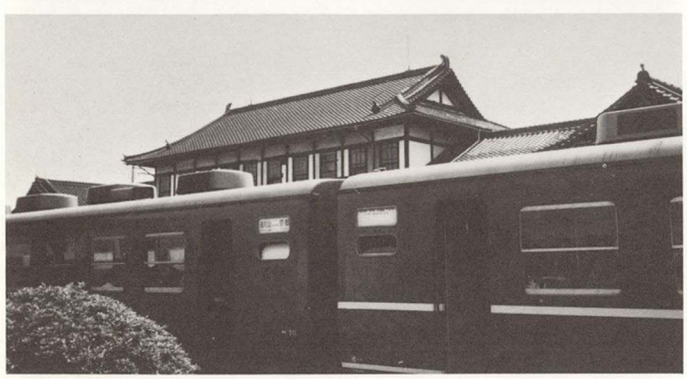
京都に旅する人の中には、わざわざ山陰本線に乗りかえて二条駅で降りる人もいるという。高層ビルと京都タワーに囲まれた京都駅前には「京都」を感じないという人たちである。

ＪＲ山陰本線の二条駅は、木造の古風な駅である。京都の中心部を東西に通る御池通りの西の「ドンツキ」にあり、入母屋造りの左右対称のシルエットは、はるか東からも見ることができる。駅舎は1904年（明治37年）に完成したもので、平安神宮を模したとされている。和風の駅舎として日本で最古級のもので、文化財的価値も高い。駅舎の堂々として重厚な構えは、かつて天皇や皇族の行幸の際に使われたためでもある。当時をしのばせる貴賓室が今も残っている。

しかし、この駅舎の価値は建物だけではない。周辺は中京区の西部の西ノ京と呼ばれる一帯である。古くは朱雀大路(今の千本通り)を中心とした平安京の中心地であり、太極殿跡、二条城、神泉苑、出世稲荷などの歴史的遺産に囲まれている。付近の学校には、みな「朱雀」の名前がついており、歴史に対する人々の誇りが生きている。西ノ京は都心に近いのにもかかわらず、人々は京都らしい高密な住み方を維持し「まち」を守ってきた。車の通過しない細い街路では主婦の立ち話や子どもの遊ぶ姿が印象に残る。人々の暮らしが歴史的環境の中で生きている地域の中心にあるからこそ、二条駅の駅舎は市民に親しまれてきた。

二条駅





■ 二条駅周辺「再開発」計画

現在「西の副都心」を目指した二条駅周辺地区の「再開発」計画が進められつつある。京都市の「建都千二百年記念事業」の目玉の一つである。二条駅の貨物ヤードの廃止にともなって、周辺を含めた「再開発」を行うというものである。この貨物ヤードは約８ヘクタールの広大なもので、今後これだけまとまった空地は京都では出ないだろうとも言われている。

「再開発」の詳しい内容は、実質的には公開されていない。京都市計画局の「二条駅周辺のまちづくり」というリーフレットが出されているが、これはきわめてわかりにくいものである。計画案の全体像を表すのは「市街化予想図」というものだが、対象区域内の地図を商業施設用地、業務施設用地等にぬり分けただけのものである。広幅員の御池通りが地域内を斜めにつき抜けていること、商業・業務用地が非常に大きいことがわかるが、結局どんなものになるのか、市民には想像もつかない。そもそも計画案の中の「予想図」とはいったいどういうことなのか。

この計画の本質は、これが「区画整理事業」と「新都市拠点整備事業」で行われることにある。「新都市拠点整備事業」とは、二条駅のほかに神戸の「ハーバーランド計画」、横浜の「ＭＭ21」などで進行中の事業である。建設省のマニュアルによれば、事業の手順はこうなる。①マスタープランの作成、②鉄道施設のクリアランスと基盤整備、③交通等の施設整備、以上が京都市の手で行われる。次に民間による④商業・業務ビルの建設および都市拠点施設の立地誘導という典型的な「民活型」事業である。なお、都市拠点施設としては「高度情報センター」、つまりインテリジェントビル的なものに重点が置かれる可能性が高い（ここまで聞いてもわかりにくさに変わりはないが）。全体の計画の骨子は中央省庁や旧国鉄の上層部によって決められており、京都市もそれと一体になって事業を進めようとしている。とにかく、全国各地の旧国鉄の大規模な跡地を今後、商業・業務ビルや「高度情報センター」などに使っていくことが、国の計画として明記されているのである。

■「再開発」に対するまちづくり運動

地元からの「再開発」への対応の焦点の一つは、これが土地区画整理事業で行われることにある。駅の西側に斜めに通す御池通りの用地を確保するために、150 戸以上が区画整理の対象になっている。大半は敷地をいっぱいに使った戦前からの市街地住宅である。借地、借家人も多い。減歩によって住み続けられなくなる人が大半だから、住民は京都市の不十分な説明に抗議し、一方的な区画整理に抵抗してきた。「二条駅周辺再開発を見つめる会」、「小倉町を守る会」が結成され、周辺を含めた「西ノ京町づくり協議会」へとつながっ

ている。

さらに、中京区全体のまちづくりを考える組織である「中京まちづくり懇談会」（代表・蓮佛亨）は「再開発」の問題点を分析してきた。「中京まち懇」は中京区の20以上の住民組織、労働組織と個人によって構成され、京の良さを生かした住みよいまちづくりを目ざして結成された組織である。検討の結果は「『二条駅周辺地区整備計画』の問題点」として、今年の１月に発表した。要点を以下に紹介する。

「再開発」計画の基本的性格だが、地域の問題を解決するための計画ではなく、投資と市場の拡大が目的になっており、財界本位の「京都改造」と乱開発につながることを指摘している。しかも、市が行う基盤整備のあとは民間の手にゆだねてしまうのであり、市民のための計画になるとは思えない。

そして、「再開発」の結果として予測される問題を、次の５つにまとめている。

①予定されている商業ゾーンがあまりにも広大で、周辺の商店街に与える打撃が大きい。

②京都の大幹線道路網の中に位置づけられている御池通りの自動車交通によって生活環境が破壊される。斜めに道路を取り付けることによる土地利用の歪みも大きい。

③商業開発によって周辺の地価が上昇し、高層建築ラッシュ、自動車公害などが起こる。住環境がこわれ、居住者が追い出されていく。とくに区画整理事業の対象者は減歩によって生活基盤を失う。

④高層建築が立ち並び、西ノ京の景観・歴史的環境が失われる。

⑤文化施設ゾーンが予定されているものの、公共施設ではない商業化されたものになる可能性が高い。

「西の副都心」の姿を他の大都市の実情から想像すれば、以上の予測は決して大げさなものとは言えない。現在の規制緩和・民活の勢いからすれば、今までの京都では考えられない規模の開発になる可能性があり、京都の将来にとっての問題はもっと深刻かもしれない。

■ まちの中心としての駅

この特集のテーマである「駅」に話をもどそう。

「中京まち懇」が指摘するように、「再開発」の問題は西ノ京地域からさらに京都全体に及ぶ。それは、この計画の内容と規模によるものだが、もともと二条駅が西ノ京のまちの一つの中心であるからだとも言える。

私たちがまちにもつイメージの中でも、駅は主役の一つである。西ノ京の市街地ができあがる過程では、二条駅は京都の西北部や丹、後、丹波、山陰から京都へ入る玄関として栄えてきた。広大な貨物ヤードはその名残の一つである。

ひとまず「再開発」計画のことを忘れて西ノ京のまちづくりを考えるとき、やはり二条駅はまちの中心にある。今、不足しているさまざまな施設をこのまわりにつくりたいというのはきわめて自然な発想である。この地域には公園が少ないし、文化施設、スポーツ施設も不足している。旧市街地の人口高齢化が進む中で、老人のための施設はとくにほしい。質のよい公共住宅も建てたい。広大な貨物ヤード跡地ができたことは、またとないまちづくりの機会でもある。

京都の中心部には、他の大都市に比べてまだまだ多くの人が住んでいる。「暮らしのある都心」を将来に伝えられるかという意味で、二条駅周辺の利用は京都の運命をにぎっている。

逆に駅舎そのものの価値を決めているのが、そのまわりのまちであるということも言える。二条駅は歴史が生活の中に息づいている



二条駅の貨物ヤード跡地

西ノ京のまちと一体であるからこそ、歴史的建物としての価値がある。「中京まち懇」が行った駅の利用者アンケートでは駅舎を残してほしいという声が多かったし、建築史学の専門家からも保存の要望が出されている。保存の本来の意味を考えるならば、移築や文化財的保存を考える前に、西ノ京の中心としての駅舎を守ることを基本にすえたい。高層の商業ビルに囲まれた二条駅の悲しそうな姿を想像していただきたい。

今、全国で旧国鉄用地の利用が問題になっている。払い下げ価格も大きな問題だが、いずれもまちの将来を左右する土地であるという認識を第一にもつべきである。駅前といえば再開発して店舗の入った駅ビルとターミナルをつくるという発想はこれまでも批判されてきた。しかし、このところの大規模プロジェクト中心の考え方はさらに次元の違った都市改造につながろうとしている。

「中京まちづくり懇談会」は、京都市の「再開発」計画に対して、独自のまちづくり計画の提案に取り組んでいる。まだ原則をまとめただけの段階だが、京都市の計画への抵抗の中で高まっている住民のまちづくり運動の中からつくり上げようとしている。その原則は次のようなものである。

①山陰線の複線・高架、それによって西ノ京地域の一体的なまちづくりを展望する。

②御池通りの東西の連結は認めるが、住民の犠牲おしつけは一切認めない。影響を最小限にするように路線や形を再検討する。

③旧国鉄用地の利用を、西ノ京地域住民の営業と暮らしと文化を高めるために住民本位で進める。そのために、西ノ京地域の住民交流センターを構想する。

④古来の歴史的・文化的遺産を大切にし、千本通りを文化の軸線に位置づける。

⑤現在の二条駅舎は将来も新駅の一部として活用できるように検討する。文化財は地域と一体となることで意味をもつものである。

⑥用地の活用のための建物は、西ノ京の景観をまもり、よくするものにする。二条城、周囲の山並み、町家などとも調和できるものを検討する。

*

最後に、駅の将来とまちの将来が一体であることを改めて強調したい。10年後に二条駅に降り立つ人の前に「京都」があるのかどうか、そこが問われている。

（しみず　はじめ　京都大学大学院）

大阪の地下鉄駅舎―機能とデザインの変遷―

鳥 井 豊 秋

■ 地下鉄の特徴

都市交通の重要なウエイトを占める地下鉄は、都市の平面的な形態にもよるが、主要道路の下に建設され、その配置は、おおむね放射線状または格子状に、いわゆる地下鉄路線網として計画されている。

一般的に、地下鉄路線の占める空間はもちろん地表面上にはほとんどなく、一部の高架式を除いて大部分は地中の空間を利用している。しかも地下鉄は他線または上下水道、ガス、電気、その他の地下埋設物とはすべて立体的に処理されているので、道路等の平面交差がなく、したがってそれらに起因する事故がない。また高架部を除いて大気の自然現象による影響も少ない。その点で、地下鉄列車の運行にはきわめて都合がよい。地下鉄の正式名称が、都市によって若干異なるが「高速……」または「高速度……」と呼ばれる理由も頷ける。

その他の特徴としては、都市交通の花形ともいうべき路面電車、バスに代わるべく、それらの停留所の配置密度には及ばないにしても、市街地の各要衝を通過する以上、また都市計画上、必要不可欠の配置計画が設定される。他都市においてもほぼ同じ方法で計画されているが、駅間距離は、大阪市の場合はおおむね都心部で1㎞、周辺部では1.3～1.5㎞が多く、他社線に比較して短い。

また、乗降場の位置が地下または高架のために、出入口からのりばまでの距離が比較的長く、かつ、高低差が大きいために、階段は当然のことながら昇降機設備（エスカレーター、エレベーター）が必要となる。さらに、地下鉄の建設に際しては、駅本体の位置が決定されても、出入口の計画は道路の占用条件、用地買収等の問題によって理想的な場所に設けられないケースが多く、また、分散して設置するのが通常である。出入口上家の規模も必要に応じて小規模なものとなり、地下鉄駅の所在が一般駅に比較してわかりにくい。この点、道路下の地下鉄駅のもつ大きな特徴である。

■ 大阪市営地下鉄の沿革

当初は、都市人口の増加に伴う輸送需要の必然性によって路面電車、バス等の輸送機関が順次発展し、途中、戦争による影響もあったが、それらは、戦後のめざましい復興によって一時は盛期を極めた。しかし社会的、経済的な変動とくにモータリーゼーションの発展等が都市の有機的な機能に影響を与え始めた頃から、都市交通にとって地下鉄が最重要視されて、現在に至っている。

大阪市の場合は、以上の模様を四段階に分けて説明することができる。

1．初期（大正中期～昭和20年）

大阪市は、大正中期から昭和初期にかけて商工業の著しい発展があって、市内人口は160万人から210万人に増加した。市内交通機関云々を論じられるなか、国、府、市で「大阪市高速度交通機関協議会」を設置し、都市計画をベースに軌道法によって、当初は4路線54.5㎞の地下鉄路線網を策定したのが始まりであった。

この地下鉄建設計画の実施に先立って、当時の建築技術者が欧米の地下鉄先進国の現地を実際に調査して、その知識を導入し、また立地条件等を考えてホームの天井高を大きくとり、構造もアーチ型（梅田、淀屋橋、心斎橋）として雄大かつ壮麗な感じを出し、結果として後世に、大阪市営地下鉄の象徴的な姿を残した。しかし時代の流れとともに、諸条件（乗降客の動線、経済性、運営等）によって構造は函型に変わり、現在に至っている。

1号線梅田～心斎橋3.1㎞は、昭和5年1月に着工して、昭和8年5月20日に、日本で最初の市営地下鉄として開通した。当時の利用者は1日に16,000人、運賃は10銭と記録されている。

その後、心斎橋～難波が昭和10年10月に、難波～天王寺が昭和13年4月にそれぞれ開通し、大阪市の南北三大ターミナルを地下鉄で結ぶ大動脈となった。また、3号線大国町～花園町も昭和17年5月に開通したが、戦争の激化に伴って、工事は昭和18年3月で中断している。

因みに当初の建築仕上材料については、床は200㎜角山型溝入り磁器タイル、壁は陶管ブロックに227㎜角のテラコッタタイル、ま



大阪市営地下鉄1号線・梅田駅(開通当時)



大阪市営地下鉄1号線・心斎橋駅(開通当時)

たは練瓦半枚積みの上に磁器タイルとかモザイクタイル等を、一部にはテラゾーブロックを使用した。天井はアーチ部に吸音効果のよいドイツ製のメトロストーンを採用したが、剝落の恐れがあって、一時的のものとなった。その他の天井は主としてプラスター塗りで仕上げた。なお、現在一部で当時の面影を留めているが、改造工事によってほとんどその姿を消すことになる。

2．発展期（昭和20年～昭和37年）

戦後の資金難、物資不足による工事の中断があったが、昭和26年6月に、1号線天王寺～西田辺間で工事が再開された。

まず天王寺～昭和町は昭和26年12月に、昭和町～西田辺は翌年12月、3号線花園町～岸ノ里は昭和31年6月、岸ノ里～玉出は昭和33年5月、4号線大阪港～弁天町は昭和36年12月にそれぞれ開通した。

前述のように、当時は建設資材等の不足によって、仕上材の選択に苦慮し、たとえば床に砕石入りまたは鉄粉入りのモルタル塗りを施工したり、壁はモルタルペイント塗り（当時は耐アルカリ性に有効な塗料がなかった）または半磁器タイルを採用した。天井はプラスター塗りが主流であったが、型枠材の材質変更と剝離材の関係で剝落の恐れがあって、二重天井ボード張りに変更し、天井高の低い場合は、止むを得ずパーライト等の直吹付とした。このように、当時における諸事情が背景にあるとはいえ、各部の仕上材料について多くを語れないことは、実に寂しい感じがする。

3．急成長期（昭和37年～昭和45年）

昭和30年代後半より、大阪市の人口は300万人を突破し、輸送需要の伸びも、都市交通審議会第3号答申の予想を上回り、また一方、自動車の急増によって、路面電車、バスの運行が圧迫され、路面の交通事情は悪化の一途を辿っていった。さらに、当時国鉄新幹線への連絡、万国博覧会等々の諸事情が、地下鉄建設に一層の拍車をかけた。地下鉄建設緊急5カ年計画のもとに、昭和39年9月に梅田～新大阪が開通したのを皮切りに、昭和45年3月までの約70カ月の間に、計14回の開通式を数えた。まさに地下鉄建設ラッシュともいうべき状況を呈した。

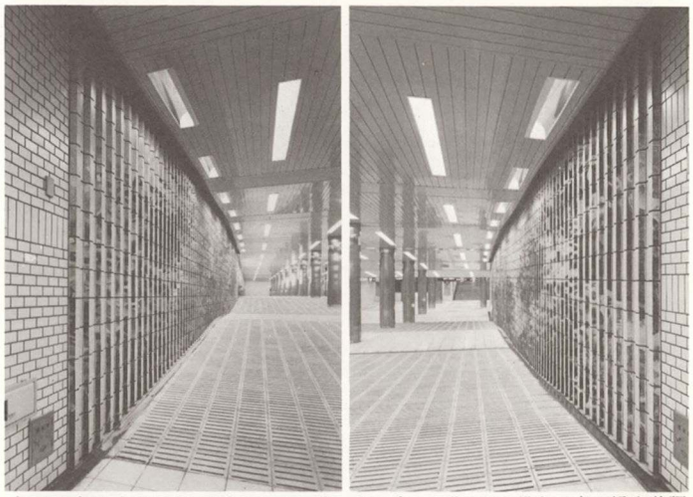
この間における駅の仕上は、建築材料の技術開発もあって、従来のものよりも優れたものが出回ったが、如何せん、全国的な建設ブームによって、材料、職人の手配が意のままにならず、また時間的制約があって、デザイン云々というよりも、開通予定日の迫ることに気持ちを苛立たせた日々の連続であった。

4．拡張期（昭和45年～現在）

昭和45年以降の建設経過は、3号線玉出～住之江公園、2号線都島～守口～大日、および天王寺～八尾南、5号線新深江～南巽、4号線深江橋～長田、1号線我孫子～中百舌鳥が順次開通し、現在で延べ99.1kmとなり、100kmは目前に迫っている。また別に、南港ポートタウンへの交通として中量輸送機関であるニュートラムが、高架式で住之江公園～中埠頭を昭和56年3月に開通している。一方、1号線の混雑緩和対策として、ラッシュ時の運転間隔を2分に短縮し、かつ、10両編成用の乗降場延伸とそれに伴う中階部の拡張工事に、昭和53年より逐次着工し、一部供用開始をしながら昭和64年度を目途に現在工事を進めている。

この間、建設資材も比較的豊富に出回り、また、建設期間も一部を除いて安定したため、時代の推移とともに各駅の建築仕上に際しても内容のあるものにすべく検討を重ね、利用者のニーズに一歩でも近づけることを念頭に計画を進めている。

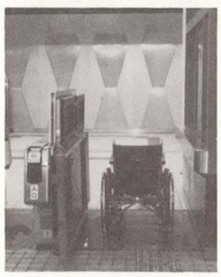
前述のように、地下鉄駅舎のもつ特徴を十分に意識しながら、乗客サービスの観点からというよりも、地下において限られた空間を有機的に活用するためには、地上における場合と比較して、その差を人為的にカバーする必要がある。具体例として、乗客案内システム、昇降機設備等のほかに、防災設備（火災、浸水、地震対策）の整備はもとより、身体障害者用として、階段手すりの連続、ホーム安全柵、ノンスリップタイル、点字タイル、車いす通行用改札柵、専用便所等の設置があげられる。



中百舌鳥駅中階通路側壁のだまし絵―左は南より北を見た場合で青と緑を基調とした絵が現れる。右は北より南を見た場合で、赤とこげ茶と黄を基調とする―



乗降場エスカレーターと足もとには方位盤(新金岡駅)



車いす通行用改札柵



淀屋橋駅出入口

また、地下構造物内の限られた空間であるがために、景色の移り変わる地上のそれとは別の観点にたって取り組む必要がある。したがって駅の建築仕上に際しては、色彩計画に基づいて、ベーシックカラー、ステーションカラー、ラインカラー等を巧みに整理して、ユーザーにとって明るく親しみのもてる感覚で仕上げることが必要である。

大阪市の場合は以上の観点にたって、まず乗客を迎え入れる玄関口ともいうべき出入口上家、つづいて乗車券の購入場所、改札口周辺の壁面、乗降場階段の内装、ホーム側壁の仕上等のデザインについて、いかに快適でかつ親しみのもてるものにするかについて検討を重ね、とくに重要な部分については、当局で設置した交通事業用施設デザイン研究委員会で慎重に研究しながら実施している。今後においても、なお一層の努力を必要とするところである。

（とりい　とよあき　大阪市交通局高速鉄道建設本部建設部建築課長）

まちのシンボルとしての神戸地下鉄駅舎

森田　茂

■ 神戸の地下鉄建設

神戸のまちに、都市交通として市営地下鉄が営業開始したのは、10年前の昭和52年３月であった。

昭和40年代のモータリゼーションの波にともない、都市の交通体系の急激な変化と、それによる公営企業としての市営交通事業の経営の悪化が始まった。こうした交通事情を反映して、43年から46年の間に市電の撤去があり、それに並行して都市交通審議会の答申を受けて、万博開催の年に当たる昭和45年に市議会で地下鉄建設についての議決を得、許認可を受け、昭和47年より市営地下鉄に着工した。その後、順次営業区間を延伸しながら、昭和62年３月18日に新神戸、西神中央駅間22.7kmを全線開通することが出来た。(**図－１**)

鉄道施設としては、軌道、変電所、車庫等必要施設は多岐にわたるが、乗客を含めて市民に密接につながっている施設として、駅は重要な役割を担うことになる。地下鉄としては神戸市は後発グループであるが、他都市の施設を参考に、種々の比較検討をすることができた。現在営業中の駅舎は15駅で、地下９駅、地上６駅である。

各駅の構造、規模等は、**表－１**にその概要をまとめている。

路線は**図－２**のように全線でほぼU字形になるので、愛称を〝みどりのUライン〟とし、シンボルマークを一般公募により決定した。このシンボルマークは、駅正面とか地下駅の出入口等に設置し、親しみと、視認性を高めることをねらっている。

最近では１日平均16万人の利用があり、文化、産業その他さまざまの分野で需要を創設するとともに、市民の足として親しまれている。

■ 駅のイメージテーマの設定

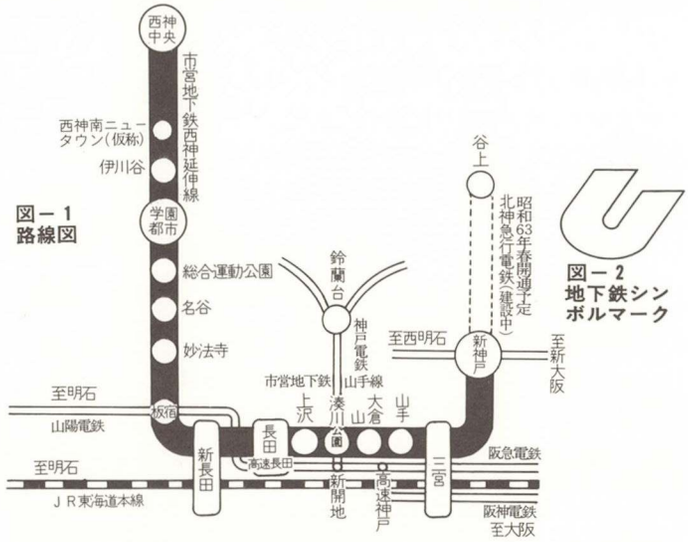
駅舎の建設地には、神戸を代表する著名な名所に近い所や、市街化が進みながらも古くからの伝統的イメージを残しているまち、ニュータウンのようにこれからまちづくりを始め新しい歴史をつくりあげようとしている地域等、地縁的な特性があり、住民にもそれを誇りにし、守り育てようという機運がある。したがって駅舎の計画の当初から、イメージポリシーとして、

①駅周辺の地域にふさわしいイメージをデザインに反映さす。
②ランドマークとして親しみやすい表現をする。
③周辺施設との調和を計る。

を柱として、それにふさわしいイメージテーマを設定し、「都市の公共空間」を創造してきた。

表現手法としては、構造、形態等の違いから地下駅と地上駅とで異なる。

地下駅は道路下部に設置されるので、建築空間としてはかなりの制約を受ける。三宮駅と山手（県庁前）駅の場合は軌道階２層とコンコース階とで地下３層となり、深さ30ｍに及ぶ掘削が必要になっている(**図－３**)。また、限られた空間であるがために、仕上材料の材質感、色彩、形状等がデザインファクターとして大きく作用し、

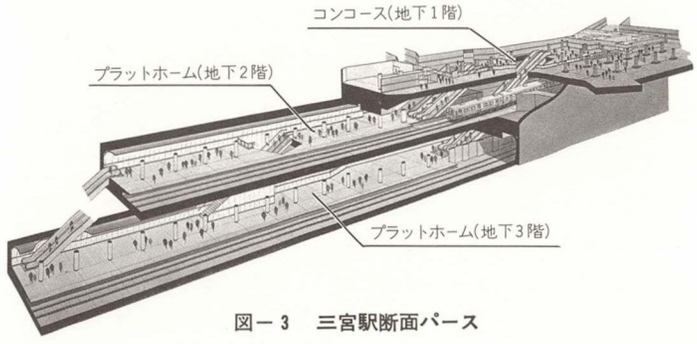


図－１ 路線図

図－２ 地下鉄シンボルマーク

表－１　駅舎概要

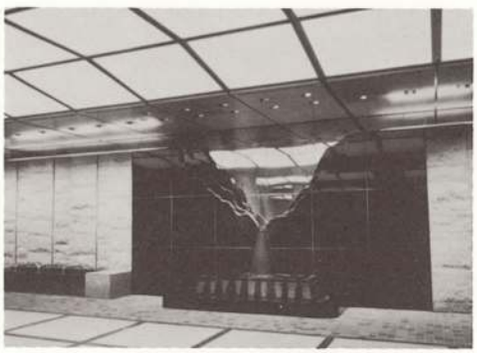
路線名	形態	開業年度	駅名	構造規模	床面積 駅舎(㎡)	床面積 附属施設(㎡)	プラットホーム 形式	プラットホーム 幅(m)
山手線	地下	60	新神戸	地下３階 RC造	10,687	－	島式 片相対式	4.0 +8.0
			三宮	〃	11,789	391	片相対式（２層）	10.9×2
			山手(県庁前)	〃	6,899	－	〃	4.4×2
		58	大倉山	〃	9,405	－	島式	9.5
			湊川公園	〃	7,474	－	〃	10.8
			上沢	地下２階 RC造	7,215	－	〃	8.0
			長田	〃	5,604	－	相対式	5.0×2
西神線		52	新長田	〃	6,021	3,428	島式	8.0
			板宿	地下３階 RC造	7,769	－	〃	8.0
	掘割		妙法寺	地下1階、地上1階 RC造、S造	3,407	100	相対式	4.5×2
			名谷	地下1階、地上3階 SRC造、S造	6,637	2,913	島式×２	9.0×2
西神延伸線		60	総合運動公園	地上２階 S造	3,918	－	島式 片相対式	9.0 2.7×2
			学園都市	地上５階 S造	4,707	2,749	相対式	9.6×2
	高架	62	伊川谷	地上３階 RC造、S造	5,339	618	〃	7.0×2
	掘割		西神中央	地下1階、地上2階 SRC造、S造	7,799	783	島式×２	9.4×2



図－３　三宮駅断面パース

表－2　駅舎のデザインおよび仕上材料

路線名	駅名	イメージテーマ	デザインの概要	仕上材料（コンコース階）				仕上材料（プラットホーム階）			
				床	壁	天井	柱	床	壁	天井	柱
山手線	新神戸	滝	「滝」のレリーフ…コンコース壁	炻器タイル	化粧セラミック	アルミスパンドレル	ホーロー鋼板	炻器タイル	化粧セラミック	アルミスパンドレル	ホーロー鋼板
	三宮	国際性と未来指向	天然大理石の「光壁」…コンコース壁 美術陶板レリーフ…コンコース壁	花崗石	結晶化ガラス	アルミパネル	結晶化ガラス	人造大理石	結晶化ガラス 化粧セラミック（対向壁）	アルミボーダーパネル	結晶化ガラス
	山手（県庁前）	異人館	「光窓」…プラットホーム壁 下見板張り…プラットホーム壁	炻器タイル	炻器タイル	アルミスパンドレル	炻器タイル	炻器タイル	炻器タイル 化粧セラミック（対向壁）	アルミスパンドレル	炻器タイル
	大倉山	光と彫刻	「光天井」…コンコース天井 「光壁」…コンコース壁	炻器タイル	炻器タイル	化粧セラミック	炻器タイル	炻器タイル	GRCUE塗り	化粧セラミック	炻器タイル
	湊川公園	川と橋	「太陽と水」のレリーフ…コンコース壁 「橋と波」をデザインした壁…プラットホーム壁	炻器タイル	ホーロー鋼板	アルミスパンドレル	ホーロー鋼板	炻器タイル	GRCUE塗り	アルミスパンドレル	ホーロー鋼板
	上沢	桜	「会下山の一日」のレリーフ…コンコース壁 桜を彫ったタイル…プラットホームおよびコンコース壁	磁器タイル	磁器タイル	アルミスパンドレル	ホーロー鋼板	磁器タイル	化粧セラミック	アルミスパンドレル	ホーロー鋼板
	長田	石畳と鳥居	石畳風のタイル…コンコース床 鳥居の朱色をデザインした壁…プラットホーム壁	磁器タイル	炻器タイル	アルミパネル	結晶化ガラス	炻器タイル	結晶化ガラス	アルミスパンドレル	無機質塗料
西神線	新長田	鳩	「鳩の泉」…コンコース	炻器タイル	炻器タイル	アルミスパンドレル	人造大理石	炻器タイル	化粧セラミック	アルミスパンドレル	人造大理石
	板宿	板	板目をデザインした壁…プラットホーム壁	テラゾーブロック	GRC吹付タイル	アルミスパンドレル	人造大理石	テラゾーブロック	石綿板写真焼付	アルミスパンドレル	人造大理石
	妙法寺	秋	柿・栗・楓の陶板…プラットホーム壁 山小屋風の外観	炻器タイル	吹付タイル	波形スレートVP吹付	吹付タイル	炻器タイル	吹付タイル	波形スレートVP吹付	吹付タイル
	名谷	春	「春の嵐」のレリーフ…外壁	磁器タイル	人造大理石	ビニール被覆鋼板スパンドレル	吹付タイル	磁器タイル	磁器タイル	ビニール被覆鋼板スパンドレル	吹付タイル
西神延伸線	総合運動公園	躍動感	ブルーとホワイトの軽快感のある色調とシャープな形状の屋根…外装と屋根	磁器タイル	化粧セラミック	アルミスパンドレル	磁器タイル	磁器タイル	磁器タイル	ビニール被覆鋼板スパンドレル	FP塗り
	学園都市	学生と市民のふれあい	未来指向をイメージデザインした外壁コミュニティー庭園の設置…屋上	炻器タイル	吹付タイル	石綿板UE塗り	結晶化ガラス	炻器タイル	吹付タイル	ビニール被覆鋼板スパンドレル	吹付タイル
	伊川谷	歴史へのいざない	格天井…コンコース天井 落ちついた色調…内装	炻器タイル	化粧セラミック	アルミ加工格天井 化粧セラミック	化粧セラミック	炻器タイル	化粧セラミック	—	UE塗り
	西神中央	大陽と緑	光溢れるガラス天井と「サンライズ・サンセット」のステンドグラス…コンコース屋根	炻器タイル	化粧セラミック	石膏ボード吹付タイル	磁器タイル	炻器タイル	吹付タイル	石綿板吹付タイル	UE塗り



写真－1　新神戸駅



写真－2　三宮駅



写真－3　西神中央駅

ポイントとしてレリーフ、モニュメント、光壁等を設置し、それらを集約して駅全体のイメージを演出している。

地上駅では、屋根や外壁の形状、色調等による外観構成要素も表現手法として利用できるので、まちのシンボルとして目立つ施設になる。

駅のイメージテーマ、デザインの概要および仕上材料は**表－2**にまとめている。

新神戸駅では鉄道唱歌に歌われた「布引の滝」のレリーフ（**写真－1**）を設け、三宮駅では内部仕上材に光沢のある明るい材料を使用した(**写真－2**)。また、西神中央駅は「太陽と緑」のニュータウンの中心駅として、サンセット・サンライズをステンドグラス風にデザインして(**写真－3**)、アトリウム空間に設けている。

■　駅舎デザインをまちづくりの中に考える

個性あるまちとして神戸〝らしさ〟をつくり、守り、育てるために、昭和53年に神戸市都市景観条例が制定され、市長・市民・専門家等の関係者の意識を高めるとともに、それぞれの協力と責務において、望ましい都市景観の形成を進めていくことを市として方向づけをした。主要な都市施設については条例による届出が義務づけられているが、駅施設についても届出により、景観形成委員会にて多方面から検討していただいている。

また公共施設として、老人や身体障害者などのハンデキャップのある人々を含めて誰でも利用できるよう、さまざまな配慮をしている。「神戸市民の福祉をまもる条例」により都市施設として利用者のバリヤーズフリーの増進を計ることで、すべての利用者にとっても利便性が増進されることになる。そして昭和64年には、身障者のスポーツイベントとしてフェスピック神戸大会が市内各所で開催されることになり、既存の施設の見直しを進めている。市営地下鉄施設についても、エレベーターの未設置駅では設置の方向で検討をしている。

集客施設の設置者として、そのメリットを生かす方法と可能性を、乗客の利便性の向上と経営の安定化のためにも積極的に検討しており、駅舎の附属施設がほぼそれに当たるものである。今後ともより一層の営業努力が求められているところである。

なお、神戸の地下鉄駅施設を利用する機会がありましたら、ご意見、感想等をぜひお聞かせ下さるようお願いいたします。

（もりた　しげる　神戸市交通局高速鉄道部施設課長）

移動空間としての京福電鉄駅舎

松浦行雄／小伊藤直哉

■車折駅　車のクラクションにおいたてられ、電柱につきあたるたび、うしろを振り返りながら、せまい三条通りを歩く。通りに面している赤いおおきな鳥居をくぐり、車折神社の境内にはいってほっとする。買い物かごをさげた奥さんや、スーツ姿の会社員、学生らしい若者、あそぶ子供達。芸能人の名前の書かれた何枚もの赤い木の板。木々のにおい。それらを楽しみながらゆっくり境内を歩いていく。神社の北の出口にみえる石の鳥居にふちどられた内側は、薄暗い境内と対照的に日をあびてあかるい。そのなかに4段の石段がみえる。それが嵐電車折駅である。〝くるまざき〟と読む。

鳥居をぬけ石段をのぼりホームから振り返ると、鳥居のところに「車折神社の境内です。一般公道ではありません」、「じてんしゃにのったまま通ってはいけません」という看板がならんでいる。それがなんとなくユーモラスだ。などと思っているところにやってきた電車に乗りこんだ。

車両のまえのおおきな窓のなかで、どんどんおおきくなる景勝嵐山を眺めながら、さっきまでの道程を思いかえしていた。

三条通りを歩いているときは自動車への不安がつきまとい、急ぎの用でもないのに意識的に早足で歩いた。それが車折神社の境内にはいってから電車に乗り込むまではそのような不安から解放され、その間の行動はまったくスムーズにつながっていた。

■〝移動〟と〝空間〟　現在も自動車交通は一方的にふえつづけ、それにより公共交通は衰退し、居住地のまとまりがくずされ、人間にかわって自動車がまちの景観の中心となっている。

本来、大部分の居住地で人間が〝移動すること〟についての最大の問題は移動のしやすさである。それは〝移動すること〟とそのまわりの空間がいかにマッチしているかが鍵となる。そしてそんな空間にはかならず、移動することへの心づかいがある。

■嵐電は　嵐電（京福電気鉄道嵐山線）は京都の都心と嵐山・嵯峨野をむすぶ市街電車である。開通は明治43年であり、日本最古の郊外電車でもある。それは洛西への観光客を運ぶことを第一の目的とした遊覧電車であった。集落を避けて農地のなかを貫く線路、車窓からは双ヶ岡や西山のつらなり、その手前にひろがる農地と集落の田園風景を楽しむことができた。路線は名勝・社寺・旧跡を結びつけるように配置されており、いくつかの駅の名前はそのことをほうふつとさせる。太秦、車折、鹿王院、嵐山などである。

現在も、多くの観光客を運んでいる。そして、それは洛西の高密度居住地、嵯峨・太秦の住民の生活の足としてなくてはならないものでもある。京都都心への通勤・通学だけでなく、地区内のちょっとした移動にも使われている。

■なにがおこっているのか　このあたりは昭和5年に京都市に編入され、昭和30年をすぎるくらいから、軌道より北に向かって急激に市街地が拡大した。また昭和45年に開通した新丸太町通り沿いのマンション・業務ビルなどの高層建築物が増えている。これらによって、以前のような車窓からのながめは失われてきた。

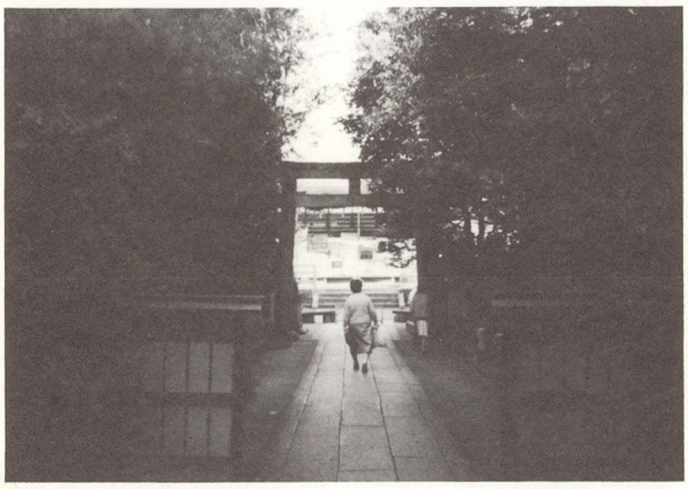
さらに、このような開発は、自動車交通第一の道路づくりを要求してきた。すると、周辺の空間は自動車交通を前提としたものにつくりかえられていく。ふえる自動車は嵐電の軌道と農業用水沿いの道路を中心につくられた高密度な住宅や商店街をおしつぶす圧力となる。その圧力がふきだしているのが、どんどん進んでいる道路沿いの用水の暗渠化と駐車場の増加である。

■再び車折駅　その圧力を押しもどして、歩行することの大切さを示唆するヒントは車折駅のまわりに隠されている。

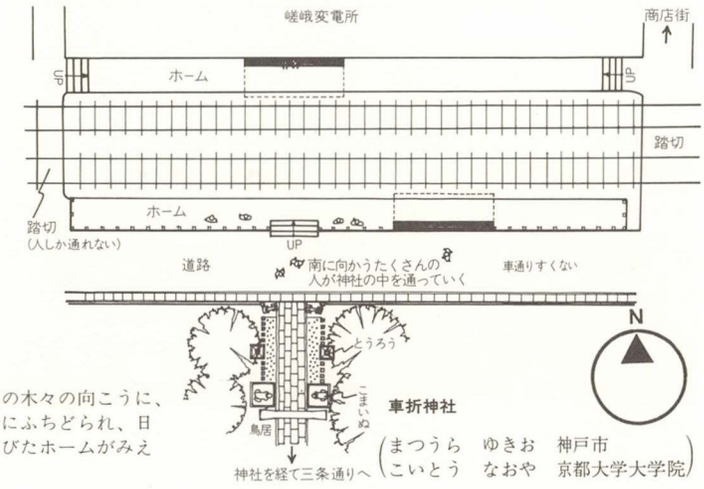
自動車の通過交通にとってメリットのない場所であることは確かだ。しかし同時に、駅西側の踏切のせまさが自動車をストップさせていることも確かだ。車折神社との関係でつけられたにちがいない、あの石段。流行ものの広告もすくなく一見無愛想なコンクリートのこじんまりとしたこの駅は、じつはまわりの環境のなかにうまく溶けこんでいる。さらにまわりに目を向ければ、家々のまえの道路におかれた盆栽。店からはみだした商品などなど。

これらの空間のつくりかたのなかにこそ、嵯峨・太秦の移動空間をつくりあげていく計画の芽を見出すべきである。

■さいごに　渡月橋からは、桂川堤防の道路上に陳列された無数の車がみえる。いままであたりまえだったこの風景に自分の感性がいかに麻痺していたかを知ったのである。



◀境内の木々の向こうに、鳥居にふちどられ、日をあびたホームがみえる



(まつうら　ゆきお　神戸市
こいとう　なおや　京都大学大学院)

海外に新しい駅の展開を求めて
―ヨーロッパの駅のデザイン―

渋 谷 康 雄

ヨーロッパの諸都市では、風土や国民性あるいは建設時期の違いなどによりさまざまなデザインが展開されているが、公共空間としての駅を快適で良質なものへ高めるようにデザインされた優れた事例も数多く見受けられる。

これらの事例では、駅へのアプローチをはじめ中階・ホームなどで自由度の高い開放的な空間計画が行われており、ベンチ、電話ブースなどのファーニチャーや照明、サイン等にも優れた工夫が見られる。仕上材や色彩計画については、都市によって大きな違いが見られるが、新しく建設された駅や近年、改造・改装が行われた駅では、概して、斬新な素材や色が用いられている。

また、ブリュッセル、アムステルダムやストックホルムの多くの地下鉄駅などでは、壁画、彫刻、レリーフといった種々の芸術作品がとり入れられており、空間にうるおいを与えている。

一方、先進的事例には、地区の中心的存在となるセンターとして計画されたり、周辺の地区整備・景観整備のモデルとして計画された駅も見られ、これからの駅のあり方に示唆を与えるものとなっている。

ここでは、ヨーロッパに見られる優れたデザインの事例をアプローチ、中階、ホームに分類して紹介する。

（しぶたに　やすお　大阪市都市整備局計画部指導助成課）

アプローチ
駅デザイン集



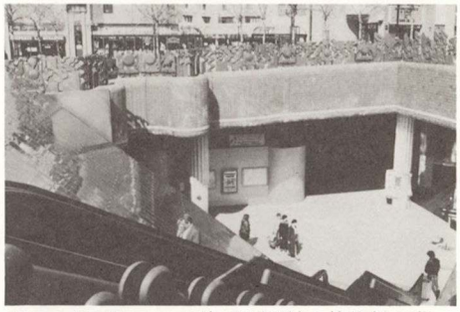
Altona(1)(ハンブルグ)：緩やかなスロープや種々の階段で中階へとアプローチできる。



Altona(2)(ハンブルグ)：スロープの始端には、モニュメントが設置されている。



Cérgy Prefecture(1)(パリ郊外)：人工地盤を切り込む形で設けられた開放感溢れる空間



Cérgy Prefecture(2)(パリ郊外)：鋳物製の高欄が洒落ている。



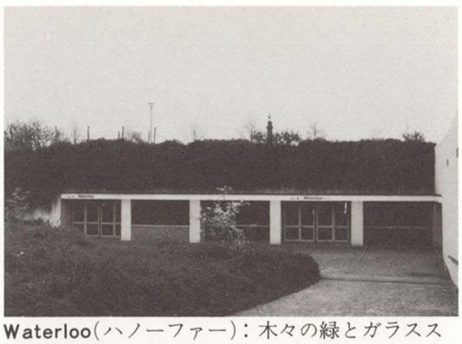
Torcy(パリ郊外)：駅、バスターミナル等の透明ドームがトータルなデザインを形成



Alma(ブリッセル)：駅の上部は、地区のプロムナードや広場として開放されている。



Waterloo(ハノーファー)：緑につつまれたスロープや階段でアプローチできる。



Waterloo(ハノーファー)：木々の緑とガラスクリーン枠の赤との対比が鮮やか

中階

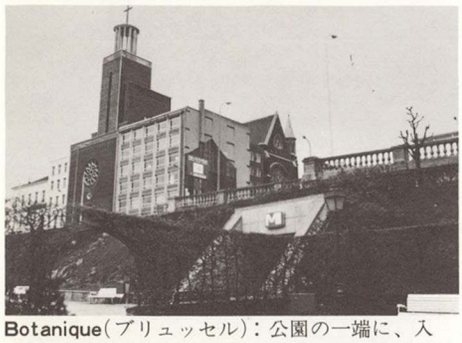
駅デザイン集



Lister Meile(ハノーファー)：少し広がった入口がアクセスを容易にしている。



Kröpcke(ハノーファー)：堀割型に設けられたエントランス。明るく開放的



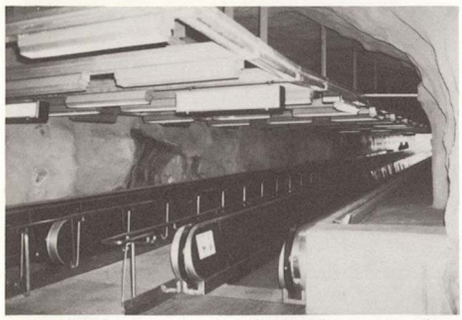
Botanique(ブリュッセル)：公園の一端に、入口が設けられている。



Ulitsa 1905 Goda(モスクワ)：地下鉄駅の出入口と中階を兼ねた上家



Charing Cross(ロンドン)：黄、緑等の原色や金属、合成ゴム素材が用いられている。



Rädhuset(ストックホルム)：斜行ムービングウォークで入口と接続



T-Centralen(ストックホルム)：セルゲル広場に設けられた入口



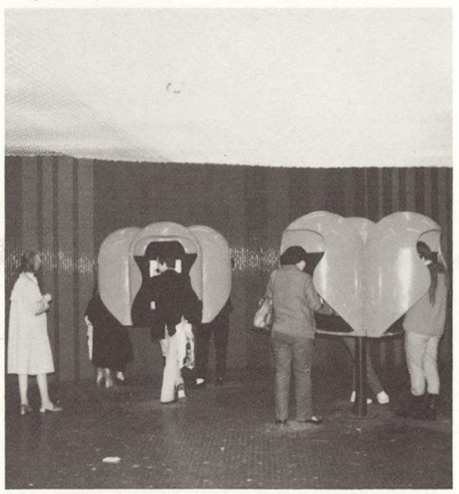
Les Halles(パリ)：コンピュータグラフィックもあるインフォメーションセンター

アプローチ

駅デザイン集



T-Centralen(ストックホルム)：人工地盤上の池の底からの採光がきらめいている。



Les Halles(パリ)：洒落たデザインの赤いテレフォンブース

中階

駅デザイン集



Auber(パリ)：中階に設けられたインフォーメーションセンター



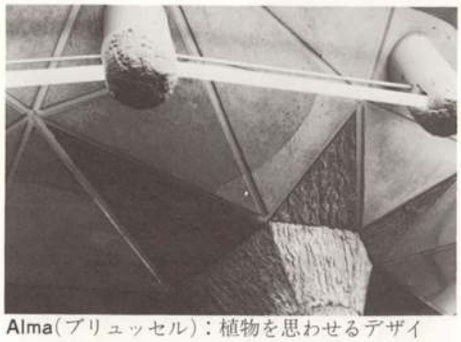
Auber(パリ)：地下36m、高さ20mの地下鉄駅。広大なドーム空間に店舗が並んでいる。



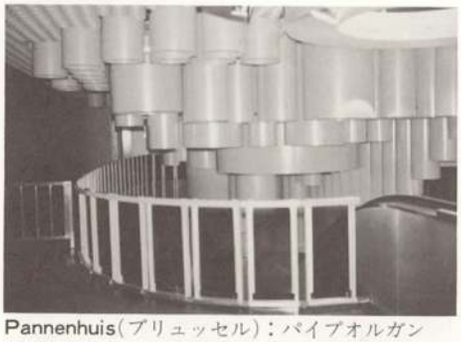
Centraal(アムステルダム)：壁に設置された双眼鏡から他都市の地下鉄の絵が見える。



Kröpcke(ハノーファー)：空間のフォルムを損なわずに読みとれる天井内のサイン



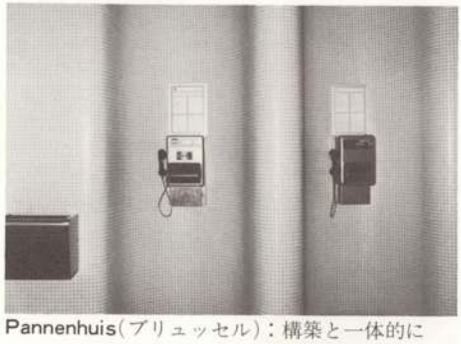
Alma(ブリュッセル)：植物を思わせるデザインの天井と照明器具



Pannenhuis(ブリュッセル)：パイプオルガンを逆さにしたような大胆なデザイン



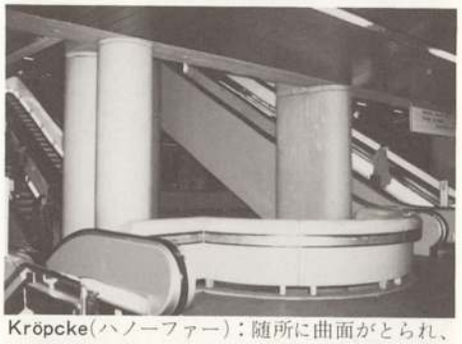
Kröpcke(ハノーファー)：地下3層分を直接つなぐエスカレーターと雄大な空間



Pannenhuis(ブリュッセル)：構築と一体的にデザインされたテレフォンブース



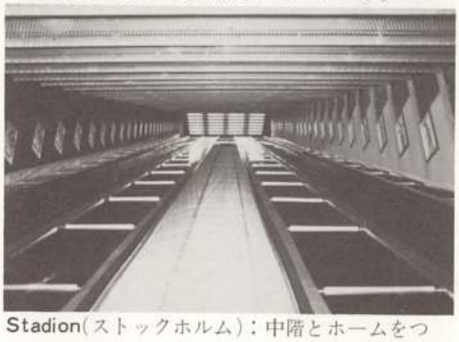
Naamsepoort(ブリュッセル)：不必要なスラブが取り除かれた開放的な空間



Kröpcke(ハノーファー)：随所に曲面がとられ、ＲＣ打放シ構造の質量感を和らげている。



Hankar(ブリュッセル)：壁面に画かれた芸術作品。天井には、トップライトを設置



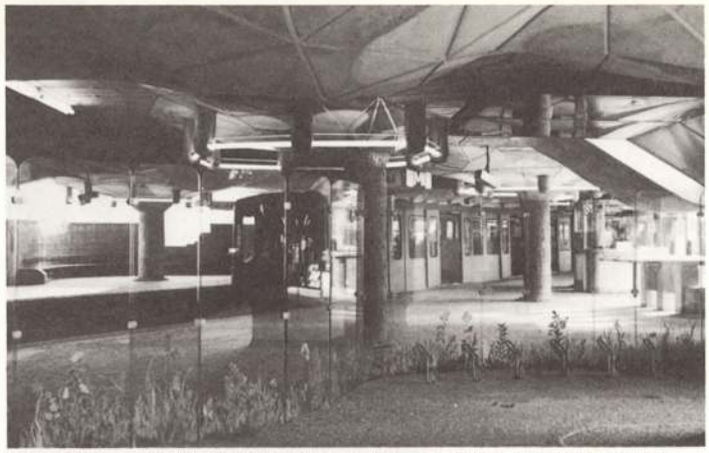
Stadion(ストックホルム)：中階とホームをつなぐエスカレーター

ホーム

駅デザイン集



Charing Cross(ロンドン)：ケーブルスペース、ベンチの色や形態が統一されている。



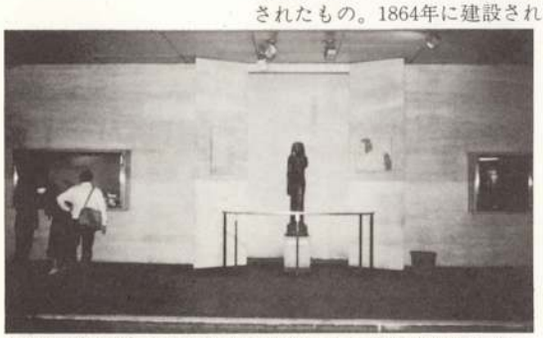
Alma(ブリュッセル)：外部とガラススクリーンで柔らかく仕切られたホーム



Baker Street(ロンドン)：近年、修復・改造されたもの。1864年に建設された。



Bellecour(リヨン)：中階とホームが同一レベルで開放的に設けられている。



Louvre(パリ)：エジプトやギリシャで発掘されたものが至る所に飾られている。



Saint Denis Basilique(パリ郊外)：壁のアルミ鋳物の裏面に間接照明



Charle De Gaul Étoile(パリ)：鼻先上部の広告の列が、空間にリズムを与えている。



Gaasperplas(アムステルダム)：ホームに置かれた芸術作品の一例



Kraaiennest(アムステルダム)：版と透明ドームでデザインされた軽快なホーム



Solna Centrum(ストックホルム)：岩盤をくり抜いて作られたホームの一例



Rädhuset(ストックホルム)：古代建築の基盤を思わせるデザイン



Mayakovskaya(モスクワ)：大理石とステンレスで作られた宮殿のように豪華なホーム

数多くの思い出を秘めて、まちのたたずまいの中で、歴史を語る、古い駅…
新しいまちの発展の核として、生活の香りや活気にあふれる、新しい駅…
そんな駅めぐりということで、地域にマッチした個性豊かな駅づくりに励んでおられる西日本各地の鉄道駅の担当の方から、資料を寄せていただきました。
建築としての構造、材料、デザインの話もあり、地域やまち、そして自然の中で、どのようにかかわり、生きづいていくか、という話もあります。
わがまちや地域を見つめ直していけば、これら以外にも、紹介すべき駅があるかもしれません。
あらためて、まちの中で生きづく、これらの駅、そしてそのまちを訪ねられてはいかがでしょう。また違った小さな発見や出会いがあるかもしれません。

道後温泉駅

愛媛県松山市	伊予鉄道



伊予鉄道は、明治20年９月に日本で民間による二番目の鉄道会社として創業以来、今年で100周年を迎える。その記念行事の一環として、昨年５月に完成したのがこの市内電車の道後温泉駅である。

この駅舎の原型は、明治44年８月に建築されたもので、これにより近い状態に新築、復元されており、屋根の創りや三角ひさしの窓が付き、また、旧駅舎の模様入りの独特な天井材を使うなど工夫を凝らしている。湯の街道後にふさわしい明治情緒豊かな貴重な建築物である。

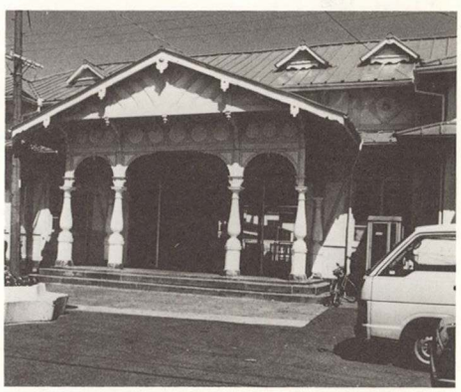
延べ面積181平方メートルで、天然スレートぶき、鉄骨造り二階建てで、しかも案内板、照明、ベンチなどの備品も駅舎に合わせてシンプルにしている。

なお、同時に駅にマッチした乗務員詰所（木造２階、132平方メートル）、および駅前広場等の周辺整備を行った。　（伊予鉄道株式会社鉄道部運輸課）



浜寺公園駅

大阪府堺市	南海電鉄



〝浜寺の松〟で名高い浜寺公園は、古く万葉集にも詠まれた白砂青松の景勝地です。明治６年12月、大阪府の公園となりましたが、明治30年10月１日に鉄道が開通し、公園のすぐ前に駅ができてから急速に発展しました。いまでは海水浴場こそ無くなりましたが、夏のプール、交通遊園、各種グランドなど、園内は府民いこいの場として親しまれています。

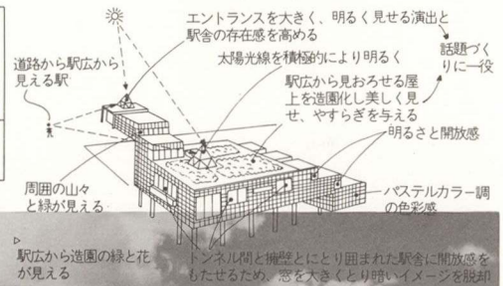
最近のレトロブームか、浜寺公園駅駅舎が建築当時の姿をいまにとどめる〝明治の駅〟として人気を集めています。明治40年建築の現駅舎は木造平家建て、白木、白壁造りの洋風建築で、東京駅などを手がけたわが国近代建築の草分け辰野金吾博士の設計によるものです。柱の骨組みを壁に埋め込まずに装飾として生かす「ハーフチャンバー」や、屋根正面に４ヵ所ある「ドーマ」（屋根窓）などが特徴です。

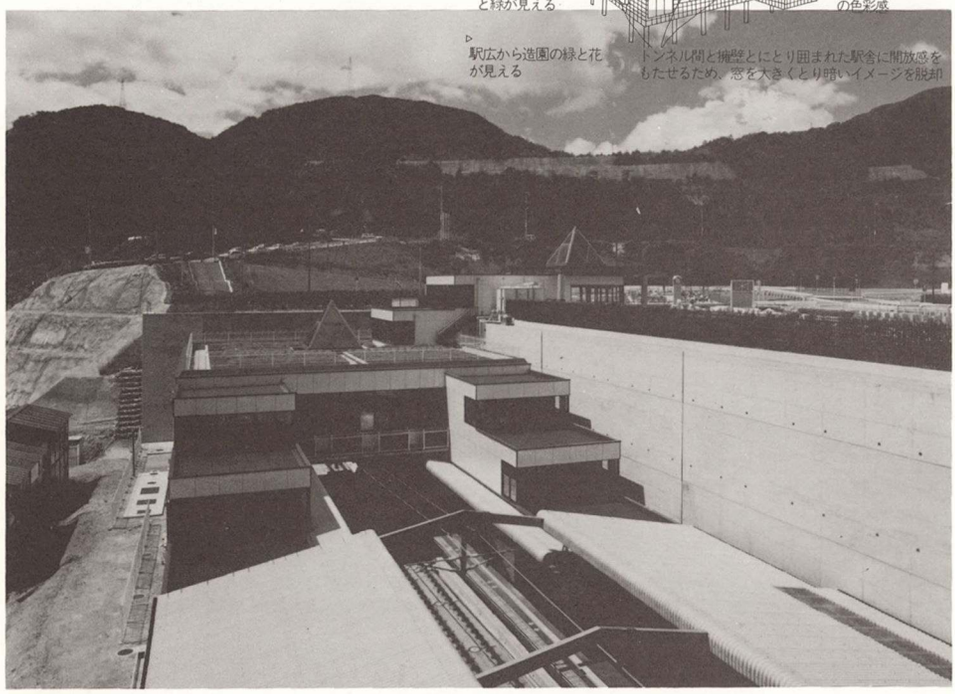
浜寺公園駅の昭和61年度一日平均乗降人員は、7,714人。住所は堺市浜寺公園町２丁188。

（南海電気鉄道株式会社広報課）

西宮名塩駅

兵庫県西宮市	ＪＲ西日本





昭和61年11月、宝塚から新三田駅まで複線電化工事が完成したＪＲ福知山線には、面白い駅がいっぱい。

武庫川を渡る橋りょうの下に駅舎があり、トンネルの中が乗降場ホームになっている「武田尾駅」、北摂ニュータウン最寄りの三角屋根の新駅「新三田駅」、レンガタイルのしょうしゃな無人駅「道場駅」などは、ぜひ一度訪ねていただきたい駅です。

なかでも、ＪＲ広しといえども屋上庭園をもった駅舎はおそらくここだけという「西宮名塩駅」は、住宅・都市整備公団等に負担していただいて名塩ニュータウンの近くの傾斜地を切り拓いて造った階段状の新駅です。駅に隣接して住都公団の開発ビルが計画されているので、殺風景な駅舎の屋上に常緑の植栽を行ったもので、駅広から旅客階段を下りるときには、広く開放されたガラス窓ごしの緑あざやかな草花と四角すいのトップライトが、お客様の目をなごませてくれるはずです。

（**丸山昭治**／西日本旅客鉄道株式会社施設部設備課長）

庭瀬駅

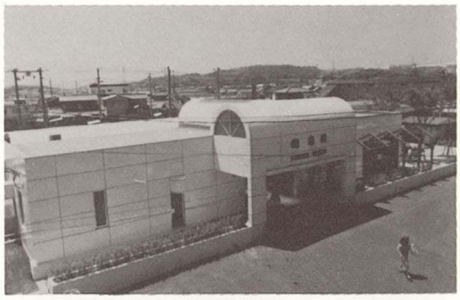
岡山県岡山市	ＪＲ西日本

岡山駅のすぐ西隣の庭瀬駅は、ゲートで誘導されたバラの花咲く屋外テラスのある駅。

駅前は、かつてい草の産地として栄えた頃の倉庫や、古い家並みが残る駅前通りを中心に、周辺に新しい住宅が広がりつつあります。

こうした新しい街づくりの起爆剤として、また地域のコミュニティの場としての駅づくりに取り組んだ結果、地元岡山市から「うるおいと魅力あるまちづくりに貢献」する優秀建築物であるとして表彰をいただいた駅です。

（**丸山昭治**／西日本旅客鉄道株式会社施設部設備課長）





朝倉駅

高知県高知市	ＪＲ四国

土佐の高知から５つ目の朝倉駅は、地元産の杉の間伐材を利用したログ・ステーション。

地域にマッチした個性豊かな駅づくりに取り組んでいるＪＲ四国では61年３月の建設省告示859号を機に、高知営林局の協力を得て、丸太組工法による駅舎に改築するとともに、ベーカリーショップを開店しました。

オープンと同時に、マスコミを賑わせ、高知市の都市景観賞にノミネートされたほどです。

今では、ログのパン屋として高知市民に親しまれ、また地域の憩いの場として活気づいています。

（**丸山昭治**／西日本旅客鉄道株式会社施設部設備課長）



西宮北口駅

兵庫県西宮市 | 阪急電鉄

神戸本線と、今津線とが交差する所に、この駅があります。ここで平面交差していた以前の線路は、ダイアモンドクロスという優雅な名称の、鉄道ファンには貴重な存在でしたが、特急の10連化を進める過程で、惜しまれながら姿を消しました。

これに代わって、ベージュ色のタイルで外壁を装った、壮大な橋上駅舎が誕生しました。７万人以上の乗降客に乗り換え客を加えて、さしもの大コンコースも、混雑を極めておりますが、そのコンコースの中央に、開閉可能のトップライトを備えたのが自慢です。

その周囲の垂れ壁には、鈴木英人画伯の意匠になる、沿線の風物を主題にした壁画を配しましたが、その簡明な色調が、トップライトから降り注ぐ陽光に、心地よく映えています。

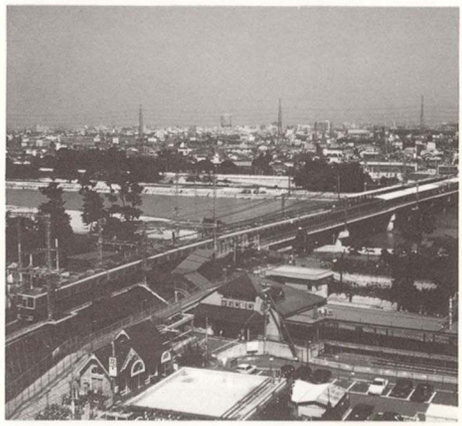
また、トップライト下にはカリヨンを設けました。17個の鐘で、「すみれの花咲く頃」を始め、軽快なメロディーの数々を一時間ごとに聞かせてくれるのですが、演奏時間が近づきますと、それを楽しみにして、必ず何人かの人達が、周りを囲むのです。

（**兼田弘美**／阪急電鉄株式会社建設部次長）



武庫川駅

兵庫県西宮市・尼崎市 | 阪神電鉄



阪神電車は大阪・神戸間の海沿いの街を縫うように走っており、沿線はすでに高度に市街化されている。武庫川駅は、そのほぼ中間の住宅地に位置し、一日の乗降人員は約３万人である。

樹々が一斉に茅吹き、色とりどりの花々が汗ばむほどの陽光に輝く頃、武庫川河川敷公園は、かたわらのゆったりとした水音を聞きながらそぞろ歩くのに絶好のシーンを与える。駅はその淀みない流れを跨ぎ、人々は流れの左右から駅に集まり、渡っていく。

六甲の山並みと清流を眺めながら、人々が電車待ちするホームの中ほどから東側は尼崎市であり、駅前は住宅と日常的な品物を並べる店が軒を連ねている。一方、西側は西宮市で、支線武庫川線が緑濃き堤防沿いを武庫川団地へと連絡している。この駅舎と駅前の店舗は同じようなとんがり帽子をかぶり、毎日いろいろなお客様をお迎えしている。

（**正崎哲也**／阪神電気鉄道株式会社工務部土木課技師）

宇治山田駅

三重県宇治山田市 | 近畿日本鉄道



駅の開業は昭和６年３月17日、当時の参宮急行電鉄が終着駅として伊勢市駅から路線を延長したときで(現在は賢島まで直通運転)、前年の第58回伊勢神宮式年遷宮を記念して催された神都博覧会場の跡に駅舎を建設しました。

開業当初から３階建てで、間口が120メートル、１階は中央コンコースが２階まで吹き抜けになっていて、３階がプラットホームになっています。

外観は右端に塔屋が設けられ、中央出入口上部の壁面にはテラコッタ（陶板）をはってあるほか、３階の壁頭部には赤いスペイン瓦を並べたモダンな建物美をほこっており、東海地方の名建築にリストアップされています。

（近畿日本鉄道株式会社広報室）



北鈴蘭台駅

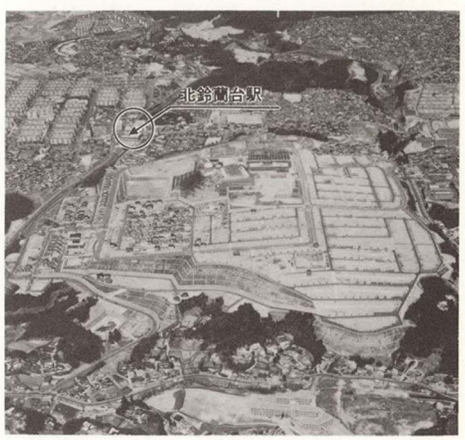
神戸市北区 | 神戸電鉄

北摂、東播地方と国際港都神戸市、阪神間大都市圏とを結ぶ神戸電鉄沿線は「静かな空。青い空」と郊外住宅に適する所が多く、昭和30年代より阪神間のベッドタウンとして急激に開発が進められました。とくに鈴蘭台周辺は、住宅・都市整備公団、神戸市その他神戸電鉄をはじめ民間デベロッパーにより大規模開発されたニュータウンであります。

北鈴蘭台駅は、これら開発に応じ昭和45年４月に新設開業したもので、当時乗降客が１日約2,100人の小駅でしたが、その後周辺の街びらきが進むにつれ乗降客も逐年増加し、現在はほぼ10倍の20,000人を超える駅となりました。そこで、去る56年10月、駅を全面的に改造して橋上駅とし、引き続きビルを建設し、１Ｆに神鉄一番街北鈴店を開業し、生鮮食料品などの販売を行い、２Ｆでは医院、美容院、音楽教室、書籍、軽食喫茶その他の営業をおこない、沿線居住者の皆様から「生活に密着した駅ビル」として親しまれています。

（**辰井明男**／神戸電気鉄道株式会社開発部技術課建築係長）





本荘駅

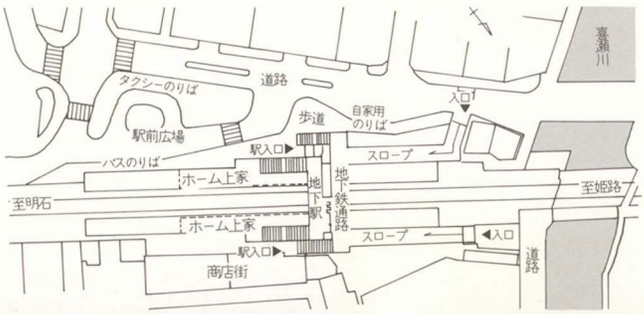
兵庫県加古郡播磨町 | 山陽電気鉄道

当駅は神戸・姫路の中間に位置し、近年、神戸・大阪の通勤圏となって宅地開発が進んでいる住宅地域にあり、近辺には弥生から古墳時代の住居跡が混在し、きわめて珍しい大中遺跡がある地域です。

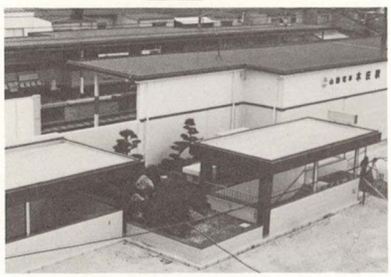
新駅・公共通路は、渡線道の廃止による旅客の安全と南北歩行の利便を総合的に解決するため、播磨町と当社の共同事業として地下駅を設け、駅を中心として地域の発展をはかり、播磨町の「核」にふさわしく、駅前広場・町施設・住宅街・商店街を有機的に結んで駅周辺の一体化を計りました。

なお、内外装は、地下駅・地下道の暗いイメージと圧迫感を取り除くために、壁面開口部を大きくして、自然採光を十分に取り入れ明るく快適で落ち着きのある材料を使用し、地下駅からホームまでの壁面にブラウンの誘導ラインを入れ、洒落た雰囲気をもたせました。

（堀野武彦/山陽電気鉄道株式会社土木部建築課長）







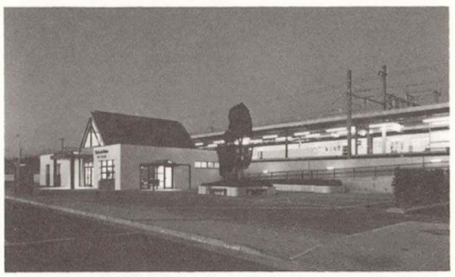
北条町駅

兵庫県加西市 | 北条鉄道



新三田駅

兵庫県三田市 | ＪＲ西日本

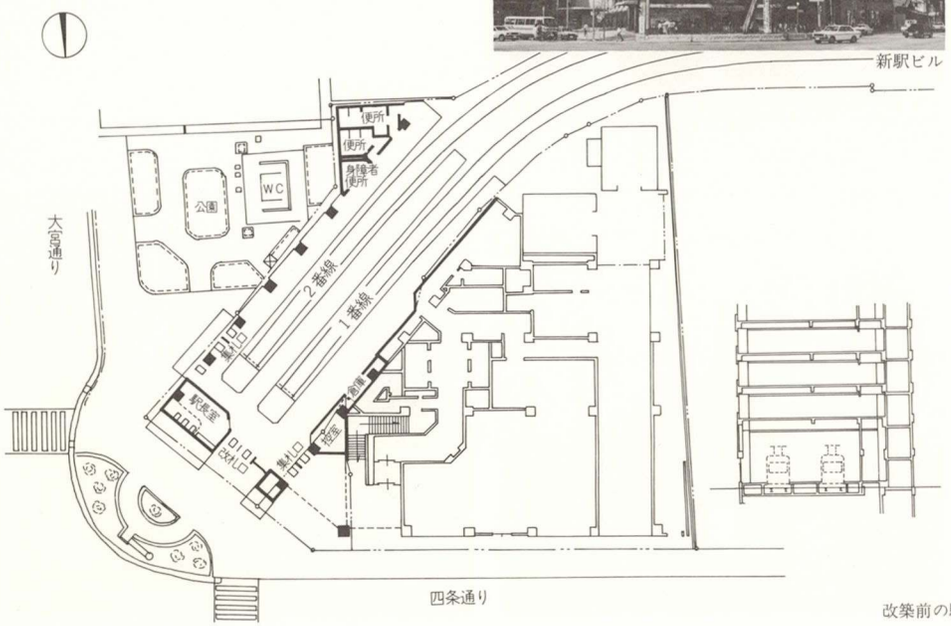


四条大宮駅

京都市下京区 | 京福電気鉄道



新駅ビル



四条大宮駅は、京都の西の副都心に位置し、昭和３年に建築（鉄筋コンクリート造３階建）されましたが、老朽化に伴い、改築することになり、京都で初めて、全国的にも数少ない〝空中権ビル〟として生まれ変わりました。

空中権ビルとは、土地所有者が必要とする以外の余剰容積を隣接土地所有者に空中権として売却し、全体として一つのビルを建設するものです。

当ビルは全敷地面積2044㎡、１階部分は約⅓を駅舎として使用しています。意匠的には、古都京都の風情に合ったものということで、正面に７ｍ四方の嵐山渡月橋の風景写真を配置、夜はイルミネーションで、あざやかに浮かび上がるようになっています。１階は駅ターミナルとショールーム、２階以上は貸事務所となっています。機能的でバラエティーに富んだこのビルは立地条件に恵まれ、ターミナルとオフィスゾーンの機能とがマッチした、新しい開発手法のビルとして、注目を集めています。

（京福電気鉄道株式会社鉄道部）


改築前の駅舎

門司港駅

福岡県北九州市	ＪＲ九州

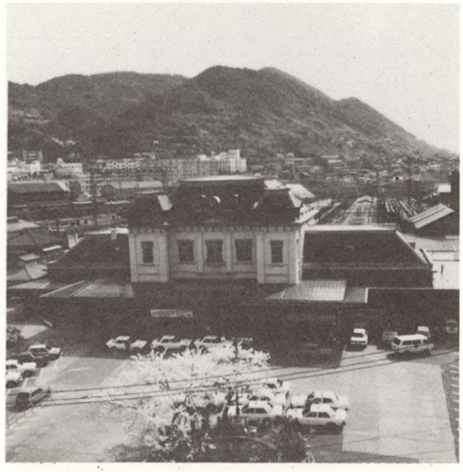
門司港駅は、鹿児島本線の始発駅で、１日約１万５千人の乗降人員がある。この門司港地区は、古くから港町として発展してきた地区で、海外貿易の拠点として知られている。明治22年、特別輸出港に指定されて以来、横浜、神戸とともにわが国の三大貿易港として発展し、明治24年の鉄道開通で九州における交通の起点としての地位を確立した。

現在の駅舎は大正３年１月15日に竣功した建物であるが、門司港駅90年史によると、設計はドイツ人の鉄道技師で、施工業者は東京菱川組、建設費５万６千円と記載されている。この建物はローマのテルミネ駅に範をもったといわれ、ルネッサンス式駅舎で、１・２等、３等に分かれた待合室、その他、駅業務に必要な各室が１階に、２階は貴賓室、附属便所、洗面所、控室、食堂等を設けた実に威風堂々たる構えであった。駅長事務室の高い天井、コンコースの真ちゅう巻柱、直径１ｍもある青銅の手水鉢、灯具を取りつけるための天井の細工、建具、階段の手摺等、現在の建築には見られない構造美を多く有している。

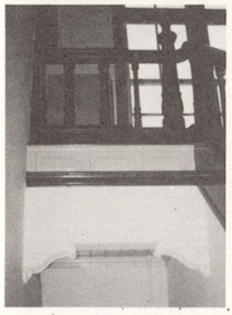
その駅舎も経年70年と風化が著しく、とくに鉄板部分の赤サビが目立ち、雨もり等が発生し、駅舎の風格もそこなわれつつあったが、昭和58年「門司港駅舎を保存する会」が住民の手で発足され、同年工事費約３千万円をかけ大規模な屋根修繕が実施された。

現在は元の立派な門司港駅によみがえることができ、お客様から親しまれる駅舎となっている。

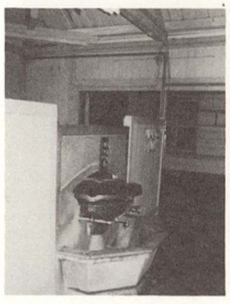
（**安田正**／九州旅客鉄道株式会社工事課主席）













萱島駅

大阪府寝屋川市	京阪電鉄

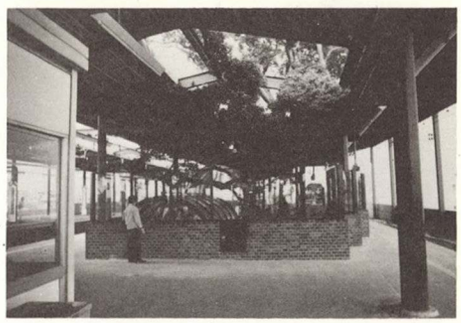
京阪電鉄京阪本線萱島駅の大阪方面行きホームには、駅のたたずまいとは全く異なった雰囲気の楠の大木が、堂々と根を張っています。

この大木は、高架化工事（土居～寝屋川信号所間高架複々線化工事、昭和47年10月起工）による新駅工事にあたり伐採される予定になっていました。しかし、樹齢が400年とも700年ともいわれる古木であるばかりか、大正末期ごろまでは町の人々からご神木として崇められていたうえに、歴史を秘めているということから地元から保存を望む声が強く、かくして予定は変更となりました。

52年７月の新ホーム完成後の姿は、コンクリートを付け、鉄骨屋根を突き破って大空に向かって枝を広げています。

こうして保存したご神木のご利益があったのか、58年10月には周辺環境の向上に資し、かつ景観上優れた建物に贈られる「大阪市都市景観建築賞」の奨励賞を受賞しました。

（京阪電気鉄道株式会社）



水間駅

大阪府貝塚市	水間鉄道

南海電鉄・貝塚で水間鉄道に乗り換えて９つめ、終点の水間駅は、初詣、節分、初午の日には水間観音へ参拝する人々で賑わう。車社会になった昨今、車で訪れる人も多くなったが、やはり水間観音へは水間駅からという人々なのか、右に示す写真は、初詣の駅の賑わいである。

水間鉄道は、そもそも水間寺への往来のために開業したもので、以来、参拝の足としてだけではなく、沿線住民の足として親しまれ、今年で開業65年めを迎えた。

この水間駅の屋根の上につけられた九輪は、水間観音の五重塔にあやかったものと伝えられている。

（水間鉄道株式会社鉄道部）





森惣介氏の「駅のスケッチ」集

●「心のふるさと―駅のスケッチⅠ」 ¥2200 彰国社
●「さよなら国鉄―駅のスケッチⅡ」 ¥2500 彰国社



本書は、長年国鉄に在職し、駅のもつ魅力にひかれ、こよなく駅を愛し続けた一人の建築家のスケッチ集である。

駅は、数多くの人々の出会い、別れ、旅立ちのドラマ、歴史の舞台でもある。その舞台を生みだした建築家の名は駅の数に比して、あまり知られていない。またその誕生の経緯も定かでないものも多い。デザイン的に日本、欧米の伝統技術材料の影響を有するものも多いが、素朴なものも多い。今もなお、堂々と歴史の風格を体現しているものから、新しい街並みの中におかれてぽつんと取り残された老人のような駅までいろいろある。しかしそんな駅にもある棟梁の心意気や職人たちの心配りを著者は見逃さない。

駅について語り、駅を描く時、そのまちのうつりかわりが意識される。本書は「季節が移り変わり、歳月が流れて、人々が去り、また来る。新旧の事物がいつも混在するのが人の世の風景の常なのかもしれない」とつぶやく著者の、駅だけではなく、日本のまち、風景のスケッチでもある。

明るく、ほのぼのとしたタッチの絵の中に、つばめの巣の行方にまで心する著者の優しい心のまなざしが感じられる。ほとんどすべての絵について、紀行文風のエッセイが添えられてある。今にも聞こえてきそうな「笛の音」、思わずチョット一杯やりたくなる「焼鳥屋の煙」、冷えきった手にしみる「熱いあがりの湯呑み」、「舌にとろけるにぎり」の味、季節を映す緑、草花、風そして雨や雪ete …五感に染みわたるような表現で、人情や自然の風情をまたスケッチしている。とにかく、〝おばさん〟〝子供〟〝老夫婦〟〝おばあさん〟〝二人連れの若い女性〟がよく登場する。見知らぬ人との出会い、思い出いっぱいの「大きな木造の駅は、年々1つまた1つと姿を消す。…残された私の半生を全部さいても、全国に散在する美しい駅のすべてを描き尽くすことはできない。私は終りのない旅を始めてしまったことに気がついた」という著者の記録でもある。

絵だけをながめていても、文だけを読んでいても、実に楽しく、何かゆったりした、しみじみとした気分になる本である。駅名の由来や文学的背景の記述も多い。そして、建築の専門家としての視点からの駅舎建築に対する観察分析、考察は貴重なわが国における駅舎建築の資料としての価値を有するものといえる。 （**田中直人**／神戸市）

モスクワのメトロ2点





▲コムソモリスカヤ駅

◀プロスペクトミラ駅

提供：小野一郎氏（日建設計）

駅特集

各駅停車

駅あれこれ

赤レンガに響く〝アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク〟

「駅を列車の乗降場所に終わらせず、文化交流の場にしたい」、ＪＲ東日本は東京駅丸の内北口構内で7月21日夜、無料演奏会「駅コンサート・イン・東京ステーション」を催した。

作曲家・團伊玖磨氏を音楽監督に、乗降客ら約2000人の聴衆を前に、来日中の「スイス・ケルンザー少年合唱団」のヨーデル、室内合奏団「東京ゾリステン」の〝アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク〟、デュークエイセスのトルコ行進曲のスキャットなどがドーム形の構内に響き渡った。

スポンサーは大手ビール会社と証券会社。ＪＲ側は、予定の4倍以上の人のあふれる場内で、ちゃっかりとスポンサーの缶ビールの販売を。

今後、毎週火曜日夜にコンサートを行うという。

めでたい駅へ変身

富士急行の寿（ことぶき）駅は無人駅。昭和56年1月までは「暮地（くれち）」駅だった。墓地とよく間違われたので、地元の寿町からとって駅名を「寿駅」とした。今、入場券がよく売れる。

誤読駅

京福電気鉄道の路線は寺社の多い土地柄、駅名がむずかしい。「雑子（ぞうし）の辻」「車折（くるまざき）」「御室（おむろ）」など。「蚕の社（かいこのやしろ）」駅もその一つだが、しばしば「ノミノヤシロ駅はどこですか」という問い合わせがある。呑（の）みあるいは蚤（のみ）と読み違えられるのだろう。

ノミノヤシロ?



パリ・リヨン駅の名物レストラン《トラン・ブルー》（青列車）。青い地中海寝台特急《TRAIN BLEAU》に因んだ店名である。―写真提供：野村董氏

トチらずに言えますか

土佐電気鉄道の「葛島橋東詰」駅。同社の入社試験のとき、試験官の前で必ず言わされる。《毎度ありがとうございます。次は、かづらしまばしひがしづめ、でございます》

難読駅

柴尾（しいお）筑波鉄道
飯給（いたぶ）小湊鉄道
荻布（おぎの）加越能鉄道
穴太（あのお）京阪電気鉄道
騰波ノ江（とばのえ）関東鉄道
海土有木（あまありき）小湊鉄道
永犬丸（えいのまる）筑豊電気鉄道
長太ノ浦（なごのうら）近畿日本鉄道
公文明（くもんみょう）高松琴平電気鉄道
挿頭丘（かざしがおか）高松琴平電気鉄道
雑餉隈（ざっしょのくま）西日本鉄道
深日港（ふけこう）南海電気鉄道

志染（しじみ）神戸電気鉄道
学文路（かむろ）南海電気鉄道
下立（おりたて）富山地方鉄道
咥内（こうない）土佐電気鉄道
梅津寺（ばいしんじ）伊予鉄道
美談（みだみ）一畑電気鉄道
浅水（あそうず）福井鉄道
尻毛（しっけ）名古屋鉄道
猿投（さなげ）名古屋鉄道
柴島（くにじま）阪急電鉄
妻鹿（めが）山陽電気鉄道
清児（せちご）水間鉄道

駅名のあれこれについては、社団法人日本民営鉄道協会機関誌「みんてつ」より引用

構造の頁

149 スペースフレームのエコノミー分析

今井克彦／渡邊誠司

中規模のスペースフレームを用いる場合に生じるいくつかの経済的問題のうち、スペースフレーム製造費の分析について示す。

中規模のスペースフレームの場合、比較的簡単な屋根形状を持つものが構造物の大半で、一般のフレーム構造と競合するため、厳しい経済条件を強いられる。ここでは、接合部・部材等の構成材の製造費を分析することによって、費用の因子を明確にし、製造費削減の指標を見出すことを目的とした検討を示す。

コスト分析

製造費は、接合部（J）・部材（M）・表面処理（ST）の三つの項目に分けられている。製造費は、接合法・表面処理・部材のモデュール長さ等によって支配される。ここで取り上げた接合法は、溶接組み立てノードタイプ、プレス成形ノードタイプと球状ノードタイプである（図－1）。表面処理は、錆止めプライマー、溶融亜鉛メッキ、静電粉体塗装が取り上げられた。粉体塗装は、自動車、家電製品に用いられるグレードの高い塗装である。

溶接組み立てノード（図－2）

高力ボルト摩擦接合タイプで、摩擦面は無塗装かショットブラスト処理されている。

Case－1、2の錆止めプライマー塗装では、表面処理の比率はわずか9％である。44％から46％が塗装を含めた接合部のものである。

Case－3、4は、溶融亜鉛メッキで、摩擦面をショットブラスト処理したものである。摩擦面がショットブラスト処理のため、表面処理の比率が31％と高くなっている。この場合、表面処理のコストをいかに削減するかが重要である。製造費の41％から43％を接合部が占めている。

Case－5、6は、粉体塗装である。この場合、表面処理の比率が38％と最も高く、このタイプの接合部には、粉体塗装は適さないと考えられる。

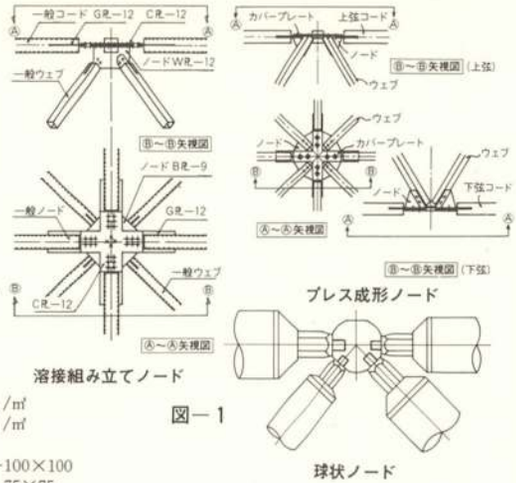
プレス成形ノード（図－3）

高力ボルト摩擦接合タイプで、粉体塗装し、摩擦面は無塗装としている。この場合、表面処理の費用が比較的高い比率を示すように見えるが、実際の塗装費はそれほど高くはない。この場合では、塗装なしの製造費が各タイプ中最も安価であるため、塗装費の比率が相対的に高くなったと推定される。いずれにしても、全体のコストをより引き下げるためには、表面処理がカギである。製造費の約38％を接合部が占めている。

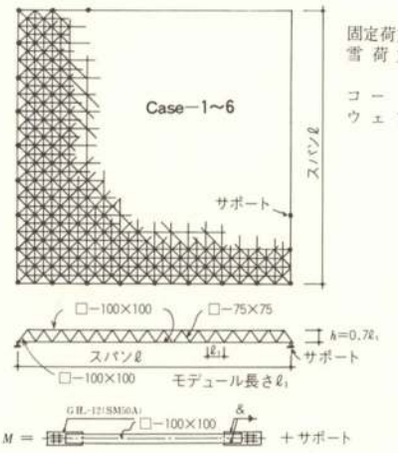
球状ノード（図－4）

この場合、粉体塗装されている。表面処理のコストは、高級な表面処理にもかかわらず10％で、全体コストの支配的な要因とはなっていない。つまり、粉体塗装のような高級な表面処理が、このタイプには、適していると思われる。このケースでは、塗装なしの場合の製造費が全体の製造費を引き下げるカギとなる。

以上から、表面処理を含めた接合部の製造費は、異なったタイプの接合でも、全体の約40％を占めるという興味ある結果が得られた。

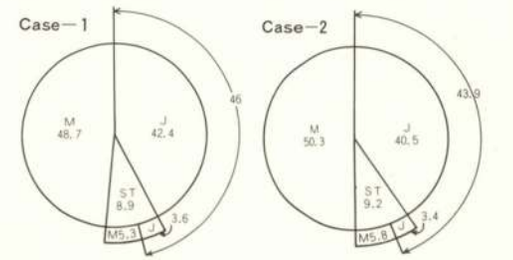


図－1

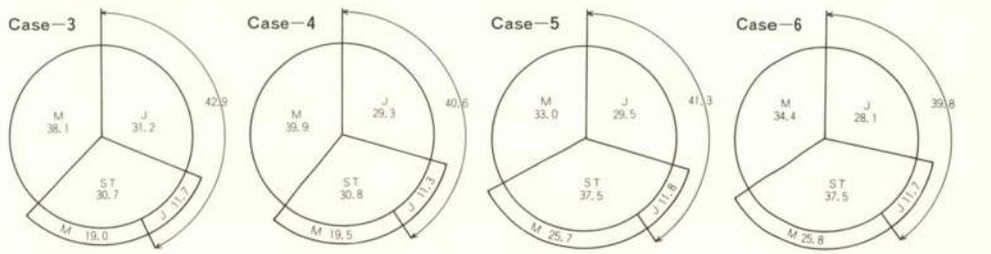


固定荷重：60kg／㎡
雪 荷 重：60kg／㎡

コ ー ド：□－100×100
ウ ェ ブ：□－75×75
□－100×100



スパン38.4m、モデュール長さ2.4m　スパン42.0m、モデュール長さ3.0m



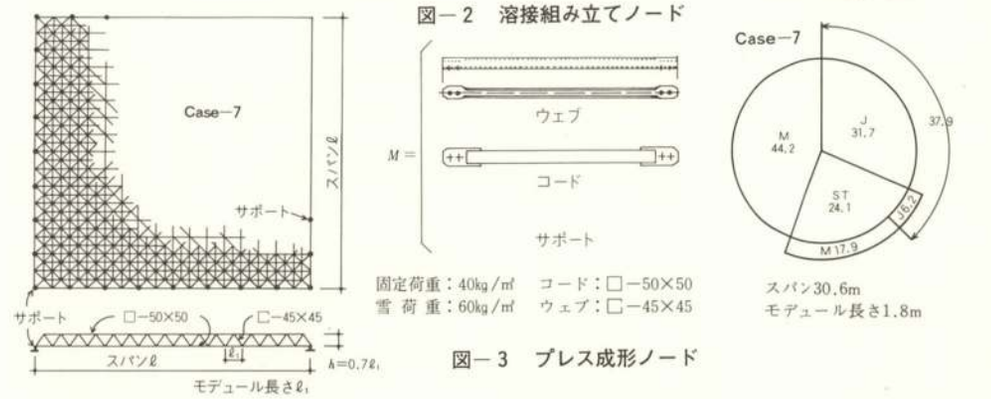
スパン38.4m
モデュール長さ2.4m

スパン42.0m
モデュール長さ3.0m

スパン38.4m
モデュール長さ2.4m

スパン42.0m
モデュール長さ3.0m

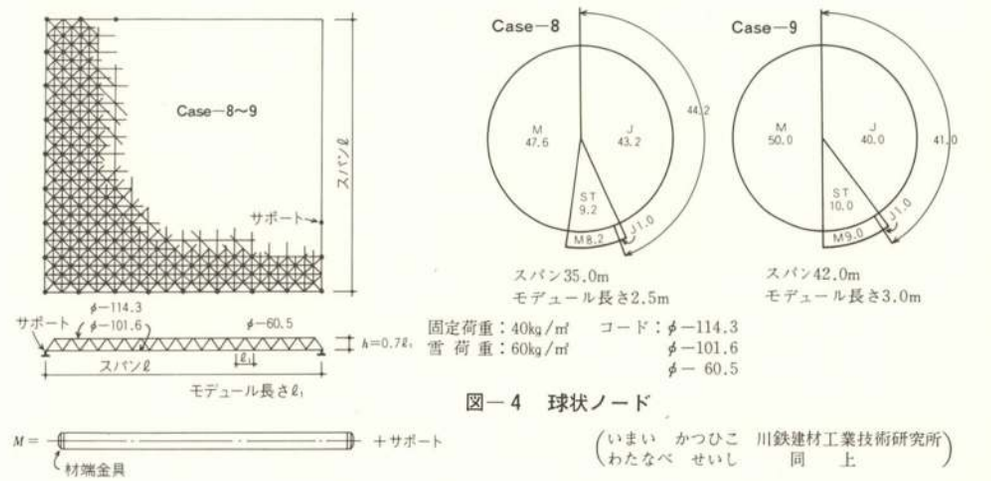
図－2　溶接組み立てノード



固定荷重：40kg／㎡　コード：□－50×50
雪 荷 重：60kg／㎡　ウェブ：□－45×45

スパン30.6m
モデュール長さ1.8m

図－3　プレス成形ノード



スパン35.0m
モデュール長さ2.5m

スパン42.0m
モデュール長さ3.0m

固定荷重：40kg／㎡　コード：φ－114.3
雪 荷 重：60kg／㎡　　φ－101.6
　　φ－60.5

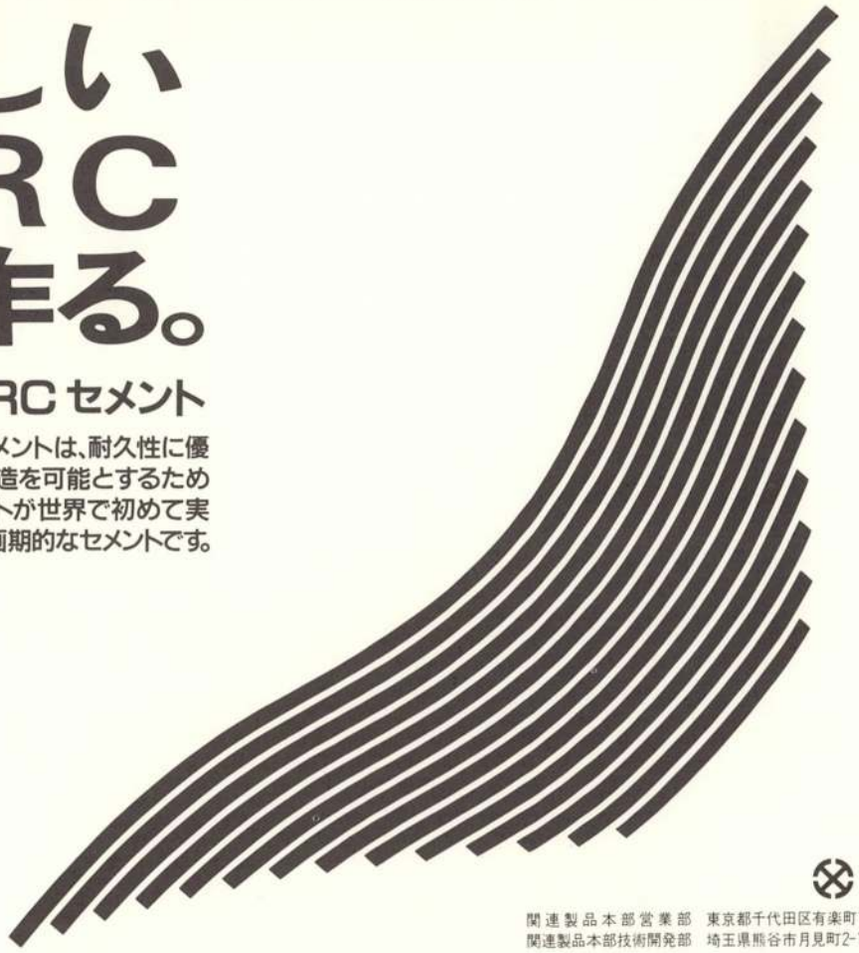
図－4　球状ノード

（いまい かつひこ　川鉄建材工業技術研究所
わたなべ せいし　同　上）

新しいGRCを作る。

チチブ GRC セメント

チチブGRCセメントは、耐久性に優れたGRCの製造を可能とするために、チチブセメントが世界で初めて実用化に成功した画期的なセメントです。



【特長】●経年変化がきわめて少ない。●寸法安定性がよい。●初期強度が高い。●塗装付着性に優れる。●塩素イオンが浸透しにくい。【用途】●カーテンウォール(大型タイル打ち込み、サッシ打込み)●複合板(タイル、セラミック板、メタルシート・発泡スチロール板などとの複合)●内壁材・床材・天井材、永久型枠、エクステリア商品、簡易建築物

秩父セメント株式会社

関連製品本部営業部　東京都千代田区有楽町1-5-1 朝日生命日比谷ビル 〒100 ☎(03)580-2713
関連製品本部技術開発部　埼玉県熊谷市月見町2-1-1 〒360 ☎(0485)25-3721代

新GRC＝ARGファイバー＋秩父GRCセメント

高ジルコニア耐アルカリ性ガラス繊維

ARGファイバー

新GRCが生まれました。新GRCは、秩父GRCセメントと当社のARGファイバーを使用したガラス繊維強化コンクリート。耐久性と寸法安定性に優れています。

新GRCカーテンウォールを施工した建物





ARGファイバー「ロービング」

ARGファイバーのカタログを無料で進呈中。下記にご請求下さい。

日本電気硝子株式会社
大阪営業部　〒532 大阪市淀川区宮原4-1-14　TEL 06(399)2721
東京営業部　〒108 東京都港区三田1丁目4-28　TEL 03(456)3511

施工材料の頁

151
新ガラス繊維補強コンクリート(新GRC)—その2—

秋浜繁幸／小川邦寛

前号では、新GRCの概要およびその特性の一部について報告したが、引き続き、新GRCの特性を紹介する。

新GRCの特性—(1)耐久性—

ii) 引張強度

GRCの引張強度は、一般のモルタル、コンクリートに比べ、ガラス繊維が混入されているため大きい強度を示す。**図—4**に80℃熱水浸漬日数とひずみ度の関係を示す。**図—5**、**図—6**に80℃熱水浸漬した供試体の引張応力度とひずみ度の関係を示す。これらの図から、GRCは熱水浸漬2日で早くも靱性を失っているが、新GRCは熱水浸漬10日でも靱性の低下が小さく安定している。

iii) 衝撃強度

図—7は、新GRCおよびGRCの熱水浸漬日数と衝撃強度の関係を示す。80℃熱水浸漬を行うと、GRCの場合、熱水浸漬2日で衝撃強度は半減し、10日では衝撃強度の保持率は30%となり、耐衝撃性は大幅に減少する。新GRCは熱水浸漬2日で90%、10日で約60%であり、耐久性に優れていることがわかる。

(2) 乾燥収縮

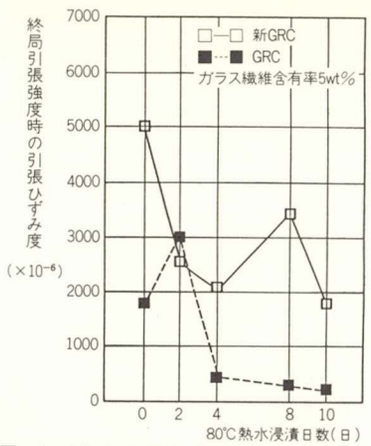
GRCでは、一般のコンクリート製品に比べて、セメント富調合のモルタルを使用するため乾燥収縮が大きくなる。**図—8**に乾燥収縮率と保存期間の関係を示す。保存期間180日における乾燥収縮率はGRCで14×10^{-4}、新GRCでは3×10^{-4}となり、新GRCは乾燥収縮率が約1/5に低減している。この結果から、従来製造が困難とされていた、大型のパネルやタイルの打ち込みが可能となったといえる。

(3) 乾湿繰り返し長さ変化

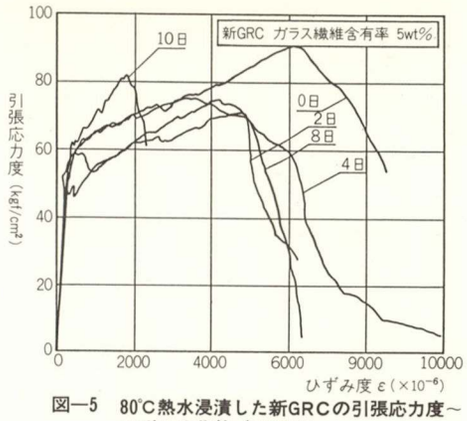
GRCが外装材として使用される場合、乾燥、湿潤の苛酷な条件下にさらされる。**図—9**は20℃・30%RH−20℃・90%RH繰り返しにおける平衡状態の長さ変化率で、GRCは約−0.14%、新GRCは約−0.06%、乾湿サイクル内での長さ変化率はGRCで約0.07%、新GRCでは約0.02%であり、新GRCの長さ変化率はGRCの1/3以下となっている。以上のことから、新GRCは、乾湿繰り返しにおける長さ変化も、GRCに比して小さいといえる。

(4) 塗装付着性

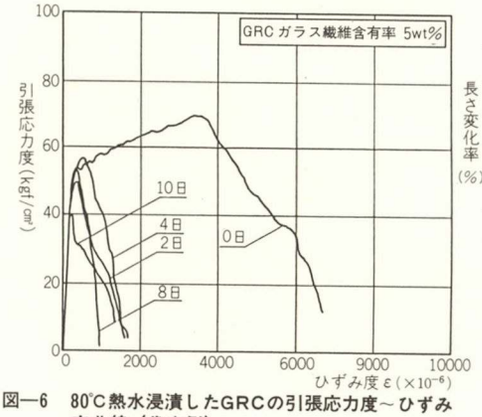
GRCを外装材として使用するとき、塗装の付着性は重要な物性である。**図—10**に、仕上塗材の付着強度を示す。**図—11**に仕上塗材の破断状況を示す。新GRCは、GRCに比して付着強度が標準状態で約70%高く、温冷繰り返し20サイクルという苛酷な条件でも7 kgf/cm²の付着強度を有し、塗装付着性に優れている。



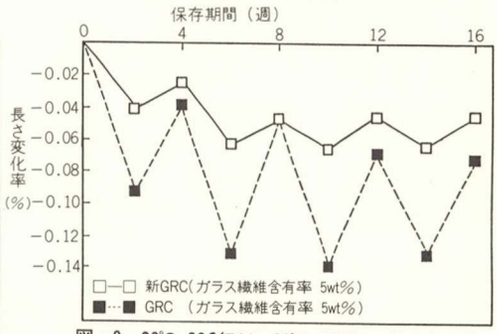
図—4 80℃熱水浸漬日数と引張ひずみ度



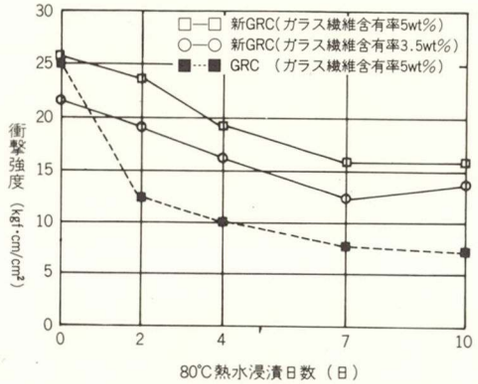
図—5 80℃熱水浸漬した新GRCの引張応力度～ひずみ度曲線（代表例）



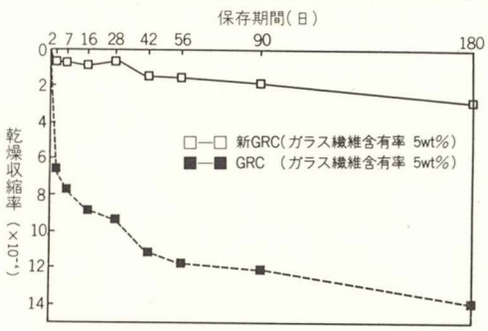
図—6 80℃熱水浸漬したGRCの引張応力度～ひずみ度曲線（代表例）



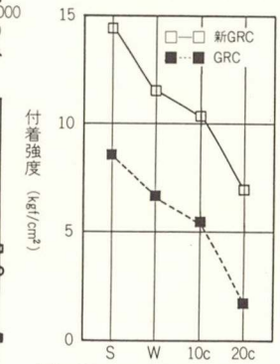
図—9 20℃・30%RH−20℃・90%RH繰り返しにおける長さ変化



図—7 80℃熱水浸漬日数と衝撃強度（シャルピー）



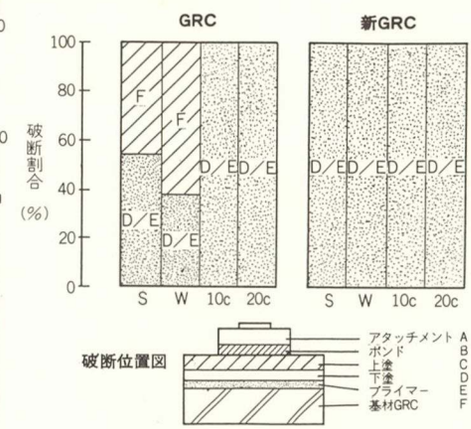
図—8 乾燥収縮率と保存期間の関係



（塗装材：エポキシ系複層仕上塗材）

図—10、図—11において、Sは標準状態、Wは浸水後、10Cは温冷繰り返し10サイクル後、および20Cは温冷繰り返し20サイクル後を示す。

図—10 仕上塗材の付着強度



図—11 仕上塗材の破断状況

おわりに

以上、GRCと比較しながら新GRCの代表的な特性について述べたが、GRCに比して、いろいろな点で優れていることがわかる。当社ではこの優れた新GRCを、現在大阪市内で施工中の読売テレビ新社屋屋上工作物1050m²（フッ素塗装仕上）、関西経理専門学校屋上シンボルタワー452m²（タイル打込仕上）に採用し、6月初めに取り付けを終了した。引き続き、当社名古屋支店ビル、技術研究所24号館への採用も決まっている。今後、他社においても、この新GRCが積極的に採用されることを望む。

なお、本報告は鹿島建設、秩父セメント、日本電気硝子三社による共同研究として行った内容の一部を紹介したものである。

あきはま しげゆき 鹿島建設㈱技術研究所第2研究部 主管研究員・工学博士
おがわ くにひろ 鹿島建設㈱名古屋支店建築部技術課長

設備の頁

151
透湿膜式加湿器

人見　不二夫

近年、ビル空調システムは、空調の高度化、多機能化と同時に省エネルギー・省スペース性、個別制御性を指向した〝個別分散トータル空調方式〟の傾向にある。暖房時の湿度コントロールに関しては、簡便かつ低コストで信頼性の高い加湿器に対する需要が高まっている。また、ＯＡ機器を設置した事務所、インテリジェントビルまたは電算機室などでは白粉（カルキ）の発生がないクリーンな加湿器に対する要求が高まっている。

これらの要求を同時に満足する加湿器として、水（水道水には約100ppmのカルキ成分が溶存している）を通さず、水蒸気のみを通す透湿膜を応用した〝透湿膜式加湿器〟が開発された。

従来の加湿器の問題点を解決するために

超音波式・高圧スプレー式・自然蒸発式・電熱式および赤外線式等、多くの加湿器があるが、

(1)溶存カルキ成分による白粉の発生
(2)カルキ成分の堆積による加湿能力の低下
(3)水あか、カルキ成分の沈着によるメンテナンスが定期的に必要
(4)イニシャル・ランニングコストが高い

などの問題を含んでいる。

このような問題を解決するために、膜分離技術の応用に着目し、カルキ成分が溶存する水を通さず、水蒸気のみを通す透湿膜を素材とする透湿膜式加湿器を開発した。

透湿膜式加湿器の原理

自然蒸発式加湿器が持つクリーンな加湿、低いイニシャル・ランニングコストなどのメリットをいかしながら、低加湿能力というデメリットを克服するためには、加湿器のサイズを変えずに水の蒸発表面積を大幅に拡大することが必要である。

限られた空間に**図1**の（a）のような水のスライス層を多数保持することができれば、水の蒸発表面積を著しく拡大することが期待できる。この水のスライス層を、図1（b）のように、はっ水性の多孔質プラスチックフィルム（透湿膜）で包囲することにより、空間に保持することが可能である。

テフロンのようなふっ素系樹脂を素材とする透湿膜の、走査型電子顕微鏡写真を**図2**に示す。上記透湿膜は孔径が0.1～1μmで、きわめてはっ水性が高いため、水は0.5kg/cm程度以下ではその空孔を通過することはできない。一方、水蒸気は粒径が約3.5Åの気体分子であるため、透湿膜の空孔を自由に透過することができる。

このような透湿膜を長さ10mほどのチューブ状に成形し、波板状のセパレータとともにスパイラル状に積層することにより、**図3**のような加湿用膜モジュールを製作した。膜モジュールの水の蒸発表面積は、同サイズの自然蒸発式加湿器に比べて約8.5倍と大幅に拡大し、また加湿能力は温風の温度、湿度および風速に依存するが、同サイズの自然蒸発式加湿器の約6倍と著しく向上した。

上記加湿用膜モジュールにカルキ成分が溶存する水道水を直接給水した場合、使用時間の経過とともに膜モジュール内にカルキ成分の堆積を生じるが、透湿膜の表面積が大きく、3シーズン以上の寿命を確認した。さらに、カルキ主成分である炭酸カルシウムを水に対する溶解度が約10^4倍高い炭酸ナトリウムに変換する軟水器を組み合わせ、膜モジュールの末端から供給水の10～20%の濃縮水を排出することにより、カルキ成分の沈着、堆積を防止し、5シーズン以上の長寿命化を実現した。

透湿膜式加湿器の概要

主な加湿用膜モジュールの概要を**表1**に示す。透湿膜式加湿器の基本構成は**図4**に示す。

水通路を形成するスペーサを包み込むように折り曲げて熱融着したチューブ状の透湿膜を、空気通路を形成する波板状のセパレータとともにスパイラル状に積層し、枠に固定することにより、膜モジュールを構成した。

膜モジュールへの給水は、水圧を一定に保つために、給水タンクを用いた。毛細管力に頼っている自然蒸発式加湿器と異なり、給水タンクと膜モジュールの落差を利用する透湿膜式加湿器では、安定した水の供給が可能となった。

透湿膜式加湿器は、空気調和機の熱交換器の下流に据え付けられ、暖房時熱交換器で加熱されて乾燥した温風が加湿用膜モジュールを通過するときに、この温風を加湿する。

以上のごとく、透湿膜式加湿器により長寿命、保守が簡単で、白粉の発生がないクリーンな加湿器を実現することができた。

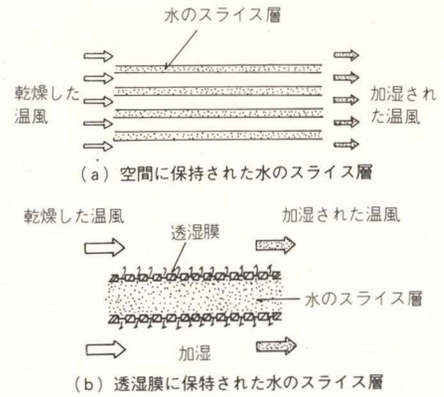


図1　透湿膜式加湿器の原理図

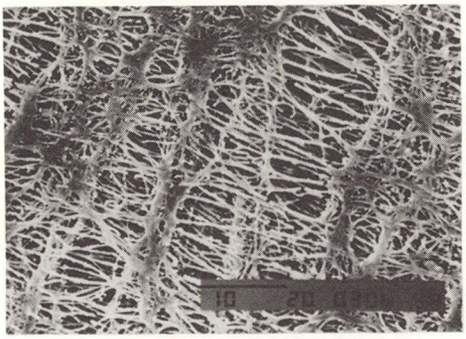


図2　透湿膜の走査型電子顕微鏡写真

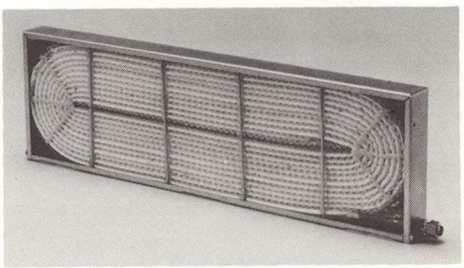


図3　加湿用膜モジュール

表1　加湿用膜モジュールの概要

加湿用膜モジュール	定格加湿量 (ℓ/hr)	外形寸法(mm)		
		幅	高さ	奥行き
小　形	0.35	450	140	32
大　形	1.2	232	295	197

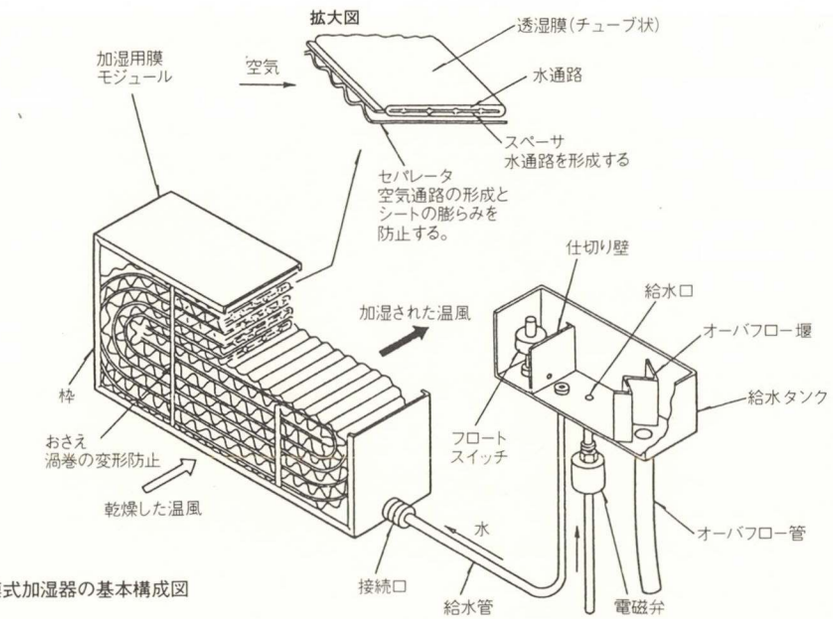


図4　透湿膜式加湿器の基本構成図

（ひとみ　ふじお　三菱電機株式会社和歌山製作所空調機製造部技術課主事）

日本建築協会

月間の動き

昭和62年5月分

理　事　会

第1回常任理事会
27日　4時～5時　於本会会議室
出席者　佐野会長ほか17名
議事　(1)定時評議員会開催の件
(2)通常総会開催の件
(3)昭和62年度借入金限度額決定の件
(4)昭和61年度事業報告(案)承認の件
(5)昭和61年度決算報告(案)承認の件
(6)建物の結露とカビその被害と防止対策講演会後援の件
(7)会員増強に関する件
(8)入退会者承認の件
(9)報告事項

会勢理事会
27日　3時～4時　於本会会議室
出席者　佐野会長、市川副会長ほか6名
議事　個人会員並びに団体会員の増強について

編　集　委　員　会

第2回作品作風小委員会
6日　4時～7時　於本会会議室
出席者　高瀬副委員長ほか5名
議事　(1)最近の作品掲載状況
(2)「Gallery」内容報告と今後の検討
(3)作品作風探訪

第2回投稿欄小委員会
7日　6時～8時　於本会会議室
出席者　増渕副委員長ほか8名
議事　(1)編集副委員長・副委員長代行確認の件
(2)「会員グループの頁」「大先輩に聞く」「この人」「書評頁」の企画
(3)アンケート

第4回「この人」幹事会
12日　6時半～9時　於本会会議室
出席者　北村幹事ほか5名
議事　(1)登場者、取材担当者、スタート号の決定とまとめ方
(2)シリーズタイトル「being」に決定

第2回編集委員会
14日　4時～5時半　於本会会議室
出席者　長谷部委員長ほか6名
議事　(1)5月号「保管・貯蔵施設」特集経過報告
(2)6月号「室内の仕上床」特集経過報告
(3)7月号「駅」特集報告
(4)8月号「官公庁営繕と行政建築家」特集報告
(5)9月号以降の特集企画
(6)「建築の眼」の新執筆者
(7)各小委員会・分科会報告と検討
(8)収支目標

「官公庁営繕と行政建築家」特集第9回編集幹事会
14日　5時～8時　於本会会議室
出席者　増渕幹事ほか8名
議事　「官公庁営繕と行政建築家」特集の企画

第1回広告企画小委員会
26日　4時～5時半　於本会会議室
出席者　長谷部委員長ほか7名
議事　(1)5月号「保管・貯蔵施設」特集、「大阪府立体育会館」小特集広告収入報告
(2)6月号「室内の仕上床」特集広告経過報告
(3)7月号「駅」特集・「新建築」・「暑中見舞挨拶」広告経過報告
(4)8月号「行政建築家の可能性」特集広告経過報告
(5)臨時増刊号「昭和生まれ—関西の建築家50」誌途中経過報告
(6)広告企画小委員会活動について
(7)収支状況報告

第1回施工材料分科会
27日　6時～8時　於本会会議室
出席者　山田幹事ほか5名
議事　(1)編集委員会報告
(2)「施工材料の頁」の企画
(3)10月号施工材料特集の企画

「逆瀬川駅前再開発」作品特集第3回編集幹事会
28日　2時～5時　於逆瀬川都市開発㈱
出席者　菅幹事ほか4名
議事　「逆瀬川駅前再開発」作品特集編集企画

第2回「昭和生まれ—関西の建築家50」出版委員会
29日　6～9時　於本会会議室
出席者　加藤委員長ほか6名
議事　「昭和生まれ—関西の建築家50」編集企画

事　業　委　員　会

第2回見学会小委員会
7日　6時～7時半　於本会会議室
出席者　伊東副委員長ほか5名
議事　(1)前回事業委員会の報告
(2)5・6月の見学会について
(3)7月以降の見学企画について

第2回若い会員の集い小委員会
12日　6時半～9時半　於本会会議室
出席者　石川副委員長ほか8名
議事　(1)前回の事業委員会の報告
(2)本年度・第1回企画「出江寛氏展覧会と講演会」
(3)創立70周年記念事業の企画
(4)本年度の事業企画ならびに小委員会活動

第2回広報小委員会
13日　6時～8時50分　於本会会議室
出席者　原見副委員長ほか9名
議事　(1)前回事業委員会の報告
(2)本年度の事業企画

第2回事業委員会
14日　0時半～2時　於本会会議室
出席者　西村委員長ほか7名
議事　各小委員会の事業報告並びに事業企画

広報小委員会第1回教室分科会
21日　6時～8時　於本会会議室
出席者　原見副委員長ほか6名
議事　「ブラジルの建築家ホリ氏の講演会」の企画

若い会員の集い小委50人作品展分科会
22日　6時半～9時半　於本会会議室
出席者　石川主査ほか1名
ゲスト　AD＆A 竹村氏
アイ・エフプランニング 吉羽氏
議事　「50人作品展」の企画

広報小委員会第1回研修分科会
28日　6時～8時半　於本会会議室
出席者　原見副委員長ほか4名
ゲスト　井之部(竹中工務店)、中元(安井建築設計事務所)、能丸(大林組)、保久原(近畿電気工事)の各氏
議事　「CADの研修会」の企画

建　材　委　員　会

14日　3時半～5時半　於本会会議室
出席者　金井委員長ほか12名
材料説明　ラムコシート／担当：岡山委員
議事　今後の検討建材

出　版　委　員　会

28日　5時～6時　於本会会議室
出席者　須賀委員長ほか5名、学芸出版社
議事　(1)〈プロのノウハウ〉と特装本の経過報告
(2)今後のテーマと執筆者選定

見　学　会

財団法人陽明文庫「虎山荘」を訪ねる
19日　2時～4時半
参加者　25名

大阪港を見る—大阪市・広報船"水都"で海上巡り
26日　1時半～3時
参加者　39名

展覧会・講演会

展覧会・出江寛建築展—伝統美とポストモダン
25日→30日　於大阪府立現代美術センター
入場者数　1,143名

講演会
27日　於大阪府立文化情報センター・多目的ホール
参加者　137名

創立70周年記念事業

特別見学分科会
8日　6時半～10時　於本会会議室
出席者　大川主査ほか4名
ゲスト　日本交通公社：萬代氏
議事　「特別見学」(ヨーロッパ)の企画

特別見学分科会
18日　6時半～9時半　於本会会議室
出席者　大川主査ほか2名
議事　「特別見学」(ヨーロッパ)の企画

住宅展委員会
20日　6時～10時　於本会会議室
出席者　石川・山形両主査ほか5名
議事　「大正、昭和初期住宅作品の展示」の企画

特別見学分科会
26日　6時半～10時半　於本会会議室
出席者　大川主査ほか2名
ゲスト　日本交通交社：萬代氏
議事　「特別見学」(ヨーロッパ)の企画

建　築　ク　ラ　ブ

朝食会
12日　8時～9時半　於大阪グランドホテル
演題　「都市と経営—都市を考える—」
講師　神戸市収入役　安好匠　氏
出席者　70名

5月の入会者(敬称略)

〔団体会員2社〕
㈱アローフィル　㈱聖建築事務所
〔個人会員11名〕

高林孝男(大阪府建築部)	恒川秀幸(青葉住研)	東武昇雄(大阪府建築部)
原田明治(大阪府建築部)	山本勝(大阪府建築部)	田中巌(住宅・都市整備公団)
有田吉弘(阪急電鉄)	酒井直哉(阪急電鉄)	大西康之(野村建設工業)
中嶋亨(野村建設工業)	簑田直也(野村建設工業)	

■訂正とおわび

本誌6月号のP71で、第12回吉田五十八賞佳作賞と特別賞の受賞のニュースを掲載いたしましたが、この頁で、石井修氏と宮本忠長氏の顔写真が間違ってふりかわっておりました。関係者の方々には訂正さしかえてお送りいたしましたが、読者の方々にご迷惑をおかけいたしましたことを深くおわび申し上げます。

町のおしゃれはサインから
——尼崎市で景観ガイドライン〈サインデザイン編〉作成——

尼崎市ではこのほど、都市美誘導のための景観ガイドライン〈サインデザイン編〉を作成した。

尼崎市は、公共施設に文化的な景観を取り入れたり、親しみやすいみちすじやまちかどの整備を行うなど、美しくふれあいのあるまちづくりを進めている。また、市民や事業者にも建物の建設に当たって景観や植栽などに協力を求め、まちは少しずつ変わりつつある。しかし、広告や看板等で、景観を見苦しくしているものも少なくない。

そこで、市民・事業者が広告などを設置するときの周囲のまちなみとの調和やサイン計画上の配慮事項を、現実に建つ事例で示したガイドラインを、尼崎市庁内研究チーム「尼崎市都市美アドバイザーチーム」の意見も入れて作成した。

ガイドラインをまとめた冊子は、A4判、24ページでカラー刷り。広告などの設置場所に応じて配慮すべき事柄を、5つの項目と15の指針に整理し、96枚のカラー写真で、わかりやすく紹介している。

主な内容は、次の通り。

- 共通事項：サインは必要最小限の大きさで、周辺と調和する色調に、デザインを工夫し、分かりやすさ・公共性・維持管理に配慮
- 壁面に設置：壁面デザインとの調和に工夫し、突き出した位置・出幅に配慮
- 屋上に設置：建物と一体的なデザインで、高層部分への掲出は避ける
- 地上に設置：複数のサインの共同表示、外構との調和。個性的なデザインを工夫

尼崎市では、このガイドラインを公共事業に活用するために、今後、公共・民間双方に説明会などを行っていくことになっている。問い合わせは尼崎市都市開発局計画部都市計画課へ。

「第5回京都美観風致賞」の作品募集——今年は世界歴史都市会議特別賞を新設——

京都市では、伝統と文化にあふれ、緑豊かなまちづくりを進めるため、「第5回京都美観風致賞」の作品募集を行う。

この賞は、風致の保全と市街地景観の向上に資する建築物、緑地、広場、屋外広告物などを表彰することにより、京都の魅力あふれる都市景観を保全・創造するとともに、あわせて美観風致に対する市民の意識高揚を図ろうとするものだが、今回は、本年11月に“21世紀における歴史都市—伝統と創生—”をテーマに開催される世界歴史都市会議に協賛し、「世界歴史都市会議特別賞」を設けている。

表彰の対象となるものは、従来からの賞と、世界歴史都市会議特別賞の2つに分かれる。

◆一般対象建築物等

5年以内に京都市内において完成した次の建築物等。ただし公共建築物等は除く。

(1)　風趣に富んだ自然的景観の保全に資する住宅、その他の建築物。

(2)　歴史的建造物が周辺の市街地景観と一体となって構成されている地域の美観向上に資する建築物。

(3)　伝統的なまちなみ景観および歴史的な景観の維持に資する建築物。

(4)　将来のまちの景観をリードし新しい都市景観の創造に資する建築物。

(5)　飾窓等の開口部および壁画等の壁面処理を活用し、にぎわいのあるまちの形成に資する建築物。

(6)　敷地内に公共的な緑地、広場等の空間を適切に配置し、潤いのあるまちの形成に資する建築物。

(7)　建築物と調和がとれており、まちの美観の向上に資する屋外広告物。

◆世界歴史都市会議特別賞対象建築物等

歴史都市・京都における保存と開発の調和について総合的に配慮し、とくに将来の景観のモデルとなりうる建築物等で、10年以内に京都市内において完成したもの。公共建築物等も含む。

＊

審査の結果、とくに優れているものは京都国際会館で市長表彰を行い（11月）、受賞作品を「大都市の保全と開発」国際専門家会議および世界歴史都市会議の期間中に会場でパネル展示する。

自薦、他薦を問わず。京都市計画局風致課、住宅局監察課などに備え付けの所定用紙に記入し、カラー写真2枚（遠景・近景六ッ切サイズ）を添えて、8月1日～8月25日に、京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地　京都市計画局都市計画部風致課内「京都美観風致賞」事務局に提出のこと。

第19回中部建築賞募集

中部地域の優秀な建築作品を表彰する「中部建築賞」は、今年19回目を数え、下記要領で作品を広募している。

〔広募作品〕

(1)昭和62年3月31日までに竣工した作品

- 一般部門…団地計画、都市開発、都市公園まで含む建築作品。規模の大小を問わず。
- 住宅部門…住宅で、規模は問わず。

(2)作品は中部圏（愛知、石川、滋賀、岐阜、静岡、富山、長野、福井、三重）内で実施されたもの。

〔受賞者〕

建築主・設計者・施工者の三者

〔応募要領〕

中部建築賞協議会（財団法人東海建築文化センター・名古屋市中区栄4－3－26　電話052－262－0838）所定の申込書に、指定の図書および応募料（1点につき、一般部門30000円、住宅部門5000円）を添えて、8月31日までに、各県の加盟団体（日本建築協会東海支部ほか18団体）を経由して提出すること。評細は中部建築賞協議会へ問い合わせられたい。

“病院建築に関する研修会”開催 —昭和62年9月11日、12日—

日本病院建築協会では、昭和50年以来、年ごとに時宜を得たテーマと講師により研修会を開催してきたが、本年は、保健医療の流れ、先端技術と病院、入院患者の居住環境を中心に、それぞれの分野の指導的立場の専門家を講師に、下記プログラムにより研修会を開催することとなった。なお、今回は9月11日㈮夕方、研修会にひきつづき懇親会を催すこととしている。

参加希望者は、下記要領で日本病院建築協会へ申し込まれたい。

会　　期　昭和62年 9 月 11 日㈮・12 日㈯
会　　場　明治大学会館8階会議室
（東京都千代田区神田駿河台1－1）
参加定員　130名
研修会費　会員　16,000円　　一般　22,000円
（資料代、懇親会費を含む）
申し込み　参加申込書に記入のうえ、日本病院建築協会（〒108 東京都港区芝5－26－20 建築会館　電話 03-453-9904）へ送付すること。なお、会費は、申込みと同時に銀行または郵便局へ振り込むこと。

9月11日㈮	9月12日㈯
9:30 保健医療の動向 佐分利輝彦 （社会保険審査会委員）	9:30 癌診断の最前線 話し手　市川平三郎 （国立がんセンター病院長） ききて　伊藤　誠 （千葉大学教授）
10:40 病院と老人保健施設 若月　健一 （佐久総合病院医療ケースワーカー）	10:50 癌治療の展開と施設 話し手　西　満正 （癌研究会附属病院副院長） ききて　大場　則夫 （共同建築設計事務所長）
11:40 病院建築再考 吉武　泰水 （日本病院建築協会会長）	
13:00 トピック：医療法施行規則改正 辻　吉隆 （厚生省保健医療局整備課建築専門官）	13:00 トピック：医療法地域医療計画 河口　豊 （病院管理研究所主任研究官）
13:30 第5世代コンピューターの目指すもの 山本　昌弘 （日本電気C&Cシステム研究所）	13:30 看護単位再考 話し手　内田　卿子 （聖路加国際病院看護部長） ききて　松本　啓俊 （病院管理研究所建築設備部長）
シンポジウム 病院のインテリジェント化をめぐって 14:50 ―病院情報のシステム化の立場から 岡島　光治 （藤田学園保健衛生大学医学部教授） ―設備計画の立場から ⇩ 前島　健 （高村協同設計事務所常務取締役） ―建築計画の立場から 17:00 小倉　善明 （日建設計・東京　取締役） 司会　栗原嘉一郎 （筑波大学教授） **懇親会**	シンポジウム 新しい病棟の計画 ―神戸中央市民病院と諏訪中央病院を中心に 14:50 柳澤　忠 （名古屋大学教授） 長澤　泰 ⇩ （病院管理研究所主任研究官） 網代　友衛 （共同建築設計事務所専務取締役） 16:40 花岡　伸好 （伊藤喜三郎建築研究所設計課長） 司会　篤　和夫 （東北大学教授）
	16:40 病院建築の趨勢 浦　良一 （明治大学教授）

大阪大学開放講座受講者を募集中！

大阪大学では、一般市民・学生1500名を対象とした開放講座の受講者を募集している。

第19回開放講座「都市 ―機能・構造と人間―」

と　き　9月18日～11月10日午後6時～8時半
ところ　大阪大学講堂（大阪市北区中之島）
受講料　5,400円
申込期間　7月1日～9月11日

月日	講義題目	講師
9月18日	都市経済のモデル―高い地価をめぐって	(社)八田達夫
9月22日	日本の都市―城下町プランとその近代化	(文)矢守一彦
9月25日	パリ―暮しやすい都市	(教)堀井敏夫
9月29日	アメリカの都市	(言)藤田　實
10月2日	都市のデザイン	(工)紙野桂人
10月6日	都市の病理	(人)長山泰久
10月9日	(座談会) 都市と健康―エイズなどをめぐって	(医)中川米造 (歯)作田正義 (薬)近藤雅臣 (微)上田重晴
10月13日	情報化の中の都市	(産)北橋忠宏
10月16日	太陽光発電―未来のクリーンエネルギーを求めて	(基)浜川圭弘
10月20日	工業都市から金融都市へ―大阪は国際金融都市となりうるか	(経)嶺山昌一
10月23日	国際臨空都市―関西国際空港	(工)鈴木　胖
10月27日	都市と学術―近畿学術研究都市	(理)金森順次郎
11月6日	未来都市と生活	(工)東　孝光
11月10日	(座談会) 大阪の復権	熊谷信昭 (文)脇田　修 (法)大久保昌一 (基)藤澤俊男

要項請求：大阪大学庶務部庶務課学術掛
〒565 吹田市山田丘1－1 TEL 06(877)5111

昭和63年度京都工芸繊維大学大学院工芸学研究科修士課程社会人入学者特別選抜募集

京都工芸繊維大学では、各種の研究機関、官公庁、企業等において活躍中の現職研究者・技術者、その他、職務経歴を有する社会人に対して、一般とは別な方法により入学者の選抜を実施する。

本年度は、工業化学専攻、建築学専攻、住環境学専攻、意匠工芸学専攻について、それぞれ若干名を募集する。

出願資格は、次のいずれかに該当し、入学時に、3年以上の社会における職務経歴を有する者。

(1)大学卒業者
(2)外国の学校教育における16年課程修了者
(3)文部省告示第5号により文部大臣の指定した者
(4)本研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

出願に当たっては、所定の書類を取りそろえ、入学検定料20,000円を添えて、8月31日～9月5日午前中までに工芸学部教務係に提出すること。

なお、選抜は、京都工芸繊維大学で、下記のように行う。詳細問い合わせは同大学(電話075-791-3211）へ。

(1)第1次選考―昭和62年9月17日(木)
提出された出願書類に基づく。
(2)第2次選考―昭和62年10月13日(火)
第1次選考合格者に対して口述および実技による。

『講座』新しい木質機能性材料―日本建築協会ほか協賛―

古来なじまれた木材の良さを残した上でいままで木材にはなかった新しい性能を備えた材料、木材の特性を活かした上でこれを原料とした全く新しい機能性材料など、これら付加価値の高い材料はどのような発想で生まれたのか、またどのような機能を持っているのか、さらにその機能を発揮させるにはどのように使用すればいいのか。

このようなことから、木材工業と木質材料のユーザーを対象に、つぎのような講座が企画された。

期　日　昭和62年11月6日(金)
会　場　大阪市立労働会館(〒540 大阪市東区森ノ宮中央1－17－5　電話06-941-6331)
定　員　60名
受講料　共催・協賛団体会員 15,000円
　　非会員 20,000円(テキスト代を含む)

申込方法は氏名、勤務先、共催・協賛団体を記し、受講料を添えて、共催団体の日本材料学会(〒606 京都市左京区吉田泉殿町1の101 電話075-761-5321)へ。

●題目および講師
開会のあいさつ/日本材料学会(共催団体)　越島哲夫
木質ボードおよびその積層複合基材の特性/京都大学木材研究所　川井秀一
ウッドセラミックの性能/京都大学木材研究所　西本孝一
木材のプラスチック化と繊維化/王子製紙㈱ 辻本直彦
木材への官能基の導入とそれを利用するプラスチック化木材の調製/大倉工業㈱　松田鎌明
化学加工木質建材の現状/大建工業㈱　馬屋原隆
閉会のあいさつ/日本木材加工技術協会関西支部長(共催団体)

真鶴町立中川一政美術館設計コンペ入選作

雄大な太平洋が一望できる真鶴半島（神奈川）に、真鶴町にアトリエをもって活躍中の日本油絵画壇の重鎮で文化勲章受賞者の中川一政氏(94歳)の作品を展示する町立美術館の建設計画がすすめられている。

このほど、当建設計画の設計コンペが開催され、「自然景観とうまく融合して中川一政氏の作品を展示するのにふさわしい」との評価を受け、コンペ参加6社の中から㈱ＴＡＫ建築・都市計画研究所の応募作品が実施案として選定された。

この美術館設計案は、昭和62年度中に着工し、63年度にオープンの予定。

入選したＴＡＫ・都市計画研究所は現在『第二国立劇場』の設計をすすめている柳澤孝彦氏(元・竹中工務店）が昨年9月に設立した設計事務所で、真鶴町立中川一政美術館が設立以来第一号の設計となる。

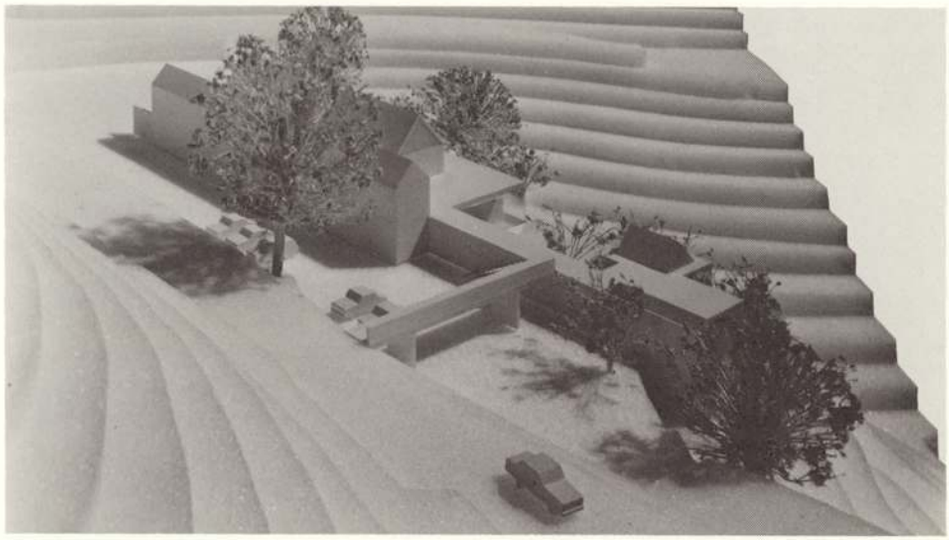
〈設計者からのコメント〉

当美術館は、原生林に包みこまれようとする真鶴半島の鞍部に位置しており、壮大な自然の気宇を呼吸する建築空間の創出を目ざした。内部空間については先生の作品が幅広い分野にわたっている点に注目し、各分野の持ち味が活きてくるような空間の創出に意を用いた。

また、豊かな自然に囲まれているので奇抜な物はさけ、自然と融合するようにした。できれば真鶴産の“小松石”などもランドスケープの一員として使用することを考えていきたい。

〈美術館概要〉

所在地　神奈川県足柄下郡真鶴町字中山1178-1
敷地面積　約2100㎡
建物概要　鉄筋コンクリート造
　　地上2階　地下1階　延床面積 約820㎡



TOTO AQUA HUMANIA '87 開催

TOTOは創業70周年を記念して全国５会場で、AQUA HUMANIA'87と題して、フェアを順次開催している。東京会場はすでに６月10日から４日間、池袋サンシャイン文化会館にて開かれ、２万４千名もの来場者でにぎわった。

大阪会場ほか４会場は、下記スケジュールで開催される。

●大阪

８月28日(金)～８月31日(月)

10：00～18：00（31日のみ10：00～16：00）

大阪城ホール

●名古屋

９月12日(土)～９月14日(月)

名古屋市中小企業振興会館・吹上ホール

●福岡

９月24日(木)～９月26日(土)

九州電力記念体育館

●広島

10月６日(火)～10月７日(水)

広島県立広島産業会館

フェア会場は、「HISTORY」、「TOMORROW」、「TODAY」の３つのゾーンにより構成され、過去から未来へと歴史的な流れをたどりながらTOTOの歩んできた道、現在の姿、今後の方向性を伝えている。とくに来場者の関心を集めるのは、「TOMORROW」コーナーであるが、ここでは21世紀に向けてのTOTOのビジョンを広く提案し、人々に問いかけ、AQUA-HUMANIAのコンセプトのもとに製作された５つの提案商品コーナー・アクアプロダクツを中心に展開している。



アクアカプセル（カプセルバス）

■アクアハウスコントロール

バス、シャワー、キッチン、シャンプードレッサー等、日常の水まわり商品について、エレクトロニクス技術を融合させた未来型商品の数々を展示。

■アクアコンパクトホームスペース

パブリックスペースとプライベートスペースを分離するという概念を縦軸に、マンションでの水まわり空間を提案。モデルルームはハネムーンホームとして展開。

■アクアヘルシースペース

21世紀に向けてますます盛んになる健康・ヘルシー志向に対応したオフィス内、ビル内におけるプール、シャワールーム等を提案。

■アクアホテルルーム

ホテルの限られたスペースを最大限に活用するために考えられた、機能性を追求したバス、トイレ、洗面、居室の各コーナーを提案。

■アクアレディストイレ

これまでの男性が設計・デザインしたトイレに欠けていたものを補おうと、女性による女性のためのトイレ、レストルームの提案。

吉阪隆正展
—INAXギャラリー大阪企画展

●展示

と　き　昭和62年８月６日(木)～８月31日(月)
AM10：00～PM６：00　盆は休み

ところ　INAX大阪ショールーム2階
大阪市西区新町1－7－1 TEL 06－532－1956

●講演会

「有形学を受け継ぐ」

８月６日(木) PM6:00～8:00 講師 重村力

８月29日(土) PM3:00～5:00 講師 象設計集団 U研究室

会場　INAX大阪支店８階 会議室

INAXギャラリー大阪８月は少し趣向を変えた展覧会を開催する。吉阪隆正展—ことば、すがた、かたち—。吉阪隆正展は、単に彼の業績を振り返る回顧展ではなく、今なぜ吉阪隆正なのかと、問うてみたいところから出発した。

ギャラリーの空間に展示されるのは、吉阪隆正のほんの一部。そして展示のみにとどまらず、講演会も企画している。吉阪隆正氏の思想が、弟子達にどのように受け継がれたのかを、自らの作品を通して、語るものである。いずれも入場無料。



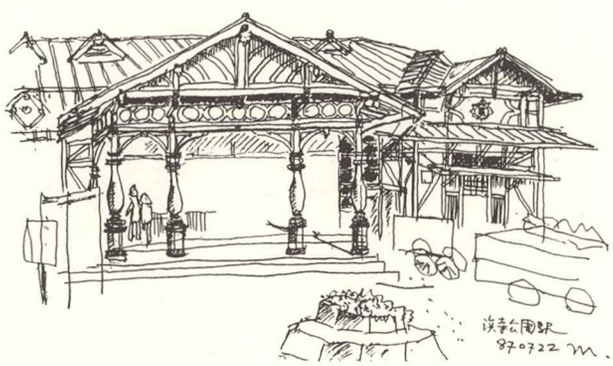
ありし日の吉阪隆正氏

編集後記メモ

■某日、南海電鉄の「浜寺公園駅」へ行ってきました。むし暑い一日で、頭から汗が出て困りました。もっと人混みのある駅だと思っていましたのに、割合閑散としていました。近くにスイミングスクールがあるそうです。時間帯によっては、子供たちのにぎやかな声が聞こえてきそうな駅かもしれません。

「駅」にまつわる話はいくらでもありそうです。推理小説の題名にもなったり、映画の舞台にもなります。ロマンあり悲哀ありで、出会いと別れの空間といってもよいでしょう。

明治末期に建てられた「浜寺公園駅」では、洋風のくり型のついた四本柱をめぐって、どういうロマンと悲哀がくり広げられたのか、思いはかけめぐります。



■本号は暑中号ですので、作品のほかに、暑中見舞として、個人・団体の名刺・社名広告の賛助をいただきました。この雑誌の発行費すべてを広告費でまかなうという大原則からいえば、大いに財政的に助かっています。厚くお礼申しあげます。それでも、なお、年間を通じてみれば、厳しい状況にありますので、一層のご協力をお願い申しあげる次第です。

■取材の幅を広くせよという意見も多いですので、今回から新しいシリーズ、それもグラフィック的なものを設けました。題して「Being」。「存在」とか「人間」とかの意味あいでとりだしたシリーズですが、時の人、話題の人を建築に関係するあらゆる人々のなかから選んで、グラフィック的に紹介していこうとするものです。

■本会70周年記念事業の一環として、本誌の臨時増刊号「昭和生まれ—関西の建築家50」が７月に発刊されたことは前号でも紹介しましたが、大変に好評で喜んでいます。この本は，設計者・施工者のみならず、建築に関係ある学生やメーカーの方々にも役に立つ資料と存じますので、ご購入いただければ幸いです。

なお、この発刊を記念して来る８月25日から９月２日まで、旧甲子園ホテル（ライト風の建物・遠藤新設計）において、「関西の建築家50展」を開きます。ぜひ、旧甲子園ホテル見学がてら、足をお運び下さい。また、オープニングの記念パーティを８月24日に催す予定です。

（松井　記）

暑中お見舞申し上げます　昭和62年盛夏

設計事務所有志



株式会社
A.R.I 建築事務所

代表取締役所長　亀井晃治

本社事務所　大阪市南区谷町7丁目3番4-203号 新谷町第3ビル2F　TEL(06)768-1771(代)
テレファックス(06)768-1406
アトリエ　東大阪市上石切町2丁目14－35　TEL (0743) 73−6137



株式会社 **アーバンライフ建築事務所**

代表取締役　小沼俊平

大阪市北区梅田1丁目3番1−500号　電話　大阪　06 (341) 2451−5番
東京都港区六本木3丁目3番29号　電話　東京　03 (582) 2451−5番

株式会社 **伊東建築設計事務所**

代表取締役　竹原永一郎

〒556 大阪市浪速区幸町2丁目2番20号(清光ビル)　電話(562)4343〜5

株式会社 **伊藤建築設計事務所**

代表取締役社長　鋤納忠治

本　　社　名古屋市中区錦3丁目3-6(日経錦別館)　電話(052)951-1110(代)
東京事務所　東京都千代田区神田美土代町7(久保ビル)　電話(03) 294-6061(代)



株式会社 **泉沢建築設計事務所**

代表取締役　泉沢哲史

〒530 大阪市北区神山町14番3号(木津信ビル)　TEL(06)364-9071(代)

URABESEKKEI 株式会社 浦辺設計
URBAN DESIGN & ARCHITECTURE FOR BEAUTIFUL ENVIRONMENT
代表取締役　松村慶三

大阪市北区梅田1丁目12番39号・新阪急ビル〒530　電話 06(341)1727

東京事務所　電話 03(263)9758　岡山事務所　電話 0862(33)6010　福岡事務所　電話 092(761)2206

株式会社 小西設計
取締役会長　小西岬
取締役社長　橋本正章
本社　大阪市西区立売堀1丁目12番16号　電話(532)4051代表
大阪事務所　大阪市西区阿波座1丁目15番15号(第一協業ビル)　電話(532)4051代表
東京事務所　東京都千代田区神田鍛冶町3－3(大木ビル内)　電話(256)9301代表
広島事務所　広島市中区大手町2丁目7番1号(三葉ビル)　電話(246)0144

株式会社 篠田川口建築事務所
代表取締役社長　川口喜朗

株式会社 協同設備事務所
取締役社長　川口喜代枝
〒461 名古屋市東区泉1-21-21　TEL (052)962-7581(代)　(052)971-2255(協同)

株式会社 昭和設計
建築・都市・上下水道
調査計画・設計監理
代表取締役社長　岡本行善
代表取締役副社長　林唯夫
本社事務所　大阪市西区新町1丁目5番7号 四ツ橋ビル　TEL代表 532－3421
神戸事務所　神戸市中央区八幡通4丁目2番17号 郵船航空ビル　TEL078－251－0651
東京事務所　東京都港区赤坂3丁目12番5号 赤坂田町ビル　TEL 03－583－2086

株式会社 AAA(スリーエース)総合設計
代表取締役社長　浅井潤一
大阪市南区東清水町66(朝日プラザ心斎橋東ビル2F)〒542 TEL06(245)7300(代)

株式会社 創美設計
代表取締役　中原英雄
大阪市北区末広町3番21号 星和地所扇町ビル6階　TEL 大阪(06)312－3587代表

株式会社 大建設計

取締役社長　吉田　周
常務取締役 大阪事務所長　木村喬夫

大阪市西区江戸堀1−12−8 安田生命大阪ビル　電話 06−441−9351(代)
東京・横浜・名古屋・京都・九州・室蘭

株式会社 東海設計

代表取締役社長　小坂忠勝

本　社　名古屋市中区栄3丁目7番1号（伊勢町ビル）〒460 TEL052-261-2651(代表)
東京事務所　東京都中央区京橋1丁目14番4号（東信ビル）〒104 TEL 03-561-0815(代表)

東西建築サービス株式会社

取締役社長　中村隆慶

本　社　〒541 大阪市東区横堀2丁目48番地　電話 06-202-3626(代)
支　社　〒103 東京都中央区日本橋馬喰町2丁目1番1号　電話 03-663-1765(代)
（住友銀行浅草橋ビル4階）

株式会社 東畑建築事務所

取締役会長　東畑謙三
取締役社長　市川宏

本社 大阪事務所　大阪市東区伏見町5丁目19　電話 (06)202-0391
東京事務所　東京都千代田区永田町2丁目4番3号（永田町ビル）電話 (03)581-1251
名古屋事務所　名古屋市中村区名駅3丁目25番9号（堀内ビル）電話(052)571-8471
九州事務所　北九州市小倉北区魚町1丁目4番21号　電話(093)541-6531
（清和ビル）

株式会社 長田建築事務所

長田正雄

〒542 大阪市南区上汐2丁目4-12　ケーエスビル　電話 768−6121

株式会社 日建設計

取締役社長　薬袋公明

〒541 大阪市東区高麗橋5丁目21番地1
電話 06-203-2361(大代表)

日積工務株式会社

代表取締役　生島道春

本　　社　〒542 大阪市南区島之内1丁目14番27号(宇野ビル)　TEL(06) 251−3195代表
東京支所　〒111 東京都台東区東上野3丁目16番5号(サンク・ユービル)　TEL(03) 836−1271代表
名古屋支所　〒460 名古屋市中区錦2丁目9番25号(豊島第2ビル)　TEL(052)221−7561代表
本社分室　〒542 大阪市南区鰻谷中之町62番地(市川ビル)　TEL(06) 245−7685代表
㈱京都日積　〒602 京都市上京区今出川通室町東入今出川町333番地(第2高橋ビル)　TEL(075)441−5690

株式会社 林設計事務所

代表取締役　林　茂

大阪事務所　〒531 大阪市大淀区長柄中3丁目1番8号　電話 (06) 351−6831
和歌山事務所　〒646 和歌山県田辺市稲成町東皆代231番地の6　電話 (0739) 22−8227

株式会社 安井建築設計事務所

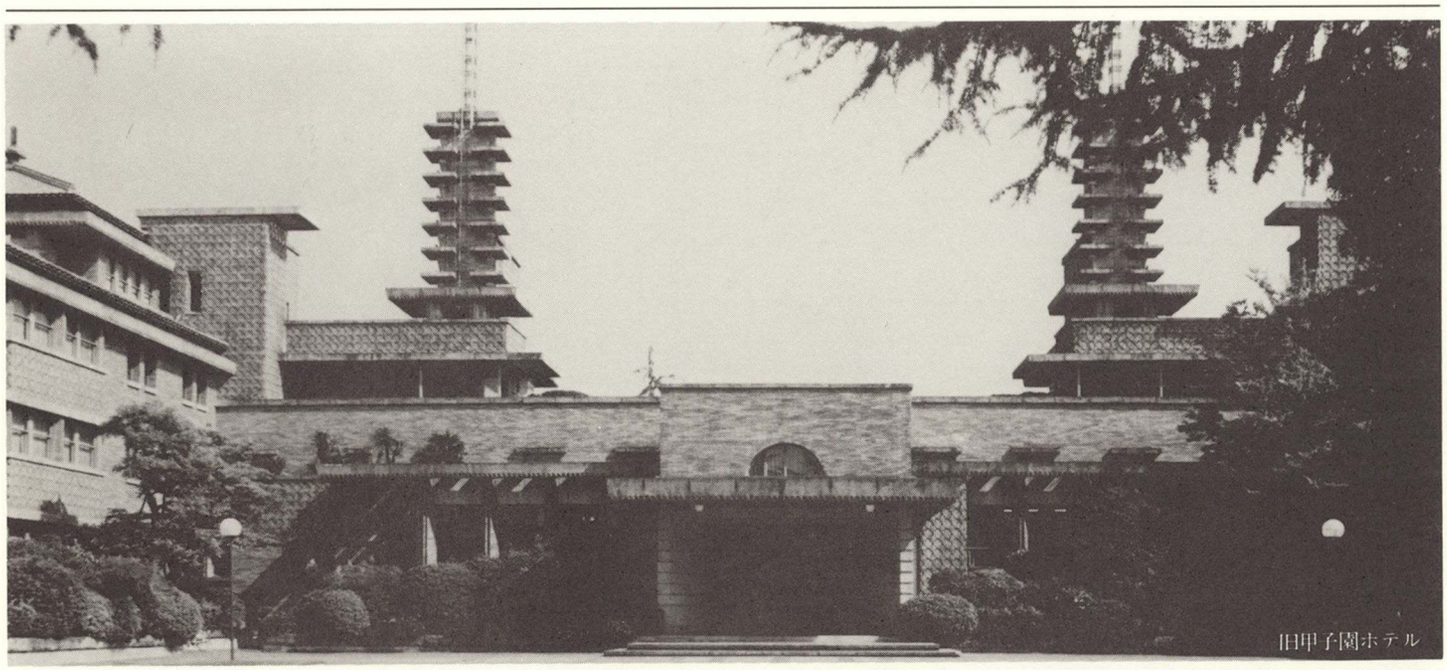
取締役社長　佐野正一

本　社　大阪市東区島町2丁目7番地　電話　06(943)1371(大代)
支　社　東京・名古屋・大阪・神戸・広島・福岡

株式会社 横河建築設計事務所

代表取締役社長　小池正雄
取締役所長　河村栄蔵

本　　社　東京都目黒区下目黒1−2−18　TEL (03) 492−7441
大阪事務所　大阪市東区伏見町5−42(大和生命ビル)　TEL (06) 202−4509



旧甲子園ホテル

暑中お見舞申し上げます　昭和62年盛夏

建設業者有志

株式会社　**あめりか屋**

取締役会長　前野慶太郎

〒530　大阪市北区中之島四丁目3番25号　電話（06）444－1501

株式会社　**淺沼組**

取締役社長　淺沼茂夫

本社・大阪本店　大阪市天王寺区東高津町12番6号　電話 06(768)5222
東京本店　東京都新宿区荒木町5番地　電話 03(357)0261
名古屋支店　名古屋市中村区名駅南三丁目3番41号　電話052(571)5571
支店　札幌・仙台・横浜・広島・福岡

技術と誠意で未来を築く

安藤建設株式会社大阪支店

取締役支店長　沖田幸作

大阪市福島区福島6丁目3番21号　電話代表 06（453）2190
本社・東京都港区芝浦三丁目12番8号　電話 大代表 03（457）0111
支店・名古屋・仙台・静岡・九州・広島・横浜・札幌
営業所・千葉・横浜・水戸・盛岡・新潟・神戸・京都・沼津・札幌・宇都宮・北九州・熊本

株式会社　**今西組**

取締役社長　今西壽雄

本社　大阪市天王寺区上本町6丁目6番23-309号　電話06(779)3361
支店　東京都新宿区内藤町1番地　電話03(354)0581
営業所　京都・奈良・西宮・神戸・埼玉

株式会社　**大林組**

取締役社長　大林芳郎

東京本社・東京都千代田区神田司町2丁目3番地　電話 03（292）1111番
本店・大阪市東区京橋3丁目37番地　電話 06（946）4578番
支店・札幌・東北・横浜・北陸・名古屋・神戸・広島・四国・九州

株式会社 奥村組

取締役社長 奥村俊夫

本　社　大阪市阿倍野区松崎町２の２の２　電話 大阪(06)621－1101(大代表)
東京本社　東京都港区元赤坂１の３の10　電話 東京(03)404－8111(大代表)
支　社　東京・大阪
支　店　札幌・仙台・浦和・横浜・千葉・新潟・名古屋・神戸・広島・高松・北九州・福岡

鹿島建設株式会社

代表取締役社長 鹿島昭一
取締役大阪支店長 津垣昭夫

本　社　東京都港区元赤坂１－２－７　電話 03(404)3311(大代)
大阪支店　大阪市西区靱本町１－11－７　電話 06(448)3311(大代)

海原建設株式会社

代表取締役 海原壹一

〒530 大阪市北区梅田1丁目2番2—300号(大阪駅前第2ビル3F)　電話06(346)1900番

株式会社 金山工務店

代表取締役社長 佐野友彦

本　社　大阪市東区内淡路町１丁目２番地　〒540　TEL 06—942—5461(代)
東京支店　東京都中央区日本橋堀留町１丁目10番12号　共同ビル６F　〒103　TEL 03—663—7844(代)
京都支店　京都市下京区烏丸通り四条下る水銀屋町635番地　梓ビル９F　〒600　TEL 075—351—5841(代)
神戸支店　神戸市中央区加納町３丁目１番25号　広瀬ビル９F　〒650　TEL 078—392—1761(代)
堺支店　堺市三国ケ丘御幸通り８番地　三国ケ丘ビル２F　〒590　TEL 0722—22—3003
滋賀支店　滋賀県大津市皇子ケ丘１丁目２番３号　〒520　TEL 0775—24—1816
出張所　横浜・吹田

株式會社柄谷工務店

取締役社長 柄谷順一郎

本　社　尼崎市玄番南之町４番地　電話大阪 06(411)１４５１(代)
営業所　大阪・西宮・神戸・高砂・豊田・三田・川西

株式会社 近畿建設

取締役社長 川崎健市

本　社　大阪市西区江之子島１丁目２番２号　電話０６（448）5601代
神戸支店　神戸市中央区加納町３丁目１－25　電話 078（392）5191代
滋賀支社　滋賀県栗太郡栗東町岡１９３の１　電話 0775（52）1361代

株式会社 熊谷組 大阪支店

取締役社長 熊谷 太一郎
専務取締役大阪駐在 星野 晴彦
取締役大阪支店長 小池 孝之

本社 東京都新宿区津久戸町17番1 電話03(260)2111番(大代表)
大阪支店 大阪市都島区片町2丁目10番5号 電話06(352)1151番(大代表)

五洋建設株式会社

代表取締役社長 水野 廉平
常務取締役大阪支店長 深谷 林三

本社 東京都文京区後楽2－2－8 電話 03 (816) 7111(代表)
支店 大阪市北区梅田2－2－25 電話 06 (345) 0631(代表)

コーナン建設株式会社

代表取締役 原 精一

大阪市淀川区十三本町2丁目4番28号 電話(06)308—1551大代表
尼崎市南武庫荘2丁目7番23号 電話 (06)437—9631代表
東京都中央区京橋3丁目13番10号(中島ゴールドビル) 電話 (03)564—5711代表
神戸市中央区磯上通5丁目1番24号 電話 (078)221—6293代表
枚方市大垣内町2丁目7番9号 電話 (0720)44—3257代表

株式会社 鴻池組

代表取締役社長 鴻池 一季

本社
大阪本店 大阪市東区北久宝寺町4－27 電話 大阪(244)3500(ダイヤルイン受付台)
東京本店 東京都千代田区神田駿河台2-3-11 電話 東京(296)7700(ダイヤルイン受付台)
支店 神戸・京都・横浜・名古屋・北陸・広島・四国・山陰・福岡・南九州・仙台・北海道

株式会社 金剛組

代表取締役 金剛 利隆

本社 〒543 大阪市天王寺区四天王寺1丁目14番29号 TEL 大阪06(779)7731(代)
関東支店 〒350-02 埼玉県入間郡鶴ヶ島町脚折町1丁目40—12 埼玉0492(87) 0301

佐藤工業株式会社

取締役社長 佐藤欣治 常務取締役大阪支店長 梅木正二

本社 東京都中央区日本橋本町4-12-20 電話 東京(661)1231(大代)
大阪支店 〒541 大阪市東区北浜1丁目25番地 電話 大阪(203)7221(代表)
支店 札幌・東北・関東・東京・横浜・北陸・名古屋・中国・四国・九州・クアラルンプール・シンガポール

清水建設株式会社

社　　長　吉野照蔵
取締役
大阪支店長　橘　節哉

本　　社　東京都中央区京橋2－16－1　電話03(535)4111
大阪支店　大阪市東区本町4－15－1　電話06(263)2811
支　　店　名古屋・広島・高松・福岡・金沢・仙台・札幌・横浜

大地への愛　人間への愛

錢高組

社長 錢高一善

本　　社　大阪市西区西本町2丁目2番11号
大阪(06)531－6431
東京本社　東京都千代田区一番町31番地
東京(03)265－4611
支社・支店　大阪・東京・札幌・仙台・北関東・千葉
横浜・北陸・名古屋・広島・四国・福岡

大末建設株式会社

取締役社長　佐伯正也

本　　社
大阪本店　大阪市南区島之内2丁目4番10号　電話 06 (213) 0555(大代)
支　　店　東京・福岡・名古屋・仙台・広島・四国・沖縄

大成建設株式会社

取締役
社　　長　里見泰男
専務取締役
大阪支店長　平島治

本　　社　東京都新宿区西新宿1丁目25番1号 新宿センタービル　TEL 東京(348)1111大代表
大阪支店　大阪市東区北浜4丁目38番地　TEL大阪(203)1131大代表
支　　店　東京・名古屋・九州・札幌・東北・広島・横浜・北信越・四国

限りない未来への挑戦

大日本土木株式会社

専務取締役
大阪支店長　牧野保

東京本社　〒162 東京都新宿区市ヶ谷田町2丁目35番地　電話03 (268) 5511
大阪支店　〒530 大阪市北区堂島二丁目2番2号 近鉄堂島ビル　電話06 (341) 5931

株式会社 竹中工務店

取締役社長　竹中統一

〒541　大阪市東区本町4丁目27　電話 大阪 (252) 1201番(大代表)

鉄建建設株式会社大阪支店

専務取締役支店長　谷内与一

〒541 大阪市東区瓦町4丁目56番地（瓦町K・Tビル）　電話(201) 1881(代表)
本社・東京都千代田区三崎町二丁目五番三号　電話 東京(262) 3411(代表)

戸田建設株式会社

取締役社長　戸田順之助
取締役 大阪支店長　加藤久郎

本　社　東京都中央区京橋1丁目7番1号　TEL東京03(562) 6111
大阪支店　大阪市西区西本町1丁目13番47号　TEL大阪06(531) 6561
支　店　東京・関東・横浜・大阪・名古屋・札幌・仙台・広島・四国・九州

東洋興業株式會社大阪支店

常務取締役支店長　三富和

本　社　東京都中央区銀座7－13－10　電話 東京(545) 5111
大阪支店　大阪市北区堂島浜2-2-8 東洋紡ビル　電話 大阪(348) 5602
支　店　名古屋・仙台・札幌・福岡・横浜

東洋土建株式会社

取締役社長　阿部暢

本　社　〒546 大阪市東住吉区東田辺2丁目3番2号　電話06(692)1331代表
東京支店　〒106 東京都港区六本木2丁目3番9号 亀甲ビル　電話03(586)0751代表
営業所　横浜・名古屋

飛島建設株式会社 大阪支店

常務取締役支店長　石原昭一郎

大阪市東区島町2－28－1　〒540　TEL 06（942）2481
本社/東京都千代田区三番町2　〒102　TEL 03（263）3151
支店/札幌・仙台・東京・横浜・名古屋・北陸・大阪・広島・四国・福岡

南海建設株式会社

取締役社長　松川義一

本社　大阪市浪速区恵美須西3丁目14番22号　電話 06(644) 1212番
支店　東京都千代田区神田須田町1丁目5(新須田町ビル)　電話 03(251) 8431番
支店　大阪府岸和田市沼町18番1号(川長ビル)　電話 0724(23)2881番

明日をささえる

西松建設

本　　社　東京都港区虎ノ門1－20－10　電話03(502)0211
関西支店　大阪市東区釣鐘町2－41　電話06(942)1131

限りない可能性を追求する

日本建設株式会社

社　長　積山　吉興

本　　社　大阪市東区備後町2丁目58番地　TEL(06)226－0630(代)
東京本社　東京都文京区小石川2丁目6番22号　TEL(03)818－6081(代)
支　　店　東京・大阪・名古屋・福岡・札幌・仙台・広島

日本国土開発株式会社

取締役社長　石上立夫
取締役大阪支店長　石井富雄

本　　社　東京都港区赤坂4丁目9番9号　電話(03)403－3311(大代表)
大阪支店　大阪市西区西本町1丁目10番10号(西本町全日空ビル)　電話(06)538－7351(代)

野村建設工業株式会社

取締役社長　野村文英

本　　社　大阪市東区高麗橋2丁目9番地　電話(202)4791代表
東京本部　東京都千代田区大手町2丁目1番1号　電話(241)4171代表

長谷工グループ

長谷川工務店

取締役社長　水上芳美

本　　社　東京都港区芝2－32－1　電話03(456)5451(大代表)

不二建設株式会社

取締役社長　山口慎一郎

大阪本社　大阪市西区西本町1丁目1番9号　〒550　電話06－541－5534代表
FAX06－543－0229
東京本社　東京都新宿区西新宿4丁目5番2号　〒160　電話03－377－5171代表
FAX03－374－2217
支店・出張所　名古屋・福岡・札幌・仙台・静岡・大垣・京都・広畑・広島・大分

不動建設株式会社

取締役社長　庄野　勝

大阪本社　大阪市東区平野町５丁目30番地　電話　０６（２０１）１１２１番
東京本社　東京都台東区台東１丁目２番１号　電話　０３（８３１）９１１１番
支　店　北海道・東北・千葉・横浜・名古屋・神戸・広島・四国・南四国・九州・北九州

FUJIKI

株式会社 藤木工務店

取締役社長　藤木鐵三

本　社　〒540 大阪市東区両替町1-13　☎ 06-944-1468代　本支店　大阪・東京・倉敷・四国・京都・福岡
東京本社　〒160 東京都新宿区三栄町23-4　☎ 03-357-1600代　営業所　埼玉・多摩・横浜・静岡・名古屋・宇治・泉南・岡山・広島・徳島・新居浜・長崎・南九州

真柄建設株式会社

取締役社長　真柄敏郎
取締役大阪支店長　永井健次郎

本　社　金沢市彦三町１－13－43　電話　金沢(0762)31－１２６６(代)
東京本社　東京都千代田区麹町５－１－６　電話　東京(03) 263－１２１１(代)
支店・営業所　北陸・東京・大阪・名古屋・福井・富山・新潟・七尾・立川・春日井・横浜・岡山・大津・京都・神戸・福岡・

地域社会に貢献する

総合建設

株式会社 前田組

取締役社長　前田敏彦

大阪府寝屋川市大成町１－１　TEL (0720) ２４－１１１１

株式会社 松村組

取締役会長　松村雄二
取締役社長　松村雄吾

本　社・大阪市北区天満２丁目１番33号　電話　大代表　大阪(353)1131
支　店・東京・名古屋・札幌・仙台・広島・福岡

株式会社 道田工務店

代表取締役社長　道田泰平

本　社・兵庫県川西市中央町18番21号　電話　0727(57) ９７７７番
大阪支店・大阪市東区平野町3丁目22番1　電話　06(203) ６８６８番

三井建設 株式会社 大阪支店

常務取締役大阪支店長　高尾清次

大阪支店　大阪市東区本町５－15－２(本町三井ビル)　ＴＥＬ　06－243－3411
本　　店　東京都千代田区岩本町３－10－１　ＴＥＬ　03－864－3456

村角建設株式会社

代表取締役　辻　善仁

本　社　〒559 大阪市住之江区浜口西2丁目12番9号　電話06(672)3551～6番
支　店　東京・神戸・堺・北海道・広島・香港

村本建設株式会社

代表取締役　村本豊嗣

奈良本店　奈良県北葛城郡広陵町安部５４７番地　電話 0745 (55) １１５１(代表)
大阪本社　大阪市天王寺区四天王寺一丁目５番43号　電話　06(774) ２１１１(代表)
東京本社　東京都千代田区二番町３番４　電話　03(238) ２１５１(代表)
支　　店　札幌・東北・横浜・名古屋・三重・京都・神戸・和歌山・中国・九州他

望月建設株式会社

代表取締役社長　望月小太郎

本　　社　大阪市北区中崎西２丁目３番12号　　電話 大阪 (375)2345(代表)

株式会社 森組

取締役社長　森　幸彦

本　　社　大阪市東区横堀２丁目１４番地　電話 ２０１－２７６１(代)
支　　店　東京・名古屋・九州・奈良
営業所　仙台・新潟・横浜・甲府・京滋・神戸・広島・熊本・高松・徳島

株式會社 米田工務店

代表取締役　米田良男

本　社　〒543 大阪市天王寺区逢阪1丁目1番7号 TEL 大阪(06)771-7771代表
FAX 大阪(06)779-2676

暑中お見舞申し上げます　昭和62年盛夏

鉄道・団体・報道・建材・設備工事有志

関西鉄道協会

会長　久万俊二郎
副会長　角田寛
副会長　中田大三

〒530 大阪市北区堂島浜2丁目1番25号中央電気倶楽部内　電話06(341)1231

レールネットワークはあなたのために

JR西日本

西日本旅客鉄道株式会社

代表取締役社長　角田達郎

本社　〒530 大阪市北区大深町1番1号　電話　06（375）8915

大阪高速鉄道株式会社

代表取締役社長　今枝信雄

〒540 大阪市東区谷町2丁目1番地　電話　06（946）0090(代)

北大阪急行電鉄株式会社

取締役社長　太田垣貴美

〒560 大阪府豊中市寺内2丁目4番1号　電話 06(865)0601

泉北高速鉄道

大阪府都市開発株式会社

〒541 大阪市東区瓦町4丁目15番地　TEL 06（201）2471

財団法人 大阪建築防災センター

理事長　小西　岬

〒540 大阪市東区常盤町1丁目39(大阪フコク生命ビル5階) 電話 06 (943) 7253

社団法人 日本建築協会京都支部

支部長　橋詰一雄

〒604 京都市中京区押小路通柳馬場東入建設会館分室　電話 075 (211) 2857・2877

もっとも信頼され、読まれている情報紙

創業32年

株式会社 建設日報社

代表取締役社主　重村登龍

本社　〒550 大阪市西区靱本町2－5－2 TEL 06(444)2405-9
別館　〒550 大阪市西区江之子島1-6-2 TEL 06(444)6431-4

大阪で唯一の

株式会社 日刊建設新聞社

代表取締役社長　中山敏夫

大阪本社　〒541 大阪市東区高麗橋1丁目3(東洋ビル)　電話 202－6861(代表)
分室　〒541 大阪市東区高麗橋詰町26(ユニ高麗橋)　電話 941－6847(代表)

建設業界の情報は……日刊建設産業新聞
近畿圏の工事ニュースは……日刊建産速報

株式会社 日刊建設産業新聞社

常務取締役大阪支社長　中村勝則

大阪支社　〒541 大阪市東区淡路町1丁目14(八千代ビル)　電話06(231)8171(代)
神戸支局　〒651 神戸市中央区八幡通4丁目2－9　電話078(291)0541～2
京都支局　〒602 京都市上京区河原町丸太町東入俵屋町460　電話075(211)1911
本社　〒173 東京都板橋区板橋1丁目48－9　電話03(961)1691(代)

株式会社 梅彦

取締役社長　松永嘉一郎

営業所　大阪市北区中崎西2丁目1番3号　電話 06 (312) 6171代
茨木工場　茨木市豊川3丁目1番6号　電話0726 (43) 5185代

各種硝子販売工事請負

株式会社 大阪硝子店

代表取締役 佐々木 廣

〒541 大阪市東区本町5丁目4番地 電話 大阪06(262)3536～8

大塚グループ

大塚オーミ陶業株式会社

代表取締役社長 大塚 正士

本社 大阪市東区豊後町10番地 TEL 06 (943) 6695
支店 東京都千代田区神田司町2丁目9番地 TEL 03 (294) 1388
工場 滋賀県甲賀郡信楽町大字柞原字寺谷 TEL 0748 (82) 3001

建築用板硝子販売施工

キムラ硝子建材株式会社

代表取締役 木村喜則

〒540 大阪市東区内平野町2丁目28番地 電話 06(941) 4181(代)

クリヤマ株式会社

代表取締役社長 栗山芳雄

本社 大阪市淀川区西中島1丁目12番4号〒532 TEL. 06—305—1812大代表
TELEX. 523—3908
東京支店 東京都渋谷区南平台町15番13号〒150 TEL. 03－463－1841代表

KOKUYO

取締役社長
黒田靖之助

コクヨ株式会社 大阪市東成区大今里南6丁目1番1号 ㊅(06)976-1221

装飾合せグラス
レインボーグラス セーフティオパール
JIS表示許可工場 UL規格認承工場

株式会社 サトーセン

大阪工場 〒557 大阪市西成区南津守5丁目12番3号 TEL(06)658—1305
東京工場 〒144 東京都大田区東糀谷5丁目12番7号 TEL(03)743—5851

三協アルミニウム工業株式会社
大阪支店

常務取締役
大阪支店長　大川　健二

〒550 大阪市西区靱本町１－９－15(近畿富山会館ビル６Ｆ)　電話 06(443)9601
支店　東京・大阪・名古屋・福岡・仙台・広島・札幌・四国・横浜・北陸・埼玉・千葉・神戸

経験を基礎に新時代のニーズに応える

三精輸送機株式会社

代表取締役　前田完一

本　　社：大阪府吹田市江坂町1丁目13-18 〒564　☎ 06 (385) 5621 (代)
東京支店：東京都渋谷区千駄ヶ谷５の32の６　☎ 03 (356) 5651
福知山工場：福知山市長田野町２丁目45番地　☎ 0773 (27) 1211
出張所：札幌・青森・秋田・仙台・名古屋・金沢・広島・福岡・沖縄

三宝電機株式会社

代表取締役　嘉納傳三

本　　社　大阪市北区西天満２丁目６番８号　電話　０６－３６４－１４７１

新菱冷熱工業株式會社

取締役会長　加賀美　勝
取締役社長　有賀聖明

本　社東京都新宿区四谷２－４　電話03(357)2151(大代表)
大阪支社　大阪市北区堂島1-1-5(梅田新道ビル)　電話06(344)7102(代　表)

創意と誠意で信頼の輪をひろげる

鈴鹿塗料株式会社

取締役社長　田中茂徳

本　　社 〒510 三重県四日市市塩浜町１番地　ＴＥＬ (0593) 46－1116
大阪営業所 〒550 大阪市西区千代崎1丁目3番7号　ＴＥＬ (06) 581－3091

よりよき環境へ技術で挑む――

株式会社 精研

クリーンルーム
バイオ関連設備
設計施工

取締役会長　木内清三
取締役社長　和田正八郎

本　　社　大阪市南区瓦屋町２丁目11－16(オートセンタービル)　電話 768－5031(代)
東京支店　東京都千代田区九段南２丁目２－５(九段ビル)電話 262－3241(代)
四国営業所　徳島県鳴門市撫養町小桑島前浜28－３(西谷ビル)　電話0886－85－0924(代)

東西アスファルト事業協同組合
西日本床工事事業協同組合

株式会社 タテバヤシ商店

代表取締役　舘林彦四郎

〒601 京都市南区西九条大国町37　電話（075）681－7221（代）
FAX（075）681－7224

TAJIMA

株式会社 タジマ

東京営業所　〒101 東京都千代田区岩本町3－11　電話（03）866－6101
大阪営業所　〒550 大阪市西区京町堀1－10－5　電話（06）441－5951

田島ルーフィング株式会社

東西アスファルト事業協同組合

東　京：〒101　東京都千代田区岩本町3－11－13　電話（03）862－8531
大　阪：〒550　大阪市西区京町堀1－10－5　電話（06）443－0431

東亜印ルーフィング　日本工業規格表示許可工場　許可番号585038

東亜工業株式会社

建設省計振発
第55号認可　東亜アスファルト防水事業協同組合

本　社　〒581 大阪府八尾市南太子堂6丁目4番27号　電話0729－94－5682
営業所　東京・名古屋・九州
工　場　大阪・東京・和歌山

営業品目　プール・浴場機器

株式会社 ツルカメ

代表取締役　八和田桂司

本社　〒543 大阪市天王寺区寺田町2丁目2番12号　TEL 06(772)5307

TOYO

東洋シヤッター株式会社

代表取締役社長　岡田敏

本　社　〒540 大阪市東区両替町1－12（日生谷町ビル）電話(06)943-6571㈹
東京本社　〒106 東京都港区六本木6-3（第一地所麻布ビル）電話(03)497-2911㈹

コピーの綜合コンサルタント

naigai

株式会社 ナイガイ

代表取締役社長 木下 みどり

本社 大阪市西区京町堀1-17-16(スミトービル) TEL (06) 443-2800
御堂営業所 大阪市東区本町4—27(御堂ビル) TEL (06) 252-3906
横堀営業所 大阪市東区横堀2丁目36—4 TEL (06) 202-5260
神戸営業所 神戸市中央区磯辺通4—2—26 TEL (078)251-0595

株式会社 西原衛生工業所大阪店

代表取締役社長 伴 一郎

大阪市大淀区中津六丁目8番4号 電話 大阪 (06) 458—3628

日本アルミニウム建材株式会社

取締役社長 野津民夫

本社 〒532 大阪市淀川区三国本町3丁目9番39号 ☎ (06) 392—5821
東京支社 〒101 東京都千代田区内神田1丁目9番13号 (柿沼ビル) ☎ (03) 233—2715
名古屋支店 ☎ (052)563—6881
札幌営業所 ☎ (011)231—9395
広島営業所 ☎ (082)221—3158
旭川出張所 ☎ (0166)34—3016
金沢出張所 ☎ (0762)91—4400
福岡支店 ☎ (092)271—5271
仙台営業所 ☎ (022)227—2671
高松営業所 ☎ (0878)22—1336
神奈川出張所 ☎ (0463)23—9461
米子出張所 ☎ (0859)33—1504

電算写植システム

日本写植印刷株式会社

代表取締役 神田都義

本社 〒545 大阪市阿倍野区阪南町7—5—30 電話06(606)1111代
東京営業所 〒160 東京都新宿区高田馬場3-12-6高田馬場西商店街ビル801号 電話03 (360) 6847
広島営業所 〒739-01 東広島市八本松町米満109—5 電話0824 (28) 6253
津山写植センター 〒708 津山市福田1372—1 電話08682(8)4377
日本写植センター 〒892 鹿児島市名山町4—7 三宝ビル 電話0992 (26) 4371

ビニロイド 防水 責任施工
アコシート 防水 責任施工
ACロップ35 責任施工
防熱工事設計施工
プラスオール
コーキング } 製造販売

三星産業株式会社

〒550 大阪市西区京町堀1—10—8(大栄ビル) Tel.〈443〉9721(代)
〒101 東京都千代田区神田小川町3-28(三東ビル) Tel.〈292〉1961(代)
出張所：札 幌〈721〉6031・6307 仙台〈21〉5366(代)
名古屋〈931〉4574・3393 福岡〈78〉3361(代)

三協アルミニウム工業株式会社代理店 日立化成工業株式会社代理店
アルケン工業株式会社代理店 新明和工業株式会社代理店
豊和工業株式会社代理店 近畿車輌株式会社 代理店
信越ユニット株式会社代理店 住友ゴム工業株式会社代理店

ムツミ産業

ムツミ産業株式会社

代表取締役 傳馬正明

〒550 大阪市西区靭本町1丁目17番15号 電話 (06) 大代表 441—0378番
出張所：東京・広島 工場：大津・竹原

シート防水は リベットルーフ
目地材は クラクタイト

山出興産株式会社

代表取締役社長　山出敬二

〒564 大阪府吹田市江の木町24—10 TEL(06) 385—1261 FAX(06) 386—6271
支店・営業所　東　京・仙　台・名古屋・広　島・福　岡

四ッ葉
装美建材
金属建材

株式会社 山京建材

パーフェクトな
シロアリ退治に
フクビ防蟻防湿
システム
アリダンV工法

No. 1販売部 ・ No. 2施工部

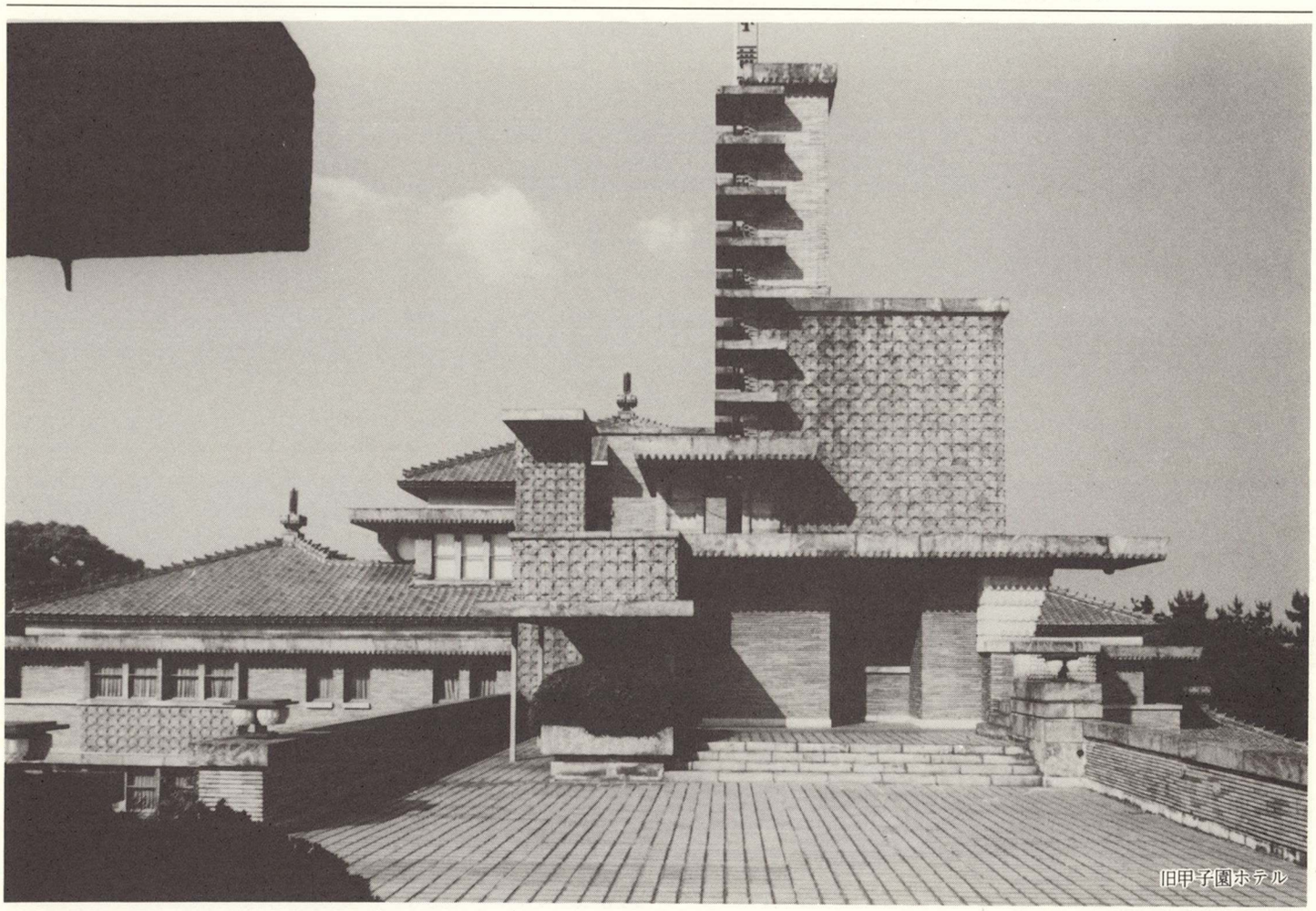
本　　社　大阪市西区北堀江1－1－1　電話 (06)541-1861～9　FAX (06)541-0796
東　　店　東大阪市金物町3番1号　電話 (06)723-2277～8　FAX (06)722-3273
山建ソービ　大阪市西区南堀江1(立花通)　電話 (06)541-2152～3

建築工事金物製品の
UNION

株式会社ユニオン

代表取締役　立野一郎

本　　社　大阪市西区南堀江2-13-22　〒550 電話 06(532)3731(代)
東京営業所　東京都江東区白河2—9—5　〒135 電話 03(630)2811(代)
名古屋営業所　名古屋市東区筒井町1-14-9　〒461 電話052(935)6021(代)
大阪ショールーム　大阪市西区京町堀1-17-16　〒550 電話 06(443)6620(代)



旧甲子園ホテル



テトカッパー防水層

防水専業の研究・経験から生れたすくない資源のパーフェクトな防水層です。
この防水層は（一層防水）施工するだけで、防水は完璧です。
温度変化に伸びがなく、柔軟性に富み、耐酸、耐薬品性に優れ、腐蝕しません。

カッパー防水帯　コーバータイト　新工法
オクロン防水帯　プレノテクト吹付工法

●お申込次第カタログ進呈

奥山化工業株式會社

本　社	東京都中央区銀座8—4—9	電話03（571）2703
大阪事務所	大阪市淀川区東三国6—1—41	電話06（391）1081-2
埼玉営業所	埼玉県桶川市東1—3—30	電話0487(74)2845-6
厚木出張所	神奈川県厚木市金田259	電話0462（21）1761
名古屋出張所	名古屋市南区若草町33	電話052（811）3660
九州出張所	佐賀県佐賀郡諸富町大字諸富津450	電話0952（47）2945

■防火・防煙シャッター　■軽量シャッター
■ステンレスシャッター　■クリスタルシャッター
■アルミニュームシャッター　その他特殊シャッターの製造

アフターサービスの24時間態勢完備

鈴木シャッター工業株式会社

大阪市北区茶屋町5番2号	電話大阪	06（市外局番）371代表4151～6
北陸営業所　金沢市長田町119番地	電話金沢	0762（市外局番）65—5135～6
神戸営業所　神戸市長田区大橋8-4-7	電話神戸	078（市外局番）611—7971 631—2021

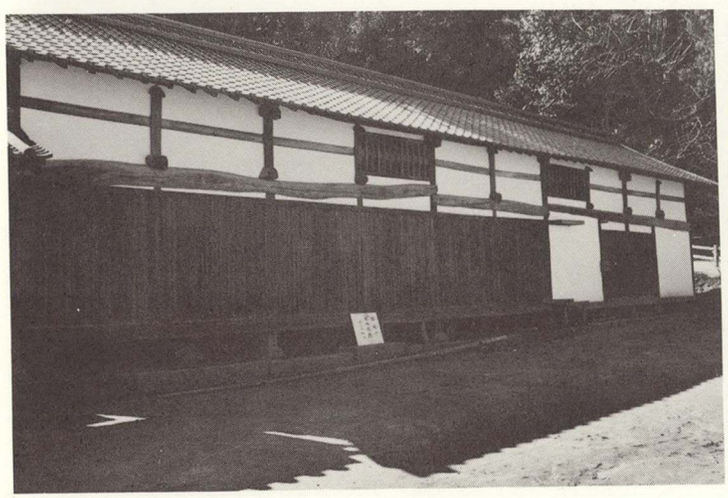
防火・防煙から避難装置まで
建築防災の総合メーカー

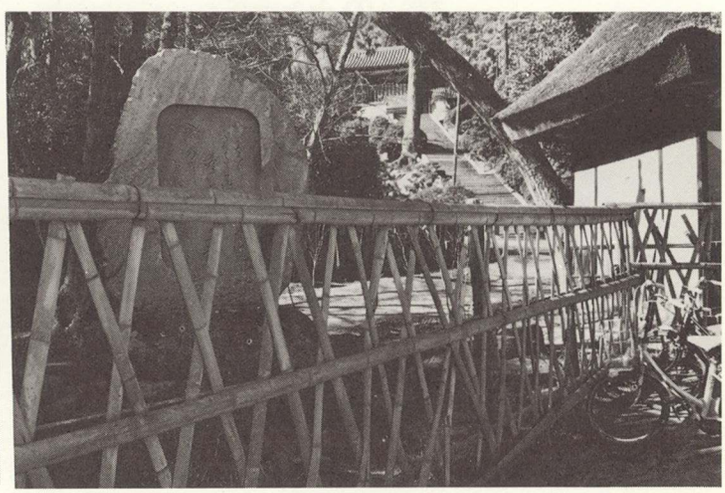
豊かな経験
最新の技術

東洋シヤッター

東洋シヤッター株式会社

本社：大阪市東区両替町1—12 日生ビル　☎（943）6571代表
東京・横浜・盛岡・仙台・水戸・静岡・岡崎・名古屋・富山・大津・京都・神戸・広島・高松・福岡他全国主要都市





空気調和・給排水・衛生・防災設備　設計・施工

株式会社 朝日工業社

本　社　東京都港区浜松町1-25-7　電話 (434)6171(大代)
大阪支社　大阪市淀川区加島1-58-59　電話 (302)2271(代)
支　店　北海道・東北・名古屋・中国・九州
営業所　釧路・函館・盛岡・横浜・静岡・京都・神戸

空気調和設備
衛生設備 設計施工

三建設備工業株式會社

大阪支店　大阪市北区紅梅町3番5号　電話 (352) 1131 (代)
本　社　東京都中央区日本橋蠣殻町2－22　電話 (667) 3431 (大代)
支　社　名古屋・仙台・札幌・広島・福岡・金沢・新潟・横浜

空調・衛生
防災・汚水処理 設計施工

株式会社 大阪城口研究所

取締役社長　城口庸平

大阪市北区角田町2番15号 電話 大阪372局7151(代)
京都市東山区大和大路正面上ル 電話 京都561局4944(代)
神戸市中央区下山手通6－2－8 電話 神戸341局5892

空気調和・衛生設備 設計施工

株式会社 三晃空調

本　社　大阪市東区城見ツイン21MIDタワー　電話 06－949－1371
東京本店　東京都新宿区西新宿　新宿住友ビル　電話 03－344－1911
大阪本店　大阪市北区西天満3丁目13番20号　電話 06－363－1371
支　店　仙台市大町2丁目2番10号　電話0222－61－3002
名古屋市中村区名駅南2丁目14番19号　電話052－581－8571
広島市中区紙屋町1丁目2番22号　電話082－247－4535
福岡市中央区大名2丁目4番22号　電話092－761－3795
営業所　札幌・横浜・京都・神戸・松江
出張所　青森・秋田・盛岡・宇都宮・千葉・川崎・富山・福井・高松・下関・熊本・鹿児島・沖縄

電気・空調・衛生・防災・産業廃水設備
設計施工

ダイダン株式会社

本店・大阪本社　〒550 大阪市西区江戸堀1丁目9番25号　電話(06)441-8231
東京本社　〒104 東京都中央区銀座2丁目2番17号　電話(03)535-5251
支社　名古屋・福岡
支店　札幌・仙台・新潟・大宮・千葉・横浜・金沢・神戸・天理・岡山・広島・高松・熊本
営業所　帯広・函館・青森・秋田・盛岡・前橋・長野・静岡・豊田・津・富山・福井・京都・徳山・松山・高知・北九州・鹿児島・那覇
出張所　旭川・福島・松江・徳島・長崎・宮崎
海外支店　シンガポール・ホンコン・スリランカ
技術研究所　〒354 埼玉県入間郡三芳町大字北永井390番地　電話(0492)58-1511

空調衛生・冷凍冷蔵・地盤凍結
よりよき環境へ技術で挑む——

株式会社精研

本　社　大阪市南区瓦屋町2丁目11番16号 (オートセンタービル1,2階)
郵便番号542　電話 大阪(06) 768－5031代表
メンテナンス部　電話 大阪(06) 768－1651代表
東京支店　東京都千代田区九段南2丁目2番5号(九段ビル2～4階)
郵便番号102　電話 東京(03) 262－3241代表

■給排水衛生　■冷暖房
■空気調和設備　■その他管工事一切の設計・施工

斎久工業株式会社

本　社　東京都千代田区大手町2-6-2（日本ビル）
電話 03-(270)-7411(代)
大阪支社　大阪市北区堂島1-5-33（中国銀行ビル）
電話 06-(346)-2581(代)
支　店　札幌・岡山
営業所　仙台・千葉・横浜・名古屋・金沢・四国・広島・福岡
出張所　福井・倉敷・松山・宇都宮・静岡・苫小牧

新日本空調株式会社

大阪支店　大阪市北区堂島浜1丁目2番6号（新大ビル）
電話 (06) 344－6031 (代)
本　社　東京都中央区日本橋本石町4-2(三井第二別館)
電話 (03) 279－5671 (大代)
名古屋・九州・広島・札幌・東海村・北陸・大分

空気調和設備
給排水・衛生水道
電気設備
厨房

環境衛生施設
荷役運搬機械
化学鉱山機械

三機工業株式会社

取締役社長　白谷清二
取締役大阪支店長　堀亀久治

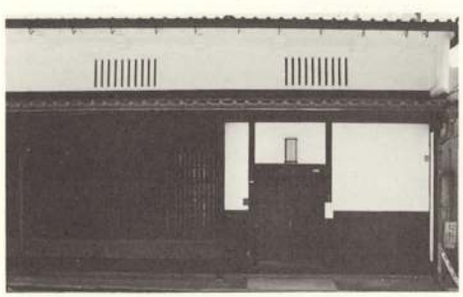
大阪市東区北浜2丁目22番地　電話 大阪(202) 代表3071
本　店　東京・日比谷・三信ビル
支　店　名古屋・九州・北海道・中国・東北・北陸・四国・シンガポール
営業所　横浜・静岡・豊田・岡山・金沢・新潟・香港

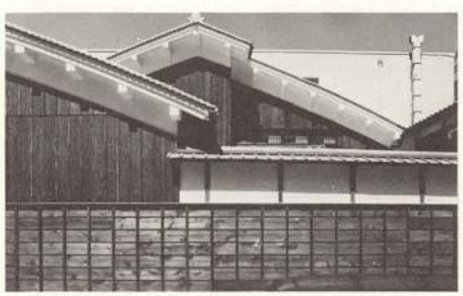
---

cleanair
一年中 秋のすがすがしさ！

創業1901
須賀工業株式会社

大阪市西区土佐堀1丁目2番30号 TEL.06-441-5171(大代表) 〒550







電気・計装工事 設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長 栗 原 信 英

大阪市北区角田町1-1 東阪急ビル TEL06-313-1101
支 店 東 京・名 古 屋・舞 鶴・京 都・天 理
大 阪 南・神 戸・広 島・四 国・九 州

電気設備 設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役 山 本 貴 士

本 社 大阪市北区中之島3－2－4 朝日ビル TEL 大阪06 (385)1361(代)
大阪営業所 TEL 大阪06(385)1361(代) 京都営業所 TEL 京都075(311)1185(代)
東京営業所 TEL 東京03(574) 0 6 6 5 福岡出張所 TEL 福岡092(771) 6 1 6 8

電気工事設計施工

株式会社 三 興 社

代表取締役 土 井 敏 裕

本 社 大阪市北区西天満2丁目6－8(堂ビル7階)
電 話 (361) 3 6 7 1 (代)
支 店 東京都中央区日本橋箱崎町20番5号
電 話 (671) 1 4 7 8 (代)
出張所 川 崎・相 模 原・堺・滋 賀

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社

大 阪 支 社

大阪支社長 横 田 幸 一

大阪市東区高麗橋五丁目二八番地 電話大阪 (202) 0325～9番
本 社 東京都千代田区西神田1丁目4番5号
支 社 札幌・仙台・丸ノ内・新宿・横浜・名古屋・九州
営業所・出張所 全国主要都市32ヶ所

――誠実と技術でお応えする――

住友電設

取締役社長 相 馬 一 男

住友電設株式会社
本社／〒553 大阪市福島区福島7丁目22-8 ☎(06)452-1151(大代)
東京／〒105 東京都港区芝2丁目2－17 ☎(03)454-7311(大代)

営業種目 設計・施工・監理
●電力工事 発変電設備工事 架空送配電線工事 地中送配電線工事
●設備工事 ビル電気設備工事 工場電気設備工事 防爆電気設備工事 計装工事 空調工事 給排水衛生工事 特殊配管工事 消防施設設備工事
●プラント工事
●情報システム工事 光伝送システム工事 CATVシステム工事 各種アンテナ装置工事

限りなきクリーンに挑戦する!!
電気設備・クリーンルーム・冷暖房設備
給排水衛生設備・計装制御設備・立体自動倉庫
エネルギー集中監視システム・回転式自転車置場
設 計 施 工

三宝電機株式会社

取締役社長 嘉 納 伝 三

本 社 〒530 大阪市北区西天満2－6－8(堂ビル) TEL 06(364) 1 4 7 1
TELEX 523－3 2 8 7
東京支店 〒105 東京都港区新橋2-16(ニュー新橋ビル) TEL 03(504) 0 2 3 1
TELEX 222－6 7 2 4
名古屋支店 〒462 名古屋市北区金城三丁目12－14 TEL 052(991) 5 1 3 1
神戸支店 〒657 神戸市灘区岩屋中町1-2-9(エビスビル) TEL 078(881) 5 5 7 1

奉仕感謝の店

タイル工事施工

株式会社 川岸窯業商店

本 社 〒550 大阪市西区西本町1－13－33
電話 大阪 06(532)代0461 〒550
天理営業所 天理市丹波市新町50

電気・計装・空調工事 設計施工

ヤマト電気エンジニアリング株式会社

取締役社長 山 本 永 造

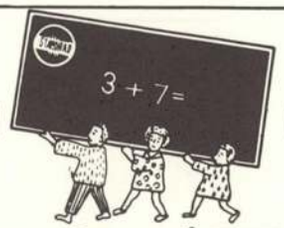
本 社 大阪市北区西天満5丁目1番3号
TEL 06－364－3056 (代)
支 店 東京・神戸・広島・岡山
事業所 名古屋・岡山・札幌・苫小牧・浜松・滋賀
京都・高砂・三原・徳山・松山・新居浜・福岡・沖縄



〒556 大阪市浪速区塩草一丁目二番三号
☎ 五六一～七五四一六
ファックス 五六一～七五四五

ナニワ瓦株式会社

あらゆる屋根工事の相談は、



Standard Board&Slate

フタバ工業

〒547 大阪市平野区加美北3－4－5 TEL 大阪06(792)5858(代)

模型製作

石膏模型・アクリル模型製作

宮岡建築模型製作所

〒103 東京都中央区日本橋浜町3 14 11
電話 (03)669 7565 FAX (03)669 7565

造園設計施工

富士造園土木株式会社

〒665 宝塚市山本東2－6－17
電話 0797－88－0501(代)

商品は空気です。



熱と空気のエンジニア
株式会社
大気社

●営業種目
空気調和設備　給排水衛生設備　塗装設備　公害防止関連設備の設計・製作・施工

本社・東京本店　東京都新宿区西新宿2-6-1　☎03－344－1851(大代)　大阪本社 ☎06－448－3603(代)
大阪支社 ☎06－448－5851(代)　名古屋支店 ☎052－211－1535(代)　中国支店 ☎082－247－5541
九州支店 ☎092－431－2147(代)　営業所：北関東・横浜・神戸・京都・岡山・四国

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備

株式会社 西原衛生工業所大阪店

大阪市大淀区中津６丁目８番４号　電話大阪 (458) 3628番
支店・営業所　福岡・京都・天理・川西

空気調和　搬送機設備
給排水衛生　設計施工

第一工業株式会社
大阪支店

大阪支店　〒530 大阪市北区西天満３丁目６番１４号
電話　０６－３６４－６６６１(代表)
本　社　〒100 東京都千代田区丸の内３丁目３番１号
電話　０３－２１１－８５１１(代表)

空調・衛生・防災設備　設計並施工

日本管工業株式会社

本社及京都支店　京都市南区西九条豊田町２０番地の１
電話(681)　５１０１－５・夜間専用(691)　1045
大阪支店　大阪市北区天満1-5-20　電話(06)352－3501(代)
三重支店　津市栄町２－１１１　電話(0592)26－3610(代)
四日市営業所　四日市市西末広町　電話(0593)53－7431(代)
滋賀営業所　大津市中央２丁目4-28　電話(0775)22－9738(代)

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工

高砂熱学

大阪支店　大阪市北区芝田1丁目4-8(北阪急ビル９階)
電話　大阪 (372)　２　５　１　１ (代表)
本　社　東京都千代田区神田駿河台４丁目２番地

Carrier

冷暖房は CARRIER キャリア

東洋キヤリア工業(株)デストビューター関西地区
日本冷熱工産株式会社
本社及大阪営業所　吹田市豊津町４０番３８号
電話大阪 (384)1201～7

MODAIR

空気調和設備
換気・除塵設備　設計施工

東洋熱工業株式会社大阪支店

大阪市西区靱本町３－１－２７　TEL(443)　８０７１
本　社　東京都中央区京橋２丁目９　TEL(562)　１３５１
支　店　名古屋・福岡

活字のない印刷

日本写植印刷株式会社

代表取締役　神田都義

本　社　〒545 大阪市阿倍野区阪南町7-5-30　☎06(606)1111代
日本写植センター　〒892 鹿児島市名山町4-7 三宝ビル　☎0992 (26) 4371
津山写植センター　〒708 津山市大手町8番5号 模範店会館　☎08682 (4) 1771
沖縄写植センター　〒900 南風原村兼城　沖縄印刷団地　☎0988 (55) 6100

ガス設備の設計・施工のご相談は
大阪ガス指定工事会社・大阪ガス住設機器特約店

大晃設備株式会社

本　社
大阪営業所　大阪市北区西天満５-11-12　電 06－313－1846
枚方営業所　枚方市甲斐田東町９－３　電0720－49－2128

空気調和設備・給排水衛生設備・上下水道施設
環境衛生施設・公害防止施設／設計・施工・監理

山田工業株式会社

本　社　大阪市西区京町堀１－６－８　電話 06(443)8161(大代表)
(環境装置事業部専用)　電話 06(447)0831　(代表)
分析センター　大阪市淀川区三津屋南1-1-35　電話 06(308)1491
支　店　東京・名古屋・福岡
営業所　京都・神戸・姫路・広島・高松・松山

飛鳥野瓦(意匠登録549771号)
渡辺式緩勾配安定瓦(実用新案登録出願中110750, 110751)　製造販売
各和洋瓦全般・カラーベスト・モニエル瓦・セキスイカワラU

創業67年　綜合施工卸
久保田鉄工・松下電工㈱・日本モニエル㈱・積水化学工業㈱・富士スレート㈱・特約代理店

瓦寅工業株式会社

本　社　大阪市生野区林寺１丁目５番14号　☎544
電話 06(715)　０２０１代表～５番
営業所　大阪市平野区　工場　兵庫県三原郡(淡路島)

文化庁・宮内庁・各府県庁
国宝 重要文化財 社寺・天理教教会本部　御用達

株式会社 瓦宇工業所

代表取締役　小林麻造

〒630 奈良市西新在家町17番地
電話 奈良(0742)26－２９０１番(代表)

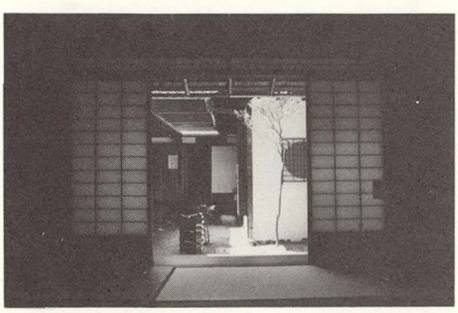
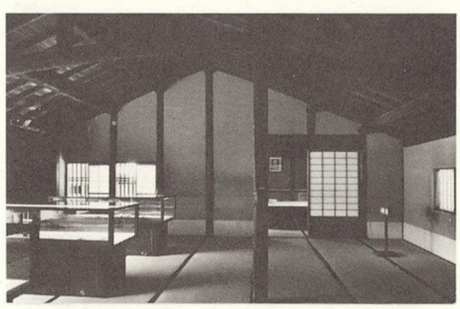
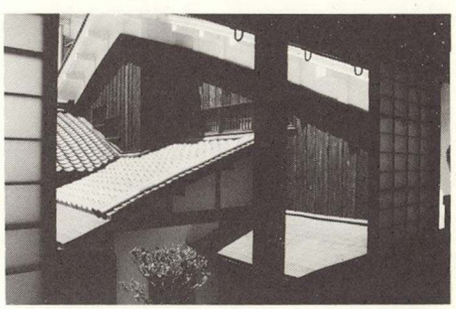
特殊壁装材製造販売　和室に最適
●聚楽壁紙●ホクシノン(無機質壁紙)
(株)ホクシンクロス
〒583 大阪府羽曳野市島泉８－173－1
TEL(0729)39－3610
工場　〒580　大阪府松原市三宅中8丁目1番9号
第一　〒639-11奈良県大和郡山市小泉町2744
第二　〒597　大阪府貝塚市王子５０１

建設業界をアシストする
ポゾリス
■コンクリート用混和剤　■無収縮グラウト材
■鉄筋コンクリート用防せい剤　■工業用特殊床材
製造元 日曹マスタービルダーズ株式会社
販売元 ポゾリス物産株式会社
本　社／東京都港区六本木3－16－26　☎ 03-582-8811
大阪営業所／大阪市東区北浜３－７　☎ 06-202-3294

営業種目
●防水工事　塗布防水・シート防水・モルタル防水
●樹脂注入接着工法　各種樹脂注入接着補修工事
●亀裂補修工事　各種樹脂注入・充填・コーキング
●シーリング工事　シリコン・チオコール・ウレタン・アクリル
●吹付工事　アクリル・リシン・弾性タイル・その他
◇建設業許可　大阪府知事許可（般－53）第51225号
◇日本シーリング工事業協会々員
大阪市北区末広町３－21
星和地所扇町ビル201 S
TEL 06(315)0701
(株)特殊技研

省エネルギー時代の断熱用シート防水材
日立バイナリーシートP
日立バイナリーシートPは，日立防水シートに発泡ポリエチレンを独自の貼り合わせ技術で積層した，二重構造の断熱兼用二重防水シートです。
日立電線株式會社　本社 東京都千代田区丸の内2丁目1番2号（千代田ビル）

デンカCSAファミリー製品
●デンカCSA……コンクリートのひびわれ防止に
（膨張性混和材）
●デンカタスコン……鉄骨ベース、逆打部の充填モルタルに
（グラウト用無収縮材）
●デンカキューデックス……コンクリート軀体の漏水補修に
（止水・補修用急硬セメント）
●デンカES……地盤補強用薬液注入
（土質安定用急硬材）
●デンカΣ1000……コンクリートパイルの早期出荷とハイモメント製造用に
（製品用超高度混和材）
電気化学工業株式会社
近畿地区販売店
浜宗産業株式会社
TEL 本社・京都・網野（07727）2－2220
舞鶴（0773）76－0133
金森藤平商事株式会社
TEL 大阪（06）332－6861
TEL 東京（03）272－8501
小浦産業株式会社
TEL 大阪（06）443－6181
光洋物産株式会社
TEL 大阪（06）584－9241
株式会社トーゴー／本社
TEL 滋賀・守山（0775）83－2381

特　許・耐酸被覆鋼板
耐久建築屋根・外壁材料

オリエンタルメタル

半世紀の実績が誇る技術とアフターケアー！

長尺物・色彩豊富・責任施工

品　種
- オリエンタルカラースーパーメタル(CSPM)
- オリエンタルスチールライト(ＳＴＬ)
- オリエンタルメタル(ＯＰＭ)
- 鋼板製オリエンタルフネンシングル
- オリエンタルオリセラム


体育館屋根フネンシングル

波板規格　S小波・S大波・V波・ボックス波・Wジャンボ波・Vデッキ
SVジャンボ波・ボルトレスルーフBL・其の他

用　途　平板・波板・棟包・雨押類・谷樋・堅樋・軒樋
各種換気装置〔モニター・ベンチレーター・ムーバー・エキゾスター(強制)〕
ボーロイド(断熱材)D.G.K.　※カタログを御請求下さい

オリエンタルメタル製造株式会社

大阪本社　〒660　尼崎市昭和南通り３－26 松本ビル　電話大阪(06)412－5131(代)
大阪支店及工場　大阪・九州・名古屋・広島・東条・刈谷・姫路

東京本社及工場　〒335　蕨市塚越５丁目６番32号　電話蕨(0484)42－3115(代)
支店及工場　東北・東京・関東・熊谷

全国書店で好評発売中

新刊
学会規準「新JASS5」対応　建築技術者必携の実用参考書
設計者と現場マンのためのわかるシリーズ
建築新配筋読本
●井上博・北小路宏共著・B5判・一六八頁・定価三六〇〇円

構造技術者のための
建築構造問題快答集 8
通巻総目次別刷付録
●監修　石黒徳衛・A5判・一八一頁・定価一九〇〇円

株式会社建築技術
〒160 東京都新宿区北新宿1-8-1　中島ビル
TEL(03)363-4211　振替東京0-72417

連載企画
●補修・改修／建築のカビ対策(後編)……芦沢達
●建築ソフト／積算編……楠山登喜雄

特別企画
●RC造建物におけるひび割れ防止対策の実際
●防湿フィルム敷きコンクリートスラブのひび割れ現象
●省力のセルフレベリング下地調整工法テイクオフ！

月刊　建築技術者必携の専門誌
建築技術 8月号
毎月18日全国書店で一斉発売　定価1,200円

特集／解体技術の新しい流れ
社会情勢の著しい変化によって、既存建物を使用したままでの部分解体、集合住宅の2戸1化などのニーズが高まり、解体技術の流れも大きく変わりつつある。ビル解体技術の現況をいくつかの実例とともに紹介する。
●ビル解体技術の現況と新しい流れ
●WJ工法による病院の部分解体
●集合住宅の改造例
●移設保存のための解体工事
●電磁波遮へいと帯電防止効果を持つ養生シート

建築と社会　第68輯第7号
昭和62年7月25日発行（毎月1回25日発行）
昭和24年3月19日第3種郵便物認可
社団法人　日本建築協会　〒530　大阪市北区梅田1-の1の3の2100　電話大阪06(348)0635
振替口座大阪一三九七五番
正会員の購読料は会費に含めて徴収
定価九五〇円（送料共）
表紙スケッチ・吉田隆一（説明目次頁）

クラシック　タイル

好評発売中



床材新製品

〈クラシック・タイルシリーズ〉

商業施設向・ファッション床タイルとして最適です。塩ビ系ホモジニアスタイルです。ナチュラルで優雅な風合い。いづれも耐久性、寸法安定性が抜群で品質、機能はもとよりデザイン性に優れています。

エルズウッド▶（標準材、彩色材、集成材）
75㎜×914㎜×3.0㎜（厚）7,700円/㎡

エルズストーン▶（マーブル）
457.2㎜×457.2㎜×3.0㎜（厚）7,900円/㎡
（グラニット・サンド）
304.8㎜×304.8㎜×3.0㎜（厚）7,700円/㎡

エルズパール▶（無地）
304.8㎜×304.8㎜×2.0㎜（厚）7,900円/㎡

ロンシール工業株式会社
●本　社／〒101東京都千代田区神田松永町13川口ビル　☎03(253)4911㈹
●大阪支店／〒532大阪市淀川区西中島3-9-13大北ビル　☎06(304)2700㈹

※詳しいカタログをご希望の方は本社・支店または下記の各営業所までご請求下さい。

●営業所／札幌☎011(531)2602　青森☎0177(77)1155　仙台022(265)4771　新潟☎025(243)3791　金沢☎0762(52)2215　大宮☎0486(64)1511　横浜☎045(662)7370
静岡☎0542(51)3712　名古屋☎052(935)7063　岡山☎086926-4321　高松☎0878(31)4177　広島☎082(249)3600　福岡☎092(472)5857　鹿児島☎0992(58)6571